昭和8年（つづき）

けふの運動

◇蹴球　商學對工學（三時青學）東西外語對拓（二時外語）

S8.11.1

けふの運動

◇蹴球　日大對東醫（三時明大）

S8.11.3

けふの運動

◇蹴球　一高對東高（三時成城）

S8.11.4

けふの運動

◇蹴球　明大對商船（二時石神井）明藥對東歯（二時半江古田）明專對日歯（一時）駒大對外語（三時駒大）上智對東藥（三時上智）中大對慈大（二時半東高）

S8.11.5

一高振はず

蹴球聯盟二部

東京學生蹴球聯盟第二部一高對東高の試合は五日午後三時から成城球場で工藤(主)高崎、中江(線)三君審判一高の先蹴で擧行、一高振はず五對零で東高勝つ

東　高5 {1—0 / 4—0} 0一　高

◇前半　東高は二分十五分の機會を逸したが三十六分LI森の強蹴はバーを彈いて返り一高ゴール前密集の時FW中央三人チヤージして一點を先取、一高は十九分はじめてGKを得るといふ不振で三十二分右CKは上原好蹴したが無得

◇後半　東高は十分RW中井の左前送球をLW伊藤中央に返しCF阿部ブツシユで一點を擧げてからよい聯絡に鋭い空つ込みで更に三點を收め、一高はRW上原の好中央送球あつたが稻川逸してやみ二十七分迄猛襲を續けて東高バックスの好守と惡送球に攻撃力極めて薄弱で無得、零敗となる

【高東】
藤　部橋井井田澤藤本本
森
伊　阿高中城野米加宮增
FW
HB
FG
HB
GK
【高一】
宗井川戸原川　甲本口谷
波
久永稻江上星　愛山橋喜

S8.11.5

明大4—1商船

學生蹴球二部

東京學生蹴球聯盟第二部明大對商船の試合は五日午後二時から石神井球場で出浦(主)小林、齋藤(線)三君審判の下に明大先蹴で擧行、四對一で明大勝つ

明　大4 {1—0 / 3—1} 1商　船

船　川村山田川田武野原伴本
商　瀧山秋織長岡末波模大塚谷
FW
HB
FB
GK
大　田田石島木澤川內口島崎田
明　藤熊立塚赤松宇大尾三濱

S8.11.6

五日の運動

◇蹴球　慈大5—3中大、明學2—0東歯、日醫大5—1明學、駒大7—0外語

けふの運動

◇蹴球　商大對日歯(三時東伏見)

S8.11.7

商大蹴球勝つ

東京大學蹴球リーグ三部商大對日歯戰は六日午後三時から雨中東伏見球場で西川(主)稻葉、中西(線)三氏審判で決行されたが六對四で商大勝つ

商　大33—31日　歯

S8.11.8

蹴球二試合

(九日)

青　學4 {3—0 / 1—0} 0明　學
(五部青學球場)

東　歯3 {0—1 / 3—1} 2日　大
(四部代田橋球場)

けふの運動

◇蹴球　慶帝(二時半神宮)

S8.11.8

關東中等學校蹴球選手權大會

百五十余校チームの豫選展開

本社は東京蹴球團主催の關東中等學校蹴球大會を後援して蹴球界の發展向上に資して來ましたが、所期の目的を達しましたので今春その第十五回大會を終了すると共に主催者と諒解を遂げこの大會をこゝに打ち切る事としました、然し蹴球界の現狀は試練と**普及の機會**である大會を中絶するを許しません、偶々關東蹴球協會がその管下一府七縣代表による全關東中等學校蹴球選手權大會を開き關東地方の全面的普及と發展を計畫し後援を希望されましたのでこゝに内容とその形式を改めて關東蹴球協會主催本社後援の下に關東中等學校蹴球選手權大會を擧行して蹴球界のため引續き盡力する事になりました、歷史的に輝く大會にかはつて新生面を開いて開かれますこの第一回大會は來る十二月廿六、七の二日間明治神宮**外苑競技場**に行はれる事となりました、東京をはじめ神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨に所在する百五十余チームの間に關東唯一のこの檜舞台を目がけて激烈なる豫選が繰り展げられるであらう事は想像に難くないし嚴選された八代表によつて行はれる畫期的のこの爭覇はシーズンの華として躍進途上の蹴球界に寄與する事の甚大なるを確信し遺漏なき計畫を進めてをります

主催　關東蹴球協會
後援　東京朝日新聞社

倘四十余のチームを擁する**東京府豫選**は左記の如く行ふ事に決定しました

◇期日　十一月十八日(土)十九日(日)二十三日(祭)二十五日(土)二十六日(日)

◇會場　本郷中球場、文大北町球場

◇申込締切　十一月十二日

◇主將會議　十一月十五日午後六時本社會議室

◇申込場所　東京市芝區新橋三丁目一六、駒場ビル內關東蹴球協會

けふの運動

◇蹴球　東歯對日大(三時代田橋)明學對青學(三時青學)

アサヒカメラ
(十一月號)
・・家庭の寫眞術特輯・・
品切れ再版中のところ本日出來

S8-11-9

S8.11.9

S8－11－10

理詰めの慶か
玉砕の帝か

豫想は慶六分帝四分

爭覇のカギを握る蹴球戰

蹴球シーズンたけなは、東京學生蹴球聯盟の今季試合日割も大半を終つていよ〳〵優勝と順位を決定する上に重要なる試合のみが引續き展開される事になつた、就中十日神宮競技場に行はれる慶帝の一戰こそはシーズン後半に持ち越されたビツグスリー慶早帝の爭覇のかぎを握るものとして重要な意義を持つものである、この一戰の勝者こそはこのシーズンの幸をたゝへ得るものであらう

◇…このシーズンの戰續を繰つてそれを實力とするならばチームバランスのよくとれた圓熟の慶應六分に帝大四分といふ隔りを認めるけれども此實力の相違を以て慶應は理詰めの勝利を容易にとらへる事は出來まい、慶應に比較すれば帝大に巧味は乏しいが玉碎一途に出る強氣が強味となつてあらはれるであらう、關櫃を保持せんとして追はれる慶應、遮二無二追ひかける帝大はそこに氣樂さがある、試合はこゝにもつれるであらうし巧味と強味の對立、波瀾を呼んで互角の試合が豫想される、慶應は早く二點を引き離さねば樂觀を許さぬ

◇…慶應はLWに藤岡君が登場するか增田君をして代らしめるかであるがFW線は播磨、津村、塚部駒崎と並んでは帝大の德田、菊地佐藤、川原、利田の左右均衡を失したのに優る事數等でありHB線の岩波、大崎、石近も木村、高山江崎（或は山田）を後ぐとも見られるFB線は慶應の岩崎、塚越の老巧と帝大原田、秋原の未完成はその比でなくGK線線の好判斷後敏正確のプレイの前に大村の球歷は相當の隔りあるを否む事は出來ない、この技術的隔りのあるのを帝大が認めない所にこの試合は花も實もある

◇…警戒を必要とするのは唯一人の石近君と高を括つてゐるのは帝大の油斷ではなく高山君の率ゐるHB線に對し大なる信賴を置ける結果である、もちろんこの期待に違算を生ずる事にもなれば慶應は巧技に快刀亂麻のさえも容易に示し得よう、この試合の觀點は慶應の巧技の前に繰りだされる滑らかな試合の快味よりも飽く強く廣範圍の動きに相手をつぶしまはる帝大HB線の試合をリードせんとして努力を拂ふ點にかゝる

◇…試合は早い球捌きとなつて集散早く全面的の動きを見せ此シーズンを飾る大試合とならう共に試合巧者、共通點をさらさず試合を進めんとする所にも興味の盡きぬものがある果して實力ある慶應勝つか、帝大が前シーズンの復仇を遂げるか、此シーズンの爭覇を決定づける試合で得點を先取した方に歩のある樣に豫想される（山田生）

S8-11-11

4—3
後半に形勢逆轉
慶應帝大に勝つ
呼び物の學生蹴球

東京學生蹴球聯盟第一部慶帝戰は十日午後二時半から神宮競技場で野村(主)工藤、幸田(線)三君審判の下に風下の帝大の先蹴で開始、西北の軟風球場は前日の雨で多少濕氣を含みすべつて良いコンデイションではない、帝大は前半慶應の不調につけいつて二點を先取して有利に試合を進めたが後半なかばを過ぎて帝大の後陣崩れ形勢は逆轉し慶應の勝利となる

慶應4〔0—2 4—1〕**3帝大**

◇前半　先蹴で帝大中央を割つたが慶應は岩崎の長姿球で帝陣に進み三分播磨の前姿球を塚部とつたがつぶされてやみ風にパス荒れてタッチに粘り合ひ七分帝大は利田の中央に返した球を佐藤慶ゴール前に出せば川原體にあてゝゴール直前の機會となつたがチヤージされて惜しいゴールアウトとなる、十分慶應はCH大崎の右前姿球をRW駒崎ノウマークでとつたが凡蹴に機會を逸す、十六分帝大はRW利田の中央姿球で慶陣崩れ右近のゴールカヴアで辛くも危機を脫しつゞいて左側からさばきだされた球はLH岩波のクリヤする所となつたが前進してゐた帝大FWにわたつた未慶ゴール左前にあつたLI菊地はGK網細の連モーションをとつて強蹴し一點を先取、慶應はこの直後帝陣にFKを得右近の好蹴をLW藤岡とつてシュートしたが外れこの後二回にわたつて右にCKを得たが帝大バックスの好守にはゞまれてやむ、二十八分慶應はLW藤岡のドリヴルに際して帝大GK暴進した隙に藤岡のパスを駒崎とつたが帝大FBのチヤージにあつて凡蹴に終る、卅六分慶應は帝陣にFKを得たがゴールアウトでやみ帝大はこの直後LI菊地の右側にさばいた球はRW和田ゴール前に好返球し佐藤、川原両進してつぶされたがLI菊地チヤージして溢れ球をきめ2—0帝大のリードとなり慶大又も帝陣にFKを得たがゴールアウトで慶應無得點に終る

◇後半　開始直後RH右近の前姿球をRW駒崎とつて中央に出せば

十日迄の成績

成城	000……×0	3
文大	000…×…0	3
慶大	000×……0	3
帝大	0…×222	3
早大	…×…222	3
慶大	×…2222	4
慶早帝農文成	勝負決定點	8

K を得駒崎の好蹴で機會となつたが帝大は後退した川原のキックにのがる、二十六分慶應はLI播磨の辛くも捌いた球は右前に出でFW線の横パスの後CF津村シュートして得點2—2となりこの直後RI塚部の右パスをRW駒崎ノウマークにとつてシュートしゴールを陷れ3—2慶應のリードとなる、三十二分更に慶應は右側から破つて出で帝陣混亂の隙にCF津村チヤージして得點4—2と伸く、帝大は四十三分RW和田の左前姿球を佐藤ストツプに失敗して好機を逸し帝大タイムアツプ直前慶陣にFKを得木村のキックはゴール前に出たが岩崎のキープするところとなり帝大はLW德田のだした球をLI菊地きめて最後の一點を收め4—3で惜敗す

【慶　大】

岡	磨村部崎波崎近崎越細		5
藤	播津塚駒岩大右岩塚額	FW	6
田	地藤原田村山崎田原村	HB FB GK	2
德	彌佐川和木高江原狹大	CK CK SK FO G	23
			7
			7
			0
			17

【帝　大】

勝敗は後半なかば頃から疲勞によつて鈍い動きなつて崩れかけた帝大守備線の破綻によつて決せられた、試合は全體を通じて決してピツグゲームとしての内容を盛るものではなかつた、これは球場のコンデイションの良好でないのと勝を急いで制球力を亂し全技全能を發揮しなかつたのにある、帝大は練習不足と前半二點のリードで元氣に任せて試合を運んだ結果早く疲勞を示したため守備線の潤亂に勝ちかけた試合を失つたがすべては實力の相違といふより他にない

◇…慶應の前半は風に妨げられたとはいへ焦つて球が浮きかつ足につかずパスワーク極めて不調でコンビネーションを欠いであたのに對し帝大は比較的堅實に球を扱つて六分の試合に元氣を見せてゐた、寧ろ帝大の收めた二點に不足さへ感じられるものであつた、帝大は一枚看板の高山君は豫想されたやうに廣く動いて攻守層を整へ菊地君また期待に背かずチヤンスを完全にとらへた所に二點が生まれた、兎に角帝大は堅實なプレイで前半を終つた

◇…後半　キツクオフ直後に收めた慶應の一點は帝大守備線の欠陷をつきまくつたもので漸く試合は2—1のスコアに生氣を呼んで試合興味を盛つた、不調の慶應FW線は横の連絡をとゝに整へてパツクスの前線送球をこなす統率を求め得た塲越、岩崎兩君のFB線は暴進してHB線を使して整備を欠き右近、岩波兩君によつて辛くもピンチをのがれた、失態もこゝな分岐として繰り返さずに濟んだ、この直後の帝大強襲を切りぬけたのも氣分の安定さなつたこの一點にかゝつてゐた

◇…2—2の同點から慶應連のリードとなり4—2となつたのは慶應FW線の横パスの練實さと球の處理の巧味にあつた、然し實力の差とはいへ帝大にはあきらめきれぬ一戰であつた後半中途の被疲は兎も角として試合をリードしてゐただけにこの點は一層深からう、盲ふならば帝大は善戰、慶應は凡戰に語さる試合であつた(山田生)

※ 次のページに寫眞あり

けふの運動

◇蹴球　國學院對慈恵(三時工大)商大對中大(二時半明蘭)工大對日歯(二時半成城)

S8.11.11

昨日の運動

◇蹴球【學生リーグ第三部】商大2—0、0—0中大▲日歯2—2、1—0工大▲慈大1—0、2—0國大【大阪電話】京大2—0、5—2關大

けふの運動

◇蹴球　法政對一高(二時半成城)日醫對駒大(二時半駒大)YCAC對東京蹴球團(十一時YCAC)

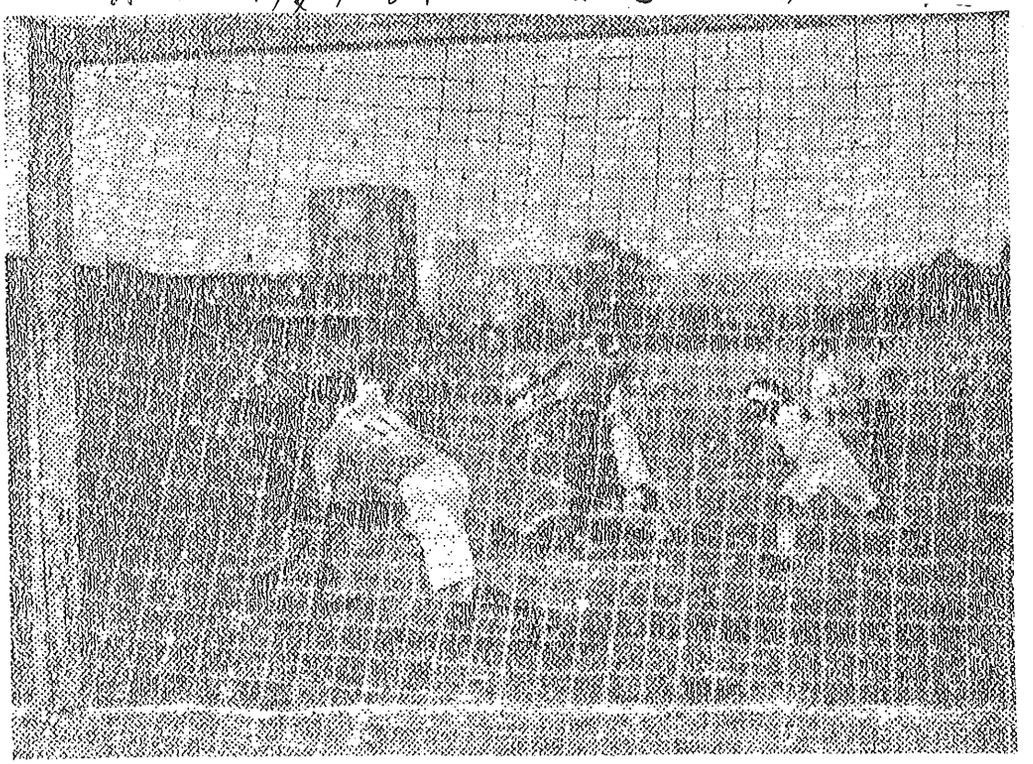
S8-11-12

本社後援
中等蹴球
けふ申込締切

關東蹴球協會主催本社後援の第一回關東中等學校蹴球選手權大會の東京豫選參加申込締切は今十二日の局日付印あるものを以て打ち切ります

S8-11-12

前のページ（広告4-3帝スにつく鎮 58-11-11



ゴール前の熱戦【昨日の慶早蹴球】

58-11-13

一高、法政に惜敗

東京學生蹴球試合

東京學生蹴球聯盟第二部法政對一高の試合は十二日午後二時半から成城球場で井出(主)高崎、齋藤(線)三君審判の下に法政先蹴で開始、一高一點のリードでよく粘つたが後半襲され2―1で惜敗した

法　政　2（2―0）1　一　高

一高は前半二十四分右CFでFW線一齊にチヤージして一點を先取し法政は後半十五分から連續強襲し兩三度の機會を續け樣に得たが一高のゴールカヴアよく得點に至らず三十五分CH角谷シユートしGK喜谷この球をクリヤせんとした時FW線チヤージして一點をかへし更に三十八分法政は左タツチからだした球をRW森シユートして一點を加へ一高最後の強襲を試みたが空しく惜敗した。一高はこのシーズンはじめて確實なパスワークとフオロウアツプによいコンビを見せて法政を凌いでゐた、法政は前線に球を集めながら出足鈍く絶對的の機會を逃してゐた、いはゞ辛勝の一戰でより忠實なプレイが望ましい

【法　政】

澤山川田森　熊谷淵亦見野谷
寺奥黒宇　大角間二長吉
FW
宗田　川原井川口崎中谷
HB
久角　森　稻上永星橋江愛喜
FB
GK

8 4 3 20

【一　高】

CK 11 7 1 15
CK
KS
FO
GK

◇蹴球【横濱】

成績	一	二	三	四	勝負分	點
商船……0	0	0	1	×	0	2
一高……0	0	0	×	1	0	1
明治……0	…	0	×	…	2	1
東高……0	…	×	…	2	2	1
法政……0	×	…	2	2	1	0
立教……×	2	2	…	2	1	0

◇第二部（十二日）
立法東明一商

十二日の運動

◇蹴球【横濱電話】東京蹴球團4―1YCAC（學生リーグ）高工藝4―1明學、日蹴大13―0駒澤大【大阪電話】關學7―0大商大、神高商8―1大外語

けふの運動

◇蹴球　明大對立教（一時）慶大對成城（三時）以上神宮

58.11.13

成城善闘空し

二部は立教明大に辛勝す

東京學生蹴球試合

東京學生蹴球聯盟第一部農大對成城、第二部明大對立教の二試合は十三日午後一時から好晴に惠まれて神宮競技場で擧行、成城善闘したが最後に崩れて農大に勝を譲り明大は多くの機會を自壌して立教の辛勝する所となつた

農大 3〔0—0〕1 成城
　　3〔1—1〕

三時農大先蹴、審判竹腰(主)西川

◇前半　農大は十分右CKを得たが無爲成城は十四分農陣にFKを得て攻めたが農大よく守り更に右CKは農大パソクスの好守となつてやむ、農大は廿五分CH石井ドリヴルで左側にまはりシュートすれば成城GK高橋一バウンドで辛くも捕へた瞬間CF群山チヤージしたが高橋ゴールアウトでのがれ二十七分成城は又も農陣にFKを得てこのキソクで強襲したが空しく終る、農大この後三十五分迄に右CK二回を連取して強襲を續けたが凡蹴に機會を失す、成城は三十八分農陣ペナルティエリアに近くFKを得井上の軟飛球で機會となつたがLW松本のオフサイドでやむ

◇後半　七分LH大前の出した球をLI見目右前送球し富樫、天野と進み富樫逸したが天野シュートして一點を收め十六分LI見目シュートしたがGK高橋一旦はじいたたいて返したのをCF群山とつてアツシュで得點2—0と開けば成城は十八分タツチから出た球をとつて安藤、松本とパスして松本シュート2—1と迫る、三十分から農大はCKを連取したがキソク荒れて無爲に終りのであつた、試合は成城に巧味あり農大は體力に倒したこの試合であるが成城は守るに懸切れの惡いのを嬉めねばならぬしHB線はフオロウアツプを一層忠實にせねばならぬ農大前半失點なく終つたかげに杉浦君の奮闘は見逃せない(山田生)

審笛

◇…前半無得點に終つた試合は後半に入つて漸く變化を交へて白熱した、冒頭から快速に展開した試合は兩軍よく動いてゴールに球を寄せるが多くは凡蹴に機會をつぶして無得點となつた、梁瀬傷ついて欠場の農大がFW線の編成に苦心の跡うかゞはれるだけ出來榮にもパツとせずセンターストリーの體力を利かした强引のプレイで後半二點の得點となつた、もつともこれは前半よく動いた成城パツクスの疲勞に鈍い動きのあつたのはもちろんである後半三十三分中江君が早目にシユートして惜しい同點機會を逸したがこれが成功してゐたならば農大のこの勝利も危ぶまれるものであつた

立教 3〔1—1〕2 明大
　　2〔1—1〕

一時明大先蹴、審判桑田(主)吉野、村木(線)三君

◇前半二分立教は上田正面を割つて出で李にパスすれば李鮮やかにシユートして一點を先取明大は十分宇田川のシユートした時赤木チヤージしたが失敗に終り二度惜しい機會を逸して二十分CH宇田川の送球をRI漆島きめて同點となる

◇後半立教は十二分左CKの機を凡逸したが上田、李の好連絡でゴールを衝き更に二十七分同點にして得點し3—1となる、明大はこの直後PKを得宇田川のキソクで一點をかへし3—2で惜敗した、立教は强味あるが洗練の城に達せずCH小林の不振に案外の苦戰を演じ明大は宇田川を活用して好戰したが立教のオフサイドに對し明大の八はこの敗戰の原因となつてゐる

【成　城】

本藤		江橋	塚崎
松安	中高	大高	奥井日
	FW		髙橋弘
	HB		
	FB		
田目	GK	山	檉野

【農　大】

上貝		富大	大石
	FW		辛杉
	HB		緑川
	FB		浦原本
	GK		

	成城	農大
得點	2	3
勝負	敗	勝
第一部成績（十三日迄）		
文大	0	1
農大	0	0
帝大	0	0
早大	×…2	0
農大	2	0
慶大	2	0
農早帝農文成	勝負點	

田目		田崎	林崎
崔保		李	島田口
久上	西宮	小駒	飯灰山
	FW		
	HB		
	FB		
田田	GK	木澤	川内口

【立　大】

藪熊		立漆	赤松
	FW		宇大宅
	HB		三濱
	FB		田
	GK		島崎

	立教	明大
得點	3	2
勝負	勝	敗
成績（十三日迄）		
立教	3	0
明大	2	0
慶大	1	0
早大	1	0
文大	0	1
農大	0	2
帝大	0	2
成城	0	2
立明慶早文農帝成	勝負點	

けふの運動

◇蹴球　東國對拓大(三時半江古田)

S8.11.14

けふの運動

◇蹴球　日大對成蹊(三時半和泉)

S8.11.15

日大成蹊引分（蹴球四部）

東京學生蹴球聯盟第四部日大對成蹊の試合は十五日午後三時から明大球場で擧行一對一の引分となつた

日大 1〔0—0〕1 成蹊
　　1〔1—1〕

中等蹴球東京豫選番組決定

關東蹴球協會主催本社後援第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選は府下の名だたる强豪の中に新進開成中學の初登場、豐山中學の復活等二十一校參加の下に他の七縣豫選にさきがけていよ〳〵來る十八日から五日間北町の文大、本鄕中學の二球場において行ふ事となり十九日午後六時から本社會議室で主將會議を開き抽籤を行つた結果組合せは次の如く決定した

◇第一回戰　青山學院中對本鄕中
府二中對日大三中、成城高校尋對曉星中、豐山中對早實、成蹊尋對東京高校尋

◇第二回戰（不戰一勝同士）明學對曉星成城勝者、開成中對豐高師、獨協中對府五中、日大二中對府蠶中、府八中對市一商、慶曹對青山師

けふの運動

◇蹴球　明學對駒大(二時駒大)

S8.11.16

早帝蹴球豫想

いづれ劣らぬ強氣同士

期待される快速戰

◇…對慶大戰に惜しや一敗した帝大がこのシーズンを賭けての一戰は十八日早大との間に行はれる

◇…早大はこゝ兩シーズン帝慶に阻まれて覇權一歩前につひにて御覇の偉業成らずこのシーズンに大なる希望をかけ帝大はこのシーズン最終の一戰として早大を屠りシーズン最後に波瀾を巻き起さんとしてゐる、覇權を動かすビツグスリーの中に豪壯の意氣を感ずるこの早帝の對戰はシーズンの壯觀的試合として我聲の前に供せられるであらう

◇…早大はFW線の關士平松君傷ついて出場覺束なく眞山君を擁用し名取君をとり合はせて眞山、名取、川木、野澤、長谷川と並べHB線は笹野君を扱いて中村、立原、笹野の三君で布きFB線は鈴木、堀井兩君、GK熊井君はこの日の陣容と見られ帝大はGK大村君傷ついてゐるので想否の最後的決定は兎も角として對慶戰力關の陣容で隔むと見られる

◇…早大の強氣奔放のプレイは傳統として誇る所、個人の巧技を縦り合せて攻守層を厚くしてゐないが隨所に爆彈的プレイを演じて意表外に出る特色を持つのに對し帝大は對慶戰に示したやうに頽廢果敢のプレイで聞ずるものと見られるから電光石光のスピーデイの試合は強氣を加へて一大白熱戰が演じられよう、早大が勝利に確信を抱けば帝大は對慶戰の余勢をかつて早大の進路を阻まんとするこの試合は益く五分の像想

◇…この試合のかぎは帝大CH高山君の力關と早大CF川本君の一騎打に掛められ帝FW線左側の總田、菊地兩君の攻撃力と早大パツクスの太刀打にある、帝大は高山君の動きにつれてチームの進退が決し早大は各ライン應つてゐるがこの連絡に多少の不安を殘してゐる、いづれにしても被擬はこれ等にかゝり勝敗が左右されるのではなからうか、帝大は最後の捨て身に行くであらうから試合中途でつひにる事もなく試合の終る迄力關の場面は演じ續けられ帝慶戰にも增した興味を感らう〔山田生〕

けふの運動

◇蹴球　青學對外語（三時青學）

S8.11.17

關東中等蹴球東京豫選けふ第一日

關東蹴球協會主催本社後援第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選第一日は十八日本郷中學及び北町文理大球場で行ふが組合せは次の通りである

◇本郷中學球場　青山學院中對本郷中學（一時）府立二中對日大三中（二時十分）成城等對曉星中（三時十分）

◇北町文大球場　豐山中對早實（一時半）成蹊等對東京等（二時四十分）

けふの運動

◇蹴球　早大對帝大（二時神宮）日大對明藥（二時半工大）

S8.11.18

關東中等校蹴球

昨日から開始

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選第一日は十八日午後北町文大及び本郷中學兩球場で擧行、冒頭から延長戰を行ふ熱戰うち續き曉星對成城の試合は遂に一對零成城リードのまゝ日沒のため試合後半を第二日に持ち越す事となつた

豐山中2（0―1 1―0）1早實
豐山先蹴、審判小笠原（主）大澤、坂田（線）三君

東高（尋）3（2―1 1―1）1成蹊等
東高先蹴、審判小笠原（主）大澤、坂田（線）三君

けふの組合せ

◇本郷中球場　成城高等對曉星中（十時）本郷中對府二中（十一時）明學對成城曉星の勝者（零時十分）開成中對豊島（一時二十分）獨協中對府五中（二時半）

◇北町球場　日大二中對付屬中（十一時）府八中對府一商（零時十分）慶普對青師（一時二十分）豐山中對東京高等（二時半）

本郷中0（0―0 0―0）0青學中
抽籤勝
本中先蹴、審判宮本（主）芳村、山口（線）三君

府立二中4（1―1 2―0）2日大三中
府二中先蹴、審判鈴木（主）芳村、山口（線）三君

十八日の運動

◇蹴球（リーグ第四部）日大1―0、0―0明藥大阪電話關學2―0、0―2關大、神戸商大2―1、3―0大商大

けふの運動

◇蹴球　文理大對農大（二時帝大）立教對商船（二時石神井）中央對日獨（二時明藥）慈大對商大（一時明藥）成蹊對東園（三時成蹊）日醫對工藝（三時慈大）上智對府高（一時府高）

S8.11.19

十九日の運動

◇蹴球【横濱電話】青學4―3YCAC、YCAC二軍7―0立教OB【學生三部】中大2―0日歯【四部】東歯5―2成蹊【五部】日大2―1工藝【六部】府立高5―0上智大（府立高校優勝し明年は第五部編入）

けふの運動

◇蹴球　法政對東高（三時代田橋）

S8.11.20

S8-11-19

冒頭無雜作の一點
早大に勝運巡む
學生蹴球早2―0帝



早帝蹴球戰　後半十分一帝大右のコーナーキック殺點山シュートし早大GK龍非飛躍セーヴした瞬間

東京學生蹴球聯盟第一部早大對帝大戰は十八日午後二時二分から神宮球場で審判濱田(主)塚越、岩崎(線)三君の下に帝大先蹴で開始、西南の軟風あるが球場の狀態よく早大は開始直後無雜作に一點を先取して試合を進め更に後半PKを得て一點を加へ2―0で勝ち慶應と共に四戰四勝し帝大は前シーズン同樣三勝二敗を記錄してこのシーズンを終つた

早大2｛1―0｝0帝大

◇前半　帝大のキックオフを中央圖に開つて早大は球を右側に拂きRW長谷川の中央送球をLI名取プツシュに無雜作な一點を先取し帝大は八分自陣のFKで出で菊地好機をつかんでシュートしたが外れてやゝ十六分早大は右側寄りの三角パスに帝大陣を衝きRW長谷川の中央通送球をCF川本シュートしたが惜しくも外れ二十分川本の加キックを帝大FB狹原ストップ失し川本球を拾つてGK鴻山の處をついたがゴールを外れ二十三分帝大は早陣にFKを得て強襲したがFW線の鴻出そろはず逸す(二十七分帝大菊地ジャムプの際早大堀江と衝突轉倒して退く)二十八分帝大はRW和田の好中央送球あつたが左側空いて機會を逸し早大は三十三分CF川本左寄りからシュートしたが帝大は高山のゴールカヴ

蹴球	一部								
(十八日)	第一部の成績(續)								
		成	0	0	0	0	…	×	0
		文	0	0	0	0	×	…	2
	帝	0	0	×	2	2	2	2	3
	早	…	×	2	2	2	2	2	4
	慶	×	…	2	2	2	2	2	4
			勝	負	引	得	失	點	
		慶	早	帝	農	文	成		
		4	1	1	1	0	0		

の後帝大は十三分迄に四回のCKを得て攻めたが早大はGK龍非とバツクスの守備にのがる、二十五分早大はLW萬山ノーマークに球を得てから連攻に二度顯顯したが帝大は高山の適時後退とGK大村の活躍でつぶし三十三分早大は名取中央を割つて出たこの時帝大バツクスにバツクチヤージあつてPKとなり川本のキツクで早大一點を加ふ四十四分帝大はCF佐藤早大ゴール正面でつぶれて機會を逸して遂に無得點となつて終る

【早　大】
山取本、澤川村原野木江井
谷
【帝　大】
眞名川野長中立濱鈴堀龍
FW
HB
FB
GK
田地(原田村山崎田原村
德網佐川和木高江原狹木

得點										
早	大								4	1
帝	大								1	1
		6	7	2	1	0				
		CK	CK	CK	CK	CK				
		CF	GK	CK	CK	CK				
		GP	GP	GP	GP	GP				

◇…ピックゲームとしてのこの一戰は冒頭キックオフ直後四十秒にして收めた早大の一點によつて決定してしまつた、PKによつて早大が加へた一點は勝敗を明瞭にしただけに過ぎない、このシーズンの最終試合に賭けた帝大の運命、制關に一步を殘み込んだ早大の泣くも笑ふも勝敗の地位をわかつものとは全く考へられなかつたが試合を極討するならばピックスリーの中に伍す早帝の試合としては名に背き我等の期待からすれば案に相違といふより他にない極めて內容の貧弱なものであつた、時を經りだされる快戰熱技の稱揚すべきものはもちろんあつたがそれは試合の大勢を支配するものとはなつてみない、單に局部的の破綻を未然に防ぐ場合にのみ見受けられたに過ぎない

◇…落ち目の帝大は先頃の對慶戰に見せた強氣はなくFW線の主力菊地全線の中樞高山兩君も極めて思い滑りだしを見せたのは冒頭に失つた一點に押へつけられたとは見られない、兎に角この兩君の投する暗影を負うて動く帝大はキックが崩れ制球力が亂れてみた、もちろんこの點早大にもいふ事が出來る、この結果試合は豫想を裏切つてスピードを殺ぎ生命を斷たれてみるボールは右往左往するに過ぎなかつた帝大が後半風上に位

※次のページにつづく

S8-11-19

※前のページからつづく（早大－帝大）

置するに及んで漸くバックスの前線給球が行はれたが前半は少くTW線は辛くもれ球に攻撃を開始するといふ状態であつた前半たまたま弱地君の不慮の災禍に退場を余儀なくされ悲壮な試合を續ける事になつたのにもよるが出來榮えは決してよくなかつた一人の高山君はフルールドの上において獨人かの高山君となつてゐたが、これがなかつたならこの試合は更にスコアを開いたであらう、高山君あつての帝大の感を一層深めたと共に弱地君を失つて機會をしばく逸した事は對慶戰を逸したと同樣の感なしとしない

◇…幸運の機會を捉へて試合を進めた早大はCH立原君も高山君に劣らぬ堅實の好プレイに重きをなしGK熊井君の沈着は好判斷となつて幾度かの危機を脫した、冒頭の機會をつかんだ名取君と共に早大の殊勳者である、然しバックスのサイドを開放する事とTW線の縫パスに偏する事は試合運行の妙として稱へる事は出來ない、より變化を求める事が攻守陣を効果的に布くといふ事になるのではなからうか

◇…鬼まれ弱運の帝大、幸運の早大であつたこの試合を早大は來るべき早慶戰まで忘れる事は出來ないであらう（山田生）

法政勝つ

對東高蹴球

東京學生蹴球聯盟第二部法政對東高の試合は二十日午後三時から明大球場で長坂(主)赤本、速見(線)三君審判の下に法政の先蹴で擧行二對零で法政勝つ

法政 2 (0—0) 0 東高
(2—0)

◇前半凡戰を繰り返し◇後半五分法政は東高パックスの失策で拾つた球をRW森シュートして一點を收め更に三十七分RW森の強蹴と共に寺澤黒川一齊にチャージし黒川のプツシユで2—0となる東高は十八分法政陣にFKを得たがキツク悪く無爲に終つた、東高は全線不調を極めフオロウアツプ乏しく機會を凡逸してゐた、急偏成チームでやむを得ないにしてもLW伊藤の走力が優れてゐれば無得點に終る試合ではなかつた

【政法】
GK 澤川山 熊谷淵亦見野
FB 田 森
HB 寺宇黒輿 大角間二長吉
FW 藤村井橋部 田澤藤本本
森

【東高】
伊北中高岡 野米加宮塚

成績	一高	商船	東高	明治	法政	立教	立法	明東	商一	勝員	分	點
一高		0	0	0	0	×	2	2	2	5	0	10
商船	0		0	0	×	2	2	2	2	3	0	6
東高	0	0		0	0	×	2	2	2	2	0	4
明治	0	0	0		×	2	2	2	2	2	0	4
法政	×	2	2	2		2	2	2	2	3	0	6
立教	2	2	2	2	0		2	2	2	1	0	2
立法	2	2	2	2	0	0		2	2	0	0	0
明東	2	2	2	2	0	0	0		2	0	0	0
商一	2	2	2	2	0	0	0	0		0	0	0

S8.11.21

中等蹴球豫選 けふの組合せ

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京豫選第三日は今二十三日本郷中學球場で第三回戰を左記の如く行ふ

本郷中對城城高等(前十一時)府五中對豐師(後零時十分)付屬中對府八中(後一時二十分)青師對東京高等(後二時半)

S8.11.23

けふの運動

◇蹴球 駒大對工藝(二時半工大)法政對商船(二時和泉明大)東商對東醫(三時明藥)

廿三日の運動

◇蹴球 (東京學生リーグ)第四部東商3—2東醫、第五部東工藝15—0駒澤大

S8.11.24

S8-11-24

中等四傑殘る

關東蹴球東京豫選

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選第三日は二十三日午前十一時から本郷中學球場で第三回戰を擧行、府立五中善戰したが惜しい敗退となり本郷中、豐島師、付屬中、青山師がベス・フオアとして殘つた

本郷中 3 (2—1) 1 成城
(1—0)
高津戸、八田

成城先蹴、宮本(主)高津戸、八田(線)三君審判

【本郷】
GK 城川廣本原藤田島本場見
FB 高小朝坂湯内塚田橋萱後
FW 田本本木中藤 張 本泉塚
山岡榎坂鈴田加 岡小平

【成城】
豐島師 3 (2—1) 1 府五中
(1—0)

豐師先蹴、竹内(主)、宮内、芳村(線)三君審判

【豐師】
GK 江元澤川 林
FB 打曙石清 關尾七金吉野
FW 頃村宅庄水田橋池村藤木
熊越三本清權高尾中佐植

【五中】
付屬中 2 (2—0) 0 府八中
(0—0)

豐師	7	5	7	0								
本郷	9	7	3	0								
成城	1	3	5	1								
五中	0	0	0	0								
付屬	2	0	0	0								
八中	0	0	0	0								

本郷中先蹴、野村(主)幸田、伊達(線)三君審判

【付中】
GK 島野地階本口川崎達枝田
FB 馬佐菊二鈴坂石大安友佐 々
FW 口原原西邊松吉(亮)尾(實)尾
田水桑北渡金國山本山妹 田田

【八中】
青山師 6 (3—0) 1 東京
(3—0) 高等

東高等先蹴、幸田(主)伊達、小島(線)三君審判

【青師】
GK 田地原田西泉野井木水倉
FB 吉菊梶西大飯西平鈴浦宮
FW 川藤越本植田邊林沼山
森 古瀬川宮吉有田小藤横

【東高】

青師	3	1	1	0								
八中	6	1	7	0								
付中	3	9	9	0								
東高等	2	1	1	0								

S8.11.24

商船勝つ(蹴球二部)

◇…一高三部へ陷落す

東京學生蹴球聯盟第二部法政對商船の試合は二十三日午後二時十分から明大球場で市川(主)稻葉、高田(線)三君審判法政の先蹴に擧行一對零で商船勝ちこの結果商船と引分けてゐた一高は特定點一點を以て最下位となり次シーズンは第三部へ編入される事となつた

商船 1 (1—0) 0 法政
(0—0)

【商船】
GK 橋村鶴田川田山武原川本
FB 丸山中織長岡秋末槇布塚 留谷
FW 浦山田川 博川條亦見島
森山田 谷

【法政】
杉奥吉黒 奥宇四二長飯

成績	一高	商船	東高	明治	法政	立教	立法	明東	商一	勝員	分	點
一高		0	0	0	0	1	×	0	4	1	0	2
商船	0		0	2	×	0	2	1	3	3	0	6
東高	0	0		2	×	0	2	2	2	2	0	4
明治	0	0	0		×	0	2	2	2	2	0	4
法政	×	2	2	2		2	2	2	2	3	0	6
立教	1	2	2	2	0		2	2	2	1	0	2
立法	×	0	0	0	0	0		2	2	0	0	0
明東	0	1	2	2	0	0	0		2	0	0	0
商一	4	3	2	2	0	0	0	0		0	0	0

S8.11.24

けふ準決勝

中等蹴球東京豫選

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選第四日の準決勝戰は二十五日午後引續き本郷中學球場で行ふが組合せは次の通りである

◇本郷中學對豐島師範(一時半)◇付屬中學對青山師範(二時卅五分)

けふの運動

◇蹴球 文理大對成城(二時帝大)高師對明大(二時成城)工大對商大(二時半明藥)工藝對外語(二時半工大)

S8.11.25

王座を目指し
龍虎血戰
攻守一長一短て實力は互角
早慶蹴球試合豫想

去る十月一日シーズンの幕を開けて蹴球は七十有余試合を閲まし、愈廿六日の早慶戰を最終としてシーズンの幕を閉ぢる事となつたこのシーズン四戰四勝無傷同士の覇權をかけたこの一戰、慶應の連覇が成し遂げられるか、大正十三年リーグの創始された第一回の稱覇以來數度か長蛇を逸して制覇の機會に惠まれなかつた早大が八シーズンの辛苦報いらるゝか、興味は盡きぬ一戰である

◇……

帝大に對し慶應は四對三で勝を制し、早大は二對零でこれを退けた事を基準として、王座をめぐつてしのぎを削るこの一戰の豫想は出來ないが、ほとんど互角の實力を擁してゐる事は窺知し得る、目下合宿練習に精進し作戰を練る兩陣營を打診すれば共に意氣軒昂勝算ありと豪語して讓らない、戰に臨まんとする者のこれは雄々しい心意氣でもあり、事實相讓らぬ實力を擁して勝敗の逆賭を許さない、慶應に攻撃のさえあれば早大に守備線のつぶしよく効き早大に奔放の攻撃あれば慶應の細密な守備線あり、一長一短それ〴〵の特色を持つ對戰は激しい變化を見せ綾を織つて未曾有の快戰、息づまる熱戰が展開されるであらう

◇……

一般の豫想は前シーズンとほとんど動きなき慶應が個人の技術に一大躍進を遂げチーム・バランスもよくとれてゐる所から六分と見越してゐるが、對帝大戰の如く滑り出しを誤れば有利の豫想も立ち所に雲散霧消するであらう、早大には縱横無盡に切りまくる玉碎一途捨身の術がこの間隙をねらつてゐる、殊に慶應が連覇の野望に意氣を殺がれる事にもなれば追はれる慶應は決して樂觀を許さないが、共に順調なスタートを切つて軌道に乘つて試合を進めるならばこの一戰はドロン・ゲームともなつて再試合により覇權決定といふ豫想も立てられる

◇……

慶應のFW線は滑らかで正確なパスワークを持ち藤岡、播磨、津村塚部、駒崎とそろひもそろつたゴールゲッターで確實な球の寄せと捌きを見せ、HB線は岩波、大崎右近と並んで堅實な攻守陣を布くがFB線は攻撃加擔に巧みで守備に希薄さをうかゞはせる事があり不安なしとはしない、GK嶺瀬君は當代の名手と折紙つけられてゐるが名人時に出來不出來がある、早大FW線はタッチプレイに漸く巧味を示し始めた平松君は傷ついて對帝大戰を欠いたがこの試合には出場するものと見られるから名取、川本、野澤、長谷川のFW線となるならう、軌道を逸した早大FW線の中で一際目立つゴールゲッターは川本君であるが、ポヂションに迷ふ憾みを殘し名取、野澤兩君は單的な動きである、兩翼のセンターリングは進出の深さによつて前後をわきまへねばならぬはずの嘆なしとしない、HB線は中村、立原、笹野の三君で立原君最近の好調は守備線の鐵壁を誇る早大にとつて又一段の强味である、FB線は病後の鈴木君漸く元氣を加へ堀江君の强引なプレイと共に慶應の岩崎、塚越兩君の巧技はなく共確實と見られる、早大バックスは忠實なプレイでつぶしに强い、GK熊井君は沈着なプレイに一段のさえを見せて强固、氣分に支配される事の少い點は嶺瀬君に優るものである

◇……

慶應のFW線が長短パスに激しい變化を求めて早大バックスを追ひ込めば鐵壁を誇る早大守備線突破は可能であり、早大FW線が更に横パスを加へて執ような慶應HB線をよく走らしてこれを拔く事が出來るならば嶺瀬君のゴールといへども陷るゝ事は容易である、慶應が押しの强さを遺憾なく發揮出來なければ危く早大のバックスが無益の密集に交錯して攻守兩線の連絡に穴を作つた場合、攻勢に移る事少い結果勝利は得難い、早大は如何にして慶應を走らせバックスを如何にしてつり出すか、そしてバックスは無益の密集より着實なマーク、慶應は速攻の特色を如何にして發揮するか、そしてバックスは攻勢から守勢に墜ちる場合の速やかな後退防禦工作を施す事を忘れてはならない、試合の觀點はこゝにある、攻めるに墜ち守るに墜ちればこの試合勝敗は決定する、傳統の對抗意識を强く燃やす事が內容も盛れば案外味のない試合ともなる憂なしとしない、正々堂々の陣を布き全技を傾けて最終の大試合としてはづる事なきを希つて置かう(山田生)

S8.11.25

S8－11－26

6—0 成城遂に零敗

第一部 對文大蹴球戰

東京學生蹴球聯盟第一部文大對成城の試合は二十五日午後二時から帝大球場で島田(主)西川、濱田(線)三君審判の下に成城先蹴で開始文大は壓倒的の試合を行つて6——0で勝ち成城は遂に全敗して僅か一シーズンで第二部に編入される事となつた

文　大　6(3—0 3—0)0　成　城

◇前半　成城強壓五分も文大陣に攻め文大は七分CF松永の左前にさばいた球をLW横原とつて機會となつたが成城よく守り文大はLF原崎のキックはゴールアウトとなつてやむ八分LI木村ゴール直前で巧みに球をとりシユートしたが惜しいアウトとなり十四分からCKを三回得たがづいてのチヤージで高橋落球しそのまゝ押し込んで文大更に一點を加へ3——0文大のリードとなる

◇後半　十分迄に文大は四回のCKを得て攻めたが凡戰と成城パツクスの好守にはゞまれ成城は十二分から逆襲し十六分文大陣にFKを得たが無爲、三十二分文大は右CKを得江崎のキツク短かつたがRI藤野これを左前に送りLI木村プツシユに一點を加へ三十六分左CK後LW横原の右前好送球をノウマークのRW江崎シユートして5——0と開く、成城この後二度正面を割る機會をつかんだがフオロウする者なくつぶされてやみ文大はタイムアツプ直前左CK後CH奥野シユートして6——0で快勝した

成績一部

	成城	農大	帝大	文大	早大	廿五日	廿六日	勝負	點
成城		0	0	0	0	0	×	0	5
農大	0		0	0	0	×	2	1	2
帝大	0	0		0	0	×	2	2	3
文大	0	0	0		×	2	2	3	4
早大	0	0	0	×		2	2	3	4
廿五日	0	×	×	2	2		2	4	6
廿六日	×	2	2	2	2	2		5	8
勝負	0	1	2	3	3	0	0		
點	1	2	3	4	4	1	1		
定	8	8	6	4	4	6	5		

無爲つゞいてCF松永シユートしたがGK高橋の好守につぶされて終る二十二分文大は中央を割つてRI藤野GK高橋進出の處をついてシユートしたがゴールカヴアしたLF日高辛くもつぶして危機をのがる、卅分文大はCF松永劍球でゴールを衝けばLI木村ゴールエレアに近く一旦これをつぶしてシユートし一點を先取三十九分CH奥野の高目の送球をCF松永右前に出しRW江崎とつてシユートし2——0となり四十四分CH奥野の高目の送球をGK高橋とつたが松永チヤージし木村、藤野つゞいてのチヤージで高橋落球しそのまゝ押し込んで文大更に一點を加へ3——0文大のリードとなる

◇後半　十分迄に文大は四回のCKを得て攻めたが凡戰と成城パツクスの好守にはゞまれ成城は十二分から逆襲し十六分文大陣にFKを得たが無爲、三十二分文大は右CKを得江崎のキツク短かつたがRI藤野これを左前に送りLI木村プツシユに一點を加へ三十六分左CK後LW横原の右前好送球をノウマークのRW江崎シユートして5——0と開く、成城この後二度正面を割る機會をつかんだがフオロウする者なくつぶされてやみ文大はタイムアツプ直前左CK後CH奥野シユートして6——0で快勝した

【成　城】
崎隆江橋本上田川高
高安中高松井奥溫日
FW
HB
FB
GK
CK CK CK PK
原村永野崎下野部崎田森
横木松藤江木奥阿原平杉
【文　大】

21 4 19 0

書笛

◇…成城は冒頭鮮やかな攻法を以て文大陣に迫り得點機會を得たがこれを逃してからは時々の逆襲で數度好機來を思はせたが横パスに文大守備線を亂す事をせず正面にとほしては失敗し無得點に終つてしまつた、キツクは次第に荒れてオープンの有利を知りながらも萎縮してその場を辛くも切り抜けてつなぎ合はせる慘めさ、攻守とも極めて單的なもので當然の結果を得たに過ぎない、溫川君が前半二十二分に傷いて退場してゐる間に第一點を失つてからHB線の動きが鈍くなりチームの核心を失つてゐたのは慘敗の主因である

◇…文大はFB線の進境著しくHB線をして思ふ樣動かし前線送球の十分な結果が6——0の大差としたがFW線がリターンパスを多く使つてチヤンスを自滅してゐたのは一考の必要がある、有終の美をなして第四位となつた精進に對し敬意を表して置かう(山田生)

明大第二位

第二部成績

東京學生蹴球聯盟第二部明大對東高の試合は二十五日午後二時から明大球場で吉原(主)片岡、弓削(線)三君審判の下に東京先蹴で開始、明大一對零で勝ち法政と共に第二位となる

明　大1(0—0 0—0)0東　高

【東　高】
藤澤井橋部井田　藤西本
伊米中高阿城野　加川松
FW
HB
FB
GK
CK CK CK PK
田田白島木澤川内口島崎
藤熊立漆赤松宇大尾三濱
【明　大】

8 2 9 0

商大第二部へ

第三部成績

東京學生蹴球聯盟第三部西大對工大の試合は廿五日午後二時半から明治球場で吉野君審判の下に擧行商大8——で快勝し五戰五勝を以て第二部に編入されることとなつた

商　大8(4—1 4—0)1工　大

S8.11.26

豐師と青師——けふ決勝に見ゆ

中等蹴球東京豫選

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選第四日の準決勝戰は二十五日午後一時半から本郷中學球場で擧行、付屬中對青師の試合は希有の熱戰を演じ無得點で延長戰となり互に一點を收めたが遂に時間盡きて抽籤の結果付中不運の籤に退き豐師と青師が決勝戰に殘つた

豐島師3(1—1 2—0)1本郷中

豐師先蹴、濱田(主)乙骨、增田(線)三君審判

【豐　師】
江元澤川　口佐尾澤田島
打腰石原　林　開尾七金吉野
FW
HB
FB
GK
CK CK CK PK
城川廣本原澤田島本場見
高小朝坂湯瀧綠田榎萱淺
【本　鄕】

8 0 2 0

【青　山】
田地原田西泉野井木水倉
吉菊梶西大飯西平鈴清宮
FW
HB
FB
GK
CK CK CK PK
島野崎階木中川枝達野田
馬佐大二鈴江石友安永佐
【付　中】

9 5 10 0

青山師1(100——1000 010——1000)1付屬中

付屬先蹴　松丸(主)宮川、堀江(線)三君審判

0 2 20 0

廿五日の運動

◇蹴球▲アストラ　▲慶大3——0YCAC　▲大阪電話　大阪外語3——0大阪商大　▲神戸高商2——1關大

◇蹴球　早大對慶應(二時)　閉會式(三時四十分以上神宮)

けふの運動

外語勝つ

東京學生蹴球聯盟第五部　外語對高等工藝の試合は廿五日午後二時半から工大球場で擧行、3——0で外語勝ちこれで第五部の豫定を終つたが、青學が全勝して第四部に編入される事となり駒大は全敗して第六部に落ちる事となつた

S8－11－26

S8.11.26

雌伏八シーズン 早大覇を制す

慶應の布陣總崩れ

學生蹴球

東京學生蹴球聯盟本シーズンの覇權を左右する最終戰、早慶試合は廿六日午後二時から神宮競技場で竹腰(主)高山、吉野(線)三君審判の下に應慶先蹴で開始、薄曇りで風もなくフヰールド・コンデイションよくこの血戰には申分のない爭覇日和である、早大開始直後一點、後慶應一點を擧いたが後半慶應の布陣總崩れとなり八年雌伏の早大遂に覇權を握つた

なほ東京學生蹴球聯盟創立以來の優勝校は大正十三年早大、同十四年高師、同十五年より昭和六年まで帝大、同七年慶應となつてゐる

早大4(3—0)1慶應

◇前半　慶應の先蹴を中央圓に防いだ早大はFW中央三人の密集ドリヴルで正面を割りCF川本シユートせんとしたが慶應のバツクス辛くもつぶした球は早大名取に出で、CF川本追走して右前に廻パスしたのをRI野澤シユートして一點を先取、慶應は三分右側から好機を作つたがLW藤岡シユートせんとした時、早大はRF堀江果敢に飛び込んでつぶし九分左CK後機會を得たが慶應はRF塚越のゴールカヴアでのがれ、十一分慶應は右CK後の好機をLI播磨凡飛球として止む、廿二分慶應はLI播磨君を送りだしただけて新鋭播磨君を加へ猛攻撃力を增大し連覇容易と見られてゐたのであつたが僅か一ゴールその攻撃的精彩の片りんを示したのみで早大の雪辱を甘受しなければならなくなつた、六分の勝味ありといふ呼び聲はその巧技につぐられる見事なコンビネーションにあつた、これは胃頭の失點により消極的の戰法に落ちて儕々その片影を示すだけに終つてしまつた斯くて連覇を逸し早大の九年振りの制覇となつた

◇…早大は對帝大戰におけると同樣の速攻戰法によつてまづ機先を制する一點を擧げ、センタースリーの鮮やかな動きは寧ろ慶應FW線の巧技をさらつたやうなものであつた、勝敗はこの一點にはい胎してゐたとも云へる、信頼し得るFW線の活躍に一層强氣となつた早大全線は積極的に出で慶應は案外の失點に消極的となつた、慶應の誇りとするHB線の攻撃加擔はほとんど見られず、後退防禦工作に努めるの結果を見せてしまつた、もつとも慶應FB線はスカイボール多くすこぶる危な氣のプレイを見せてゐたからHB線のこの處置も又止むを得ないにしても攻める慶應が守るに追はれるやうになつてはその巧技の生み出す鋭さは當然失はるべきであつた、慶應にとつては前半の中に定型の妙技を以て一點を酬い同點とはしても正にまけ戰の色を染めてゐた、殊にたのみとするFW線は三分、十一分の好機を逸し十八分LW藤岡君のセンタリング右側が判斷を誤つて凡失するなどFW線のなめらかな動きはなく、決定力が鈍つてゐたのではゴールを奪はれても奪ひ得るの自信を失ひ守備に偏して攻撃するのも致し方ない、もちろんこの慶應FW線をしてなすべき事を成さしめなかつたその正面には早大バツクスの忠實なプレイがあつた危機を二度も果敢なプレイでつぶし去つた堀江君は守備陣の殊勲者として稱へらるべきである

◇…後半早大は胃頭の速攻に再び出鼻をくじかうとしたが慶應は二度とその手に乘らず逆襲し、强攻をつゞけてゐたがFW線が速攻好連鎖の持味は早大の好守にあひ制球を亂して得點に至らず終つた、この時慶應のリードとなつたならばと思はしめぬではないが逆に早大2——1のリードとなるに及んで慶應陣に憂色たゞよひ3——1の不覺をとるに及んで慶應はFB線とHB線に徒らなる交錯に守備線壞滅、FW線は時々のもれ球に攻撃を試みるといふ狀態に落ちてしまつた

◇…慶應は刀折れ彈丸つきる迄の全技を傾けた試合をせず早大を追つて拜命に疲れ去つた、試合の巧味はさしくも早大は强氣に强味をたゝへて試合をリードし、慶應の巧技を縛る機會を與へずに强引の試合に覇を稱へた、CF川本君は前半球をもてあそび過ぎたが後半慶應の疲勞で幸し野澤君はノウ・マークにされて殊勲者の列に加はる事が出來た、勝てばいづれもパツとせず目立つものであるが早大はムラのないプレイを見せ慶應は寧ろ單的でその長所を長所として示し得ずに終つた、唯慶應に早大攻撃線の彈力を缺つた事はなかつたかを問うて見たい、いづれにしても期待された内容の乏しかつたのは慶應が底力を示さず引きまはされた點にあつたといふよりない（山田生）

58.11.27

| | | |

青師不運續き
豐師優勝す
全關東中等蹴球豫選

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選最終日の決勝戰は豐師對青師の間に廿六日午前十一時から本鄕中學球場で濱田(主)宮本、竹内(線)三君審判の下に青師の先蹴で開始、東京代表の榮譽を爭ふ兩軍は必死の奮戰を續けた末、豐師一點を擧げて勝ち第一回の東京府代表となつた

豐　師　1(0—0)0　青　師

◇前半　双方勝を急いでコンビネーション惡く熱意を缺るだけで凡戰に終始し無得點に終る

◇後半　二分豐島は左側から決定的機會を作つたが凡蹴に逸し青山は四分CH西野の左前送球をLW吉田好返球してRW大西シユートしたが惜くチヤージしたCF梶原アツシユすべきを彈きだし絶好の機會を失ふ豐島は十八分LW打江の辛うじて行つた右前送球にFW線の密集攻撃となりGK宮倉ジヤムプしたが及ばず豐島貴重の一點を收め、青山は二十七分LW吉田の強蹴バアの下面を彈いて流れ出でタイムアツプ直前RW大西シユートの時機となつたがCF梶原逸し一且つぶれた球を拾つてシユートしたが外れ、つゞけ樣に得た絶好機會をのがして惜敗す、豐島は殊出したプレイヤーはゐないが粒がそろひ青山はムラのある所に苦戰をした、勝敗はまづ運、不運の分れた所であるといふよう、豐島のトリツピング、青山のストツピングにおけるハンドの反則は共に慨しんで欲しい

【青　山】

出地原田西泉野井木水倉									1	4
吉菊梶西大飯西平鈴清宮									1	6
					FW				0	0
				HB		BK				
					FG					
						CK				
						CK				
						CK				
						CF				
						GK				
江元澤川						口佐尾澤田島			7	4
打暦石清						林			1	3
關尾七金吉野									0	0

【豐　島】

京大優勝
關西學生蹴球

【大阪電話】關西カレヂ蹴球リーグの第一位を決すべき京大對關學の試合は廿六日午後二時半から甲子園南運動場で杉村(主)市橋、大谷(線)三君審判の下に關學の先蹴に擧行、三對二で京大勝つ

京　大3(3—0)2　關　學

【關　學】

井藤田邑澤西崎水井藤羽									10	6
武山朝西野川三清松伊丹									6	6
					FW					
				HB		BK				
					FG					
						GK				
						GK				
						GF				
岡藤田野田邊本安地木澤									5	6
長伊眞中高田山福持恒金									5	7

【京　大】

S8.11.27

三日の運動

◇蹴球【横濱電話】YCAC2—2PO汽船商尿

S8.12.4

商大豫科　蹴球勝つ

商大豫科對浦高蹴球戰は六日午後三時から國立球場で幸田氏主審商大豫科先蹴で擧行三對零で商大豫科勝つ

商大豫3(2—0)0浦　高
1　　0

運動界だより

◇慶應蹴球部　は明春大崎主將はじめ綱繩、岩崎、塚部、津村の名選手を送り出すが六日午後開いた選手會の結果岩波常道君が主將、マネージヤーは引續き溝口博君と決定した

S8.12.7

東西の蹴球無敵
早大と京大爭覇
十日の對抗戰豫想

東西學生蹴球聯盟は來る十日明治神宮外苑競技場において東西爭覇戰を行ふが東の早大、西の京大はこのシーズン共に五戰五勝して無敵の陣を布きこの一戰において雌雄を決し覇を天下に稱へんとしてゐる、京大は三度目の登場であり雌伏の秋をかこつた早大は九年振りの制覇によつてこゝにはじめて天下の大舞台を踏む事になつた、東西對抗が創始されて五シーズン過去四回の成績は關東三勝、一引分けで面目を保ち一勝も記錄してゐないが、試合の巧拙、運不運は兎も角として、過去の四試合はほとんど紙一枚の差によつて決せられてゐる

早 大の誇り鐵桶の守備陣はHB線が立原を中心として中村、笹野の二人は動かず鈴木、堀江二人のFB線と主將熊井のGKは胸のすく強じんさ、FW線はいよ〳〵はくのついたCF川本をはじめ平松、名取、野澤、長谷川の一騎當千の曲者を並べ、全線覇氣滿々、地をもぐる樣な細技乏しくとも眞向から振りかぶる鋭人は京大金澤の鮮やかなキーピングも突破せずには置くまい、攻めるに開いて巧みさはないが密集工作は何といつても隨一、ゴールゲッター乏しいのとり〳〵の噂も去る日の對慶戰において一掃し守備の早大てう定評も一轉攻撃力を多分に藏した早大となり勝てば官軍一躍蹴球界を風びしてしまつた

京 チームとして立派な結成を見せた早大、押へられて必ずしも崩れずとは斷言出來ぬが京大も押して相當應へのある早大に其守備線の強じんを歎美する事になりはしまいか、關東制覇後HB線の前線供給も一層雄實となり豐富となつてゐるから攻撃精彩も一段と加はるものと見られる、早大は出來不出來があつても慶帝を却けた言はゞホームグラウンドの惠まれた條件を備へて京大をよう擊するだけでも既に六分の利を有してゐるはずである

京 大のGK金澤は關西においてその右に出るものなしと傳へられる名手、關學との最終戰を二點に阻んだのも傑出した同君のプレイの賜とさへいはれてゐる、FB線は持地、植木の二人が關東の流れをくんで布いてゐる、持地の巨砲陣から漏れるとすれば細技に秀でた植木が補ひつて早大が顧みぬわけにはいかぬ、個性に生きる早大の攻撃線であり、鑄型にはめられて完成しつつある京大の攻撃線でそれ〴〵特色を著しく盛りあげたその中に東西の流れを織り込んでゐる所に試合興味が深い

各 ラインの比較は一長一短あるが總じて早大に多少の優勢を認めぬわけにいかぬ早大が優れてゐると見られる實力をそのまゝに示し得るものならば早大に六分の勝味ありと見る事が出來よう、殊に前にも述べた早大にとつては順風滿帆の力強い帆を引かした神宮競技場である、早大にとつては人の和地の利を得てのよう擊であるが悲壯な意氣で切り込む京大の身を捨てゝこそある切札は早大にとつて警戒せねばならぬ事である、試合は常に強いもののみが勝つとはいへぬ、今日までの戰績をたどれば多少早大に有利と豫想されるだけで勝敗の運命は鐵扉深く祕められてゐる(山田生)

S8·12·8

F W線は長岡、伊藤、眞田、中野、高田の五人で布かれてゐる、伊藤、眞田、中野のセンタースリーはいづれもゴールゲッターでスルーパスで行ふ速攻妙味は京大の誇りともいはれCF眞田は短身だが快足、强引に地を縫ふが如く中央を割るあたり空を睨けて泳ぐが如く中央を突破する川本と好一對と稱せられる、中野の老巧は既に定評ある所、攻めてよし、後退してよく强味乏しいHB線の欠を補ひ連絡のかぎを握つて大童の奮闘は名取とよい對照であらう、一際目立つセンタースリーのあか拔けしたプレイに比して兩翼はパッとしない、とい

けふの運動

◇蹴球 東西學生對抗早大對京大(二時神宮、東蹴對青師(十一時青師)

S8·12·10

昨日の運動

◇蹴球 東京蹴球團5——5青山師範

S8·12·11

蹴球極東選手選拔方法決定

日本蹴球協會では十一日正午から協會事務所において第十回極東大會蹴球代表選手選拔委員會を開催左の諸項を決定發表した

△選拔方法來春一月廿一日大阪甲子園及び一月廿八日東京神宮競技場において前後二回東西對抗選拔試合を擧行し決定する

△關東方代表チームを選出するため十二月二十四日東京で選拔試合を行ふ事に決定關西方も今週中には關西代表の決定

△關東方代表選拔試合に出場する選手は左の如く決定

◇FW駒崎、塚部、津村、藤岡(慶大)竹腰(帝OB)永地(東北帝大)野澤、川本、名取、平松、長谷川(早大)德田、菊地(帝大)松永(文大)◇HB濱田(慶OB)右近、大崎(慶大)中村、立原(早大)高山(帝大)石井(慶大)◇FB井出(早OB)竹內(帝OB)堀江、鈴木(早大)塚越(慶大)荻原(帝大)◇GK綱繼(慶大)熊井(早大)

けふの運動

◇蹴球 大阪商大對東京商大(二時半明藝)

S8·12·9

S8-12-12

S8-12-11

學生蹴球の王座に
早大初の登場
關西代表京大を破る

第五回東西學生蹴球聯盟對抗戰戰早大對京大の試合は十日午後二時から神宮競技場で擧行、前日の豪雨に球場は荒れてゐるが好晴無風のコンデイションである、京大は背山側に早大は時計台側にサイドをとり竹腰(主)大崎、塚越(線)三君審判の下に京大の先蹴で試合は開始され京大は早大の猛襲を支へ切れず遂に五對二で敗れ早大は初の登場に稱嘲し本社寄贈の球型杯その他を授けられ三時四十分對抗試合は全く終りを告げたこれで東西の對抗戰續は關東四勝一引分

◇…東西の最強を誇る兩雄の會戰には申分のない天候であつたが前日の雨とラグビー戰に荒らされたフキールドのコンデイションは踏み切りを惡くし支點を奪つて余りにも不良で快心のプレイを阻んだのは戰士と共に遺憾とする所であつた

◇…前半二對一早大のリードとなつてゐたがフキールド全面的の大試合は東西對抗のその名に恥ちず實に立派な内容を蔵る堂々たる快戰で天下分け目の一戰として推賞するに足るものであつたといへる兩軍闘士の間斷ない動きは試合を極めて速く運び停滯なく大熱戰を續つて進められた、殊に不利の條件をもつ京大が一點を先取した事によつて興味を多分に盛り上げ早大の追撃奏効して同點となるに及んで試合は緊張と昂奮の頂點に達し2——1となつたが前半の形勢では勝敗は全く逆とを許さぬものがあつた

◇…京大がHB線の薄力を隠ぺいするに深いW型の攻撃布陣は効を奏し早大FB線の並列進出は攻勢から守勢に轉ずる時の不利と京大猛襲の間隙をなしてゐたのが前半において目立つた位のもので正に龍虎相うつ血戰であつた

◇…後半一分の機會を逸した早大は3——1のリードとする京球を多く京大陣に置きながら京大バックの好走後退守備につぶされて空しく終つてゐたが次第に京大の意氣は衰へ前半豫想されたやうに大童となつて廣い攻撃線を形成し深く守備線とを結んでゐた闘將中野も時々は息を抜くといふ不振の狀態に置かれてから全線に漸く沈滯の色を見せた、後半三十分から四十分迄が特に著しく目立つた京大の不振で3——2と迫りながら闘將中野の疲勞によつて暴露されたHB線の微力からかもし出された隙たいの氣分は挽回の期待を斷たしめてしまつた、早大はくめども盡きぬ泉の如く出でてますますさかん計り知れぬ底力を示して京大陣を衝きまくり、息をもつがせぬ矢繼早の猛襲に會つて崩れ始めた京大の守備線は奔命に疲れ切つた、結果は先づ順當と見なければならぬGK金澤の水際立つたプレイもバックスの死に物狂ひの善闘もFW線の活躍も水はうに歸せねばならぬ程耐久力には開きがあつた、この開きにより早大の執えうな攻撃が生じ京大全線の壞滅となつて然る後に早大稱嘲のとゞめとなつた

◇…早大は僅かに三回のゴールキックから生ずる攻撃力には確かに早大が勝つべく優れ寧ろその得點の少きを責めてもいい

◇…フキールド・コンデイションの不良が京大を苦しめた事がこの試合の結果に開きを大きく與へてゐるのを否定はしない、終りにフリーキックの大部分はGKに對する不當のチヤージングによるものでこれは大試合として遺憾この上もないといつて置かう(山田生)

※ 次のページへつづく

ヘツデイングの妙

提 寒 三

後半京大長岡君の巧ちなシユートで三對二と迫ひついて、愈々白熱したが、四十分頃、早大RWからのコーナー・キツクを、またしてもがむしやらな密集ヘツデイングできめる——



S8-12-11

一部欠落

※前ページからつづく

早大（關東代表）5（2—1 3—1）2京大（關西代表）

◇前半　先蹴からの攻撃を斷たれた京大は二分左側から盛り返しRW高田の中央突球をLI伊藤ヘッヂングにきめて一點を先取し▲早大は八分右CKを長谷川好蹴し京大はGK金澤一旦セーヴしたが球は高くあがつてバアの正面を彈いて落ち、早大の密集に進出してゐたFW線左側チヤージしLI名取きめて同點となり▲十分京大はRI中野の左側に回つてのドリヴルは一旦長岡にパスされて網好のシュートに止み早大は十三分好機をつかんで名取シュートしたが惜しくもアウトとなり早大は三十分RW長谷川の好蹴あつたが京大はGK金澤の鮮やかなセーヴイングにつぶし、この後球は幾分早大方に多く出で四十分早大左CKを得平松のキック低目で強く出たのをLI名取バック・パスし、LII中村右前送球したのをRI野澤とつてドリヴルで正面に寄せシュートし得點

◇後半　一分早大はCF川本の左側送球をLW平松とつて深く去で好機を作つたが京大はGK持地のゴール・カヴアで外し十一分早大は中央線を越えCF川本の左前に捌いた球をLW平松右前送球し京大はFB線カットを損じこの逸球をRW長谷川フリー・シュートしたが高くアウトとなつて早大は機會を逸す、京大は十五分RI中野強引のドリヴルに早大HB線を破り後送した球をLI伊藤長蹴すればGK熊井好捕、そこへ眞田、高田進んでチヤージして熊井落球し危機となつたが、早大は鈴木のキックでのがれ右CK後京大ゴール右前の密集となりCF川本プッシュして得點3——1と開く▲京大は二十二分右CK後LI伊藤シュートしCF眞田チヤージしたが、早大GK熊井と正面衝突して終り二十五分LW長岡タッチに沿つて出でコーナーに寄つての長蹴はポストを彈いてそのままゴール・インとなり3——2となる▲卅六分早大は密集強襲の機會を逸したが右CKをとりつゞいて左CKを平松好蹴し野澤、長谷川と續いてチヤージし長谷川ヘッヂングで得點更に四十分LW平松の好蹴は京大RF植木のゴール・カヴアにつぶされ川本シュート後LI名取強襲して一點を加へ5——2と大差を作る▲後京大振はず京大側に球を置いてタイム・アップとなる

【早　大】

松取	本	澤	川	村
平	名	川	野	長
中	立	井	鈴	堀
熊				
FW				
HB				
FB				
GK				
CK	K	K	K	K
CF	G	G	G	P
岡	藤	田	野	田
邊	本	安	地	木
澤				
長	伊	眞	中	高
田	山	福	持	植
金				

11	6	3	0	
1	8	2	8	0

【京　大】

シュート見事（前半早大野澤のシュート成り早大2——1とリード）



全國中等蹴球 東京豫選校

關東蹴球協會主催第十六回全國中等學校蹴球大會東京豫選に出場する左の四チームが決定された、組合せは二十五日の主將會議で決定される

青山師範、付屬中學、府立五中
本郷中學

S8.12.13

全國高工蹴球大會

東京工業大學主催第五回全國高等工業學校蹴球大會は二十六日から二十八日の三日間大岡山工大で行はれるが、參加校は廣島、名古屋、濱松、山梨横濱、東工藝、仙台の以上七校と決定した

S8.12.15

本社後援 中等校蹴球大會 晴の代表決る 廿六、七日神宮で擧行

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會は來る廿六、七の兩日明治神宮競技場において擧行するが、一府七縣の各地方は何れも激しい豫選が行はれた末左の八チームが晴れの代表となつて出場する事になつた、尙組合せは各代表の入京をまつて二十五日午後三時から本社會議室において主將會議を開き抽籤によつて決定する事になつてゐる

◇代表校　東京府豐島師範、千葉縣千葉師範、埼玉縣埼玉師範、神奈川縣神奈川師範、茨城縣茨城師範、栃木縣栃木師範、群馬縣藤岡中學、山梨縣山梨師範

S8.12.19

けふの運動

◇蹴球　朝鮮ク對農大（十一時農大）

S8.12.17

十七日の運動

◇蹴球　朝鮮留學生ク5（4—1 4—1）0一農大
アラン7——2横濱高商
アラン3——1大倉高商

S8.12.18

S8-12-25

運動界だより

中等蹴球關東豫選出場校　第十六回全國中等學校蹴球大會關東豫選出場校は關東協會理事會で選考の結果關東學院中(神奈川)菲崎中(山梨)宇都宮中(栃木)浦和中(埼玉)の四校を推薦することに決定し十九日發表された、組合は廿五日午後五時から東日樓上で主將會議を開き決定する事になつた

S8.12.20

けふの運動

◇蹴球　關東代表選拔試合(正午東大)　全國高商關東豫選第一日(九時半明藥)

S8.12.24

けふの運動

◇蹴球　全國高商大會關東豫選第二日(零時半明藥)

S8.12.25

極東大會蹴球
關東選拔試合
5—3で白組勝つ

極東大會蹴球選拔試合は二十四日午後零時四十八分から帝大球場で松丸(主)上野、大越(線)三君審判の下に白組の先蹴で擧行、白組は早大を主力とし青組は慶應を主力としてそれに帝、文、農、東北と早帝のOBを加へて編成されたもので青組は球を寄せてよく攻めたが結局5—3で白組の勝利となつた

白　組5{2—1 3—2}3青　組

◇前半　六分白組はRW永地の好中央送球を中央に寄つたLW德田ドリヴル、シユートして一點を先取し青組は八分白陣右隅のスローインからだされた球を竹腰とつてパスパツクしCH右近これをシユートして得點1—1の同點となる、その後兩軍は三十分までに兩度の絶好機會を逸し白組は三十八分CH立原二度目の高送球を放ち青組はGK樋爪クリアを損じ密集となり、白組の名取ブツシユして得點2—1白組のリードで前半を終る

◇後半　四分白組はRI長谷川のパスをCF川本シユートして3—1とし十五分RW永地のパスを名取

【青】慶(出)　文(早)　帝(出)　慶(出)　慶(出)　農(出)　帝(早)　慶(出)

FW 文(岡藤)　帝(永松)　慶(出)　慶(出)　慶(出)　慶(出)　農(出)　帝(早)　慶(出)
HB 松(永松)　竹(腰村)　津(部崎)　塚(波近)　駒(井内)　岩(出出)　右(石井)　竹(井出)　綿(塚越)
FB 井(野出)　塚(井塚)
CK 慶(早出)

7 6 9 0
CK CK GK PK
CF GF GP
6 3 14' 0

【白】早(川谷)　慶(崎原)　早(北村)　早(早本)　慶(地原)　早(崎木)　早(江井)　東(村立)　北(大立)　早(熊谷)　早(堀野)　慶(永井)　早(出)　帝(出)　慶(出)　早(出)　大(出)　立(出)

S8.12.25

けふの運動

◇蹴球　全國高工(九時半大岡山)▲全國高商關東豫選第三日(一時半明治藥專)▲全國中學東京並に關東豫選第一日(十時半本鄕中)

S8.12.26

とつてシユートきまり4—1と開き更に二十五分川本獨得の快技に青組のバツクスを見事に拔いてシユートし5—1のリードとなる、青組は三十六分CH右近の左前送球をLW藤岡とつて右に寄せシユートし後半最初の得點をし、四十分右CK後密集の押し込みに5—3と迫つて敗る

全國高商蹴球
東部豫選

第三回全國高商蹴球大會東部豫選第一日は廿四日午前九時半から明藥球場で第一回戰を擧行

大倉商7{2—0 5—0}0青山學
高千穗商6{2—1 4—1}2橫濱商
高商專2{2—0 0—1}1商大豫
橫商專5{2—0 3—0}0明學商

西部豫選

【大阪電話】西部豫選も廿四日大阪商大球場で擧行

名古屋(抽籤)5{121—12 111—11}5和歌山
高松3{111—1 011—0}2大商大豫

同志社高商、神戶高商不戰一勝

S8.12.25

S8-12-26

極東大會蹴球
出場選手決定す
補欠十一名も發表

廿四日行はれた極東大會蹴球全關東選拔試合の結果により廿五日午前九時から關東蹴球協會事務所において朝生、竹腰、野村、濱田、松丸、鷗澤、中島の選考委員出席の上選考委員會を開催し愼重選考の結果、全關東代表として左の十一選手が決定した

FW 慶早早北東慶帝早帝早
HB 出出出
FB 出井
GK 取本澤地近山原內出

藤名川野永右高立竹井熊

尙明年は滿洲遠征の都合もあり補欠も十一名の多數が選考されて同時に發表された

【FW】津村(慶)長谷川(早)菊池(帝)松永(文)塚部(慶)【HB】中村(早)大崎(慶)【FB】塚越(慶)鈴木(早)堀江(早)【GK】樋爪

右の結果廿六日午後六時から選手會を開き監督並に主將を決定する事になつてゐる

全國高商蹴球
東部豫選第二日

第三回全國高商蹴球大會東部豫選第二日は二十五日午後一時半から明藥球場で引續き擧行

高千穗6{3—0 3—0}0大倉
商大專(抽籤)0{0000—0 0000—0}0橫濱商專

西部豫選

【大阪電話】西部豫選第二日は二十五日午後一時より大阪商大グラウンドで準決勝戰を擧行

同志社4{202—2 020—0}2名古屋
神戶12{7—0 5—0}0高松

全國中等學校
蹴球大會組合

第一豫選分決定

全國中等學校蹴球大會東京及び關東の第一豫選は廿六日から本鄕中學で行はれるが廿五日午後五時から東日會議室で主將會議の結果組合せは次の如く決定した

◇東京豫選

青師對村中(十時半)五中對本鄕中(十一時三十五分)

◇關東豫選

宇都宮中對浦和中(零時四十分)關東學院中對菲崎中(一時四十五分)

全國高工蹴球　全國蹴球大會組合せ決定す

は二十六日から三日間工大球場で擧行されるが組合せは左の如し

廣島對東京(十時)仙台對山梨(十一時半)橫濱對濱松(一時)

尙名古屋は不戰一勝となつた

S8-12-26

本社後援

關東中等校蹴球 選手權大會

けふ華々しく開幕

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會はいよいよ二十六日を第一日として明治神宮外苑競技場において地元の豐島師（東京府）を始め千葉師（千葉縣）茨城師（茨城縣）埼玉師（埼玉縣）栃木師（栃木縣）藤岡中（群馬縣）神奈川師（神奈川縣）山梨師（山梨縣）の八精鋭をあつめて華々しく第一日の幕を開くが、二十五日午後三時から本社會議室で主將會議を開き組合せ抽籤を行つた結果左の如く決定した、冒頭戰は優勝候補と目される豐師、栃師兩雄の對戰に火花を散らし遠來の山梨師はけい蹴神師と顏を合せ、新鋭千葉師は關東の古豪埼玉師と鎬を交へる事になり、これも冒頭戰に劣らぬ快戰を續るべく、強氣の茨城師は上州のきう雄を屈伏せしめて登場した本大會唯一の中學代表藤岡中と對戰する事になつた、第一日から織り出す熱戰はシーズン後半を飾るに相應しいものがあらう

◇第一回戰

（A）栃木師對豐島師（十時）
（B）神師對山梨師（十一時十五分）
（C）埼玉師對千葉師（十二時半）
（D）茨城師對藤岡中（一時四十五分）

尙第二日の準決勝はAの勝者對Bの勝者、十時）Cの勝者對Dの勝者（十一時十五分）で決勝戰は午後二時半から引續き行ふとになつてゐる

主催　關東蹴球協會
後援　東京朝日新聞社

全國中等蹴球 關東及び東京豫選

全國中等學校蹴球關東及び東京府豫選第一日は二十六日午前十時半から本郷中球場で擧行

△東京府豫選

青山師1 0—0 0付屬中
府立五中3 1—0 0本郷中
2—0

△關東豫選、

浦和中4 3—0 1宇都宮中
1—1
菲崎中2 2—0 0關東學院
0—0

けふの運動

◇蹴球　全國高工大會第二日（十一時大岡山）▲全國中等學校東京並に關東豫選第二日（十一時本郷中）

S8.12.27

關東中等校蹴球選手權大會

最初の試合から 熱戰展開

豐島、山梨、埼玉各師勝つ

關東蹴球協會主催、本社後援第一回關東中等學校蹴球選手權大會は好晴西北の微風に惠まれて二十六日午前九時四十分から神宮競技場に八地方の精鋭を集め第一日の幕を開いた、參加校は東京府代表豐島師範を先頭として勇ましい入場式を行ひ正面スタンド前に整列、本社美土路總務の激勵的の開會の辭あつて後小野委員引率の下に各校主將の莊重嚴肅な國旗掲揚をなし、斯くて十時十分美土路總務の始球式により豐島師範の先蹴を以て冒頭戰の火ぶたは切られた

豐島師 2 (1—0 1—0) 1 栃木師

豐師先蹴、上野（主）鈴木、村形（線）三君審判

◇前半豐島は鋭い攻撃線を布いて攻めるが栃師バツクスの必死の好防とフイルドの狀態わるく足場を失つてゐの凡失で得點に至らず、栃木は十七分左側から逆襲し鈴木、森田、長島の密集攻撃奏効して一點を先取すれば豐島は二十三分中央を劃つて出でLW打江のシユート入つて同點となり更に二十九分RI清川の捌いた球をCF石澤きめて2—1とリード

◇後半十一分豐島は正面を劃り損ねたがRW林へツデングできめ8—1と離して大勢を決す、栃木は深いW型の布陣で向ひ風を警戒してゐるため逆襲に際して力弱く遂に機會なく敗退す

【栃　師】
谷藤木田島林木林井本田
大佐鈴森長小植若生松豐
W HB FB GK
江元澤川 口佐尾澤田島
打越石清 林 關尾七金岩野
【豐　師】

栃木師									0	1
									5	9
									1	0
									CK	CK
									CK	CK
									FG	FG
									P	P
豐島師									2	0
									9	2
									2	0

【栃　師】
川野本村林松橋木　田樹
市三橋中小植三　岸　塩三
FW HB BK
山原下栗橋中川村條田谷　保
丸氏松戸土田外河北久池
【山　師】

栃木師									4	3
									3	5
									0	0
									CK	CK
									CK	CK
									FG	FG
									P	P
山梨師									8	2
									2	1
									1	0

山梨師 2 (1—0 1—0) 0 神奈川師

山梨先蹴、宮內（主）塚本、長谷川（線）三君審判

◇前半　五分山梨はLW丸山の好送球で作つた機會を逸したがこの直後CF松下の強襲で作つた機會をRI藤原きめつゞいて十二分RW小川ドリヴルシユートして一點を先取

◇後半　神奈川は十二分LH植松強蹴したが高くアウトとなり十七分山梨はLI氏原のパスをCF松下シユートして一點を加ふ

埼玉師 5 (3—0 2—1) 1 千葉師

埼玉先蹴、宮本（主）粉川、鹽田（線）三君審判

◇前半　埼玉は三分右CK後CF山田のバスバツクをCH藤浪シユートして一點、十四分CF山田、二十八分RI進藤の得點で更に二點を加へ千葉振はず前半を終る

◇後半　埼玉は九分左側から捌いた球をRI進藤きめつゞいて十二分RW小川ドリヴルシユートして得點5—0と離す、二十二分LW山根單身ドリヴルにバツクスを拔いて好シユートし一點を報いて零敗をまぬかれた

【千　師】
振　上田田木關本進賀勢
祉　村前鎌鈴河山渡忽館
FW HB BK
川塚田藤川笠波內森保島
中石山進小武藤矢大彦大
【埼　師】

千葉師									4	6
									6	6
									0	0
									CK	CK
									CK	CK
									FG	FG
									P	P
埼玉師									6	2
									2	6
									0	0

S8-12-27

關東中等校蹴球大會 本社後援

覇は何校？

けふ午後晴れの決勝

【夕刊所報】本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會第一日は二十六日午前十時十分豐島師對栃木師の試合を以て開始されたが優勝を目指す若人の意氣天にちうし熱戰また熱戰が演じられた、斯くていよいよ今二十七日は午前十時から豐島師對山梨師の準決勝に第二日のふたを開けつゞいて埼玉師對茨城師の試合を行ひこの四強から殘る二勝者によつて午後二時半から晴れの決勝戰を行ふ事になつてゐる、夕刊後の結果次の通り

茨城師 9（3―0）0 藤岡中

茨城先蹴、清水(主)鈴木、高津戸(線)三君審判

◇前半十分茨城はLW添田强蹴し藤岡はLFクリヤを失敗してゴールインとなる茨城强襲を續け二十五分LW添田右前に捌きRI萩原シュートして一點を加へ更に二十七分PKを得海老原のキックで8―0とリードした

◇後半茨城は風を利して攻め立て三分LI白田の得點から全く一方的の試合を續けて五點を加へて快勝した藤岡はほとんど守備に追はれて機會なく大敗を喫す

【藤岡】
木木村島嵐原上藤野 岸清
十ノ
茂笹田小五須井佐岡
FW
HB
FB
GK
田田原原川邊都野保川島 久
老
添白海荻塩渡戸山大石飯
【茨城】

13	CK 0
4	FK 3
1	GK 16
1	PK 0

高商蹴球の東西代表

商大專門部と神戸高商

第三回全國高商蹴球大會東部選第三日は二十六日午後一時半から駒澤、明治グラウンドにおいて高千穂高商對商大專門部の決勝戰を幸田(主)長瀬、後藤(線)三君審判高千穂先蹴で開始、一對零で商大專門部勝ち東部代表となつた

商大專門 1（1―0）0 高千穂

【商大專】
好田 川島集池瀬野岡邊
三上 柴森賀大高西佐渡
FW
HB
FB
GK
川並井木山野江橋邊田木
谷
長野石鈴森儀青石渡山元
【高千穂】

◇

【甲子園電話】全國高商蹴球大會西部地方豫選決勝神戸高商對同志社高商の試合は廿六日午後二時から甲子園南運動場において奈良(主)寺島、日下(線)三君審判、同志社先蹴にて擧行されたが十對零の大スコアで神戸高商快勝し、西部地方代表となつたなほ全國決勝は二十八日甲子園で擧行される

神戸高商 10（5―0）0 同志社高商

【神戸】
本山野川田 井田橋 濱野 原
松上礒前長 岸岡小 中河 木
FW
HB
FB
GK
石田田本本 嵐本川 口村 井
永山新阪梅 五岩中 谷中 淺
【同志社】

高工蹴球 全國高工蹴球大會第一日は廿六日午前十時より大阪山工大球場で擧行

東京 栗橋廣 島
山梨 2―1 仙台
濱松 4―3 横濱
名古屋(不戰一勝)

S 8. 12. 27

決勝試合は豐師と埼師

本社後援關東蹴球

本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會の第二日は二十七日午前十時から神宮外苑技場で準決勝戰を開始し引續き午後二時半から關東の覇者を決する決勝戰を行ふ事になつた

豐島師 5（1―0）1 山梨師

豐島先蹴、長坂(主)、宮内、宮本(線)三君審判

◇前半 豐島は十八分の絶好のチヤンスをのがしたがその直後LW打江クリーンシュートして一點を先取

◇後半 開始直後豐島はCF石澤右に寄つて好シュートして一點を加へ更に五分石澤左に寄つて一バウンドでゴールを破る難球を放つて點を加へ3―0と離し十二分豐島は石澤の制球GK見逃がしでゴールインとなり、十七分山梨は中央三人、密集に正面を割りRI戸栗輕くシュートして一點をかへし、二十七分豐島はRI清川一旦左に捌いて好蹴し5―1と大差を作つて豐島快勝す

【山師】
山原下栗橋中川村傳田谷 保
丸氏松戸土田外河北久池
FW
HB
FB
GK
江元澤川 口佐服澤田島
打越石清 林 關越七金吉野
【豐師】

2	CK 6
2	FK 2
2	GK 2
0	PK 0

5	CK 8
8	FK 9
9	GK 0
0	PK 0

埼玉師 4（2―0）0 茨城師

埼玉先蹴、井出(主)山口、宮内(線)三君審判

◇前半 埼玉は六分RW小川好シュートして一點を先取し更に十五分LW中川强蹴の跳RI進藤鋭いチヤージでチヤンスをさらへ2―0とリードし茨城は二十五分左側をついて出でRI萩原シュートしたが外れてやむ

◇後半 風下の茨城よく守つて前線に球をだすがFW線の制球惡く機會を失し埼玉は十二分CF山田の强蹴で一點、埼玉は十八分LW中川シュートして得點4―0と開き茨城遂に敗る

（師）島田原原田邊部野川保倉 久
（茨）飯白海荻深渡戸山石大四
FW
HB
FB
GK
（師）川塚田藤川筌浪田森保島 久
（埼）中石山邊小武藤矢大彦大

4	CK 1
1	FK 3
1	GK 0
0	PK 0

けふの運動

◇蹴球 全國高工大會第三日（一時 大岡山）

S 8. 12. 28

豐島師優勝

最後の五分で埼玉敗る

本社後援關東中等蹴球大會

好晴に惠まれ華々しい火ぶたを切つた本社後援關東蹴球協會主催第一回關東中等學校蹴球選手權大會第二日は地元東京及び山梨、埼玉茨城の四地方代表豐島、山梨、埼玉、茨城の四師範によつて好晴、西北の風靜かな二十七日午前十時から神宮外苑競技場において豐師對山師の試合により準決勝戰の幕を開けた、フイールド・コンデイションも極めて良好で珍らしい蹴球日和に若人の意氣頓にあがり熱戰を展開し第一試合は豐島勝つて決勝に進めば第二試合は茨城の健闘報いられず埼玉の快勝する所となつて決勝は東京府、埼玉縣の兩代表によつて決せられる事となつた、準決勝の二試合は共に實力にスコアの示す程相違あるのではないが機先を制せられて遂に起たずに終つたものであつた、決勝戰は午後二時半から豐島が時計台側の風上に位置し埼玉は靑山側で先蹴に開始された、豐島の強引、埼玉の好走はフイールド全面に熱戰を繰つて眞紅の大旗をめぐる爭覇に相應しい大試合を演じた末埼玉の力闘遂に空しく最後の五分でついえ本大會最初の榮冠は地元代表豐島師範の手に歸した、斯くて二日間にわたる本大會は滯りなく終了を告げた

豐島師 2 (0—0 2—0) 0 埼玉師

大崎(主)、岩波、增田(線)三君審判

◇前半　豐島風を利して攻めるが埼玉のバツクス好防してゴールを與へずHB線の前送球でFW線進出するがキツク崩れて得點に至らずスピーデイの試合を續けて、前半無得點に終る

◇後半　五分　埼玉はRW小川ドリヴルの時左側好進出を見せLW中川シユートしたがバアを彈いて返る、埼玉は更に十八分の機會を逸し豐島は二十三分の機會を逸し後二十六分LW打江の右前に捌いた球をRI清川よくこれをシユートし一點を擧げ更に二十九分PW林のシユートは流れたが中央に寄つてゐたLW打江シユートして2—0埼玉好戰の末惜敗す

【埼　師】

川塚田藤川笠浪內森保島

中石山進小武藤矢大彦久

FW　HB　FB　GK

江元澤川　林　口佐尾澤田島

打越石清　關尾七金吉野

【豐　師】

6 5 7 0

C K K K

F G P K

5 0 9 0

S8・12・28

S8-12-28

全國高校蹴球

東京、京都帝大ア式蹴球聯盟主催昭和九年度全國高校蹴球大會は恒例により明年一月一日午前八時から六日迄每日東大構內運動場で擧行される事となつた、參加校は次の如く二十五校に上つて居る

府立高、四高、八高、二高、成城、廣島、七高、法政豫科、弘前、水戸、靜岡、松本、北大豫科、五高、早高、佐賀、東高、成蹊、六高、一高、松山、浦和山形、武藏、松江

決勝は山梨高工と名高工

全國高工蹴球

全國高工蹴球大會第二日は廿七日午前十一時から大岡山工大球場で準決勝の二試合を擧行、山梨及び名高工が勝殘り二十八日決勝戰を行ふ

山梨高工 8 (3—0 5—0) 0 東高藝

(審判村尾(主)神田、元藤(線)三君

【山　梨】

木福木川松井田野林田澤

江今鈴宮平石松特小黑熊

FW　HB　FB　GK

原村田井田根宮野田賀西

小安森金芝山一島芝芳中

【東　京　藝】

3 3 3

F K K

G K C K

4 6 2

名高工 1 (0—0 1—0) 0 濱松工

審判淸藤(主)奧山、服部(線)三君

【濱　松】

城木井藤藤村染尾田野熊

本植中近伊新都藤岡白大

FW　HB　FB　GK

原谷置田尾橋川信井森杉

石水玉川平高芳重藤西小

【名　古　屋】

0 1 4 3

F K K K

G K C K

3 8 4

名工優勝

全國高工蹴球

全國高工蹴球大會第三日は二十八日午後一時から工大球場で幸田(主)淸藤、藤(線)三君審判の下に名古屋高工と山梨高工の間に決勝戰が行はれた、曇天無風だがフイールドコンデイションは極めて惡かつた、前半シーソーゲームを演じたが後半に入つて山梨疲勞し惡戰を續け結局4—2で名古屋高工の優勝する所となつた

名古屋 4 (2—2 2—0) 2 山　梨

【山　梨】木福木川松井田野林田澤

江今鈴宮平石松牧小黑熊

FW　HB　FB　GK

原谷置多尾橋川信井森松

石水玉川平高芳重藤西小

【名古屋】

6 11 24

C K K K

F G K G

16 6 10

S8・12・29

けふの運動

◇蹴球　▲全國中等關東豫選決勝埼師對亞崎中(十一時本鄕中)▲全國中等東京府豫選決勝靑師對豐師(悉皆半本鄕中)

代表は青師、埼師

全國中等蹴球豫選

全國中等學校蹴球大會東京及び關東豫選決勝は二十九日午前十一時十六分から本郷中學球場で擧行、東京府豫選は挑戰チーム青山師範が優勝してこゝに四度代表となり關東豫選は新進非崎中學善戰したが3——2で惜敗し埼玉師範が代表となつた

◇東京豫選

青山師3{1——0 2——0}0豐島師

豐島先蹴、塚越(主)岩波、增田(線)三君審判

◇前半　十九分青山はLW吉田ドリヴル後好パスしLI菊地シユートして一點を先取

◇後半　五分豐島はLI越元の長送球をRW林へツヂングでゴールを襲つたが惜しい所で外れ絶好の機會を逸し青山は十五分LI菊地シユートし不規則バウンドした球はそのまゝゴールインとなつて二點をリードし更に二十四分RW大西の中央送球はCF西田が受けLI菊地に出て菊地シユートして3——0と開き優勝す

【豐島】江元澤川　口佐尾田澤島

FW	打越石清林關尾七吉金野		
HB		CK	1
FB		FK	1
GK		GK	7

【青山】田地田原西泉野井木水倉

FW	吉菊西梶大飯西平鈴清宮		
HB		CK	8
FB		FK	8
GK		GK	12

◇關東豫選

埼玉師3{2——2 1——0}2非崎中

埼玉先蹴、野村(主)後藤、上野(線)三君審判

◇前半　二分埼玉はLI石塚の長蹴入つて一點を先取し韮崎は十三分RI小宮山ドリヴル後好中央送球しLW清水のチヤージで同點更に二十一分LI長谷川のパスを受けてRI小宮山ドリヴルシユートして2——1のリードとなつたが埼玉は二十七分LW中川のパスはCF山田に出で追走したRI進藤に出せば進藤シユートして同點となる

◇後半　兩軍の送球不確實で決定的の機會なく進み十六分埼玉はCF山田のドリヴルシユートで辛くも決勝の一點を擧げて勝つ

【韮崎】

FW	萩川井山山敏武切正村海		
	水谷　宮　野野田水		
	清長三　小中小小小清藤新		
HB		CK	7
FB		FK	2
GK		GK	7

【埼玉】

FW	川塚田藤川岸浪田森保島		
HB		CK	3
FB		FK	5
GK	中石山進小根藤矢大彦大久	GK	13

S8・12・30

昭和9年

一日の運動

◇蹴球　全國高校大會(帝大)第一日(第一回戰)▲(1)弘前對(2)七高(八時)▲(3)松江對(4)松山(九時十五分)▲(5)一高對(6)六高(十時半)▲(7)靜岡對(8)廣島(十一時四十分)▲(9)水戸對(10)四高(午後一時)▲11成蹊對(12)(浦和)午後二時十五分)

二日の運動

◇蹴球　全國高校大會第二日(帝大)第一回戰▲(13)八高對(14)法政豫(八時)(15)佐賀對(16)府高(九時十五分)(第二回戰)▲(17)二高對(18)北大豫(十時半)▲(19)武藏對(20)五高(十一時四十五分)▲(21)成城對(22)早高(午後一時)▲(23)松本對(24)東高(二時十五分)

S9.1.1

全國高校蹴球

東西兩帝大聯盟主催第十一回全國高校蹴球大會は一日午前八時から帝大球場で第一回戰を開始、第二日の二日は引續き第二回戰の四試合を擧行した

◇第一回戰

弘前	4-3-1-0	0 七高
松山	9-4-5-0	0 松江
六高	5-4-1-0	0 一高
靜岡	4-0-2-0	2 廣島
水戸	2-2-0-0	0 四高
成蹊	4-1-3-0	0 浦和
八高	3-1-2-1	1 法政豫
府高	2-0-2-0	0 佐賀

◇第二回戰

北大豫	4-4-0-0	0 二高
武藏	1-1-0-0	0 五高
早高	6-2-4-1	3 成城
東高	2-2-0-0	0 松本

S9.1.3

全國高校蹴球

第十一回全國高校蹴球大會第三日は三日午前九時半から帝大球場で第二回戰殘り四試合を擧行、引續き好晴でコンデイションは良好弘前健闘したが松山のため敗れ六高はいよ〳〵優勝候補の威力を示し今四日行はれる第三回戰において前回の優勝戰で相見えた六高と松山が對戰する事になつた、松山は復仇に燃えてゐるが選手の半數は疲勞に冒されて出場が危ぶまれてゐるからベストチームで臨み得るかどうかが懸念されてゐる

松山	1-1-0-0	0 弘前
六高	8-3-5-0	2 靜岡
水戸	2-2-0-0	0 成蹊
府高	3-1-1-0	2 八高

けふの運動

◇蹴球　全國高校大會第四日▲松山對六高▲水戸對府高▲北大豫對武藏▲早高對東高(九時半帝大)

S9.1.4

けふの運動

◇蹴球　全國高校大會第五日▲六高對水戸(十時)▲北大豫對東高(一時半以上帝大)

S9.1.5

高校蹴球

優勝候補の早高敗退

この日の番狂はせ

第十一回全國高等學校蹴球大會第四日は四日午前九時半から帝大球場で準々決勝戰を擧行、松山の復仇成らず六高の快勝に歸し北大豫對武藏、早高對東高の二試合は共に延長戰となり遠來の北大豫は武藏を降し早高は2―0のリードとなつた有利の試合を東高の追撃にあつて同點とし延長戰に移し東高リードで進めたが早高の追撃奏効して大接戰の末遂に同點無勝負となり抽籤の結果東高幸運に勝ち殘り優勝の呼び聲高かつた早高の敗退はまづこの日の番狂はせといへよう、斯くて六高、水戸、北大豫、東高が四強として殘り準決勝戰に進む事となつた

六高 4（2―0）1 松山

審判は吉野(主)太田、川原、江崎、宮澤(線)の五君

◇前半　十二分六高は中央のFKを築島好蹴しLI横山とつて永津、直木と渡つて直木シユートし更に二十八分RI永津のパスをCF直木シユートして2―0となる

◇後半　一分松山はLI廣野ドリヴルシユートして2―1と迫つたが六高は二分CF直木十九分LI横山の得點で4―1として勝つ

【六　高】
FW 築島　好蹴
HB 横山　永津
FB 直木　渡
GK 永津
FK 直木
CK 永津
GP 直木

【松　山】
FW 西田　家
HB 原田　林
FB 栗岡　宮小相政
GK 原田
FK 栗岡
CK 宮小相政
GP 栗岡

4 2 5 0
4 7 8 0

水戸 4（2―0）1 府高

審判は木村(主)佐藤、高橋、山田、光藤(線)の五君

◇前半　三分水戸はLI福田シユートして一點を先取し十三分CH米丸のゴールで2―0としたが府高は十六分RI滿のパスをRW波多野シユートして2―1となり前半を終る

◇後半　十九分水戸はRI大久保ドリヴルシユートして3―1と離し二十九分CF奥川突つ込みで4―1として勝つ

【水　戸】
FW 大久保　久
HB 奥川　二
FB 米島　保藤
GK 中庄
FK 米島
CK 保藤
GP 中庄

【府　高】
FW 嵐邊　東
HB 藤　勤
FB 多橋十　長
GK 五渡伊　加岩
FK 多橋十
CK 五渡伊
GP 加岩

2 6 6 2
3 1 2 4 0

北大 2（1―0）1 武藏

審判は金澤(主)古川、福安、持地植木(線)五君

◇前半　武藏はハーフタイム直前ゴール前混戰から出た球を前鴻したCH潮田シユートして1―0とリード

◇後半　北大はRW中江のパスをCF樋口ヅツシユして1―1の同點となる

◇延長　後半北大はCH池のフイードはCF樋口からRW稻垣に出で稻垣シユートして決勝の一點を加ふ

【北　大】
FW 池　加山石小
HB 江　勢中橋宮
FB 樋口太垣
GK 稻垣
FK 樋口
CK 稻垣
GP 樋口

【武　藏】
FW 邊田　牧　渡飯
HB 丸上田村　原
FB 弟兒　依吉吉田井潮田
GK 木田
FK 丸上田村
CK 依吉吉田井潮田
GP 木田

6 7 1 0
6 4 1 2 0

早高 4（1―0）4 東高

（抽籤勝）

審判は高山(主)荻原、大村、宮澤和田(線)五君

◇前半　六分早高はLW塚本の中央送球は流れてRW大越に出で大越のパスをRI野田シユートして一點を先取し更にこの直後RW大越の捌いた球をCF加藤ドリヴルシユートすれば東高のGK捕球失ℓなり早高2―0と離す、東高は十二分RF宮本の前送球をRW中井中央に出しLW伊藤とつてゴール正面に返すをLI森ブツシユして2―1と迫る

◇後半　十一分東高は早陣にFKを得加藤の好蹴よくのびCF阿部とつてシユートし2―2となる

◇延長　前半東高はRW中井の中央送球をLW伊藤シユートして3―2とリードし後半に入る、二分早高はLW塚本のパスをCF加茂ドリヴル後正面に出せばRI野田突つ込んで3―3の同點となり東高は三分右CKの好蹴をRI高橋押し込んで東高二度のリードとなりこのまゝ終るかと思はれたが早高は七分RH松森の長送球をCF加茂突つ込んで4―4に漕ぎつけ大接戰を演じた白眉の試合も遂に抽籤で決定づけられた

【早　高】
FW 藤　部橋井井田澤藤本本
HB 森　伊　阿高中堀野米加宮增
FB 本島淺田越野田森山野形
GK 塚木加野大關吉松森上村
FK 本島淺田越野田森山野形
CK 塚木加野大關吉松森上村
GP 塚木加野大關吉松森上村

【東　高】

5 4 9 0
5 9 1 7 0

全國中等大會蹴球

【大阪電話】全國中等大會蹴球の部の第一日は四日午前十時から南甲子園で第一回戰を擧行

明星商業 7（3―1 4―1）2 富山師範
青山師範 12（5―0 7―0）0 德島商業
廣島一中 6（3―0 3―0）0 宮城師範
御影師範 3（2―1 1―1）2 函館師範

S9.1.5

S9-1-6

六高、東高勝ちけふ決勝へ

高校蹴球第五日成績

第十一回全國高校蹴球大會第五日は五日午前十時から東大球場で準決勝戰を擧行、コンディションよく第一試合は水戸の力闘及ばず強豪六高に敗れ、第二試合は接戰の末東高辛勝して六高と決勝戰において相見える事となつた

六高 6（4―0／2―1）1 水戸

高山(主)宮澤、太田、江崎、吉野(線)五君審判

◇前半　六分六高はRW神實の中央送球がバアにあたつて返りゴール前の密集となつた時RI永津プツシュして一點を先取してからCF直木、永津とそれ〳〵一點を加へて4―0、ほとんど試合を決定して前半を終る

◇後半　二分六高は水戸GK中村逃出の隙をついてRI永津シュートして5―0と離せば水戸は八分RW二宮の中央送球から機會をさらへLI種田プツシュして一點を返し、5―1となる、六高は二十六分LF近石の前線送球をRW神實とつて中央にだしCF直木プツシュして一點を加へ快勝した

【六　高】

山口山木津實田原村石島田
山横直永神原安今近桑吉
田田川保宮澤丸田倉岡村
久
庄種眞夫二鹽米島保藤中

【水　戸】

東高 1（1―0／0―0）0 北大

金澤(主)、福安、持地、宮澤、光藤(線)五君審判

◇前半　五分東高は右CKを二回連取後、北大LF山中のタツチしたのをLI森とつて強蹴し一點を先取し北大は十七分東高陣にFKを得強襲したが無爲、二十一分東高ゴール右前に絶好の機會を得たがRW箱垣凡蹴して止む、以後東高の強襲も空しく二十八分北大は右CK後CH池の辛くもさばき出した球をLW仁保シユートしたが、バアを彈いて返る

◇後半　東高は七分迄北大陣に球を寄せて攻めたが空しく北大立て直つて好戰したが遂に得點に至らず惜敗

【北　大】

保岡口太垣田　勢中橋宮
仁外樋加稻本　池　加山石小
藤　部橋井井田澤藤本本
森　阿高中堀野米加宮增

【東　高】

1　6　0
0　10　0
FC　GP
FK　PK
FK　PK
FK　PK
4　7　0

審笛

◇…水戸善闘してほとんど互角に試合を進めたが辛くも零敗をまぬかれたに過ぎない、FW線はゴールの決定力鈍くバックスは忠實な動きを見せたが六高の好調にあるセンターの球捌きを破る事が出來ずに終つた、もう一段の凄味を加へねば實力としてあらはす事は出來ない、六高は強味を誇るFW線の兩翼案外不出來であるが連日堂々たる勝利の下に連覇の前一歩に迫つた、優勝は確實と見る

◇…北大はFW線兩翼の不振と拙劣によつて勝機を逸した、前半稻垣の凡蹴した機會が生きてゐたならば六高と雌雄を決する所まで進み得たであらう、單にこの機會のみではなく余りに眞ッ正直でありこれが無策となつて敗因となつてゐた、球は五分以上に北大側にあつた、おきまりぬ敗戰である、CH池を中心としての確實な動きは立派なまとまりを見せ前線送球も確實に行はれてゐたのであるからFW線の突つ込みと連絡がよかつたら敗戰に終るべきものではなかつた、東高は對早高戰に示した確實さなく極めて不出來の試合を演じた、捨身の早い球捌きで追ふもの〻強味を發揮して臨まねば六高の連覇を斷つ事は覺束ないのではなからうか(山田生)

全國中等蹴球

【大阪電話】　大毎主催全國中等學校蹴球大會第二日は五日午前八時から甲子園球場で擧行四試合とも白熱的接戰を演じた末左の如き成績を示した

明星 4（2―1）1 長崎師範
商業 4（2―0）1 師範
京都 1（1―0）0 青山師範
岐阜 4（3―1）1 廣島師範
師範 4（3―1）2 一中
御影 5（3―2）0 埼玉師範
師範 3（1―0）0

けふの運動

◇蹴球　全國高校大會第六日決勝
六高對東高(一時半帝大)

S9-1-6

東高を押へて
六高連覇す
全國高校蹴球終る

第十一回全國高校蹴球大會第六日の六高對東高の決勝戰は六日午後一時半から東大球場で高山(主)金導、持地、荻原、太田(線)五君審判の下に六高の先蹴で擧行、西風の軟風あつたがコンテイションは申分ないものであつた、六高は前半原田の長蹴で一點を先取してからつゞいて攻めたペナルテイキックで更に一點を加へ2—0のまゝ強引に押し切つて優勝し二ケ年連續覇權を獲得した

六高 2(2—0)0 東高

◇前半　開始直後六高は右CKを三回連取したが東高よく防ぎこの直後RH米澤の前線送球でFW線一齊に進み六高ゴールに迫つたがバックスの死守にはゞまれてやむ、六分は五分左CKを得大屋のキツク鋭かつたが前出してゐたLH原田に出で原田長蹴すれば球はよく伸びて鮮やかにゴールインとなり七分東高高橋のハンドでPKを得永津のキツクでゴール右を劃り六高早くも2—0とリード、十五分東高は右CKを得中井好隆して機會となつたが六高GK吉田の見事なセーヴにつぶされ二十分自陣にFKを得て強襲しCH野田の前送球六高ゴール左前に出たがJW伊藤のスタート遲れて凡蹴となつて終る、二十八分六高は右CKからLH原田の送球で攻めたが東高よく守り三十二分東高はJH堤井の送球をLW伊藤とつてドリヴルシユートしたが六高ゴール前を流れて止み六高優勝の中に前半を終る

◇後半　四分東高は左CKを得て攻めたが六高のバツクス鄭守し六高は五分右CKを凡蹴してから九分RW神鷲の送球をRI永津トリヴルシユートしたが惜しくも外れ東次第に疲れを見せて動かず六高はほゞんど東高陣に球を置いて強襲を續く、十五分東高はRF宮本傷ついて退場してから益々苦戰し三十八分右側から進出し幸くも左CKを得て攻めたのが無爲、六高よく攻めるがシユートきまらず後半無得點に終る

【六　高】

屋山 木津 實田 原村 石島田
大横 直永 神原 安今 近藤吉
FW
藤 部 橋井 井田 澤藤 本本
HB
森
伊 阿高 中城 野米 加宮 增
FB GK

18 3 7 1
CK KK KK PK
6 7 2 8 0
CF GP

【東　高】

◇…六高の優勝は豫想された所のもので當然の結果を殘したといふ事に盡きよう、前半五分LH原田の長蹴は快く伸びた鮮やかなものであつたが東高はゴールアウトと誤認したのか看過の一點となつた、東高にとつては不祥のスタートで動搖を來してゐる矢先に左後方に思ひ切り下つてゐたRI高橋の過失のハンドは六高にペナルテイキックを許して2—0といふ大きな負擔が東高に課せられてしまつた、こゝにおいて六高のねばり強いプレイは拍車をかけ東高の弱氣は一層萎縮し早くも前半七分にして勝敗を決定づけて試合が運ばれた、飽迄不運の東高は後半に入つてRF宮本傷ついて退場といふ破目に陷り悲壯な試合を續ける事になつた

◇…東高はHB線の偏した後退、FB線のあたりは出ず、FW線に滑らかなパスを見なかつたのは前半向ひ風の不利もあつたが戰前既に氣はくにおける相違があり體力の差があつて勝敗を決定してゐたと見られる、巧味は東高にあり個人の強味は六高にあり六高は然も個人のこの強味をよく綴り合せてゐたが東高は個人の巧味に生きてチームとして生きる所がなかつた之も見逃せぬ勝敗の分岐であつた

◇…後半はほとんどワンサイドゲームであつた拘らず六高の無得點はチヤンスメイカー永津をめぐつてよく球を寄せてもとほし方の單調とショットの不確實にあつた、もつともこのかげには東高の死守があつたのはもちろんである

◇兎まれ六高の制覇は不斷の努力の賜物として推賞さるべきものでバックス弱しといふ評判はあつたがこの日の動きを見るならば堂々優勝の貫目を十分に見せてゐた、地の利を占めて十五校を送つた關東が同士打はあつたにしても四强を殘しながら六高に連覇をなさしめた事をはぢねばなるまい

（山田生）

S9.1.7



優勝した六高チーム

蹴球關東側監督決定　第十回極東大會蹴球代表選拔東西對抗選拔試合は二十一日甲子園、二十八日神宮で二回擧行されるが昨年十二月二十五日選拔された關東側選手は八日午後六時から蹴球協會事務所において選手會を開催、關東チーム監督マネージヤー主將を左の如く決定發表した

監督竹腰重丸(帝OB)、マネジヤー工藤孝一(早OB)、主將井出多米夫(早OB)

尙關東チームは九日午後三時から練習を開始する

S9.1.9

岐阜師と秋田工勝つ
全國中等蹴球

【大阪電話】　南甲子園における全國中等學校蹴球大會の最終日は七日午後零時半から明星商業對岐阜師範の決勝戰を擧行、岐師が優勝した【審判杉村(主)大谷、市橋(線)の三君】

岐阜師 8(2—0)0 4 明星商

京城師範對秋田工業の試合は阿部(主)椎名、野田(線)三君審判の下に秋田の先蹴に午後三時開始、秋田のFWは猛烈な元氣を見せて京城を壓し一ゴール一ペナルテイゴールを擧げたのに對して常勝軍京城は今岡が負傷退場したのにもよるが秋田のため完全に押されて一ゴールを返したのみで敗れ秋田工の優勝となつた、閉戰四時五分

秋田工 8(3—0)0 5 京城師

S9.1.8

けふの運動

◇蹴球　YCAC對コルフエー號(十時半YCAC)

S9.1.14

蹴球

後半形勢逆轉 關東連勝

第三回東西對抗

【大阪電話】第三回東西對抗蹴球の第一回戰は二十一日午後一時五分から甲子園南運動場で杉村（主）和泉、永野（線）三君審判關東の先蹴に開始、グラウンドは前日の雪に荒されて濕りあまつさへ濱から吹き寄せる風は可なり強くコンデイションはすこぶる惡かつた、試合は關西前半風上の有利の地位に立つて三對一とリードしたが後半に入つてからは關東漸く常備の物凄い元氣を見せて形勢逆轉、關東は五對三で勝ち關東連勝した

關東 5(41)—(3)3 關西

◇前半　關西風上に陣し敏捷的に關東を壓し二十一分關西LW太谷が關東ゴール前でドリブルに進む時關東のトリツピングでPKを得西邑のショツトはGK熊井の左を破つてゴール、關西はこゝに一點を先取す▲三十一分關西西邑のパスを東浦受けて左に返せば關東の井出直ちにシヨンとなりGK熊井とのコンビ取れず大谷轉く蹴つてゴールイン▲關東はその直後逆襲に出で川本のパスを野澤見事にドつゝき得點、關東やうやく一點を返す▲三十八分關西大谷のセンターリングを東浦巧みに關東バツクスの前に出でそのまゝ蹴つて得點▲その後關東やゝ盛返したが關西バツクスの好防にはゞまれる內ハーフタイム

◇後半　十六分後關東は右から攻めをへ大きくセンターリングすればLW德田ノーマークでフリーシユートして得點▲關東猛然と攻る內二十七分德田のセンターリングを名取川本飛込んでGK金澤をチヤージし押込んで得點し同點となるその後關東は右CKからボールがゴール前に落ちたところを川本強襲して得點し試合は逆轉して關東四—三とリードを奪ひ▲關東またも左CKから名取のシユートでゴールを割つて五—三となり大勢はこゝに決した

【關西】
谷邑 浦川 橋西崎 安藤 部澤
FW
HB BK
FB GK
出取 本澤 地山原 近木 出井

【關東】
德名川 野永 高立 右鈴 井熊

◇：大なる期待をかけられた關東のHB線はCH立原大事を取り過ぎて消極的に位置し、ひう落高山、右近の關子出でざるに比し溫力と見られた關西HB線は小粒ながらCH三崎の好位置を占つて川西福安の關翼よくその持味を示して瀕點の動きに前線の活動を遺憾なからしめた、と共に關東陣のパスをよくしカツトとして堂々たる戰陣を布いたが關東勢は風に妨げられたさはいへ追走の後手のみ引いて屢々、又FW線は早い球捌きと極めて瓣實なパスワークを以て關東の後陣を突きまくつて勝つた前半三對一の優位に立つたのは當然の結果であつたといへよう

◇：もつとも關西の收めた第二點は關東FB井出の惡條件を無視したゴール前の壓斷を破つた不覺の中から醸したされたチヤンスの決定である第三點は直接的な責任が誰れといふのでないが關東側バツクスの過失に乘じたチヤンスの奪取であつたけれどもこれを決定し行く程關西のFW線はラツシユを忌れず關東勢のバラバラに比すれば見事な結合であつたといふ事が出來る、試合を失つた主因として試合中途から生じた勝氣に副はぬ關志の不足であつた（三宅、山田）

89.1.22

審笛

第三回の對抗試合は極東大會の派遣選手決定でふ個人的にも重要な役割をたたへて行はれた、關西は甲子園名物の濕風を利して好調のスタートをなし、まづペナルテイ・キツクに幸先を祝つて關者ぞろひの關東軍をして乘ずるすきを與へず宮企に試合をリードし關東勢をして顏色なからしめて前半を終つた

◇：後半に入つて關東の鋭い攻撃を支へ切れず四對三のスコアを殘して前半の華やかな場面を一たまりもなくつぶし去つて一般の豫想に落ちてしまつた、事實關西勢は二十分の試合に基へ得るに過ぎず關東勢は九十分の試合に堪へる實力の相違を見るのがこの一戰の全貌である

東西選拔選手對抗蹴球陣容

【大阪電話】極東蹴球大會の派遣選手を選定すべき第一次後選を兼ねた第三回東西選拔選手對抗蹴球試合は二十一日午後一時から阪神甲子園南運動場で擧行されるが兩軍の陣容は次の如く決定發表された

【關東】
田取本澤地山原近木出井
FW
HB
FB
GK
德名川野永高立右鈴井熊

【關西】
谷邑浦川橋西崎安藤部澤
FW
HB
FB
GK
大西東前大川三鵜後安金

89.1.20

6——1

後半に支離滅裂
關東、關西に慘敗

蹴球東西對抗第二次試合

第三回東西選抜對抗蹴球第二次試合は去る廿一日甲子園における第一次試合關東軍勝利の後を承け二十八日午後二時から神宮外苑競技場で好天無風球場の狀態も申分なく絶好のコンデイションの下に時計台側關西軍の先蹴で開始された前半1——1の接戰も後半に入つてコンビ不足の關東は支離滅裂の陣を布いて惡戰を續け十九分から二十六分迄に四點を許して早くも大勢決し關西は堂々復仇を遂げた

關西 6（1——0）1 關東

【審判官田（主）杉村、岩波（線）三君】

◇前半　七分關東は左CKを二回連取し二度目のキックはゴール左寄りに落ちるをGK金澤打つて外しこの直後關西も左にCKを得たがGK關井の巧みなクリヤで外す、中央で思づまる接戰を繰り返し十九分關東は自陣左隅のスローインの球は關西はRW中野に衝はれ中野のセンターリングはGK關井とつたが堺井、前川のためチヤージされて關東ゴール前密集となつて關井の辛くも掬いた球はLW大谷とつてゴール前に返しCF堺井シユート入つて關西一點を先取▲二十五分關西は關井の捕球を溢かして漏れ球をLW大谷シユートしたが高くアウトとなり關東はこの直後LW藤岡の送球を名取——塚部と送つて塚部シユートしたがこれも外れ二十六分CF川本強引のドリヴルで右寄りからクリーンシユートして同點

◇後半　十九分關西はCH三崎の左前送球を關東の井出カツトを拙じLW大谷とつてドリヴルシユートして2——1ぜリードし▲更に二十分LW中野の左前送球をLI西邑シユートして3——1と開き▲二十二分關西はCF堺井長蹴して見事なゴールを擧げ4——1となり大勢を決す▲二十六分RH川西の左前送球をLW大谷中央に返した時RW中野鐵で押し込み一點を加ふ▲三十分關東はCF川本左側に寄せたドリヴルから機會となつたが空しく終る、三十五分關西はGK金澤のクリヤした球を一擧攻撃に供しCF堺井ドリヴルシユートして得點、關東の挽回成らず後半は遂に無得點6——1の慘敗に終る

【關　西】

谷邑	井川	野西	崎地	塚部	澤	
大西	堺	前中	川三	持後	安金	
		FW				7
		HB				3
		FB				1
		GK				2
CK	CK	CK				8
FK						5
GO						1
岡	取本	部川	山崎	近木	出井	1

藤名川家長高大右鈴井能

【關　東】

審笛　◇…關東は第一次試合の陣容を藤岡、塚部、長谷川をFW線に送りCH立原を加へて大崎としたのに對し關西は堺井、中野をFW線に持地をHB線に送つて對戰した、關東はホームグラウンドと前回の勝利に鑑みてこの編成となり何となく不安を感じさせたものであるが、この不安は具現されてかつてみないスコアを殘して慘敗となつた

◇…關東は前半立ち遅れ懸命の努力は一蹴につきるといふコンビを欠いた單的のものでただ個人の力強さのみが殘されて試合を進め後半に入つては選抜軍の陷り易い欠點を遺憾なく暴露して敗れた

◇…これに反し關西軍は後半に入つて各自の技能を遺憾なく發揮しこれをよく綴り合せて強力の陣を布き勝ち誇つた關東軍を完膚なき迄に打ち破つた



◇見事なシユート　後半十九分大谷のシユート決定

◇…今次の試合においては關東がチーム編成を誤つたもちろん選抜の便宜上これは當然とするも本質は東西選抜對抗にありチーム編成の失敗もこの點から見れば指摘し得るものである、もともとこの兩兎を追つた形式は種々の事情で許さざるとするも三回戰を行ふのが至當であつたと思ふ東西選抜對抗からしても極東代表選抜の資料收集から見ても關西は成功を收めた、FW線は滿力HB、FB兩線は攻守ともに揃劣を極めた關東軍は各ラインの滑らかな連絡の欠けた事はもちろん各ライン間は支離滅裂でチームとしての形骸を認め得なかつた、敗戰は當然の結果である

◇…極東代表選抜に重點を置いて個人の出來榮を檢討すれば關東ではパツクスのフイード不足からFW線の活動意の如くならぬものがあつたにしても二度の出場である川本、名取の兩君とHB線では右近、高山兩君の飛躍が印象づけられたに止まる、關西はパツクスの當り極めてよいのに正確なフイードが行はれパスワークも滑かで遠かに行はれ寄せも鋭く攻めてよく守つて實に力強いものであつた、後半パツクスの長蹴戰法をハツキリさせて飽く迄强攻に出たのはマンマと關にあたり快勝の因をなした、實力の相違といふより不出來の上に戰略のそこが勝敗を決定づけたといふのも過言ではなからうこの大試合において關東軍が僅か七分にして四點を許した不仕だらより後半中途で試合を放棄してゐた事を責めたい（山田生）

朝鮮蹴球團上京

全鮮蹴球選手權保持チーム朝鮮蹴球團は上海遠征の途次二月一日上京し五日對慶應、八日對慶大の二戰を行ふ事に決定した何れも神宮競技場で午後二時のキックオフである

S9.1.29

S9-1-29

朝鮮蹴球團

五日、八日に
東京で二戰

上海遠征の途上立ち寄る朝鮮蹴球團は來る五日八日の兩日神宮外苑競技場で東都學生蹴球リーグ一部の強豪慶應、農大と一戰を交へる事となつた、このチームは朝鮮の各校現役のB一流プレイヤーを以て組織され昨年度の鮮內覇權を握る朝鮮における最強チームであつて、朝鮮チームがほとんど定期的に試みて居た上海遠征の戰績は第一回の七年前が四勝一敗、四年前は三勝二敗で相當な成績を上げてゐる、今回立ち寄るチームの實力は彼我を比較する材料が無いので未知數だがキックの強さ操球の巧妙さ等蹴球技に天才的な素質を有する彼等は個人のプレーにおいては我がプレイヤーを凌いでゐる、朝鮮軍のメムバー左の通り

△監督白命坤△主將金元謙（FW）蔡金鋼、崔成採、金永根、裴完浩、朴永燁（HB）金容植金元謙、姜基淳（FB）方昌鎬安尊元（GK）李愚連（補欠）金化榮、李正現、朴突、朴日順

S9.2.3

朝鮮蹴球團

元氣で入京

朝鮮蹴球團一行十二名は白命坤監督に引率されて四日午前八時半東京驛着列車で元氣に入京、直に宿舍日本青年館に入つた、五日は對慶應、八日は對農大の豫定通り二試合を行ふが二勝を記錄したいと素晴らしい意氣込みである、今五日の對慶應戰の陣容左の如し

（容）（永）　（元）（化）
FW　HB　BK　FG
金崔金朴金姜金尹方金李

尙一行の上海行は上海より確定的の回答に接せず東上を以て遠征は中止されるかも知れないので二試合に全力を傾けるといつてゐる

けふの運動

◇蹴球　朝鮮蹴球團對慶應（二時神宮）

S9.2.5

けふの運動

◇蹴球　西海氏追悼試合（三時半青師）

S9.2.6

西海氏追悼蹴球　西海

氏追悼蹴球試合け六日午後三時半から青師球場で擧行結果左の如し

東京蹴球團A3——1青　師
東京蹴球團B3——0青　師

S9.2.7

極東大會出場の蹴球代表決す

晴の十七選手

第十回極東選手權大會蹴球代表決定に關しては愼重を極め數次の選考委員會が開催されて選考が重ねられ去る一月廿八日の委員會の結果を大日本蹴球協會に提出し協會は五日正午協會事務所に理事會を開き審議の末、晴れの代表は左の十七選手に決定し同時に總監督鈴木重義氏、選手監督竹腰重丸氏、マネージャー工藤孝一氏と役員も決定の上發表された

正選手

【FW】大谷一二(神戸高商出)西邑昌一(關西學院)名取武(早大)川本泰三(早大)堺井秀雄(關西學院出)野澤晃(早大)中野重美(京大)【HB】川西隆(關西學院)高山英華(東大)立原元夫(早大)右近德太郎(慶應)【FB】鈴木保男(早大)後藤靱雄(關西學院出)井出多米夫(早大出)安部輝雄(關西學院出)【GK】熊井俊一(早大)金澤宏(京大)

補欠

三崎四郎(關西學院)大崎長彌(慶應)堀江忠男(早大)松永行(文大)藤岡博(慶應)綿繩八郎(慶應)の六君が補欠に決定

二月十日から關東西に分れてそれぞれ合宿練習を行ひ三月十六日から東伏見早大球場で全選手集合竹腰監督指導の下に本格的の合宿練習を行ふ事になつてゐる

S9.2.6

5—2

朝鮮蹴球團 慶應を破る

入京第一戰に凱歌

朝鮮蹴球團の入京第一戰たる對慶應の試合は五日午後二時から神宮競技場で野村(主)上野、本郷(線)三君審判の下に朝鮮先蹴で開始西南の軟風、フキールド・コンデイション極めて不良、キックを利かした朝鮮は前半2—0と離し慶應後半に入つて立直り2—2としたが朝鮮の速攻成功して三點を加へ5—2で快勝し入京第一戰を擧げた

朝鮮 5(2—0)2 慶應
(3—2)

球場の狀態極めて惡く練習不足であり體力劣る慶應の敗戰は當然であつた、朝鮮は前日入京長途の汽車の疲れも見せず極めて元氣にその優れたキックを利かして慶應を引き回した

◇…朝鮮は早い出足と優れたキックに果敢のプレイを見せて速い強攻法に成功した、球場の惡狀態からすれば體力のすぐれて強いキックを持つものに有利であるは言ふまでもない、前回東上した朝鮮蹴球團に比すれば見違をはなれて早い球さばきに滑らかなコンビネーションを期してゐるあたり大進歩といへる、走力を利した疾風迅雷的の寄せは一際目立つてゐる、もう少し技巧を弄する事なく効果ある展開を期して球を寄せるならばより強いチームとなり得るだらう

◇…後半中途で立て直つた慶應は一度混亂に陷ると收拾の途がない、バックスに強力なる中心となつて采配する人が欲しい

◇…CF增田の位置と球捌きが當を得てゐたならバックスの過失によつてうしなふスコアの開きを得點によつて補ふ事が出來たであらう、かゝる惡狀態にあつても押し切り得る力を養ふ事は慶應にとつて必要な事である(山田生)

試合經過

◇前半　長蹴と早い球捌きで慶應陣に攻めてゐた朝鮮は五分LI崔のドリヴルでバックスを破りシュートしたが慶應はRF伊東てい身これをつぶし慶應は九分RH石川の長蹴で始めて朝鮮ゴールを襲つたがGK李の見事なキープで終る、朝鮮は十一分左CK後右側に回されたボールを朴(永)朴(義)金(永)密集ドリヴルで慶應ゴール正面に出しLI崔シュートして一點を先取

▲…慶應は此後HB線の多い前送球で朝鮮陣に攻めたがFW線の捌球惡く止み二十三分朝鮮はLH康の右前好送球をdW朴中央送球しCF金シュートしてゴールを割つたがオフサイクでやむ、三十分慶應はLI播磨右側に寄つて中央線邊から十五米位デリブルし右前に好送球したがRW駒崎のキツク切れて絶好の機會を逸す朝鮮は三十二分CH金の前送球を中央三人リターンパスで進みLI崔ドリヴル後シュートして點を加へ2—0のリードとなる

▲…三十七分慶應はRI塚部ドリヴルの時朝鮮LF方タツクルを試みた際ハンドあつて慶應はPKを得塚部キツクしたが左に外れて止む、四十三分慶應はRW駒崎のシュート右柱を彈いてゴール・アウトとなる

◇後半　十二分慶應はLF伊東のハンドあり朝鮮PKを得金(容)のキツク覇くGK鎖線とつてゴールアウトとして慶應危地を脫す、十五分慶應は左側から寄せ右に寄つた右近高目のシュートはGK李捕球を損じたが幸運のアウトでのがれ慶應との右CKで强襲したが無爲、十九分慶應は右CK後中央線付近に返された球をLH岩波右前にだせばRI塚部とつてロングシュートして一點をあげ2—1とし

▲…更に二十五分RI塚部の左前送球をLW藤岡ドリヴル後捌いた球をLI播磨とつてシュート2—2の同點となる

▲…二十七分朝鮮は右CK後朴(永)の中央送球を慶應は一旦クリヤしたが球はノウ・マークのLW金(容)の前に出で金鮮かなサイド・キツクでゴールを襲ひ再びリードとなり

▲…この直後RI崔の果敢なラツシュにつゞいてのシュート成つて4—2と開く

▲…慶應の攻撃また終息し朝鮮は四十分CF金慶應バツクスの崩れた隙にドリヴル・シュートして點を加へ第一戰を收めた

【朝　鮮】

	植	1
	採根	3
	鈺	2
	換	1
	淳	1
	謙	1
	順	1
	福	1
	榮	1
FW	逢	1
	容	1
	成	1
	永	1
	義	1
	永	1
	基	1
	元	1
	昌	1
	昌	1
	化	1
	愚	1
	金	1
	崔	1
	金	1
	朴	1
	朴	1
	康	1
	金	1
	尹	1
	方	1
	金	1
	李	1
HB		3
BB		2
GK		1
CK		1
FK		1
CF		1
GP		1

【慶　應】

岡	6
藤	1
增	3
塚	1
駒	1
崎	1
波	1
近	1
川	1
越	1
東	1
石	1
石	1
塚	1
伊	1
穎	1



慶應GKの好防【朝鮮對慶應の蹴球戰】

本社の朝鮮蹴球團歡迎會

去る四日入京した朝鮮蹴球團の鄭寅昌氏他十三名を迎へて七日午後二時半から本社新聞記念室において歡迎茶話會を開催大日本及び關東兩協會役員、本社側から美土路總務、小高運動部々長等十余名出席美土路總務の歡迎の辭についで鄭氏の謝辭あつて後歡談に時を移し一行は社内見學を終つて四時十分宿舍に引上げた

けふの運動

◇蹴球　朝鮮蹴球團對慶大(二時半)マネージヤーチーム對記者團(零時半以上神宮)

S9·2·8

S9-2-6

6—0
朝鮮の力闘 農大零敗
きのふの對抗蹴球戰

朝鮮蹴球團對農大の試合は八日午後二時から神宮競技場で高山(主)杉浦、片岡(線)三君審判の下に朝鮮の先蹴で開始、西北の軟風あるがフキールドコンデイションは良好、朝鮮は入京慶應を破つて意氣昂にあがり前半僅か一點を收めたに過ぎなかつたが後半よく引き回して五點を加へ大勝し入京二戰二勝を記錄した

朝鮮 6(1—0)0 農大

◇前半 開始後一分農大はLW上田ドリブルシユートしたがGK李のセーヴで朝鮮最初の危機を脫し、朝鮮は五分左CKを得金(容)の好蹴をGK川本とつてのがれ農大は廿九分CH杉浦の好送球で攻め密集となつた時LI大前シユートしたがゴールアウトとなつて絶好の機會を逸し朝鮮は三十一分LH康の右前送球をRW朴(永)とつてシユートした球を農大はGK川本フアンブルしRF塚原のバックアツプは失敗に終つて農大一點を失ふ朝鮮はこの後三十五分、四十分の機會あつたが農大GK川本のためつぶされてやむ

◇後半 朝鮮は一分左CK後農大ゴール前の混戰からもれた球をLI崔クリーンシユートして一點を加へ二十一分LW金の長蹴きまり3—0と開く、二十六分農大はCF石井強引に寄せたが惜しい所でつぶされ朝鮮は二十九分RW朴の中央送球の時GK川本出たが間に合はず朝鮮はCF金引かけてきめ更に三十六分左から攻めゴール右前に出た球をRW朴鐘を落してシユートし5—0と大差を作る、農大全く自陣に惡戰し朝鮮は三十

【朝鮮】
GK 康根燦 FB 李龍善 崔榮逵
HB 金容成 水基元 昌昌化 愚
FW 金崔金朴康金尹方金李
(RW朴(永)(IL)權野渡浦島(文)原本
井(GL)井(文)
上大石眞大江杉辛石塚川

【農大】

九分RW朴の辛くも拂き出した球をCF金シユートして點を加ふ農大との直後強襲を試みたがFB線を破つた丈けで終り零敗を喫した

審笛

◇…リーグ戰終つた後もうまず練習を續けてゐたと傳へられた農大は石井君がFW線に出で杉浦君がHB線に進んで陣容を更新してゐるので試合の運びもかはり相當の期待をかけたのであつたが遂に無得點しかも六點を許し壞滅してしまつた

◇…朝鮮蹴球團は慶應を5—2で破り農大を零敗せしめて二戰二勝を記錄して退京するのであるがその得意や思ふべしである、遠征の不利の條件はこの相手となつた慶應、農大のリーグ戰終了後の氣乘薄と相殺されるものであつたが今日の實力はスコアの示した通り朝鮮蹴球團に優れたものがあつた、遠征軍が二戰しかも十分かすは偉とするに足る記錄である

◇…前半は向ひ風の不利もあつたがその優れたキックは利かず球の寄せに鈍い所があつたが後半に入つては對慶應戰に示した以上の滑らかな球拂きとFW線はシユーテングレンヂを擴大する一方農大の虚を衝早くとらへてよく衝きまくり快勝した、HB線の前線送球とFBの強いキックはFW線に確實に集中されそれに相互のファロウ・アップよくFW線の好適の判斷と相待つて後半は見事な出來榮えであつた、然し幾度かの危機を招來したのを無失に終つたのはGK李君の活躍であつた

◇…農大が冒頭の機會を逸したのは試合を運ぶ上に大きな打擊となつてゐたと思ふ、朝鮮が次第に好調の波に乘るのに反しパスワークは亂れFW線は中央三人の攻擊効果を擧げるには余りに不十分の動きで朝鮮のGK李君の活躍ばかりが無失に終らしめたものではない兩インサイドの進退は一考の要があるしバックスのマーク不足な敗因の主なるものとせねばならない

◇…朝鮮はオフサイドのつぼにはまつて數度の失敗を重ねた見落しの不足があり農大の巧みなワナであつたが農大はこのワナを最後まで張り切れなかつた、農大は嚴しいマークの下に消極的でも試合を選んでゐたならこの大敗は招かずに濟んだであらうし走力に和する前線送球と球拂きを早くしてゐたなら無得點に終るものではなかつたと思ふ、いづれにしても農大今日の出來ではこの結果はやむを得ない(山田生)

S9.2.9

記者團零敗 東京大學蹴球聯盟マネージヤーチーム對運動記者クラブの蹴球戰は八日午後零時四十分から神宮競技場で擧行

マネー3(3—0)0運動
ジヤー3(3—0)0記者クラ

S9.2.9

けふの運動

◇蹴球 農大對横濱外人(三時十五分横濱外人球場)

S9.2.11

慶、文、早勝つ OB蹴球戰

東京大學OB蹴球リーグ戰第一日は十八日午後一時から本郷帝大球場で三試合を擧行、慶、文、早がそれぞれ一勝した

慶應 3(2—0)1 青學
文 大 5(3—2)2 明 大
早 大 5(4—1)0 法 政

S9.2.19

OB蹴球リーグの試合日割

東都七大學OB蹴球リーグでは本年度リーグ戰を抽籤により二組に分ち各組の優勝チームの對戰によつてリーグ優勝を決定する事となり、十三日午後各チーム代表委員の結果各組所屬及び試合日割を次の如く決定發表した(球場は總て本郷帝大球場)

「一組」慶大○●B、青學○●B、明大○●B、文理大○●B
「二組」早大○●B、法大○●B
東大○●B

△二月十八日(日)
慶大對青學一時、明大對文理大二時十五分、早大對法大三時三十分

△二十五日(日)
慶大對明大一時、青學對文理大二時十分、早大對東大三時

△三月四日(日)
青學對明大一時、慶大對文理大二時十分、東大對法大三時三十分

△三月十一日(日)
兩組優勝チーム決勝 二時

S9.2.14

けふの運動

◇蹴球 記者團對青師第二軍三時青師)

S9.2.20

青師二軍對記者團蹴球引分

東京運動記者團對青師第二軍の蹴球戰は二十日午後三時半から青師球場で擧行、三對三の引分けとなる

S9.2.21

けふの運動

◇蹴球　大學OBリーグ戰―慶應對明大(一時)青學對文大(二時十分)早大對帝大(三時二十分帝大)

◇蹴球　YCAC軍對ゴモリン號乘組員(十時)農大對YCAC(十一時十五分)以上YCAC球場

S9.2.25

二十五日の運動

◇蹴球【横濱電話】横濱外人5―0農大、外人二軍1―1ゴモリン(英艦)

S9.2.26

蹴球

東京大學OB蹴球リーグ戰は廿五日午後一時から甲大球場で三試合を擧行、本シーズンの優勝候補早帝の一戰は豫想されたやうに接戰を演じ後半早大チャンスをよく捕へて勝つた、この他慶應快勝し青學はタイムアップ直前得點して勝敗を決定した

慶應 8(5―1, 3―0)1 明大

明大先蹴、審判川田(主)長田、須田(線)三君

【明　大】

	島井山木藏内藤島見崎田	
FW	濟川丸赤土大伊三澤濱原	0 4 19
HB	櫛山谷塚藤丸田坂池多田	
FB	額賀角大伊松濱長小本島	6 1 5
GK		

【慶　應】

CK 0 2 20
FK
GK

青學 1(0―0, 1―0)0 文大

文大先蹴、審判伊藤(主)遠見、大內(線)三君

【青　學】

	永村部阪知部田本田爾田	
FW	家園服長可宮川根須岩菅	
HB	田谷木時澤村原澤內下澤	10 1 12
FB	坂小佐後小中槇大竹木盟	
GK		

【文　大】

CK
FK
GK

早大 3(3―0, 0―0)0 帝大

帝大先蹴、審判西川(主)住、浦野(線)三君

【早　大】

	松藤木部村取出井本田藤	
FW	三工鈴阿野名井熊高山伊	5 1 12
HB	山木島宅藤川腰田岡生野	
FB	高亜手三伊市竹和船朝奥	3 1 7
GK		

【帝　大】

CK
FK
GK

S9.2.26



OB戰 東一法の熱戰

けふの運動

◇蹴球　農大二軍對YCAC二軍(二時)東蹴對YCAC(三時)以上横濱YCAC

S9.3.3

けふの運動

◇蹴球　青學OB對明大OB(一時)慶應OB對文理OB(二時十五分)帝大OB對法政OB(三時半)以上本牧帝大

S9.3.4

決勝は早慶

東大學OB蹴球

東京大學OB蹴球リーグ第三日は四日午後一時から東大球場で青學對明大、慶大對文大、東大對法政の三試合を擧行慶應はA組において三戰三勝して優勝し、B組の優勝早大と來る十一日決勝戰を行ふ

【成績】

◇

		明	文	青	慶
A組	明大		0×0	0×0	0×2
	文大	0×0		0×0	0×2
	青學	0×0	0×0		0×2
	慶應	2×0	2×0	2×0	

		取	0	1	2	3
B組	法政	0		0×0	0×0	0×2
	東大	1	0×0		0×2	2×0
	早大	2	0×0	0×2		2×0
	慶應	3	2×0	0×2	0×2	

		定點	6	4	2	0
		定點	4	2	0	

慶應 B2(1―0, 1―1)1 文大

慶應先蹴、審判は伊藤(主)川井、丸山(線)三君

【文　大】

	田)谷木內原原村	
FW	澤(谷木內原原村	
	青(小木後佐竹槇小今	2 4 15
HB	綱崎谷塚東	
FB	丸田坂池多田	
GK	額賀角大伊松濱長小松島	6 2 10

【慶　應】

CK
FK
GK

東大 5(2―0, 3―0)0 法政

法政先蹴、審判は工藤(主)村形、上野(線)三君

【法　政】

	龍野仲川島田 野部澤塚	
FW	大浦小西後藤 佳 青渡金手	2 2 19
HB		
FB	鶴島島宇村川島田岡生原	
GK	東中手三木市生和船朝東	5 2 4

【東　大】

CK
FK
GK

S9.3.5

けふの運動

◇蹴球　青師第二軍對運動記者ク（三時、青師）

S9.3.6

けふの運動

◇蹴球　實業團大會第一日（二時本郷）文理大對ＹＣＡＣ（三時十五分ＹＣＡＣ）

S9.3.10

鈴木選手病み 堀江選手拔擢

蹴球の代表

極東大會蹴球選手として推薦された鈴木保男（早大）君は過般來肋膜を病んでゐたが最近病勢昂進し參加不可能となつたので選考委員會では近く補欠の堀江忠男（早）君を拔擢して鈴木君に代へるものと見られてゐる

ＹＣＡＣ勝つ

【横濱電話】文大對ＹＣＡＣ蹴球戰は十日午後三時十五分からＹＣＡＣ球場でセヴンソン（主）佐藤、林（線）三君審判の下に文大先蹴で開始、後半に入つてＹＣＡＣの鋭い攻撃にあつて文大支へ切れず敗る

ＹＣＡＣ　3（0―1）3―1（2）文　大

S9.3.11

S9-3-11

實業團蹴球

實業團大會第一日は十日午後二時十分から東大球場で第一回戰一試合を擧行結果左の如し

千代田生命　6（1―0　5―0）0　共同火災

けふの運動

◇蹴球　東京大學ＯＢリーグ決勝早大對慶應（二時帝大）實業團大會第二日（三時半帝大）



後半早大崩れ 慶應優勝

ＯＢ蹴球リーグ戰

6―2

東京大學ＯＢ蹴球リーグ決勝早大對慶應の試合は十一日午後二時から東大球場で船岡（主）津村、高木（線）三君審判の下に慶應の先蹴で開始、前半早大は少いチヤンスをよく決定してシーソーゲームを演じてゐたが後半慶應は斷然優れたＦＷ力を以て四點を加へ6―2で快勝しこのシーズンの覇權を獲得した

慶應　6（2―2　4―0）2　早大

◇前半　二分慶應は中央を割つて出で早大ゴール前の混戰から漏れた球をＬＨ松丸シュートして一點を先取、六分早大はＣＦ鈴木ドリヴルで進み慶應はＧＫ島田これを防いで密集となり島田この中から放り出した球をＣＨ井出とつてシュートしたがバアを彈いて終り纏いて中央線左のスローインから早大進みＣＦ鈴木ドリヴルシュートして得點1―1となる、三十分早大はＲＷ野村の中央送球の深く出たのをＬＩ横村辛くも右にさばき出しＲＩ工藤プッシュして一點を加へ2―1早大のリードとなりこのまゝ前半を終るかと思はれたが慶應は三十四分ＣＨ濱田の右前送球をＲＷ伊藤中央に出し球はそのまゝゴールインとなる

◇後半　開始直後慶應は左ＣＫを得早大ゴール前混亂となつて押しだされた球をＣＦ角谷きめて3―2慶應再びリード、慶應各線の忠實な動きに引替へ早大の動き拙く球は多く慶應にあつて十分小池の前線送球をＣＦ角谷左前に捌き出しＬＷ纐纈好蹴一點を加へ廿五分ＬＨ松丸の前線送球で早大ゴール前密集となり彈出された球をＣＦ角谷輕くシュートして勝敗を決定的のものとした、早大挽回に努めるが球さばき遲く連絡を欠きＦＢ線を拔くに至らず、慶應は三十二分ＬＷ纐纈の中央送球をＲＩ長坂シュートしてゴールを陷れ6―2で勝つ

【早　大】
松村木藤村部出井村田藤

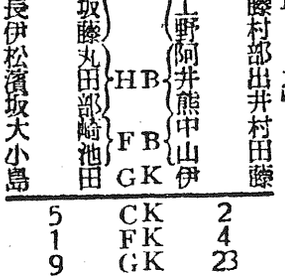
FW　三横鈴工野阿井熊中山伊
HB　FB
FW　纐守谷坂藤丸田部崎池田

【慶　應】
江角長伊松濱坂大小島

2 4 23
K K K
C F G
5 1 9

S9.3.12

早慶ＯＢ蹴球（後半角谷のシュートを防ぐ早大ＧＫ伊藤）



S9.3.12

日立製鐵勝つ

實業團蹴球

第三回實業團蹴球大會第二日は十一日午後三時四十分から東大球場で第一回戰の殘り一試合を擧行、前回の優勝油面は日立製鐵所のため五對一で敗る

日立製鐵　5（2―1　3―0）1　油面

S9.3.12

極東蹴球選手 合宿練習

關西側も上京

極東大會蹴球代表は去る二月十日から三月十五日まで關東側選手は神宮で竹腰氏、關西側選手は甲子園で田邊氏の指導のもとにそれぞれ筋肉養成の基礎的練習を行つたが、十六日關西側選手が東上し午後東伏見早大球場に勢ぞろひを行つた愈々十七日から同球場わきの合宿所に全員十九日間合宿して技術的方面の合同猛練習を行ふ事となつた、尙四月五日から廿五日間第二次合宿を行ひ、その間都下各大學チーム及び選拔軍等と試驗的手合せを行ひ試合の實際上における効果をあげる事となつた

S9.3.17

神戸勝つ【神戸電話】神戸外人對横濱外人のインターポート蹴球試合は十七日神戸東遊園地において擧行、結局四對零で神戸側勝つ

S9.3.18

けふの運動

◇蹴球　實業團大會第三日（九時本郷）

實業團蹴球大會第三日

第三回都下實業團蹴球大會第三日目は十八日午前九時から本郷帝大球場で二回戰四試合を擧行成績左の如し

勤業　銀行　3―0　航空研究所
慶應病院　2―0　三共製藥
帝大小兒科　3―1　航空技術部
日立製作　2―1　千代田生命

S9.3.19

けふの運動

◇蹴球　都下實業團準決勝（一時、本郷帝大）

S9.3.21

けふの運動

◇蹴球　實業團大會最終日準決勝（十時半）決勝（三時、本郷帝大）

S9.3.25

慶應病院優勝　實業團蹴球

第三回實業團蹴球大會最終日は廿五日午前十時半から東大球場で擧行、午前の準決勝で日立鑛山勝ち殘つて午後三時から慶應病院と對戰、乘富君審判の下に慶應先蹴で開始1―1となつて延長戰に入り慶應一點を加へて優勝した

◇準決勝

日立鑛山　2（1―0　1―0）0　帝大病院
慶應病院　2（0―1　1―0）1　日立鑛山

◇決勝

【日立】
本木木三本口川田野瓶川
根鈴平石岡山大鎌丸三石
FW
HB
FB
地山縁納藤林坂島木木島
加古大加伊小長福青正編
【慶應】

4	7	3
4	13	
24		
	CK	
	FK	
	GK	

S9.3.26

廿五日の運動

◇蹴球　立川航空技術部2―2航空研究所

S9.4.11

けふの運動

◇蹴球　O・Bリーグ早大對明大（七時YMCA）

S9.4.13

けふの運動

◇蹴球―青學中OB對關學中OB（三時青學球場）

S9.4.17

蘭印蹴球代表決定【バタヴィア十六日發聯合】マニラ極東大會に出場すべき蘭領東インド蹴球選手十五名は十六日選考を了り左の如く發表された

△GKウオルフ△FBデンケラール、タンキンワート△HBバウムガルニン、フランスメーング、アムライン△FWオノンクテタレプタ、ヤーン、ロントウテオケクボウ△補欠テヘンキイテホンデイーン、テイオヒアンワン、アスモエアデイイ

極東蹴球代表大勝

極東代表チーム對關東OB選拔軍蹴球戰は二十二日午後二時五十分から神宮競技場で島田（主）上野後藤（線）三氏審判代表チームの先蹴で開始されたが意氣頓に昂れる代表軍は連續的に猛襲を重ね結局九對一で大勝した

極東代表9（3―1　6―0）1關東OB選拔軍

【東京OB】
瀬島村部木腰田山出崎本
築手津塚鈴竹須高井大川
FW
HB
FB
GK
呂西井澤近三崎
谷取西丸原金澤部井
大名塚野石川松立後安熊

12	4	2
5	3	1
0		
GK		
GK		
CF		
PK		

【極東代表】

S9.4.23

蹴球協會代議員會　試合日割決定

大日本蹴球協會全國代議員會は四月廿二日午前十時より協會事務所において開催、鈴木、吉川、高田各理事以下關東、關西、東海、東北、北陸、中國の代議員十名出席の上左記事項を協議決定した

一、昭和九年度試合日割決定の件

（イ）全國地方對抗試合の件―未定

（ロ）東西學生對抗試合―昭和九年十二月九日大阪甲子園において

（ハ）全國高商大會―昭和九年二月下旬、場所未定

（ニ）全國高工大會―昭和九年二月下旬、場所未定

（ホ）全國高等學校大會―昭和十年一月一日より七日迄、於京都帝大

（ヘ）全國中等學校大會―昭和十年一月上旬、於甲子園

（ト）東西選拔試合―昭和十年一月二十七日、於神宮

（チ）東西O・B對抗試合―昭和十年二月十一日於神宮

S9.4.24

けふの運動

◇蹴球　極東代表對關東學生選拔（二時半神宮）

S9.4.24

極東蹴球代表勝つ

極東代表東京學生選拔軍蹴球戰は四月廿四日午後三時神宮競技場で選拔軍キックオフ吉野（主）片岡、後藤（線）三氏審判の下に開始されたが代表軍コンデイション惡く四對三で辛勝す（試合時間七十分）

代表4（2―1　2―2）3選拔軍

S9.4.25

けふの運動

◇蹴球　帝大對慶大（二時半）文大對YCAC（四時）以上農大

S9.4.28

まづ三球技に
日本選手出場
第一日の競技豫想

蹴球 第一回大會以來毎回代表となつてゐる支那の李惠堂未だ衰へず李を中心として居る支那チームが技も未熟で氣力も乏しい比島を完敗せしめるものと見られる

（他競技は省略）

S9.5.12

極東大會日割

日	排球	籠球	蹴球	庭球	水上	陸上	野球
12	比4	支9	比6	豫單	—	—	支4
13	日9	日9	日6	豫複	—	—	支4
14	比9	支9	闘6	豫單	—	—	—
15	支4	比9	支6	比6	—	—	日4
16	支9	日9	—	—	6	3.5	比4
17	勝9	—	—	決4 單	6	3.5	—
18	—	比9	闘6	決4 複	6	—	日4
19	—	支9	支6	決4 單	6	—	比4

（數字は午後を示す時間は東京時間）

S9.5.6

我蹴球チーム
【香港五日發電通】極東大會征途に寄港した我が蹴球チームはポルトガルチームと試合を行ひ七對零でこれを一蹴し出陣の幸先を祝した

葡軍を一蹴す

S9.5.12

◇蹴球　早大對法政（三時東伏見）

けふの運動

S9.5.7

蘭印蹴球チーム初練習
【マニラ六日發聯合特派員】蘭領東インド蹴球選手は六日午前マニラにおける初練習を行つたが彼等はチーム全體として甚だよくまとまつてをりロング・パス・システムを採用してゐるがキックがよく延びドリブル・ショットに威力があり殊にウキングがうまいが日本チームに比較すれば日本側に歩があると思はれる

蹴球
中華勝つ
比島零敗す

【山田、大石兩特派員マニラ十二日發】十二日午後五時より擧行された華比蹴球戰は2—0で中華先づ勝つ

中華2（2—0）0比島（0—0）

◇比島には前半決定的の機會はなかつたがよく中華の攻撃線をつぶして對等に試合を運び0—0後半中華は右コーナーキックの時右翼の中央突球が機會となつてセンターフオワードの強襲で一點を先取したがこれは比島デフエンスの欠陷を突かれたものである◇中華は老巧のチームでスピードを欠き比島は意氣で戰つたものである、比島は善戰中華は凡戰といふに盡きる、後半十分比島は右隅蹴を得て中央三人のプッシュが成功しゴールインとなつたがこの隅蹴は訂正されて中華の門蹴となり試合はそのまゝ續けられたが中途で比島側から抗議が出て五分間試合が中止されその揚句審判は再び門蹴を中華側に與へて漸く續行されるなど比華蹴球に附物の珍らしい試合が演ぜられた◇比島はこの直後左フルバックの過失で一點を許し2—0となり順當の結果を殘した2—0で食止めた比島はゴールキーパーに感謝してよからう

亂暴な蹴球戰に日本側抗議

【マニラ十二日發聯合】日本體協は十二日午後十時比華蹴球戰において中華選手が亂暴を働き遂に比島側に八名の試合不能者を出したるに鑑み審判にも罪ありとしてイラナン主事に抗議するに決し左の如く聲明した

本日の比島對中華の蹴球戰に見るに比島側に試合不能となれるもの八名もだしたるはアンフエアも甚しきものなる上審判も實に無能なるを認むるにより團印より日本と協同してかかる狀態では名譽ある選手を試合せしむることは不可能なることを嚴重抗議したき旨申出たるにつき本夜早速イラナン主事に抗議を提出するに決した

けふの番組
（時間は日本時間で全部午後）

◇蹴球（六時）
日本對蘭印

（他競技は省略）

S9.5.13

十二日の運動

◇蹴球　早大2—1商大豫、早大新人3—0商大新人

S9.5.13

S9-5-14

蘭印蹴球に強し

日本七對一で慘敗

日蘭蹴球戰は十三日午後五時よりリザール競技場において開始さる

蘭印 7（2―0 5―1）1 日本

この試合は全く豫想されぬ結果を見せてしまつた、確實なるパス・ワークと長蹴のため我が守備は攪亂され後半川本のシュートで一點をいれたのみで七對一で慘敗した◇最初日本は五分蘭印陣右隅蹴で堺井の好蹴はゴール寸前をかすめたが惜くも潰され又十五分大谷の中央送球を川本シュートしたがゴール・ポストを彈いて絶好の機會を逸した、此ゴール・キックから進んだ蘭印は左側からゴール・ゲッターのヤーンに球を送れば彼は長蹴して一點を先取したこれは彼等の誇りであるシューチング・レンヂが廣くかつ確實なキックによるものである我がHB線は絶好の聯絡に力めるが蘭印のHB線強く我が陣谷を警備する暇なく更に一點を加へられた◇我軍の巧緻を誇る細密の聯絡も彼等の確實なキックに敗れたがこの點我が蹴球界の將來の考慮を要するものである、病者をだし悪い條件ではあつたが出鼻をくじかれなかつたら或はスコアを今少し縮小することが出來たであらうが我がチームの調子の出ない前に彼等は無駄なく好戰した

【蘭印】
オ リーンレプタ
ブーワタノンググ
ヤグテオ
FW
デイーングイーングム
メーバガルテン
HB
ホーチラールト
FB
ウオルフ GK

【日本】
谷邑本澤井西丸原藤江井
大西川野堺川松立後堀熊

野澤選手傷く 十三日の日本對蘭印の蹴球試合中わが野澤選手は左第八肋骨繊維骨折皮下出血の傷を負つたが試合出場には差支へない程度の旨午後六時になつて水町醫師は發表した

けふの番組

◇蹴球（六時）
▲中華對蘭印

後半盛り返す力

日本蹴球軍の健闘

日比蹴球戰は午後五時からロドリゲス氏審判、比島の先蹴で開始された

日本 4（1―3 3―0）3 比島

◇前半 開始直後日本は中央を割られて輕く一點を奪はれ更に二十二分と二十四分に得點され3―0と開き、この間我がチームは比島に勝る機會を持ちながら比島の頑强な守備に阻まれて空し、三十分野澤、川本のよい連絡で一點を返した、比島は組雜ではあるが長蹴戰法に成功し、日本は押しながら制球力を欠いてリードされてしまつた（前半二十四分松丸三崎に代る）

◇後半 鈴木安部と代る、川本の流した球を大谷極めてからは時々押されながらも强い動きで好守陣を厚く敷いて巧みに試合を進め勝利を奪つた、この勝利の陰にGK金澤の奮闘は見逃すとは出來ない

【比島】
チエレス
グレデイア
エルチガス
オルランダ（アサロラ）
ミテロ
ソパチエコ
ンラクソン
アレグレ
ア（フエルナンデス）
FW
HB
【日本】
谷邑本澤井西丸崎近木江澤
大西川野堺川松（三右鈴堀金
スマン
スアレス
ヴイラヌエヴア
FB
GK

8	FK	6
1	CK	6
1	GK	8

中華蘭印を破る

蹴球雨中の大接戰

蘭印對中華蹴球戰は共に一勝の後を承け十四日午後五時から記念陸上競技場でマリアノ、サングレン兩氏審判の下に擧行、二對零で中華勝つ

中華 2（0―0 2―0）0 蘭印

◇二日間連續强敵を相手にせねばならぬ蘭印は不利な條件下にこの日の試合を迎へた、對日本の鋭さはないが確實なパスワークで前半を優勢の中に運んだ、然し神技にも等しいヤーンが前日の疲勞で動きが悪く球さばきもおそくなつてゐたのは右フルバックのケラールが不調にあるのと共に蘭印にとつては非常な打撃であつた◇勝敗の前に手段を選ばぬ中華は相手を痛めることを忘れなかつた、このため蘭印はそれを恐れて逡巡することと多く優勢にありながら最後の決定的機會を作れずして終つた、これは後半特に著しいものがあつた前半互にペナルティ・キックを失敗して後半に入つたが蘭印の凄味は全く失はれてゐた◇蘭印の守備線は全然崩れ支那の平凡なパスワークを破ることが出來ずして點を許し相當機會に際會しながら中華の李惠堂の好技と鈍いゴール前の攻撃で無得點に終つた、審判のオフサイドに對する認識不足と華の亂暴なプレーは期待した試合を不愉快のものとした

【蘭印】
オン源タグ丼
一顆レン鴻ンム振ケルンオ
リヤ張テオ鄭メバ陳デウ
プグ（アムレーン）
カルル基テン
ールフ
FW
HB
FB
GK

【支那】
華黨祥相成威耐照茂生良
北惠景江桂國美榮天紀
棄李潘譚曹李黃梁劉李黃

11	FK	3
16	CK	1
5	GK	10
1	PK	

けふの番組

◇蹴球（時間は日本時間で全部午後）
日本對比島（六時）

（他競技は省略）

S9.5.15

S9-5-16

比島蹴球勝つ

比島對蘭印の蹴球戰は午後四時から雨中に開始された、前半2―1とリードした蘭印は後半比島に二點を奪はれて比島をして名をなさしめた、この日の蘭印は對日戰におけるが如き鮮かなロングパスと激しいダッシュを見せず蘭印のHBのジヤンも生彩を放たずに終つた、比島はよく蘭印の淺いパックラインの隙を衝きまくつたのが効を奏し又終始完全なマークをしてゐたのも勝因に數へられる

比　島 3（1―2）2 蘭　印

S9・5・20

けふの番組

（時刻は日本時間）

◇蹴球（六時）

日本對中華

S9・5・20

けふの運動

◇蹴球　早大新人對帝大一B（二時帝大）

S9・5・20

蹴球に惜敗

日華蹴球戰で日本は最初の十分間に前半陣容の整はざるうちに二點を許し十四分頃から約十分間中華陣に球を寄せながら惜しいチヤンスを逃がしたのはショットの不確實といふよりもこれは中華のゴールキーパーが探出した業を持つてゐたからである、日本は最初守備陣がタックルに成功し又キーパーが判斷を誤らなかつたなら二點は許してもゐないはずである、中華FWの早いパスは成功してゐたがFB線は割合に脆く全體から見て我實力はその上にある、後半の得點はその實力が示された結果で前半十四分の絶好の機會が物されてゐたならばスコアをタイにして試合を運べたであらう、後半3―3と追付いたにも拘はらず一つのPKのために勝敗を決してしまつたのは諦められない

中　華 4（2―0）3 日　本

【日本】

谷取（本）澤井崎原近藤江井

大名川野境三立右後堀熊

FW　HB　FB　GK

【中華】

良堂賞柏成威順照茂生良

李忠景江桂國美榮天紀

鄭李馬譚曹李黃梁劉李黃

GK　GK　GK

GC　P

S9・5・21

第十回極東大會 成績一覽表

極東選手權競技大會

蹴球

中　華 2―0 比　島

蘭　印 7―1 日　本

中　華 2―0 蘭　印

中　華 4―3 日　本

日　本 4―3 比　島

比　島 3―2 蘭　印

▲一位中華、二位日本、同比島、同蘭印

（他競技は省略）

S9―5―22

けふの運動

◇蹴球　早大對立教（三時東伏見）

S9・5・25

早大蹴球勝つ

早立蹴球戰は二十五日午後二時四十分から東伏見グラウンドにおいて幸田、小山、西村三氏審判、早大先蹴で開始されたが結局六對二で早大快勝す

早　大 6（2―1）4 立　教

S9・5・26

關西學院の滿洲遠征中止

蹴球協會理事會で決定

大日本蹴球協會では二十八日午後六時半から協會事務所に理事會を開催、鈴木主事以下理事八名出席關西學院蹴球部の滿洲遠征に關して協議の結果滿洲國から正式の招待なきためこの際中止せしむべきものと決定直に同校へこの旨電報を以て通知し同校においてもこれを承諾した但し關東州遠征に關しては滿鐵よりの招待もあり滿洲國と異なるを以て強ひてこれに干渉するを得ざるも協會としては成るべく延期を希望した

體協理事會　大日本體育協會では二十八日午後六時より丸之內中央亭において理事會を開會左の事項を協議決定した

一、六月上旬關西學院大學蹴球部滿洲遠征の件に關し鈴木理事より報告あり一同これを承認

一、極東大會派遣選手一行は六月一日午前神戸入港の豫定なので同日正午神戸商工會議所において體協正式の歡迎會を解團式と兼ねて擧行、東京より副島伯並に高島主事がこのため西下する尙一行中の本部員並に選手六十四名は一日午後九時五十二分神戸發列車で上京二日午前十時十五分東京驛着同日正午東京會館において平沼團長より報告會が催されるはずである

S9―5―29

けふの運動

立教對拓大（四時）神宮◇蹴球　早大對法政（三時東伏見）

S9・5・29

二十九日の運動

◇蹴球

早大二軍 3（1―2）2 法政二軍

早大留守軍 8（4―0）0 法政二軍

S9・5・30

S9-6-8

關東選抜軍快勝

對サフォーク號蹴球

英艦サフォーク號對關東選抜軍蹴球戰は七日午後三時五分から神宮球場で野村(主)後藤、堀江(線)三君審判の下に關東選抜軍の先蹴で開始、サ軍後半に入つて疲れ慘敗した

關東選抜軍 6{1—1—1}5—0—1 サフォーク

◇前半　七分關東軍CH濱田の長蹴あつたがGKペパアの防ぐ所となり十五分サ軍はRHボエツトの送球高く飛んで關東陣に出でRWゲエールとつて長蹴し一點を奪ぐ、關東軍FW線に球を集めて攻めるが細密のパスウアークは却つてサ軍の守備線を堅めしめてゐた、サ軍は右側の強靱な攻撃線を利かして攻め長蹴を放つが僅かの所で外れて止む、廿八分關東軍はRW駒崎の低目の強い中央送球はLI石井チヤージされて逸したが追走してゐたLW藤岡とつてシユートし一對一の同點となる

◇後半　四分關東は左CK後RH杉浦の左前送球をLW藤岡ゴール右前に送ればRI長谷川シユートして得點し、更に八分CF賀茂右寄りから長蹴してゴールを落し關東軍三對一のリードとなる、サ軍は向ひ風と疲勞に送球亂れて威力なく十五分LWトムプキンスの強蹴惜しくも外れて止んだのみ、十九分關東軍はLF枝村のクロスキツクをRW駒崎とつてシユートしGKペパア防いだがLW藤岡きめ、廿四分CF賀茂の捌いた球を又も藤岡きめ5—1となる、タイムアツプ直前關東軍はLI石井の得點で大勝す

【サフオーク】

スズルエアトフ			6
キンヅンヴエツロガ			3
プツヨミエークエパ	FW	CK	15
トドジスゲロマポロトペ			
(慶)(慶)(早)(慶)(慶)(慶)(商)(慶)(中)	HB	CK	5
岡井茂川崎波田浦村越池	FB	FG	0
谷	GK	G	18

藤石賀長駒岩濱杉枝塚菊

【關東】

S9.6.8

東大蹴球勝つ

東大對文大蹴球戰は七日午後四時から東大球場で擧行、二對零で東大勝つ

東　大2{0—0—0}0　文

S9.6.8

三日の運動

◇蹴球　早大二軍6—2慶應二軍、帝大LB3—2府立高校、帝大2—0成城高

S9.6.4

九日の運動

蹴球　早大8—0文理大、慶應5—1成城、少年蹴球大會第一日勝者(一部)豐師附屬B、豐師附屬A(二部)暁星中

S9.6.10

十日の運動

◇蹴球　(少年蹴球)二部決勝　豐師付屬1—0暁星中、一部決勝　豐師付A4—0豐師付B

S9.6.11

早關蹴球定期戰解消

早大と關西學院大學との間に行はれてゐた蹴球定期戰は本年その第十回對抗戰を來る六月十七日南甲子園で行ふ豫定であつたが、關學の關東州遠征のため關學側より延期の希望あり、一方早大はこの時期を逸しては不適當として中止を主張し先月末から交渉をつゞけて來たが遂に双方に妥協點を見出す事が出來ず物別れとなり、歴史ある定期戰は解消の狀態に陷つた

S9.6.12

慶應勝つ

【對文理大蹴球】

慶大對文大蹴球戰は十三日午後四時二十六分から體育球場で濱田(主)長島、宮川(線)三君審判の下に文大先蹴で擧行、最後の五分で慶大は勝利を決定した

慶　大2{0—1—1}2　文　大

【慶　大】

江磨田西)俣川			(越)東宮
(駒崎骨)			(辻塚藤)
堀播増中乙猪石	FW	CK	伊伊一
永村下			4
(楊)	HB	FG	2
崎瀬野部田崎塚			7
篠木久林	FB	GK	
江大藤阿阿原手			

【文　大】

S9.6.14

伊艦蹴球勝つ

對東京選抜軍

イタリー軍艦クワルト號對東京選抜軍蹴球戰は十四日午後四時半から横濱鞠東學院球場でスキブイ(主)後藤、吉野(線)三君審判東京先蹴で擧行三對一で選抜軍敗る

クワルト3{1—1—1}2—0—1 選抜軍

【東京選抜軍】

(慶)(帝)(慶)早B帝早帝文(慶)(慶)			17
岡田山澤文原原内崎越本			3
(井)			9
藤徳群野石荻立大石塚川	FW	GK	
レテリインチリオネイ			GK
イーテイセルチーデニ	HB	FB	CK
ケロラフレアリゾバンテ			CF
ニポバラブビドドブフア			11
【クワルト】	FB	GK	6
			3

S9.6.15

東大蹴球勝つ

對早大試合

東大對早大蹴球戰は十二日午後四時から東大球場で吉野君審判の下に早大先蹴で擧行、接戰の末五對四で東大勝つ

東　大5{1—1—3}4　早　大

【早　大】

松島兒川越野野(吉田)			(村形)
平木加長木關(谷野)(小上森佐)	FW	GK	8
田田原林(原内石巻田)			2
潮(長)荻大近八飯	HB	FB	9
徳太川若			0
【東　大】	FB	GK	7
			0
			1
			5
			1

S9.6.13

早大蹴球勝つ【名古屋電話】早大對名古屋高工蹴球戰は十六日午後四時から名高商グラウンドで擧行

早　大12（7―0）0名高工
　　5―0

S9.6.17

早大蹴球勝つ【名古屋電話】早大對名古屋倶蹴球戰は十七日午前十時半から名高商球場で擧行四對三で早大辛勝し引續き午後行つた對名高商戰には七對零で快勝した

S9.6.18

横專蹴球勝つ【横濱電話】横濱專門對横濱高商の第一回蹴球定期戰は十八日高商グラウンドで擧行、六對一で横專勝つ

横　專6（24―01）1高　商

S9.6.19

合宿だより

△蹴球部八月中旬より二週間山形縣肘折明大グラウンド

S9.6.30

學生蹴球聯盟第一部リーグ戰日割

リーグ戰は二日左の如く決定した（未定とある以外球場は神宮）

▲十月七日（日）入場式（正午）早、立（一時）帝文理（三時）▲十三日（土）慶、農（一時）早、文理（三時）▲二十日（土）慶、立（未定）未定▲二十二日（月）帝、農（二時）▲二十六日（金）慶、文理（二時）▲三十日（火）帝、立（未定）未定▲十一月五日（月）早、農（一時）文理、立（三時）▲十五日（木）農、文理（未定）▲十七日（土）早、帝（二時）▲二十二日（木）農、立（未定）▲二十五日（月）農、帝（二時）▲十二月一日（土）早、慶（二時）

S9.7.3

合宿だより

◇慈大蹴球部　池上富車東調布の自校グラウンドで

◇東京農業大學　△蹴球部　八月十五日より約二週間濱松高工及び濱一中

S9.7.13

運動界だより

◇…東京學生蹴球リーグ各員會は十二日午後六時から協會事務所で開催各員會の方針、リーグ改組問題等につき懇談し缺員幹事に伊藤進（明大）君を推し九時散會した

S9.7.5

運動界だより

◇七大學豫科リーグ　都下七大學豫科蹴球リーグ發起委員會は四日午後五時半から東朝會議室に開催加盟三十三校の特別委員を始め技術員主將等百二十余名出席リーグ試合方法變更に就いては多數決を以て改造する事に決定したが大學ゾーン及び高專ゾーンを二大別しこの兩ゾーンの優勝チームが最後の優勝を爭ふといふ制度に決まる模様である

S9.7.11

蹴球二部日割決定

東京學生蹴球聯盟第二部スケヂュール委員會は十日午後六時から協會事務所で日割を左の如く決定した、明治、法政は共に神宮球場を使ふが他は未定で九月の總會において決定される事となつた

◇十月一日商大對東高▲八日法政對東高▲十三日明大對成城▲十四日法政對商船▲十八日明大對東高▲廿六日明大對法政▲廿七日成城對東高

◇十一月三日商大對商船▲九日商大對明大▲十日法政對成城▲十七日商大對成城▲十八日明大對商船▲廿二日商大對法政▲廿四日成城對商船

◇十二月二日東高對商船

S9.7.18

蹴球二高優勝【仙台電話】東北帝大主催第五回北日本高專校蹴球大會決勝戰は十七日午後二時から東北帝大工學部球場で擧行

二高3（2―1）2成城
　　1―1

S9.7.11

北日本蹴球第二日（仙台電話）十五日午前十時半より東北帝大工學部球場で擧行

盛岡高農　6（2―0）0　福岡高商
　　4―0
成城高校　1（1―0）0　東北學院
　　0―0
二高　3（1―0）0　山形高校
　　2―0
北大豫科　7（3―0）0　福島高商
　　4―0

S9.7.16

北日本高專蹴球準決勝戰【仙台電話】高專蹴球準決勝は十六日午後二時から東北帝大工學部グラウンドで擧行

成城高11（4―0）0盛岡高農
　　7―0
二　高2（1―0）1北大豫
　　1―0

S9.7.17

北日本高專蹴球【仙台電話】高專蹴球準決勝は十六日午後二時から東北帝大工學部グラウンドで擧行

成城高11（4―0）0盛岡高農
　　7―0
二　高2（1―0）1北大豫
　　1―0

S9.7.17

北日本高專蹴球【仙台電話】東北帝大蹴球部主催第五回北日本高專蹴球大會は十四日午後二時から東北帝大工學部球場で擧行、第一日目の戰績左の如し

福島高商2（0―1）1新潟高校
　　2―0

S9.7.15

開東蹴球協會主催第一回開東中等學校蹴球大會第一日は二十日午前九時から東高體研兩球場で第一回戰を擧行、戰績左の通り

◇大成中2―0府一商◇曉星中8―0日大二中◇埼玉師7―0不動岡中◇高師付中4―0豊島師◇成蹊高（素撿）東高等◇浦和中4―1横濱二中◇神奈川師6―3茨城師◇韮崎中12―0早實◇府二中1―1千葉師（抽籤）

◇府五中3―0開東學院中◇湘南中2―1成城高◇青學中3―0成城中◇高師4―1府八中◇本郷中2―1府高等

S9.8.21

開東中等學校蹴球第二日　開東蹴球協會主催第一回開東中等學校蹴球大會第二日は二十日正午から東高、體研兩球場で第二回戰を擧行、成績左の如し

開成中2―1慶應普
埼玉師4―0曉星中
韮崎中6―0府二中
府五中3―0湘南中
附屬中9―0明學中
浦和中3―0成蹊高等
神奈川師5―0青學中
青山師3―0本郷中

S9.8.22

合宿だより

◇明學蹴球部は八月二十九日から九月八日迄信州須坂中球場で合宿練習するがコーチャーは前早大主將熊井君に決定した

S9.7.19

關東中等學校蹴球準決勝

關東蹴球協會主催關東中等學校蹴球大會第三日は廿二日午前九時から東高球場で第三回戰及び準決勝を擧行新鋭菲崎中は埼師を破つて青山師と決勝戰を行ふ

◇第三回戰

埼玉師 3——1 開成中
菲崎中 2——2 府五中
（抽籤勝）
付屬中 2——1 浦和中
青山師 0——0 神奈師
（抽籤勝）

◇準決勝

菲崎中 4 {3——0 1——1} 1 埼玉師
青山師 4 {2——0 0——0} 0 付屬中

けふの運動

◇蹴球 關東中等學校大會第四日決勝青師對菲崎中（三時東高）

S9・8・23

青師優勝

關東中等校蹴球大會

關東中等學校蹴球決勝戰は廿三日午後三時から東高球場で擧行

青 師 3 {0——1 3——0} 1 菲崎中

◇前半 開始直後菲崎右隅蹴の機會を逸したが二分CF三井左に寄せて強引のドリヴルシュートで一點を先取強攻を續け二十分隅蹴の第三球を中山好蹴して機會と思はれたが青山バックス死守して潰す

◇後半 二分青山はLW吉田拔いて深く出で中央送球はノウマークのRI菊地悠々シュートして得點1——1となり試合は白熱し十二分青山はペナルテイ・エレアに近くFKを得たが菲崎好防して左側から進み左隅蹴をとつて攻めたが無爲、菲崎の結合は青山の好調に斷たれ試合は傾して菲崎の陣に進められ十七分青山はRW市倉から辛くも出した球をLW吉田更にゴール前に捌きCF西田のプッシュで青山一點を加ふ、青山は廿分CH清水の送球は菊地からLW吉田に渡り吉田シュートして3——1となり其の儘勝つ

【菲崎】

清中三小中小吉藤清田	FW		4
田原田地倉井水口木野倉	HB		0
	FB	CK	12
	GK	FK	5
		GK	12

吉梶西菊市平清野鈴西宮

【青 山】

S9・8・24

中等招待蹴球

【大阪電話】大毎主催の中等校招待蹴球大會第一日（甲子園）成績左の如し

◇第一回戰

神戸一中 4 {2——1 3——3} 3 青山師
御影師 4 {2——1 3——0} 2 刈谷中

S9・8・28

中等招待蹴球

【大阪電話】大毎主催全國中等校招待蹴球大會準決勝は廿八日甲子園で續行

明星商 5——0 廣島一中
神戸一中 5——1 御影師

S9・8・29

神戸一中優勝

中等招待蹴球

【大阪電話】大毎主催全國中等學校招待蹴球大會第三日の決勝戰は二十九日午後四時から甲子園球場で擧行、神戸一中が優勝した

神戸一中 5 {2——0 3——3} 3 明星商

S9・8・30

S9-9-6

滿洲國蹴球チーム來征

滿洲國蹴球チームは他の競技に魁けて日本へ來征する事となり、去る三十日滿洲選拔軍一行は新京を出發したが、大日本蹴球協會では一日午後六時から協會事務所でその歡迎滿備委員會を開催、スケジュールを決定發表した

▲對關大（六日三時甲子園）▲對關學大（八日三時甲子園）▲對京大（九日三時甲子園）▲對早大（十五日三時神宮）▲對慶大（十六日三時神宮）▲對東大（十八日三時神宮）▲對東京OB（十九日三時神宮）

今回の來征を機會に明年よりは代表選手を隔年毎に交換する事となり日本代表は春季の全日本選手權大會優勝チームを派遣する事と決定した

S9・9・2

東京文大一勝

——對廣島蹴球——

【名古屋電話】東京文大對廣島文大定期蹴球第一回戰は五日午後四時から名高商球場で熊谷君審判の下に東京の先蹴で擧行

東 京 10 {6——0 4——2} 2 廣 島

滿洲足球隊來征

【關西電話】訪日滿洲國足球隊（蹴球團）は五日關西入港扶桑丸で來朝した一行は代表近藤三雄主將友納三氏以下二十六名で八日對關西學院戰をトップに各大學チームと闘ふ豫定

東京文理大再勝

【名古屋電話】東京廣島兩文理大定期對抗蹴球第二回戰は六日午後四時から名古屋高商グラウンドで擧行九對零で東京再勝した

東 京 9 {5——0 4——0} 0 廣 島

S9・9・7

滿洲蹴球軍關學に敗る

來朝第一戰に

【大阪電話】日滿兩國體育協會親善初のスポーツ使節滿洲國蹴球團來朝後最初の對關學試合は七日午後四時から甲子園南運動場で杉村（主）戸川、上吉川（線）三君審判の下に關學の先蹴に開始滿洲國は體の整調回復せず全體の纏りなく關學の一方的ゲームとなり結局四對零で關學勝つ

關 學 4 {2——0 2——0} 0 滿 洲

【關 學】

林酸井中澤水崎田西部川

小山村田野清三前川宮西	FW		1
	HB		2
	FB	FK	13
	GK	CK	6
新淑愚祺遵富三命珠翰祺		GK	3
永瀬隈茂義作納基寶洙永			23
李梁李孫郭呂友金蔡安隋			

【滿 洲】

S9・9・8

滿洲蹴球軍又敗る

【大阪電話】滿洲國蹴球團の關西における最終試合たる對京都帝大の試合は九日午後四時から南甲子園運動場で岩野(主)三崎、河西(線)三君審判で滿洲先蹴で擧行

京大 3 (2—0 1—0) 0 滿洲

【京大】岡野田野田田安野地原澤
FW 長瀬眞辰高奥福瀬持栗金
HB 新瀬達基傾富納命珠牟ル
FB 永 義承克作 基寶成イ
GK 李築郭係王宮友金蔡李ラ

【滿洲】

S9.9.10

滿洲國蹴球團歡迎會

訪日滿洲國蹴球團は十三日朝入京したが、體協並に蹴球協會では十三日午後六時から丸之內中央亭で一行の歡迎會を開催主賓側は友納、近藤兩氏及び選手廿二名、主催者側から今村名譽會長以下兩協會各理事、岩原體育課長その他スポーツ關係者多數出席、晩餐を共にしたが、席上友納監督は滿洲國チームを代表して訪日の使命を述べ滿スポーツ親善を強調、九時盛會裡に散會した

S9.9.14

蹴球大勝

慶應對東京倶樂部蹴球戰は十四日午後五時から三田綱町球場で擧行

慶應 10 (0—0 10—0) 0 東京

S9.9.15

滿洲國足球隊けふ入京

訪日滿洲帝國代表足球隊(蹴球)一行は代表近藤三雄、監督友納不二雄兩氏に引率され十三日午前十時十五分入京するが一行は熱河を除く各地方から選拔された十九選手と白系露人、日本人五名を加へたものでわが國で古く行はれた蹴鞠に似た「熊の頭」と呼ぶ國技で仕立てられ蹴球に轉化したもので蹴球の歷史は淺いがドリヴリングやキツキングには相當見るべきものがあると傳へられてゐる、芝生の球場に經驗を持たぬためこの優れた點を遺憾なく發揮せしめ得ない憾みはあるが關西に於ける三試合によつて相當馴れて制球力も一段と進歩してゐると言はれるから對早大(十五日)對慶大(十六日)對東大(十八日)對東京OB(十九日)の四試合は期待し得ると見られてゐる、一行の陣容は次の通りである

(FW)李、梁瀨、郭、孫、郭(戰)
(HB)安友納、呂、李、金、王、蔡
(FB)蔡、文、載、李(GK)萊、高、隋

尙歡迎交歡式は十六日午後二時から對慶大戰に先んじて行はれる

S9.9.13

文相滿洲蹴球團を招待

來朝第二日の滿洲國蹴球團一行近藤、友納兩監督以下二十四名は十四日午前十時から約一時間半成城高校球場で輕い練習を行つた後午後三時から松田文相招待の茶話會に出席した

S9.9.15

滿洲足球隊敗る

訪日滿洲國代表足球隊入京の第一戰である對早大蹴球戰は小雨をついて十五日午後三時五分から神宮球場で松丸(主)右近、駒崎(線)三君審判の下に早大先蹴で開始

早大 5 (2—1 3—0) 1 滿洲

S9.9.16

滿洲國足球隊に慶應も勝つ

訪日滿洲國代表足球隊對慶大蹴球戰は十六日午後二時半から神宮競技場で擧行、日滿選手の交歡式後滿洲の先蹴、竹內(主)吉野、荻原(線)三君審判の下に開始

慶大 6 (2—2 4—0) 2 滿洲

【滿洲】
FW 潮(鴻)安郭呂 納 金蔡李黑
HB 陳(梁)郭 友 來
FB 翁
GK 4 4 2)

【慶大】
FW 岡近田磨崎波川
HB 藤越
FB 辻
GK 伊塚ノ

CK 6 2 13
CK
CFG

十六日の運動

◇蹴球【水戸電話】本社後援近縣中等大會決勝豐島師1—0茨城師

S9.9.17

滿洲足球隊全敗

訪日滿洲代表足球隊對東京OBクラブ蹴球戰は十九日午後三時から神宮競技場で審判野村(主)上野、渡邊(線)三君の下に滿洲先蹴で開始、風雨激しくコンディション極めて不良、滿洲軍この一戰も失して遂に入京以來四戰四敗に終つた

東京 7 (3—0 4—0) 0 滿洲

【滿洲】
FW 陳係(鴻)安郭金 納 李蔡(成)隋
HB 郭 友 李
FB
GK

CK 6 5 14
CK
CFG

【東京OB】
坂腰島部丸田山崎內出地
長竹手塚松濱高大竹井菊

5 9 10

本社の歡迎會

本社は十九日午後六時半から本社會議室で訪日滿洲代表足球隊近藤代表、友納監督他二十四選手を迎へて歡迎會を催した、席上小高運動部長の歡迎の挨拶につぎ近藤代表の謝辭あり、歡談を盡して午後八時散會

S9.9.19

運動界便り

◇東都における四試合を終へた滿洲國蹴球團は廿二日午前九時燕號で西下、同日午後名古屋に下車名古屋サツカーチームと一戰を交へ廿五日大阪で湯淺蓄電チームと戰つて廿六日梅田驛から陸路歸國する事となつた

S9-9-20

滿洲足球隊に東大も勝つ

訪日滿洲代表足球隊對東大蹴球戰は十八日午後三時から神宮競技場で折柄の大雨を衝いて井出(主)眞山、村形(線)三君審判の下に滿洲側の先蹴で開始、滿洲後半に一點を奪つて零敗を免かれた

東大 4 (3—0 1—1) 1 滿洲

◇前半十分東大は潮田中央線邊からドリブル右前に放しRW川原低目の強蹴で得點十五分滿洲は右隅蹴をとつて郭の好蹴で粘つたが東大の好守とゴール前の球崩き拙く結局無得に終る、二十分東大はRI岩林のパスはCF太田をつて辛々な長蹴で一點を加へ2—0となる、三十分RH大內の左前送球は滿洲FB陣カツト仕損ねLW潮田をつてシユートし3—0となつて前半を終る、滿洲は後に友納の長蹴で東大ゴールを脅つたのみなまじFW線の短パス戰法などはさらぬ體である

◇後半一分滿洲FKを得金のキツクをLW陣をつてシユートし東大GKこれを彈いたがCF郭シユートして一點を返す、二十分近に滿洲二回の好機をオフサイドで逸し東犬はこの後RW川原二回も足をすべらして凡蹴機會を潰した、滿洲は三十分中央を劃つて出でLW陳の右前好送球をRW郭をつたが凡蹴に終り東大は三十二分岩林、德田、太田を渡つた末太田長蹴して得點4—1となつて終る

【滿洲】
FW 陳安郭孫郭(鴻)(義)納
HB 呂友金蔡文萊
FB 黑
GK 翁

CK 5 1 24
CK
CFG

【東大】
田田林原長
原內石卷田
潮德太若川
荻大近八飯

7 8 12

第十三回關東小學校蹴球大會

第十三回關東小學校蹴球大會は來る廿九、三十の兩日青山師範學校球場で行ふ事に決定しました、奮つて御參加願ひます

◇參加資格　第一部は同一學校在籍の六年生を以て編成される事、第二部は同樣尋常五年生を以て編成されたもの及び四年生を以て編成されたもの

◇試合方法　トーナメント式により優勝を決定す試合時間は第一部は二十分ハーフ、第二部は十五分ハーフで五分のハーフタイムを置く

◇參加申込　九月廿四日付を以て〆切

◇參加申込場所　東京市大森區大森三丁目八五六東京蹴球團

主催　東京蹴球團
後援　東京朝日新聞社

S9.9.21

廿二日の運動

◇蹴球　立教5―3商大【名古屋電話】滿洲1―0全名古屋

S9.9.23

學生蹴球聯盟 改組遂に成らず

昨夜議事委員會で否決

東京學生蹴球聯盟議事部委員會は二十五日午後六時から本社會議室で開會し二十七校議事部委員出席の下に開會し審判員の割當規約改正（試合當日豪雨の場合はレフエリーの意見により延期する事を得）今シーズンの日割變表あつて後今春來懸案となつてゐたリーグ改組案が議題となつて提出された今春の議事部委員會において提案された大學、高專分離の改組案は過半數を以て改組實成となり具體案作製はリーグ特別委員に付託されたのであつたが、この改組案の運命を決定するはずのこの日の議事部委員會においては特別委員會も賛否兩論あつて議論沸騰し結局採決の結果改組不要十九票、改組賛成六票で一度は過半數を以て特別委員付託となつたこの懸案も有耶無耶の中に葬られ妥協案として二校交代制が提出されたがこれは一顧だも與へられず無殘にも一蹴運命が決した、從來の組織の儘に進む事の不利を知る一部の人達はリーグ將來のためとらぬ所として深憂してゐる

學生蹴球日割

東京學生蹴球聯盟今シーズンスケジュールは各部間に於てそれぞれ交渉されてゐたが二十五日決定發表されたが第一、二部の日割左の如し

◇第一部　▲十月七日早大―立教（一時神宮）帝大―文理大（三時神宮）△十三日慶應―農大（二時半神宮）△十九日早大―文理大（二時半未定）△二十日慶應―立教（二時半未定）△二十二日帝大―農大（二時半神宮）△廿六日慶應―文理大（三時神宮）△三十日帝大―立教（二時半未定）▲十一月四日早大―農大（一時神宮）文理大―立教（三時神宮）△十五日文理大―農大（二時半未定）△十七日早大―帝大（二時半神宮）△廿二日農大―立教（二時神宮）△廿五日慶應―帝大（二時半神宮）▲十二月一日早大―慶應（二時半神宮）

◇第二部　▲十月二日商大―東高（三時石神井）△八日法政―東高（三時石神井）△十三日明大―成城（三時東伏見）△十四日法政―商船（二時半代田橋）△十八日明大―東高（二時半石神井）△廿六日明大―法政（一時神宮）△廿七日成城―東高（二時半石神井）▲十一月三日商大―商船（二時半石神井）△九日商大―明大（二時半東伏見）△十日法政―成城（三時石神井）△十七日商大―成城（三時東伏見）△十八日明大―商船（二時石神井）△廿二日商大―法政（一時神宮）△廿四日成城―商船（三時東高）▲十二月二日東高―商船（二時帝大）

S9.9.26

關東小學蹴球大會組合せ決定

本社後援東京蹴球團主催第十三回關東小學校蹴球大會は來る卅日午前十一時から青山師範學校球場で擧行するが二十五日午後六時から本社會議室で監督者會を開き抽籤を行つた結果組合せは左の如く決定しました

◇第一部（尋常六年）
（A）豐島付小　對　油面（午前十一時）
△決　勝
兒玉對（A）の勝者（午後二時）

◇第二部
（A）油面四年　對　豐島五年（正午）
△決　勝
油面五年對（A）の勝者
尚當日は荒天に非ざる限り擧行する事になりました

主催　東京蹴球團
後援　東京朝日新聞社

きのふの運動

◇ラグビー
拓大二軍 23―5 法政二軍
木村屋 24―3 早實

◇蹴球
文理大 5―1 商大

S9.9.26

廿九日の運動

◇蹴球　高千穂高商5―0外語
▲早大7―1東京OB▲立教4―1成城高

S9.9.30

豐師付屬と油面優勝

關東小學蹴球

本社後援東京蹴球團主催第十三回關東小學校蹴球大會は卅日午前十一時から青師球場で擧行、第一部は遠來の兒玉力戰したが一對等で惜敗し遂に宿望成らず豐師付小の優勝となり、第二部の決勝油面對豐師付小の試合は豐島前半過失の一點が最後まで祟つて覇權は油面（五年）の手に歸した

第一部

十一時油面先蹴、審判粉川（主）枝村、新谷三君

豐　島　0　0—0　0　油　面
（抽籤勝）

豐島	野高吉室長波平鈴石安田	FW	HB	尻橋田岡井野塚木黒藤島
			FB	多
油面	藤田村村田加田原清	FW	HB	尻橋田岡井野塚木黒藤島
	比		FB	多
	森伊佐鎌岡本中小山菅		GK	

◇決勝

一時五十分豐島先蹴で開始、審判山口（主）、鈴木、高津戸三君

豐　島　1　0—0　0　兒　玉
　　1—0

豐島	野高吉室長波平鈴石安田	FW	HB	尻橋田岡井野塚木黒藤島
			FB	多
【玉】	井田柴倉沼山本馬見島根	FW	HB	新秋筑落楠小瀬海作田關
【兒】			FB	
			GK	

豐島	7	8	2
油面	7	3	5
豐島	6	0	2
兒玉	10	7	1

GK	GK	GK
FK	FK	FK
CK	CK	CK

S9.10.1

第二部

零時半豐島先蹴、審判八田（主）會津、飯泉三君

豐　島　3　2—0　0　油　面
　　1—0　　四　年

豐島	下平日松西櫻塚井内長五	FW	HB	村塚高浦海井本野藤川島
			FB	谷十
【豐島四年】			GK	

豐島	0	0	12
油面	17	4	0

GK	GK	GK
FK	FK	FK
CK	CK	CK

【油面四年】木圖納崎田浦田木藤橋
　　根前加山神三生鈴佐島

"二時半油面先蹴審判宮本（主）豐田、粉川三君

豐　島　1—0　0　五　年
油面二年　1—0

【油面五年】

"村川田野浦澤庄崎田村

油面	野立武水杉岡本高平本	FW	HB	村塚高浦海井本野藤川島
			FB	谷十
【豐島五年】			GK	

油面	2	1	3
豐島	9	0	0

GK	GK	GK
FK	FK	FK
CK	CK	CK

S9.10.1

商大勝つ

對東高蹴球

東京學生蹴球聯盟第二部商大對東高の試合は一日午後三時から石神井球場でシーズンのトップを切つて擧行、審判は幸田（主）渡邊、小山（線）三君、東高先蹴、商大は前半風上を利して二點を收め東高は挽回に努めたが及ばず零敗した

商　大　2　2—0　0　東　高
　　0—0

高	醸西部　澤村井田醸本田	FW	HB	野井枝掛田田堂木村島島
【東	伊河阿　森		FB	階
大	米北堀有加宮久		GK	

【商神荒淺大林森二鈴枝水田

高	6	12	18
大	6	5	9

FW	HB	GK
CK	FK	GK

S9.10.2

早大蹴球勝つ

早大對農大蹴球戰は二日午後三時から東伏見球場で擧行、八對一で早大快勝

早　大　8　2—0　1　農　大
　　6—1

S9.10.3

學生蹴球リーグ

東京學生蹴球リーグ第三部二試合

中　大　3　1—0　0　一　高
　　2—0

慈　大　5　4—1　1　日　歯
　　1—0

S9.10.7

S9-10-6

早慶帝の堅陣を脅す文大

結局早大の連覇？

「あす◇開◇く 蹴球戦展望」

◇…年來の望み薄くかなつた立敎が、六強の列に加はつて行はれる東京學生蹴球聯盟は愈明七日正午から神宮外苑競技場において加盟三十三校、七百余名の選手を總動員して盛大な入場式を擧げ引續き前シーズンの優勝早大と第一部に初見參の立敎がトップを切り、次いで帝文が相見えて蹴球界行事の花、リーグの幕は開かれる

◇…先日の評議部委員會で否決された大學、高校分離の取組案は兎も角として、このシーズンは條件を等しうする早、慶、帝、文、農、立の六大學により單獨が行はれるのである、この單獨において極東大會選手五名を擁して戰法を一變しつゝ早大の王座への期待と共にこのシーズンの新味である、一方慶シーズン酒杯をなめて長嘯した文大が漸く整備の陣を布き、早慶帝のトリオを脅威するであらう事にも強い興味を持たせるが、結局は強靭無比の陣を布く早大が連覇の榮冠を獲得するのではなからうか

早大

【FW】本松(木島)加茂川本、野澤、長谷川(大越)【HB】吉田(岡野)立原、笹野【FB】鈴木(上野)堀江【GK】佐野

川本を中心とする野澤、加茂のセンタースリーには稀有な球捌きと異色を盛るゴールショットあり、早大勝利の最といへよう

川本野澤は、極東大會辛酸の所産を發現し、加茂これに和する攻撃は立原を中心とするHB線の援助を俟つて益々鋭く近來に見ない優秀な攻撃陣を形成してゐる、傷つける鈴木は公試合を缺き得ないにしても、堀江の進境著しく、新人佐野の沈着を求める事は容易と見られる

FW線両翼のセンターリングが拙劣なのは瑕であるがそれを補ふものにバックスあり、ミッドのアイルドから一氣に中央を劃るであらう部厚い密集の攻法が長所であるが文大などに對しては思はぬ欠陥となる憂ひなしとしない

慶應

【FW】藤岡(堀江)石近(中西)増田、播磨、駒崎【HB】岩波、石川、辻(猪俣、宮川)【FB】伊藤(伊東)塚越【GK】一宮

陣容變動の痛手を蒙つた慶應は、まづゴールキーパー難に陥り、守備力に六割の穴をあけたが、纒綿の後任一宮もシーズン追るにつれ



主將川君 上から慶の岩波、帝の德田、早の立原

て漸くイタについき、前線をして後顧の憂なからしめる迄になつた

驚嘆の巧技は一段實質を加へ伊藤の激刺たるアレイは相俟つて慶應の薄りを保つに不足なく、新鋭石川を中に岩波、辻のサイドハーフは若干を加味してバックスは前シーズンに比して遜色ありとは言へぬ、多少攻撃の周幅に加擔し得ない憾みはあるが、FW線は播磨、駒崎し後衛右近が前線に加はつたのは増田の覇氣を加うて余りあらう、藤岡が病後で公幅の期待はかけ得ないが、駒崎は呼應する右近の動きは慶應にとつての希望であらう

實力低下を憂へられてはゐるがこのシーズンは從來の老朽傾向を一擲して闘志滿々、新鮮味をたゝへてゐるのは見逃せない

帝大

【FW】德田、川原、太田、若林(沖)潮田【HB】長(松浦)荻原(江崎)大内【FB】近石(原田)八巻【GK】飯田(宮澤)

高山を送り出した帝大の痛手は【GK】長島前シーズンCFとして活躍した松永を後退させたのは英斷であり、實明な手段として讃へらるべきだ藤野、木村が會心の活躍も期待され更生の一歩を踏み出した文大は早慶帝に安逸の夢を許さず今シーズンの人氣を湧かすものと見られる、只低地に陷つてこれを焦らず脫し得るか、正しい判斷の下にプレイし得る確信があるか、これが文大に投げられる不安ではないか

農大

【FW】天野、見目、群山、寳櫃(山野)【HB】中台、江波、杉浦【FB】石井、西川【GK】川本

石井を送り出した農大は杉浦代つて闘志で行く所依然技術よりも燃ゆる精神にある

個々の技術は他に比して劣るとは見られないが、集團威力の横溢に睥睨られる試合下手がある、攻法にしても守備から攻撃に移る判斷が鈍いのはこのチームの惱みで、このシーズン飽く迄もう一歩のコツを忘れず進まなければ危い立場にある、連攻に焦つての球捌きを混同するを避けねばならぬ

立敎

【FW】上田兄、久保田(上田弟、李(岡本、朝鷹)【HB】宮崎、飯島、駒嶋【FB】吳、灰

出た試合も出來るのではなからうか、農大との決戰が下馬評にのぼつてゐる立敎としては氣力で行くにあらう

第一部

明、法鍾を第二部に置く事久しく果して健在なりや、商大は早くも東高に一勝し轉落の成城また反撥力を多分に藏して優勝の呼び聲高く、商船侮り難き實力を祕め、東高一敗したりと雖も試合巧者は既に定評のある所で、第二部は全く混沌たる中にあり、寧ろこの點第一部よりも興味をたゝへてゐる

(山田生)

※田【GK】山口

農大が石井を送りだしたと同樣に小林を送りだしたが、飯島が代つて穴を埋め、農大に劣らずガツチリひきしめてゐるが、大膽なプレイに出づるに非ずんば案外新鋭立敎の名を辱しめる事になりはせぬか、持味ともいふべき強いパスを遲して試合を進めたなら蕪表に

S9-10-8

強風泥濘中の對戰

早帝まづ一勝

學生蹴球【一部】幕開く

東京學生蹴球聯盟は七日正午から加盟三十三校代表選手が外苑競技場内に集合シーズンの幕を切る開會式を擧げ折柄の強風豪雨を冒して早立、帝文の二試合を豫定通り遂行した、球場は最惡のコンディションであつたが早大は豫想された樣に快勝し、帝大は大接戰の末文大に辛勝した

消極戰法の失敗

5—1 立教敗退す

（一時、立教先蹴、竹内（主）桑田山田（球）三君審判）

早大 5（1—0）1 立教

◇…強風豪雨泥濘の最惡のコンディションも開會式に釣られ今シーズン新たに付與された天候不良の場合は延期云々のレフエリーの權限も全く無視されて豫定の試合が遂行された、いふ迄もなく試合は悲壯な泥試合となり蹴球の醍醐味コンビネーションなどは拂すべきものなかつた新鋭立教の迫力は前半追風を利して早大の猛撃を僅か一點に喰ひ止め終りに近く同點とした所にのみ殘され、試合は結局落ちる所に落ち勇壯ならびなき圖繪を泥土の上に描いたに過ぎない無味のものであつた

◇…前半一對一のスコアの中にも早大は追風をついて多いチヤンスを作るだけの實力を示したのに對し立教が逆向から潰してゐたのは立派なものであつたが後半は向ひ風を警戒してバックスが後退し然もマークを忘れたのは拙劣であつた、よもやこれを以て部厚い强固の守備陣としたのではなからうが泥濘の球場には恰適に見えて不良のものである、强力早大に向ふに結局前半一對一のスコアが欲をそそつたのであらうが立教としてはオープンに試合を進める要があつたらう

◇…早大は個々の技術を生かして試合を勝利に導いた、平松の殊勳を第一列とし後半球を大きく出して連繫の不足な立教守備陣を潰走せしめたのは今日の早大が保有する實力としては當然のものであつた、早大が後半三十三分野澤傷つき退場したが立教はこの後において さへ僅かに一度早大陣深く出たに過ぎない、消極戰法の失敗といはねばならぬ（山田生）

試合經過

◇前半　五分早大はFW線の好送球連絡で進め立教ゴールに迫つたが立教はCH飯島のキヤツクで潰し▲八分立教は雀の好送球で進んだが早大はRB堀江のクリヤで危機を脫す、この直後立教は上田兄シユートしたが早大GK佐野好捕して止み▲十二分早大バックスのミスに乘じてCF久保田單身ドリヴルして早大ゴールに迫つたがGK佐野好捕してのがる、▲早大は十三分迄殆ど平松、加茂の左側の好連絡で進み立教RBのストツプがきかず轉々する所を平松とつてアツシュにより一點を奪ふ▲立教は二十一分左隅蹴からチヤンスとなつたが早大バックスの統制につれた球は更に右に出でRI野澤引つかけてゴールを擧ゆ4—1となつて大勢決す▲三十三分早大はRB堀江の長送球は左側に出でLW平松ドリヴルして立教ゴールに寄せ一度GK山口と衝突したが轉轉した球を平松プッシュして點を加へ立教に決定的の機會なく終るふされてやみ▲二十五分早大は加茂の長送球で深く出で好機となつたが立教はGK山口果斷の進出でこれを防ぐ、一進一退して四十一分立教はLH宮崎の大飛球をCF久保田とつて好蹴し一對一となる

◇後半　十分早大はLW平松中前送球してそのまゝ出で立教RBのミスキツクで拾つた球をシユートして早大は2—1のリードとなり▲二十分CF川本ドリヴル後左側に寄せての長蹴はきまり3—1となる▲立教このキツクオフで中央を割つて出たが久保田のキツク高くアウトとなり▲二十五分早大はLW平松からCF川本に出さ

帝、文・眼の差

4—3 文理大敗る

（三時文大先蹴、濱田（主）猪俣、宮川（線）三君審判）

帝大 4（3—1）3 文大

◇…泥濘第二試合は文大の豫想された猛襲もなく坦々と運んでスコアの上では接戰、ゴール前では亂撃の一戰であつた、双方慇コンデイションの景物として文大はRBの不慣の一失、帝大はGKが焦つて捌ける余裕のあるボールを殘して一點を見すゝ許すなどあつたが試合巧者の帝大が辛勝とは言へ勝つたのが當然であつた、實力の有無はとも角眼のきいた帝大が試合を巧みに運び眼のきかない文大をお描い試合の運びで敗れ去つた

◇…前半六分FW線兩翼をさかしてゞ早くもつけさまに帝大が二點を奪つたあたり帝大の傳統であり優れた點であつた、文大はFW線を一線型にしたのは計畫的のものであつたかどうかこのため緊つた痛手が最初の帝大に許した二點であつた

◇…帝大はムラなく動き收むべきものを收め試合を後半に移した、文大は後半風の利を以て球をゴール正面に集めたのは結局攻撃を單調のものとし帝大バックスにとつて防陣を容易のものとしてゐた、サイドを使つてより變化を求め奔命に疲れさせる一手が文大にとつて忘れられてゐた、眞向からの試合は依然として帝大に歩がある

◇…試合は實力で許り押し通せるものではなく懸け引の大事も一言して置かう、松永を中心とするHB線はより積極的に動きを擴大してはどうだらうか（山田生）

【立教】	兒田	弟廣	崔	隋島崎
	田保田			吳
	久上朝			田口
			富飯駒	灰山
		FW		
			HB	
				FB
				GK
				CK
				CK
				CF
				GK
【早大】	松茂本		澤起田	原野木立野
	平	加川野	大吉立	田鈴堀佐
	9	5	9	

※左ページ下段につづく・試合經過

法政強攻空し
東高快勝
東京學生蹴球戰

學生蹴球第二部法政對東高の蹴球戰は八日午後三時から石神井球場で工藤(主)伊達、螺良(線)三君審判の下に法政の先蹴で擧行、球場は最惡の狀態にあり東高PKの機會を逸したが一點を先取し法政中央の强攻成功して同點となり後半に入つて試合は速度を加へ接戰となつたがパスワークの優れた東高が三點を加へて快勝した

表 成績

部								點	定
第二	商船	……	×	…	…	…	…	2	2
	明大	……	×	…	…	…	…	2	0
	成城	……	×	…	…	…	…	0	0
	法政	……	0	×	2	…	…	0	0
	東高	……	×	2	…	…	…	2	0
	商大	……	×	2	…	…	…	0	0

商船 明大 成城 法政 東高 商大

東京法成明船

東　高 4（3―0）1 法　政

【東　高】

澤	井西	藤沼	田村	本藤田
森				保
米	堀河	伊藤	有北	宮加久
FW				
	HB		B	
	FB		GK	
浦田山		川	熊川	條亦木田
杉村奥		宇大	黒四二	鈴細

【法　政】

◇第四部

國　大 1―0 東　歯

S9・10・9

青學蹴球勝つ

第七回東北學院對青山學院定期蹴球戰は十一日午後三時から青學球場で井出(主)加藤、庄司(線)三氏審判東北先蹴で擧行されたが前半二對二と同點の白熱戰となり後半に入つても双方得點なく引分けかと見えたが青學タイムアップ直前一點を得て結局三對二で青學勝つ

青　學 12―02 東北學院

【東　北】

内原	矢藤間橋浦要條石				
原					
山荻	金邊門高三我大白				
FW					
	HB		B		
	FB		GK		
頭井島		茂	岡邊	靜	岡 子田
		谷	川	峰	
熊奥春長廣渡長吉					金增

【青　學】

學生蹴球リーグ(第五部)

高等工藝 3―1 日本醫大

S9・10・12

※右ページの帝文戰のつづき

試合經過

◇前半　六分帝大は文大ゴール前の混亂に乘じFW潮田シユートしこの直後帝大は又も潮田シユートし文大はGK長島の捕球洩く失した所へLI川原チヤージしてゴールを決定し2―0と離す▲十六分文大は久下の拙いた球は藤野シユートし帝大GKのクリヤした球をLW篠永ブツシユして文大一點を還す▲二十分帝大は强攻するが文大よく守り二十四分帝大は左翼蹴を德田好蹴してチヤンスとなつたが文大LB辛くも外す▲三十六分帝大はRI若林の長蹴み文大はGKファンブルしゴール左前に出た球をLW德田シユートして3―1となる

◇後半　風を利して文大球を帝大ゴールに寄せるが帝大バツクスよく防してゐたが二十一分文大は密集なついてRI藤野シユートし3―2と迫る▲帝大はこの間LW田の好中央送球ありRI若林へディングで攻めたが惜しくもアウトとなり▲卅分迄自陣に苦戰をけたがスローインの球で漸く出川原の長蹴を文大LBカツト仕じて不意のゴールを許し帝大又二點のリードとなる▲三十六分大はCH松永の長蹴を帝大GK球失となつた時CF久下飛び込でゴールを衝ふ、文大この後引き帝大ゴール正面に球を集めたが凡蹴と帝大バツクスの攻にはゞまれて止む

【大　部】

大 永村下野崎瀬永三崎部島 8
【文　帝】
文 篠木久邊江大松阿原阿長
帝 德川太若潮　長荻大近八飯 3

FW
HB 田原田林田 原内石巻田 10
FB
GK
CK
FK

S9・10・8

S9-10-14

慶應順當に勝つ
6—2對農大蹴球

東京學生蹴球聯盟第一部慶應對農大戰は十三日午後三時から神宮競技場で高山(主)河村、森(線)三君審判の下に絶好のコンデイションに惠まれ慶應の先蹴に擧行、慶應は六對二で順當の勝利を收めた

慶　應　6｛4—0 2—2｝2　農　大

◇前半　六分慶應は右側から送つた球をLW藤岡とつてシユートして一點を先取し八分RW駒崎の送球をCF増田きめ2—0とリードし十六分農大は右スローインの球で猛攻したが慶應の密集を割れず岩波のキツクで外されて止む、二十分慶應は播磨、駒崎と右側を渡つた球は左側に廻され藤岡クリーン・シユートして一點を加へ更に二十六分藤岡の送球は増田に出で右側に捌かれたのを駒崎シユートし(4—0となり農大は四十三分のCH杉浦の長蹴外れて無得點に終る

◇後半　農大は七分をスローインの球を見目右前に長送球しRW中右好蹴し一點を返ふ三十分慶應は右隅蹴後RI播磨シユートして一點を加へこの直後駒崎シユートして6—1と開いたが農大は三十六分慶應方のハンドにPKを得群山輕くあけてゴールを得、慶應は三十八分これまた農大のハンドでPKを得右近キツクしたが遂にゴールを外して止む

【慶　大】

岡近田慶崎波川		藤越宮	
藤右増播駒岩石	FW	辻伊塚一	6 4 2 2 1
野目山樫台渡浦野井川本	HB	BK	CK CK CK
天見群富中江杉山石西川	FG		FG FG PK

【農　大】

◇…慶應にとつては前半が身上、農大にとつては後半が彩り多い試合であつた、CH杉浦の不用意が拙いうちにも最後までひきしめたのを讃へ慶應が通弊に落ちたのを責めたい、スコアの示すが如くボールは偏した動きを見せたものではなく試合全體を通したら慶應は前半の好調を後半にも廻す事をしなければならぬ、換言すれば與し易しと侮る心の警めを忘れてはならぬ

◇…前半農大ゴールが斜めに強い陽光を受けてゐたがいづれも慶應方の好蹴であり決定的のものであつた、慶應が前半珍らしい意氣を盛り蓄へられた實力を遺憾なく示したのに對し農大はバックスの活躍によつて供給される球もFW線の位置拙惡を極め徒らに慶應バックス健闘の糧としてゐたに過ぎなかつた、後半一點を奪つたのはよくこれを燒めてFW線がそれ〳〵

◇第一部戰績

立大	0……×	1	0	1	1	0	1
農大	0……×	1	0	1	1	0	0
文大	0×……0	1	0	0	1	1	0
帝大	×2……0	0	1	1	0	0	0
慶大	×……2	0	1	1	0	0	0
早大	×……2	0	1	1	0	0	0
	早慶帝文農立	合	試	勝	負	引	點

明大成城引分
第二部試合

第二部明大對成城の試合は十三日午後一時から神宮競技場で小長谷(主)久下、阿部(線)三君審判の下に成城先蹴で擧行、接戰の末引分けに終つたが試合は鋭さを欠き互に勝敗決定の機會を自壞した

明　大　2｛1—1 1—1｝2　成　城

【成　城】

鄭(厚)豐(淳)家田藤内村		本	
本本(橋本	FW	岡	3 7 21
松坂高坂古山加山高	HB	麗	
田田石澤木内川内出島田	FB		9 8 19
	GK		CK FK GK

藤熊立松鈴大宇木井三星田

【明　大】

法政辛勝す
學生蹴球第二部

東京學生蹴球聯盟第二部法政對東京商船の試合は十四日午後二時半から明大球場で伊藤(主)宇田川、木内(線)三君審判の下に法政先蹴で擧行、双方チームウオーク惡く球が前線に出されても突つ込み鈍く終始凡戰を繰り返した末に前半同點の試合を後半に移して法政辛くも二點を加へて勝つ、双方FKのうち法政のオフサイド六、商船のハンドによる反則六は試合を圓滑に進め得なかつた、この點再考の要あらう

法　政　4｛2—2 0—0｝2　商　船

【法　政】

熊田山		多	
内川川條亦木田	FW	留	3 9 18
大村與　山黒宇四二鈴細	HB	BK	CK CK CK
	FG		FG FG FG

【商　船】

楠田鷲田井野原澤坂川田

◇第二部戰績表（十四日）

商船	……0×……	1	0	0	1	1	0
成城	……1×……	1	0	0	1	1	0
明大	……1×……	1	0	0	1	1	0
東高	0 2×……	2	1	0	0	1	1
法政	……0×0……	2	1	1	0	0	0
商大	……×2……	2	1	1	0	0	0
	商法東明成船	合	試	勝	負	引	點
		試	勝	負	分		定

十三日の運動

◇蹴球　國大4—1明薬▲工大4—3日圖

S9.10.14

神宮祭奉祝中
等蹴球豫選

明治神宮祭奉祝體育大會中等蹴球豫選第二日は十四日午前十時本郷中球場で擧行準決勝で青師と慶嘗が勝ち殘つて來る一日神宮競技場で決勝戰を行ふ事となつた

◇準々決勝殘り

青　師　3—2　豐　師
本　郷　中　2—0　府　立　一
慶　嘗　5—0　獨　協　中

◇準決勝

青　師　2—0　開　成　中
嘗　1—0　本　郷　中

S9.10.14

十四日の運動

◇蹴球　拓大2—2成蹊▲高千穗高3—2農大YOS

S9.10.15

學生蹴球の日取と球場

東京學生蹴球聯盟試合中球場未定

の分は左の如く決定發表された

◇第一部早文(十月十九日東大)慶立(十月二十日東高)帝立(十月三十日東高)◇第二部明大對東高(十月十八日商船)

尙第三部の中大對東鎧戰は十一月四日成城高校で行ふ事になつた

S9.10.17

京大勝つ

【大阪電話】關西蹴球聯盟學生蹴球

リーグ戰は十七日午前十一時半の京大對外語の第一部及び第二部の大阪高醫對同志高商の試合に開幕されたが成績左の如し

京　大9{5—0 4—0}0外　語

大阪高醫　4—0　同志高商

十七日の運動

◇蹴球　全横濱11—0横高商、YCAC3—1横商專▲學生リーグ第四部拓大3—1吉學、東醫6—1明藥

S9.10.18

明大勝つ

蹴球リーグ戰　聯盟第二部

東京學生蹴球

大對東高の試合は十八日午後三時から小平商大球場で井出(主)荒井角田(線)三君審判、東高先蹴で擧行、六對五で明大勝つ

東高　二十分頃迄好連絡で試合を有利に進め一點先取したが明大盛り返して試合をリードし後半東高粘つて5—5の同點としたが明大最後の二分で決勝のゴールを奪つて辛勝した、東高パツクスは明大FW線を取り出して揃い守備線を布き明大パツクスはHB線の後退遲くFB線開き過ぎてスコアを大きくしてしまつた

明大6{3—1 3—4}5東高

【明　大】

田田石澤木內川內出島田

藤熊立松鈴大宇木井三星　5

FW

藤西部　澤村田沼藤本田保　2

HB

伊河阿　米北有藤加宮久　17

FB GK CK FK GK

【東　高】

◇第二部戰績表(十八日)

							合計	勝負	得點
商	……0…×	1	0	1	0	0	2	0	2
東	00…2×…	3	1	2	0	0	6	2	3
法	……×02	2	1	1	0	0	4	1	2
成	1…×……	1	0	0	1	0	2	0	1
商	…×……2…	1	1	0	0	1	3	1	2
明	×…1…2…	2	1	0	0	1	4	2	3
大	大城政高船								
明	商成法東商								

S9.10.19

學生蹴球リーグ戰

10—2 早大快勝す

◇……對文理大戰

東京學生蹴球聯盟第一部早大對文大戰は十九日午後二時半から東大球場で松丸(主)今井、光藤(線)三君審判の下に早大先蹴で開始、文大が長蹴の展開戰法を以て出たため試合はミツド・フイールドの熱戰となつたが前半十八分から早大三點を連取して勝敗を決し結局十對二で早大の快勝となる

早　大10{7—0 3—2}2文　大

前半十五分頃までは全く勝敗の逆睹を許さぬ變化に富んだ試合であつた、文大が自力を知つてこれに相應しい作戰の前に試合を進めたため流石早大もあしらひ兼ねて互に兩度ゴールを窺つたに過ぎぬミツド・フイールドの熱戰で進退してゐた、文大は正々堂々と互角の試合をつゞけてゐたが十八分の破綻はこれまで彌縫してゐた文大の劣味をさらけ出してチームの中心を失ひ前半早くも早大勝利に一層の輝きを添へてしまつた、各線とも無制球に盲目パスを出して連絡を欠き後半二點を奪つて零敗から免れはしたものゝ十八分以後は正體のない文大で只一人激しく藤野の動きが印象づけられたに過ぎない

◇…早大は立原傷ついて吉田これに代つたがよく動き堀江、鈴木のFB線の強硬、GK佐野の果敢と好判斷と相俟つて早大守備線の強味を見せてゐた、むしろ粒を揃へたFW線が大量得點をしたとはいへこれに正比するものとは斷じられない、RW大越はドリヴルシユートして鮮やかに二點を收めたが常時の動きの不足が特に目立つてゐたもつと鋭く動いていゝと思ふ

◇…文大はキック・アンド・ラツシユの威力を一寸趣かへて長蹴に早大の密連絡を斷つて出たのは思ひ付きだがサイドを衝かず一本調子の前送球はとらぬ、此試合はあまりに豫想のはづれたスコアで勝敗の決した凡戰で盡きる(山田生)

試合經過

◇前半　十八分早大RH笹野の送球は文大LHファンブルして球は野澤の前に出で野澤輕くシユートして早大一點を先取この直後CF川本シユートして2—0と開き二十分LW平松の辛くも前送した球は追走したLI加茂とつてプツシユし文大GKの後逸でゴールイン、早大は二十九分CH吉田の捌いた球を川本シユートして4—0とし三十四分RB堀江の長蹴をとつたRW大越ドリヴルシユートして得點三十五分早大野澤の送球をとつたCF川本密集を破りシユートしてゴールを襲ひ四十三分LI加茂シユートし文大パツクスこれを一旦クリヤしたがCF川本拾つてシユートし7—0

◇後半　文大右CK後二分RW江崎の辛くも捌いた球を右寄りに出てゐたLI藤野シユートして文大一點を收む、二十一分早大はCF川本ドリヴル後左前に出した球をLW平松ゴール左前に好送し川本とつてきめれば文大は二十四分RW江崎のゴール前送球が流れLI藤野プツシユして得點8—2となる、早大はこの直後中央を割つて出で川本の軟飛球はゴールイン、三十分CF川本が中央線近くで右前送球しRW大越ドリヴルシユートして得點

大】村下野崎願永三崎部島林

【文　木久藤江大松阿原阿長

FW

HB

FB

GK

CK

FK

GK

松茂本澤越野田野木江野

2 1 19

3 4 9

【早

平加川野大岡吉笹鈴堀佐

◇第一部戰績表(十九日)

							合計	勝負	得點
文大	0……0…×…	1	0	0	1	1	3	2	2
立大	……0…×……	1	0	0	1	1	3	2	2
農大	……×……2……	1	1	0	0	0	2	0	0
帝大	……×…2……	1	1	0	0	0	2	0	0
慶大	×……22	2	2	0	0	0	4	2	2
早農帝慶立文									
	試合								
	勝負								
	得點								

S9.10.20

S9-10-21

立教後半の連失

6—3 慶應に敗退

蹴球第一部試合

東京學生蹴球聯盟第一部慶應對立教の試合は二十日午後三時から東高球場で竹腰(主)大村、光藤(線)三君審判の下に慶應の先蹴で擧行、立教後半絶好の機會を連失してから崩れ終りに近く二點を報いたが結局六對三で慶應勝つ

慶應 6 {2—1 / 4—2} 3 立教

◇…早大と初舞台を立派に終つたとは言へ慶應打倒は豫想されなかつた、試合の終りに近く波瀾重疊たるものはあつたが結局は順當に勝敗が決定した

◇…後半六分から連續決定的の得點機會を物してゐたならば試合はより興味を盛つたであらうが凡蹴凡失とGKで宮の正面にとほして散逸してしまつた、肝腎な所で括りをつける事の出來ないのが慶應と相違する所である

◇…試合の最初は必要な所で球を高く上げ低くとほして立派に相手の虚をつく攻め手で臨んだのは上出來であつた、然し一度危地に陷れば右往左往チームを貫く重心なく徒らに混亂を繰返した、これは押されて押し返す事をせぬ小膽の然らしめる所でFW線がシュートする事をよくせぬ偶像の集りの如きと共に今後改めねばならぬ所ではないか

◇…慶應は攻撃線を思ふやうに布いてゐたが其の弱點は立教によつて遺憾なく衝きまくられた、播磨の倦まぬ動きで攻撃力を增幅してゐたのと岩波の健闘が守備力を厚くしてゐたのに救はれた事は見逃せない（山田生）

◇前半 二分立教右CKを得たが慶應バツクス好守、立教更に四分右CKを得たがゴールアウトとなる、十四分立教FKをCH飯沼とつて左前に送るLW上田ドリブル後中前に寄せた時慶應RB塚越斷つてGKにバツクパスしたが上田好走これをとつてシユートし一點を先取、慶應は二十一分LH岩渡の長送球をRW駒崎へツデイングできめ同點となる三十分慶應はRW駒崎の左前送球をLW藤岡とつてパスLI右近シユートして得點2—1慶應のリードとなる

◇後半 十一分立教LW上田好送球をRW淺のヘツディング高く止むとの直後慶應はRW駒崎軟飛球を放つたがGK山口クリヤしてのがれ立教また機會を凡失し慶應は十四分石川、藤岡からCF增田に出た球を增田とつて故意に殘しLI右近これをシユートして得點3—1となる、十八分慶應はRI播磨HB線を抜きパス、CF增田とつてFB線を抜いてシユートしゴールを陷れ二十七分LW藤岡自陣でとつた球を右近に廻し右近は藤岡にかへし藤岡のシユート

（立　教）
兄田田廣　崎沿崎田田口
田保　崔
上久上朝　宮飯駒塚灰山
FW
HB
FB
GK
岡近田磨崎波川　酸越宮
辻
藤右增播駒岩石　伊塚一
（慶　應）

8 5 19
CK KK CFG
6 3 H

◇第一部戰績表（十九日）

	文大	立大	農大	帝大	慶大	早大	合計	勝貫	點	定
文大		0…0	……	×	2	0	2	0	0	0
立大	0…0	……	×	……	1	2	0	2	0	0
農大	……	0…×	……	……	1	1	0	1	2	0
帝大	……	×	……	2	2	1	0	0	4	2
慶大	×	2…2	……	……	2	2	0	0	4	4
早大	×	……	2…2	……	2	2	0	0	4	4

早慶帝農立文

二十日の運動

◇蹴球 成蹊3—2明藥▲一高4—0工大

トした時增田チヤージしてきめ三十九分立教は慶應陣右密集から出た球をLW上田フリーシユートして一點を返し更に四十一分RI朝廣得點し5—3と迫れば慶應はこの直後右CKの球を增田入れ立教解機あつたが凡蹴でやむ

きのふの運動

◇蹴球 横高工OB9—0運動記者ク▲（學生四部）拓大2—0國大【大阪電話】（學生一部）關學14—0阪大▲關大3—1神高商

S9.10.22

S9-10-23

帝大不覚の一敗

番狂はせ・對農大蹴球

東京學生蹴球聯盟第一部帝大對農大戰は二十二日午後二時半から神宮競技場で井出（主）村形、津田（線）三君審判の下に農大先蹴で擧行、帝大前半ノウタッヂのコーナーキックで一點を先取して試合をリードしてゐたが後半農大二點を奪つて勝ちリーグ加盟以來の帝大打破の宿望を達した

農　大　2（0―1）1　帝　大

◇前半　廿二分農大中央を狙いて機會を與はれたがGK頭上で反則あり帝大はこの直後左CKを得德田の好蹴はその儘ノウタツチでエールに流れ込み帝大一點を先取

◇後半　二十六分農大はLW天野の中央突球を帝大FB八巻カットしたがもつれて高く出た球をLI見目ヘツヂングでゴールを陷れ1―1となる三十六分農大はCF神山の右前送球をRW中右ノウマークでとつて左前に流せばこれもノウマークのLI見目をとつて強蹴し得點2―1農大のリードとなる

【農大】野目山樫谷渡浦野井川本
【帝大】田原田林田崎原内石巻田
【農】天見神富中江杉山石西川
【帝】濱川太若潮江荻大近八飯

			4	21
FW				
	HB			
		FB		
		GK	CK	FK
			CF	GK
			11	11
			3	11

審笛

かつての王者帝大が一敗地に塗れ去つた農大は遂に覚えた帝大を攻落した一因となつてゐるが敗因は攻撃力の不振に關する

◇…第一點も風上の利が相當たすけたものであつたのに對し農大が見目によつて擧げたものは覚えたる決定的のものであつた。それもFW線を開いて出るやうになつてからの賜物であつた。後半三十分徐の帝大矢繼早の攻撃は農大石井の長身に潰される事多かつたにしてもゴール、ゲッターを欠く淋しさを哺たわけには行かぬ不調を上げるに躊躇しない

◇…農大はGK川本の不用の進出に相當危險が伴つたが幸運と帝大FW線の突込み不足に救はれた事を忘れてはならぬLHB線とFW線の連絡に滑らかさのなかつた事は注意を要する（山田生）

◇…然し試合は六分四分帝大に球は多く出されてゐても出來榮えから見るならば互角の一戰であつた農大FW線が開く事をせず中央を通すのによく應じてゐたパックスの奮闘は目立つて見えたが球を得た割にFW線はすぢすぢの動きで縦は勿論横に連絡なく攻撃層は極めて微弱なものであつた。偶々不慮の災のためHB線から長を欠いた事も今日の結果を招

續一部成績	文大	農大	帝大	早大	慶應	合計	勝點	負	定
文大		0	0	0	×	2	2	0	0
農大	0		0	×	×	2	1	1	0
帝大	2	2		×	0	4	2	1	1
早大	×	×	2		2	4	2	1	1
慶應	2	2	2	2		8	4	4	0

學生蹴球リーグ戰

6―1 慶應快勝

文大無氣力の敗戰

東京學生蹴球聯盟第一部慶應對文大、第二部明法の二試合は廿六日神宮競技場で擧行、明法の一戰は明大四對零で快勝し、慶文戰は午後三時から竹腰（主）大村、宮田（線）の三君審判、文大の先蹴で擧行、文大の追撃に興味を加へたが2―1後は慶應の採關に委し6―1で慶應の快勝する所となつた

慶應　6（4―0）1　文大

S9.10.27

【大】村下永崎瀬崎（三）部田島
【文】林木久松江大柴阿阿平長部

			6	8
FW				
	HB			
		FB		
		GK	CK	FK
			CF	GK
			0	1
			1	6

【慶】岡西田磨崎波近俣藤越宮
【應】藤中增播駒岩石猪伊塚二

◇前半一分慶應は文大パックパスを奪つてLI中西からの前送球をCF增田をつてドリヴルシユートして一點を先取、十四分文大は右CK後左に傾つてのスローインは中前に出され中寄りのRW江崎RI松永をつゞくヘツヂングでゴールを擧げ同點となる、二十二分慶應はCH右近の左前送球をLW藤田右前に好送球すればRW駒崎シユートしたが外れ流れた球を藤岡をつて好蹴に一點を加へ三十六分慶應はLI中西の前送球を播磨長蹴して得點、更に三十八分CF增田の左側に寄つて出した球を又も播磨きめて4―1となり勝敗を決定した

◇後半開始直後LI中西は增田、播磨と渡つて出た球をドリヴル後シユートして一點を加へ文大はRW江崎の左前送球で好機となつたが凡プレイで逸す、二十分慶應はLW藤岡RB平田の追走からのがれて出した右前送球を增田、播磨並進して押し込み得點、以後兩軍機會あつたが凡蹴多く入らず

審笛

慶應はCH石川の病氣によつて右近を下げ辻の代りに猪俣を拔擢して陣容をかへれば、文大は更生の意氣込みの下に陣容をかへて臨んだが更生を期した若さの文大振はず試合は實力の懸隔を綴つて文大意外の慘敗となつて終る

◇…經過を繰れば脆弱無力の文大を慶應が稽古台としたに過ぎない文大を攻撃的に見れば松永動かず木村は動いても壁の用さへなさずかて〻加へて前半三十分とつてシユートすべきを不用のカヴアなどして逸し後半三分の機會を無思慮に逸するなど寧ろFW線を混亂に導いてゐた、HB線は容易に追走せず攻撃線は極めて手薄であり守備線はマークを忘れて思ひ〳〵のポヂションに據り慶應FW線の攻撃を容易にしてゐた、一對一と追ひついて物凄い意氣を示しただけで後半の粘り無さ、慶應が上手の手から水を洩らした時のみが文大にとつての好機であつた

◇…慶應は右近をCHとして可もなく不可もなく愈々岩波によつて守備の堅實を加へ對立敎戰に比すれば相手も相手だが相手の盲パスをも活用し全線は太く強い連絡を示し好調を物語つてゐた（山田生）

第一部成績表

（二十六日まで）

	文大	立敎	農大	帝大	早大	慶應	合計	勝點	負	定
文大		0	0	0	×	×	3	0	3	0
立敎	0		0	0	×	×	2	0	2	0
農大	0	0		2	×	×	2	1	1	0
帝大	2	0	0		2	×	4	2	1	1
早大	×	×	×	2		2	4	2	1	1
慶應	2	2	2	2	2		10	5	0	0

◇第二部

明　大4（1―0）0法　政
　　3（0―0）0
一時明大先蹴、長坂（主）、緒方、佐藤（線）三君審判で開始

【明　大】
田田石澤木內川內出島田
藤熊立松鈴大宇木井三星
熊木　澤山川川條平木田
大村　森　　田　河
【法　政】寺奥黒宇四大鈴細

			6	1
FW				
	HB			
		FB		
		GK	CK	FK
			CF	GK
			GP	PK
			4	2
			7	1
			2	0

勝氣を欠き味氣ない試合で攻撃力の優れた明大の勝利は順當にしても法政FW線にきめ手があつたなら危い明大の守備線であつた、法政の守備線は深く明大は浅く過ぎて互に危地に陷つてゐたのは一考の要があらう

※次のページの最上段につづく

S9-10-27

※前のページの最下段からつづく

リーグ戦につく

第二部成績（二十六日まで）

	商船	東高	法政	成城	商大	明大	合計	勝負分
商船		0…2	×…3	1	1	0	2	0
東高	0…2		×…0	2	×…3	1	2	0
法政	1…×	×…0		2	1	0	2	0
成城	×…1	2…×	1…×		1	0	1	0
商大	×…1	×…2	×…1	×…1		0	0	3
明大	2…×	1…×	2…×	1…×	1…×		0	3
合計	1	3	2	1	0	0		
勝負分	0	1	0	0	3	3		
定点	2	5	4	2	3	3		

S9.10.27

學生蹴球第二部

東高勝つ

東京學生蹴球聯盟第二部東高對成城高の試合は二十六日午後二時四十分から石神井球場で岩波(主)溝口、辻(線)三君審判の下に東高先蹴で擧行、三對二で東高勝つ

（成　城）
本弟橋兄家岡藤内村
本本
松坂高坂古長加山高
藤西部井澤村田藤沼田
伊河阿堀米北森有加藤久
（東　高）

FW　HB　FB　GK

12	CK	FK	8
4	FK	GK	6
23	GK		20

S9.10.28

第二部成績表（廿七日迄）

	商船	成城	法政	東高	商大	明大	合計	勝負分
商船		1…0	…×	3	2	1	1	0
成城	0…1		0…×	3	1	1	1	0
法政	…×	0…×		2	2	0	0	2
東高	2…3	2…3	0…2		0…×	2…×	1	4
商大	1…2	1…2	2…×	2…×		2…×	1	4
明大	1…2	0…1	0…2	2…×	2…×		0	5
合計	0	1	0	1	1	0		
勝負分	3	2	2	0	0	0		
定点	5	4	2	1	1	0		

S9.10.28

關西學生蹴球

關學、神商勝つ

【大阪電話】關學對關大及び神高商對大阪外語の兩試合は廿七日午後一時から甲子園で擧行關學神高商勝つ

關　學　1(01——00)0　關　大
神高商10(64——10)1大阪外語

廿七日の運動

◇蹴球　成蹊4—0東醫

S9.10.28

學生蹴球

東京學生蹴球聯盟第三部二試合は廿八日午後一時から東高球場で擧行第三部の爭覇戰と見られてゐた慈大對中大戰は接戰の末慈大勝つ

一　高9{4——2 5——0}2東　歯
慈　大4{3——2 1——1}3中　大

廿八日の運動

◇蹴球（第四部）青學10—1明衆（第五部）日醫2—0明學、外語7—1高工藝【京都電話】京大5—1大帝大

S9.10.29

S9-10-30

立教辛くも2—1
帝大を破る
學生蹴球第一部

東京學生蹴球聯盟第一部帝大對立教戰は廿九日午後二時半から東高球場で野村(主)幸田、西川(線)三君審判の下に帝大先蹴で擧行、試合は帝大優勢を示したが二對一で立教の辛勝する所となつた

立　教2{1——0 1——1}1帝　大

◇前半　立教は左CKを得上田の好蹴をCF上田へツヂングすればGK大村ファンブルしてゴールインとなり立教一點の先取となつて終る

◇後半　帝大は三十二分右から寄せた球をLI川原へツヂングすれば立教はGK山口見事なセーヴでのがれたがこの左CKをさつた帝大は德田の好蹴をRI岩林をさつてヘツヂングでゴールを陷れ同點となる四十一分左から迎撃した立教はRW朝岡のゴール左前にのびた送球をLW上田シユートして決勝の一點を挙げ帝大四十四分の攻勢も空しく終る

◇第一部戰績表

	文大	立大	帝大	早大	農大	合計	勝負分	定点
文大		0…0	…×	…×	…×	3	0	3
立大	0…0		0…2	…×	…×	2	1	2
帝大	…×	2…0		0…×	…×	2	1	2
早大	…×	…×	0…×		2…2	2	2	1
農大	…×	…×	…×	2…2		3	3	0
合計	0	2	0	2	2			
勝負分	3	1	2	2	3			
定点	6	4	2	2	4			

評論

◇…帝大はCK13をとり立教に21のGKをなさしめてゐるのに見ても攻撃的であり優勢であつたかが覗知されよう、試合は正しく七分三分で帝大のものであつた帝大は試合で勝つて結局敗れた、このシーズン三戰して早くも一勝二敗は九シーズンかつて見ない戰績と言はねばならぬ、不調もあるが不運を嘲たねばならぬこの試合は勝ちたりも敗も立教にとつては幸運につきるものであつた

◇…帝大は前半において得點機會を自潰する事七度、如何に小さく見ても三點の決定は容易であつた、これがきまつてゐたならば試合は容易に帝大のものとなつたであらう、攻撃陣の形成は帝大顏然すぐれ巧みな寄せに立教守備陣を攪乱してはチヤンスを迎へたのであつたが決め手の拙劣は遂に立教の得點先取となつてしまつた、帝大にとつて一點の負擔は輕いやうであつてこの日のFW線の出來榮からすれば決して輕いものではなく敗戰の責は特にFW線が負つてよい不振拙劣のものであつた

◇…立教は偶々前線に球を供給してもHB線の追走鋭く攻撃的に贈與する事なく後半のパツクスが對人マークは帝大攻撃線を一層強靭のものとしてゐた、幸運の試合は上田の幸運の頭蹴で決定したのを忘れず常に試合を積極的に進める事に努力する一方公正なるプレイを期すべきだ

◇…凡失つゞきの試合は煎じつめれば凡戰の一部につづる【山田生】

【帝　大】
田原藤林田橋原內石谷村
【立　教】
德川佐若太江荻大近八大

FW　HB　FB　GK

兒田車橋鷹崎島	CK	FK	13
田保田	FK	GK	7
上久上駒初宮飯	GK		5
4	1	2	
1	2	1	

一日の運動

◇蹴球
早二軍4——1二　高
學生リーグ第六部
東　藥6——0駒　澤

S9.11.2

拓大蹴球優勝

學生リーグ四部拓大對明藥戰は二日擧行の豫定であつたが明藥棄權し拓大の勝となり拓大は結局今シーズン四勝一引分の成績で四部に優勝し三部に昇格又明藥は全敗して五部に後退する事となつた

S9.11.3

二日の運動

◇蹴球（神宮奉祝中等決勝）

青　師　1（1―0）0　慶　曾

S9.11.3

商大快勝す

學生蹴球第二部

東京學生蹴球聯盟第二部商大對商船の試合は三日午後二時半から石神井球場で塚部（主）野邊田、渡邊（綠）三君審判の下に商船の先蹴で擧行、殆んど商大の一方的試合で十一對三で商船慘敗す

商　大11（7―2　4―1）3商　船

【商船】橋田島野井發原澤坂川田多留

【商船】丸島中波櫻開楓松木布岡

FW

HB

FB

GK

【大】掛井枝田田田堂木村島島

【商大】大宮淺尚林森二鈴枝水田

CK　3

FK　5

GK　20

10

5

10

◇第二部戰績（三日迄）

	商船	成城	法政	東高	商大	明大	合計	勝資分	點
商船		○…○	○…×	○…×	○…×	×…×	2	0	0
成城	×…○		○…×	○…×	×…×	○…×	2	0	1
法政	○…○	×…○		×…×	○…×	○…×	3	1	2
東高	○…○	○…○	○…○		○…×	○…×	4	3	4
商大	○…×	×…○	×…○	×…○		○…×	2	2	4
明大	○…×	○…×	○…×	○…×	×…○		2	2	4
試合	2	2	3	4	2	2			
勝資分	0	0	1	2	0	0			
點	0	1	2	4	4	4			

S9.11.4

三日の運動

◇蹴球（第四部）青學2―2成蹊（第五部）外濠6―2府立高△日大5―0日醫大【千葉電話】岡山醫大3―2千葉醫大

けふの運動

◇蹴球　早大對農大、文理對立教（一時神宮）中央對東歯、一高對日歯（一時成城）近府縣中等大會第二日（八時半横高商）東京運動記者對聯盟マネージヤー（十一時神宮）

S9.11.4

四日の運動

◇蹴球（學生聯盟三部）中央4―3東歯▲一高3―1日歯▲聯盟マネヂヤー軍4―3運動記者

S9.11.5

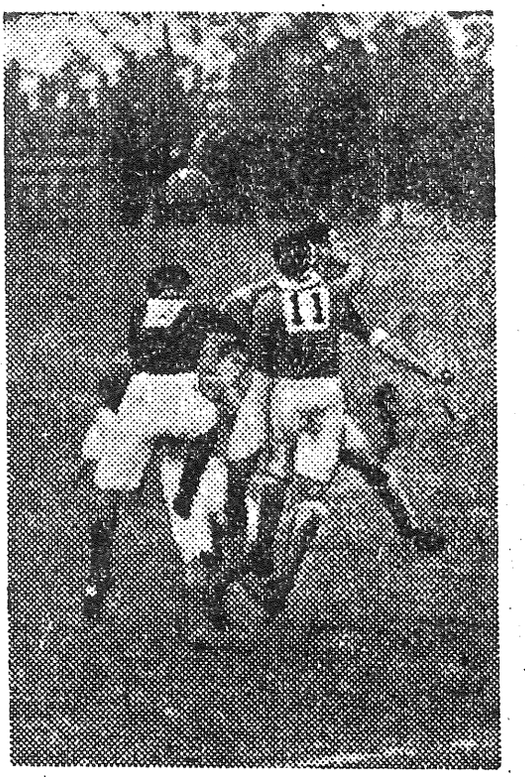
京大蹴球勝つ【大阪電話】

關西學生蹴球リーグ第一部京大對關大の試合は五日午後三時から甲子園南運動場で開始

京大2（1―1　1―0）1關大

S9.11.6

59-11-5



文理大對立教の白熱戰

立教と大接戰 文理大敗る

早大は農大に快勝

學生蹴球 第一部

東京學生蹴球聯盟第一部早大對農大、文大對立大の二試合は四日午後一時から神宮競技場で擧行、西北の風ありフイールドは稍軟弱である、農大後半潰えて早大の快勝に歸し、文立戰は終始接戰を續けた末に立教見事な得點を重ねて勝つ

早大7(1—0 6—0)0農大

(一時早大先蹴、松丸(主)伊藤、辻(線)三君審判)

◇前半　二十六分早大RI野澤の前送球を川本とつて野澤にかへし野澤強蹴すればGK川本のクリヤで農大危機を脫したが追走した川本この球を拾つてゴールを陷れ一點を先取▲三十六分農大は左CK後ゴール右前にのびた球で好機となつたが早大は密集で潰す

◇後半　五分早大はCH立原長蹴して農大ゴールをつけば密集に彈かれた球はLH吉田の前に出て吉田クリーンシユートして一點を加へ▲七分LW平松の短選球をCF川本とつてシユートし3—0と離す▲十五分農大は後半最初の攻撃線を進めCH杉浦の長蹴から連續機會を作つたが佐野の好守とFW線左側の隅蹴で逸す▲二十一分早大は混戰から右に洩れた球をRW大越農大ゴール正面にかへして後CH立原の上げた飛球はGK川本後逸してゴールインとなる▲早大は更に二十七分LI加茂シユートして一點を加へ▲農大は三十分左CK後LH江渡の送飛球で機會を迎へたが早大よく守つてこの直後CF川本の長蹴決定して6—0となる

【早大】									
松茂本澤	越田原野	木江野							
平加川野大	吉立椎鈴堀佐								
	FW								
	HB		B						
	FB		GK						
野山前桜台渡浦野井野本									
天群寺富中江杉山石山川									
【農大】									

立教5(2—2 3—0)2文大

(三時文大先蹴、犬崎(主)石川、堀江(線)三君審判)

◇前半　六分立教はLW上田の長蹴ゴールインとなり▲文大は十八分右側の隙をついてLW篠永シユート同點となる▲文大は三十分RW江崎長蹴でゴールを擧げリードしたが▲立教は三十二分RI朝廣の攻陣右隅から出した球をCF上田とつてシユートして得點再び同點となる

◇後半　ミッドフイールドに接戰を續け十八分文大はCF松永の送球で作つた機會をRW落し▲立教は二十分LW上田の中央線付近の前送球をCF上田とつて攻陣左隅に廻つてシユートしたが惜しくもゴールアウトとなる▲三十八分立教はLH宮崎の送球をCF上田とつて前送しLW上田ドリヴル後FBを拔いてゴール前に出せばCF上田フリーシユートして一點を擧げ▲つゞいて三十九分LW上田ドリヴルシユートして得點し勝敗を決定づけ▲更に四十三分CF上田中央線付近の混戰から拾つてドリヴルシユートして得點

【文大】									
永下永	崎村崎三部田田								
篠久松	林部								
江木原阿阿平長									
	FW								
	HB		B						
	FB		GK						
兄田弟廣	崎島田田田口								
田保田									
上久上朝	崔	宮飯肥塚灰山							
【立大】									

審笛

非常に期待されたのであつたが前半善闘、後半亂戰スコアの示す通りで後半は全く早大勝利の光輝を添へるに過ぎぬ批評の余地を殘さぬものであつた

◇…前半意氣軒昂長蹴を利かして飽く迄強攻に出たのは實に堂々たるもので早大に一點の先取を許したが些して遜色のない試合振りでこの一點も挽回を期待させたが後半向風となるに及んで退嬰的の布陣で却つて聯絡を斷ち早大攻撃線の蹂躙に委してしまつた、この戰法の誤りのみか氣魄の沈下は亂戰を自招してゐるのも認めねばならぬ、帝大を食つて自負が強くなつたが案外早大は手應へ強くその中氣が滅入つたか、それにしても杉浦の悲壯な意氣に感じて結合する事をしなかつたのは慘敗の大きな原因をなしてゐる、農大は正しく技術と意氣に敗れた

◇…力量互角接戰を續けてゐた文立戰は後半ヒタ押しに押した文大がFW線に決定力なく殘る最後の十分で三點といふ大量得點を許して新鋭立教の前に兜を脫いでしまつた、文大はこれで四戰四敗殘るは對農大の一戰を殘すのみとなつた、讃歌すべき善のシーズンはこゝに悲慘極まるものとなつた

◇…然しこの試合は相雜なパスワークで双方チームの進退に滑らかさを欠き下手な蹴合ひといふ内容を盛つたに過ぎない、それに醜いアウルプレイを故意に行つてゐたのはFK1—0の外にあり寒心に堪へぬものがあつた、自制の要がある

◇…文大後半に入つて矢繼早のチヤンス自潰は守備線の欠點よりもFW線の無能として責めらるべきではないか、試合毎にチーム編成に迷つた結果の所産とよりは見られない

◇…立教後半の危機を脫したのは幸運もあるがGK山口の他バックスの後退が素晴しくよく文大FW線を潰してゐたのに依るが農大の杉浦にも劣らずチームを飽く迄眞摯な態度で率ゐた飯島のもたらした精神的なまた肉體的の奮鬪に負ふ所が多い(山田生)

◇第一部戰績表

	文大	帝大	立教	早大	農大	合計	勝負	得點
農大	0000…×	00…2×	……0×0	0×2…2	…×2…22	4	0	4
早大	00…2×	……0×0	0×2…2	…×2…22	×…2…22	3	1	3
立教	……0×0	0×2…2	…×2…22	×…2…22	2…22	4	2	8
帝大	0×2…2	…×2…22	×…2…22	2…22	22	3	2	6
文大	…×2…22	×…2…22	2…22	22		3	3	6
農文	×…2…22	2…22	22			3	3	6
試合	4	3	4	3	3			
勝負	0	1	2	2	3			
得點	4	3	8	6	6			
定點	0	2	2	2	0			

S9-11-10

商大、明大に 1勝つ 3—1

蹴球第二部

東京學生蹴球聯盟第二部商大對明大の試合は九日午後一時三十五分から石神井球場で幸田(主)辻、小山(線)三君審判の下に明大先蹴で行はれた、第二部の首位を爭ふ重要な試合として緊張し終始接戰を續けたが結局三對一で商大勝つ

商大の速度ある好連絡に引きかへ明大はCHに新人を擁用してチームに中心を失ひ攻守ともに整備を欠いて守るに混亂し攻めるに薄弱な攻撃線を布いてしまつた、明大は陣容編成において違算あつた、この上にFW線は球捌き鈍く商大に匹敵する多くの機會を逸してゐた、商大は屢々危地に陷つてはゐたが勝味ある試合を行つてゐたのはチームバランスのそれてゐたのと必勝の氣魄に燃えてゐたからで明大後半の鈍走と判斷の不正確は練習不足のもたらしたものだらう

商大 3 (2—0 1—1) 1 明大

【明 大】
田田石澤木内 內川島田
劉 田
(FW) 藤熊立松鈴木 大宇三星
(HB) (FB) (GK)
掛井枝田田田堂木村島島
階
大荒淺角林森二鈴枝水田
【商 大】

8	CK	5
7	FK	8
9	GK	20

S9-11-10

關東府縣對抗 中等蹴球

第二回

來月廿六、七兩日擧行

本社後援・關東蹴球協會主催

昨冬關東中等學校蹴球界の全面的普及と發展を期して本社後援關東蹴球協會主催府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會の第一回を開いたが今冬も引續き內容を充實させて第二回大會を來る十二月廿六、七の二日間明治神宮外苑競技場において開く事となつた、一府七縣各々最強チームの選出に腐心し十月中旬から豫選大會又はリーグ戰形式を採つて既に火蓋を切り茨城縣代表は水戸中學、神奈川縣はリーグ戰の結果神奈川師範、栃木縣は十月の縣下大會に優勝した栃木師範が夫々代表として出場する事になつた、地元の東京府は十日を以て豫選參加申込を締切り來る十七日から豫選大會を開くことになつてゐる、各地豫選日割左の如し

◇山梨縣(豫選大會) 十一月十七、十八、二十三、二十五の四日間
◇埼玉縣(選拔豫選埼師對浦和中) 十二月八日
◇千葉縣(豫選大會) 十一月二十四、五日の二日間
◇群馬縣 推薦の豫定
◇東京府(豫選大會) 十一月十七、十八、二十三、二十四、二十五の五日間
◇栃木縣 (代表決定)栃木師範
◇神奈川縣 (代表決定)神奈川師範
◇茨城縣 (代表決定)水戸中學
尙東京府豫選は左の如く行ふ
◇會場體育研究所球場、青山師範球場◇申込締切十一月十日◇主將會議十一月十五日(木)午後六時から本社會議室◇申込場所東京市芝區新橋三丁目一六、駒場ビル內關東蹴球協會

◇第二部戰績表(九日迄)

	商船	成城	法政	東高	明大	商大	試合	勝負	分	點
商船		0…0	1…0	×…×			2	0	2	0
成城	0…0		1…0	×…×			2	0	2	0
法政	0…1	0…1		×…×			2	0	2	0
東高	×…×	×…×	×…×				0	0	0	0
明大	1…0	1…0	2…×			2…2	3	2	1	4
商大	×…×	×…×	×…×		2…2		2	0	2	0
商明東法成船							合計	勝負	分	點

◇蹴球 學生第四部國大3—3 青學

九日の運動

S9-11-11

成城5—3法政

學生蹴球一部

東京學生蹴球聯盟第二部法政對成城高校戰は十日午後二時四十分から石神井球場で河村(主)荒井、大掛(線)三君審判の下に成城先蹴で開始、法政は後半バックスの失策多く5—3で成城に敗れた

成城 5 (0—1 5—2) 3 法政

【法 政】
浦澤川山內木木條平熊田
河
(FW) 杉寺黑奧山村鈴四大大細
(HB) (FB) (GK)
本豐藤本家岡 內村橋本
橋
松高加坂古長 山高高岡
【成 城】

3	CK	12
11	FK	26
12	GK	16

十日の運動

▲蹴球(大阪)學生リーグ第一部關大3—1大阪帝大(東京學生大部)上智(豐橋)駒大△(五部)工藝5—3明學△(三部)中央11—0工大

S9.11.11

◇蹴球 (十四日)
【第五部】 日大1——1外語

S9.11.15

關東中等蹴球 東京府豫選

組合せ決定

本社後援關東蹴球協會主催第二回府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選は來る十七日を第一日として十八、二十三、四、五の五日間體育研究所球場において行はれるが十五日午後六時から本社會議室で參加十五校の主將會議を開いて組合せ抽選を行つた結果左の如く決定した

◇第一日 (十七日)
成城中對青學 (一時半)
府一商對府五中 (二時四十分)
◇第二日 (十八日)
豐島師對本郷中(前十時)
青山師對成城學(前十一時十分)
開成中對早實(零時廿分)
獨協中對府八中(一時半)
曉星中對日大二中(二時四十分)
(不戰一勝)慶普
◇第三日(二十三日) 成城中、青學、府一商、府五中(前十一時)豐師、本中、青師、成城學(零時十分) 開成中、早實、獨協中、府八中(一時半)曉星中、日大二中、慶普(二時四十分)
◇第四日(二十四日) 準決勝二試合(一時、二時十分)
◇第五日(二十五日) 決勝(二時)

S9.11.16

5—1 文大快勝す

對農大蹴球（第一部）

東京學生蹴球聯盟第一部文大對農大の試合は十五日午後二時半から東高球場で岩崎（主）渡邊、中川（線）三君審判の下に農大先蹴で擧行、闘志を欠いた農大不振、文大快勝す

文大 5（2—1）0 丁 農大

◇前半　一進一退後文大は十六分PKを得たが松永のキック右に外れて空しく、續くLI久下の作つた決定的の機會は松永高くあけて止む、農大は二十二分CH杉浦の前送球がゴール正面に落ちる時LI見目チヤージしたが文大GKよく守つて返す、文大は二十四分LW藤野の右前送球をRW江崎シユートして一點を先取すれば農大は二十六分CF群山正面を割つて出でRW中台追走して押し込み同點となる、農大は文陣に球を進めてゐたが無爲、文大は三十五分左側から出でLI久下左から持込みシユートすれば農大GK川本輕く扱ひ過ぎて後逸し、文大のリードとなる

◇後半　九分農大は中央線邊のFKから見目右に捌いて機會となつたが無爲、文大は十一分CH原崎の左前に送つた球をCF松永へツデングでゴールを襲へばRW江崎チヤージして得點、二十二分LH木村の右前送球をRW江崎シユートし農大GK危い捕球の時CF松永プツシユして一點を加へ4—1となる、三十八分農大はLW天野から見目右に捌いて機會となつたが無爲、文大は十一分CH原崎の左前に送つた球をCF松永へツデングでゴールを襲へばRW江崎チヤージして得點、二十二分LH木村の右前送球をRW江崎シユートし農大GK危い捕球の時CF松永プツシユして一點を加へ4—1となる、三十八分農大はLW天野

【農　大】

野目山	樫台	渡浦弟
天見	群富中	江杉富
井川	本	石西川
FW		
野下永	崎村崎	三部田島
藤久松	林	江木原
部		阿阿平長
HB		
FB		
GK		

【文　大】

◇第一部戰績表（十五日迄）

	試合	勝	負	點
農大	4	1	3	2
文大	5	1	2	2
帝大	4	2	2	4
立教	4	2	2	4
農大	3	3	0	6
早慶立帝文農	3	3	0	6

00…20×
000×20
……0×220
0×222…
…×2…22
×…2…22

S9.11.16

審笛

農大は闘志を忘れ文大はよくその持味を示して敢鬪し勝敗を決定した、勝敗は順當の結果である

◇…強者に向ふ農大の日頃の意氣があつたなら斯うも慘めな敗戰とはならなかつたであらう、後半3—1と開いてからは文大の意氣愈昂りその持味も遺憾なく示されて殆ど一方的の試合となつた、前半は2—1と開いても互角の試合、後半は七分三分の農大には全くひけ目の一戰となつた、農大パツクスの布陣は文大强攻の前に拙劣を極めた、FB線とHB線の間に文大FW線が介在し走力をきかしてゐるのを氣がついてゐたならば案外强いインナーの後退をより守備的にしてHB線とFB線の連絡を緊密にすべきであつた殊に農大は鈍走であるからこの位消極的にしてキツクを利かして行くべきであつた、GK川本の不振は敗戰に拍車をかけいづれの點から見ても農大にとつて勝味はなかつた

◇…文大は松永PKの凡球前後は三度好機を逸して振はなかつたが後半三十四分農大CF群山獨走に際し危地に陷つたが農大FW線の追走なく逃れLW天野の弱い高目のシユートがあつた時RW中台の不用のキツクで救はれたのが農大のチヤンス文大の危機であつたが文大としては最後の一戰を迎へて行くべき方途を知つた、遲蒔きではあるがこの一勝によつて稍意を强うする事が出來たわけだ（山田生）

S9.11.16

青學蹴球勝つ

學生蹴球リーグ第四部青學對東醫の試合は十六日午後三時から多摩川球場で杉浦主審青學先蹴で擧行、三對二で青學辛勝す

青　學 3（2—1）2 東　醫

S9.11.17

S9－11－17

胸のすくやうな 快戰を期待

早帝蹴球戰前記

腐つても鯛の帝大の奇兵 早の堅陣に迫らん

早帝蹴球戰は今十七日神宮外苑競技場において行はれる。帝大はこのシーズン三戰只の一勝を收めただけで凋落の一途を辿れば早大は三戰三勝、試合を重ねるに從ひ無敵の威力を遺憾なく示して正に旭日昇天の勢である。かつては「ビッグ・スリー」の二頭の對戰として天下二分のビッグ・ゲームであつたがこのシーズンは早くも勝敗の歸結を明らかにしてゐるが如く見られてゐる

◇…帝大は對慶、對立の二戰において七分の有利な試合をしながらゴール・ゲッターを欠いて二戰を可惜落してゐる、對立戰後二旬、涙の滲むやうな守備線の補強と攻擊線の機會完捉に精進を續けた、德田、潮田のFW線兩翼が作るチヤンスを川原、太田、岩林のセンター・スリーが五割乃至七割を決定する事にもなれば燎原の火の如く伸び行く早大完勝の勢も斷たれずとは言へぬ、荻原をFBに下げて八幡と並べた爲めにHB線は松浦、江崎、大內が揃へられてゐるGKは飯田、HB、FBの編成に新味の盛られてゐるのは一面期待し得る強味でもある、早大の堅陣無比の香ラインに比すれば小粒乍らもよくまとまつたチームで對慶、對立の二戰を以て帝大興し易しとは侮る事が出來ぬ蹉跌なき球史の前に面目輿廢をかけたこの一戰「身を捨てゝ浮ぶ瀨を求める」事と豫想されるから相當激しい試合を豫想し得る

◇…早大は【FW】平松、加茂、川本、野澤、大越【HB】吉田、立原、笹野【FB】鈴木、堀江、【GK】佐野の押せば彈ね返し、突けば奔流の如く勢を切る不動の鋼鐵陣を布いてゐる

◇…不死身の早大ではあるが興廢をかけ皆を貫く一念に烈々と燃え傳統の奇兵を放つ妙を持つて臨む帝大は決して小敵ではない、試合は案外波瀾を捲き起し內容豐かなものとならう今シーズンの十余試合は余り勝敗に拘泥し過ぎてガヂガヂ試合のみで吾等は飽滿してゐる、試合するものが勝敗から離れるわけはないが帝大は腐つても鯛の味をホし早大は王者の貫祿を見せこのシーズン初めて胸のすくやうな痛快味を盛つた快戰に希望をかけるものである（山田生）

商大勝つ（二部）學生蹴球

第二部商大對成城高校の試合は十七日午後二時半から石神井球場で小長谷（主）、篠永、長島（線）三氏審判成城先蹴で擧行され結局三對一で商大勝つ

商 大 3（3―0）1 成 城

【成城】
本 豐藤 本家岡
橋 屬ノ橋 內村弘
松高加坂古長 山高高岡
FW
HB
FB
GK
掛井枝田田田 堂木村島島
大荒淺角林森 二鈴枝水田
18 10 5
26 3 7
GK
GK CK
F

【商大】

關西學生蹴球

【大阪電話】關西學生蹴球聯盟第一部二試合は十七日甲子園南運動場で擧行

大阪外語 4（1―1）1 阪 大
關西學院 6（3―0）神戸高
（5―1）1 商

青學、五中一勝 中等蹴球大會

本社後援關東蹴球協會主催第二回府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選第一日は十七日午後一時二十分より體育研究所球場において擧行、青學、五中は各々一勝した

◇第一回戰

青 學 3（2―0）0 成城中
（1―0）
府五中 9（8―0）0 府一商
（1―0）

S9.11.18

各種リーグ戰 十七日

◇蹴 球（東京學生）
慈 大 8―0 工 大
高工藝（準權）日 大

S9.11.18

S9-11-18

帝大攻撃力微弱

6—1 僅か十分で崩る

早大蹴球に快勝

東京學生蹴球聯盟第一部早帝戰は十七日午後二時半から神宮競技場で濱田(主)右近、駒崎(線)三君審判の下に早大先蹴で開始、曇天無風でコンデイション良好

早大6〔4—0 2—1〕1帝大

◇…試合は早くも前半十分迄に攻撃力微弱な帝大が三點の過重な負擔となつて勝敗づけられ後半敢然強攻戰法をとつて挽回につとめたが及ばなかつた、惜しい機會を幾度か逃してゐるが順當な結果といふ外はない

◇…帝大はFW線を長いW型で守備線を厚く長驅でFW線の走力を利して出ようとしたが却つて試合を單的のものとして失敗に終つた早大の長驅連絡型の復活と比すればこれは猫鼠連絡型の復活と比すればこれは猫鼠猫をかんの窮余の一策であつたらう、前半早くも勝敗づけられたため後半は氣樂なプレイで早大を敵地に陷れたが最初から治身の一手で眞向から發ひかぶさつてゐたなら試合は一層波瀾を呼んだのではないか、強攻それは時機を逸してゐる、バックスが制球力を欠いて前半フイート乏しかつたのも余儀なきものであつたとはいへ、球の正面を通す事にのみ偏してゐたのはとらぬ

◇…後半は帝大優勢の試合で早大バックスの死守によつて潰されてはゐたが早大守備線を潰亂せしめたのと漸く鋭い突つ込みを見出したのは殘る對戰に希望をかけ得る事となつた

◇…早大は前半よくチヤンスをきめ一方的の試合としてゐたが、後半スコアは2—1となつたものゝ圧倒のHB線が引き廻されはじめてからは混亂を繰り返してしまつた責は勿論前後半に偏した試合となつてゐた。收めた二點も辛くも切り開かれた單獨プレイに生み出された幸運のものであつた、早大は戒心の要があらう

◇…前半三十八分帝大LW德田の好センターリングを早大GK佐野の勇敢なセーヴイングは今シーズン記錄さるべき美技であり帝大GK飯田が第二、三點を暗く落したのは飯田としての珍しい失敗であつた(山田生)

帝大)田原田林田浦原崎石巻田
FW
HB
FB
GK
大)松茂本澤川田原野木江野
早)平加川野長吉立笹鈴堀佐谷

CK 5 2 1 7
FK
GK 3 2 1 5

◇前半　四分早大はLW平松の好送球をCF川本早く胴いて後逸したが追走したRW長谷川をつて翻くヘツデングでゴールを窺ぐ▲帝大は八分左CKを得德田の好蹴をLI川原強蹴したが外れて止み早大は九分LH吉田ロングシユートすればGK飯田の捕球失ξなりチヤージしたCF川本をつてプツシユして一點を加へ▲更にこの直後川本正面からシユートすればGK飯田後逸して早くも3—0となる▲二十四分帝大は早陣右寄りにFKを得たが短蹴は密集にはばまれて空しく早大は左側から盛り返し中央線付近でLW平松のパスをLI加茂をつて長驅ドリブル後シユートしGKセーヴの手を彈いてゴールインξなる

◇後半　十分帝大は左CKを得德Fの好蹴して密集の中に落ちた球で機會を逸へたが早大バツクスのためつぶされ十五分CH荻原の左前送球を左側に出てゐたLI川原好センターリングしRW潮田進んだが早大はLB鈴木ゴールアウトしてのがる二十四分帝大はCH荻原の左前送球をLW德田長蹴したがバアを彈いて返り強襲を續けて二十五分RH江崎の左前送球をLI川原シユートして得點一點を加ふ▲三十分早大はCF川本左前に捌いた球をLW平松から加茂にパス、加茂ドリブルシユートしてゴールを窺ぐ▲帝大強攻するが空しく早大は四十四分RW長谷川の送球をCF川本強劇球でゴールを陷れ勝つ

◇第一部戰績表(十七日迄)

文大	0	0	0	2	×	5	1	4
農大	0	0	0	2	×	4	1	3
帝大	0	0	×	0	2	4	2	3
立大	0	0	×	2	…	4	2	2
慶大	…	×	2	…	2	3	3	0
早大	×	…	2	2	2	4	4	0

早慶立帝農文　合計　勝負　得點　失點



早大GK佐野の美技(早帝蹴球後半)

中等蹴球大會

關東豫選第二日

本社後援關東蹴球協會主催第二回府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會東京豫選第二日は十八日午前十時より體育研究所球場で引續き第一回戰を擧行、成績左の如し

豐島師4〔3—0 1—0〕0本鄕中
青山師7〔3—0 4—0〕0成城專

◇蹴球
商船 3—2 明大
中央 2—2 歯大
府立高校 6—2 日大

十八日の運動

S9.11.19

S9.11.19

FW線の動きが勝敗決せん

興味ある慶帝蹴球

東京學生蹴球聯盟第一部今シーズンのスケヂュールは明二十二日の慶立と二十五日の慶帝、それに一日の早慶を殘すのみで辛苦一年の努力が清算される事となつた

◇…初登場としては破天荒の戰績を殘して第三位獲得確實と見られる立敎と農大との一戰は、農大にとつてはこの試合が浮沈のかゝるものであり、驀進を續ける立敎にとつては有終の美をなさねばならぬ試合である農大が上位チームに臨む倒れて後止むの氣魄を缺けば幸運に惠まれて勝點を被拔して來た立敎は一分の隙も持てない、この試合は農大FW線兩翼の劣勢を如何にして補強し立敎のチヤンスメイカー上田兄の攻撃力完封を如何に策するかにある、試合は五分と五分、最初に得點した方に重配があがるのではなからうか

◇…早大を目標として進む慶應は三戰三勝、帝大はこれが最後の一戰で蹉跌の一歩手前に呻吟してゐる、今シーズン不振の帝大も早大は兎も角、慶應には……の決意で二十五日を待ち構へてゐる對早大戰における後半の意氣と驚嘆なパスワーク、それにFW線の鋭い突つ込みが試合前面から發現されるならば試合は從來の如くビツクゲームとしての見榮えあるものとならう、ゴールゲツター蒲池の出馬も傳へられてゐるがFW線の動きが鍵花を加へて來てゐるから強い守備線を有いて攻撃は最善の守備なりとある慶應陣を破壊する事も考へられる試合巧者の慶應が先手、先手と出るならば落ち目の帝大も策の施しやうがなからう、試合は帝大が敢て苦肉の策を弄せず勝つか、駒崎のFW線兩翼を押へつけ撹亂、右近の奔放を斷ち切りFW線がシユーテング・レンヂを擴大したら早大と共に重視される慶應として我利を思想する事は出來ぬ帝大にとつては流くも笑ふも最後の一戰、全力を傾け盡すそれがこの試合を勝利的に齎らせるであらう（山田生）

S9.11.21

二十一日の運動

◇蹴球

早二軍 4 {1—3 / 0—0} 0 YOS

S9.11.22

立敎、商大勝つ

學生蹴球 一、二部結果

東京學生蹴球聯盟第一部農大對立敎戰は二十二日午後三時から法政商大戰に引續いて神宮競技場で竹腰（主）片山、原田（線）三君審判、農大先蹴で擧行、西北の微風でコンデイション良好、立敎勝つ？

立・敎 4 {2—0 / 2—0} 0 農・大

◇前半 八分立敎はLH宮崎の右前送球をRW崔タツクルを外しドリヴルシユートして一點を先取、農大して得點、二十五分立敎は左CK後RI久保田のヘデツング外れたがLI朝廣拾つてこれをきめ4—0と離す、農大挽回に努めたが及ばず落敗した

【立・敎】
（昌）廣（登）田 崎島崎田田口
（田）田（保）崔
上朝上久
FW
宮飯駒塚灰山
HB
FB
GK
野目山（哲）台渡浦野井川本
（樫）
天見群富中江杉山石西川
【農・大】

◇第二部

商大 9 {2—0 / 7—0} 0 法政

【商・大】
掛井枝田田堂木村島島
（階）
大荒淺角林森（二）鈴枝水田
FW
HB
FB
CK
FK
GK
熊澤川山川淵木條赤平木河
（田）
大寺黒奥宇間鈴四二大村
【法・政】

◇第一部戰績表（廿二日迄）

	文大	農大	帝大	立大	慶大	早大	合計	勝負	點
文大		0	0	0	0	2	2	×	2
農大	0		0	2	×	2	5	1	4
帝大	0	0		2	×	0	4	1	3
立大	0	0	0		×	2	2	×	2
慶大	2	2	2	2		2	6	3	2
早大	2	×	2	2	2		6	3	2
合計	4	3	4	5	3	4			
試合	4	4	4	4	4	4			
勝負	0	1	1	3	1	2			
得點	0	4	3	2	2	2			
失點	8	2	6	6	3	3			
定點	0	4	3	2	2	2			

早慶立帝農文

◇第二部戰績表（廿二日迄）

	法政	成蹊	東大	明大	商大	合計	勝負	點
法政		0	0	0	2	2	×	2
成蹊	2		0	1	×	3	1	4
東大	0	0		1	×	2	1	3
明大	0	1	0		×	2	1	3
商大	2	×	2	2		6	3	2
合計	4	2	2	4	5			
試合	4	4	4	4	4			
勝負	2	1	0	1	3			
得點	3	4	2	2	5			
失點	2	3	4	4	2			
定點	4	4	3	3	2			

法政 東大 明大 成蹊 商大

S9.11.23

商大第一部に昇格

斯くて商大は五戰五勝して第二部で優勝し次シーズン第一部に昇格する

S9.11.23

前回優勝の豐師零敗

關東中等蹴球 東京豫選

本社後援關東蹴球協會主催第二回府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會東京府豫選第三日は、二十三日午前十一時より體研球場において準々決勝四試合を擧行、前回の優勝校豐師は靑師に零敗を喫した

◇準々決勝

府立五中 6(1—0 5—0)0 靑學

靑學先蹴、審判小長谷(主)林、粉河(線)三君

【五中】

水園社木島宅池畑城村木

清若本鈴田三尾堀栗中植 FW
田谷田畝村川村坂田山野 HB FB GK

5 6 8
4 10 19

【靑學】

靑山師4(2—0 2—0)0豐島師

豐島先蹴、審判濱田(主)小山、辻(線)三君

【靑山】

田原田地倉井水口木野倉

吉梶西菊市平清野鈴西宮 FW
元川田田貝口川澤田島 HB FB GK

林 CK
越清村依須關前金吉野 FK
【豐島】 GK

4 4 8
2 3 12

開成中5(1—1 4—1)2府八中

八中先蹴、審判大森(主)安室、宮內(線)三君

【開成】

本田松野家田淵堀瀨川本

雁島西宇秋角馬內廣加岡 FW
納柳原村岡井江本田田本 HB FB GK

加小水野松中橫根須山野 CK
【八中】 FK
GK

6 0 4
0 6 23

慶曾2(2000—0000)0曉星

曉星先蹴、審判宮本(主)宮內、松井(線)三君

【慶曾】

川邊崎村下本藤近口廣端

黑渡篠津山藤加石山幾川 FW
堀村 原山崎山田栖瀨森 HB FB GK

神木 CK
小中 吉甫芝岡正來成大 FK
【曉星】 GK

5 4 16
1 8 13

S9.11.24

廿三日の運動

◇蹴球 (五部)府立高校10——1高工藝(三部)慈大4——1東商、慈大優勝し二部に編入さる

S9.11.24

關西學生蹴球

【大阪電話】關西學生蹴球聯盟は二十四日午後甲子園で左の二試合を擧行

關西大學13(7—0 6—0)0大阪外語

神戸商大9(3—0 6—0)0大阪帝大

廿四日の運動

◇蹴球 ▲外語楽機明學▲(六部)上智1——1東藥尙六部決勝は日を改めて行ふ【橫濱電話】▲橫商專2——1YCAC二軍▲立大5——1YCAC

運動界だより

◇東京、京都兩帝大蹴球聯盟主催の第十二回全國高等學校蹴球大會は明春一月一日から六日まで京都岡崎公園運動場で開催されることに決定した

S9.11.25

S9—11—25

五中、開成決勝へ

中等蹴球東京豫選

本社後援關東蹴球協會主催第二回府縣對抗關東中等校蹴球選手權大會東京府豫選第四日は二十四日午後一時二十分より體研球場において準決勝を擧行五中、開成中辛勝して決勝戰に進んだ

◇準決勝

府立五中 2(1—1 1—0)1 靑師

五中先蹴、審判野村(主)柴田、齋藤(線)三君

【五中】

水園庄木島宅池畑城村木

【靑山】

清若本鈴田三尾堀栗中植 FW
地原田中倉井水本口野倉 HB FB GK

【靑菊】

梶西濱市平清橋野西宮 CK
開成中 2(1001—0010)1 慶曾 FK
GK

5 2 9
9 5 14

【開成】

本岡松野家田淵間瀨川部

雁高西守新角馬本廣加岡 FW
川邊崎村下本藤近口渡口 HB FB GK

黑渡篠津山藤加石山幾川 CK
【慶曾】 FK
GP

6 6 9 1
3 8 21 0

二十五日の運動

◇蹴球(聯盟第三部)

工大6——2東商

この結果工大、東商は最下位で同成績となり來る二日再試合する

▲帝大LB 4——0慶BRB

S9.11.26

東京代表は府立五中

關東中等蹴球

本社後援關東蹴球協會主催第二回府縣對抗關東中等學校蹴球選手權大會東京豫選第五日は二十五日午前十時半から體研球場で府立五中對開成中の決勝戰を擧行、結局五中優勝して東京府代表となつた

府立中 2(1—0 1—0)0 開成中

(五中先蹴、竹內、小長谷、藤田三君審判)

五中はFW線の動きよく終始壓迫を續け前半左CKをRI鈴木プツシュして得點、後半CH尾池の浚球をRW田島シュートした時開成GK過つてゴールを許した、開成はCF、RWの活躍に好機を作つたがFW線左側の動きはこれに伴はず再三の好機を逸した、尙五中FW線の鋭い攻撃をはゞんだ開成FB線の奮闘は目ざましかつた

(中)水園庄木島宅池畑城村木

(五)清若本鈴田三尾堀栗中植 FW
HB
FB
GK

(成)本堀松野家田淵間瀨川部 CK
(關)雁內西宇新角馬本廣加岡 FK
GK

6 4 10
3 7 14

S9.11.26

S9-11-26

必死の帝大に 6—0 慶應快勝

學生蹴球第一部

東日學生蹴球聯盟第一部慶帝戰は二十五日午後二時半から神宮競技場で野村（主）上野、關野（線）三君審判の下に帝大先攻で開始。曇天、西北の軟風あるフイールド。コンデイションは良好である。更生の意氣を盛つて帝大は最後の一戰に臨んだが至しく慶應勝つ

慶應 6（3—0 0）0 帝大

◇前半　二分帝大はバックアツプしたCH江崎の長送球をCF太田とつて右寄りからシユートしたがゴール上を斜めにアウト△六分帝大はGK宮澤捕球の時チヤージされて過歩ありLB八巻のキツクでのがれたがゴール前混亂の隙に慶應CF增田拾つてシユートしゴール△十五分LI右邊の右前短球をRW駒崎とつてシユートしたが帝大はLH松浦轉倒して一旦これを防げばRI藤原これを拾つて強襲し更に一點を加ふ△帝大は三十分左CKを寺澤好蹴し江崎ヘツデングで遮ゴールを襲つたがGK一宮の正面に當してやみ△三十四分慶應はRI藤原正面を衝つて出でシユート成り3—0と開く△四十四分帝大はCF太田のシユートを失ひ慶應は三子八分RW駒崎の低い速球をCF增田プツシユしてゴールとなり6—0で快勝した

【慶應】
岡近田慶崎波川、眞越宮
藤右增播駒岩石、辻伊塚一
FW
HB
FB
GK

【帝大】
澤原田林田浦崎石巻原澤
き川太若朝松江近八茨宮

	8 3 17
CK	K
CF	K
GK	
	8 2 20

◇…帝大は青山側に陣し慶應は千駄ケ谷側の順風に立つて開始された、帝大は冒頭太田の右からゴール眞上を斜めにかすめた惜しいチヤンスとタイアップ直前寺澤の左からゴール眞上をかすめた強襲を最後として遂にノウゴールで意氣込んだ最後の試合も落してしまつた、この間慶應GK一宮の好捕球として呈上する事十一度、徒らに一宮をして名をなさしめてしまつた、更生の覇氣を漂はし往時の華やかなりし鋭い面影を偲ばしめるものはあつたがそれは結局ゴール決定には及ばなかつた

◇…スコアは大對等と聞きはしたが試合は一進一退で實力の相違ほど隔する事なく進められてゐた、好スタートし乍ら向ひ風にスピードを殺がれ、覇氣は盛つても積み重つて來てゐる重壓の下に布く青水の陣はチヤンスを作るのではなく蓆げ込むチヤンスを待つもので眞底を割れば漠昧といふものが見られなかつた、素絹してゐる帝大、順風に滑帆の慶應、帝大はFW線のフオロウ兎角乏しく、慶應はFW線各自の突つ込みに鋭さがあふれてゐる許りでなく害せては返す怒濤の如く球のある所に必ず鋭い動きを見せてた、各自のフツトワークに優劣が著しくあらはれてゐる所帝大は浮足立つて球がつかずパスワークは向ひ風とはいへ亂れて慶應の正面からとほす密集攻法に前半三點を奪はれてしまつた

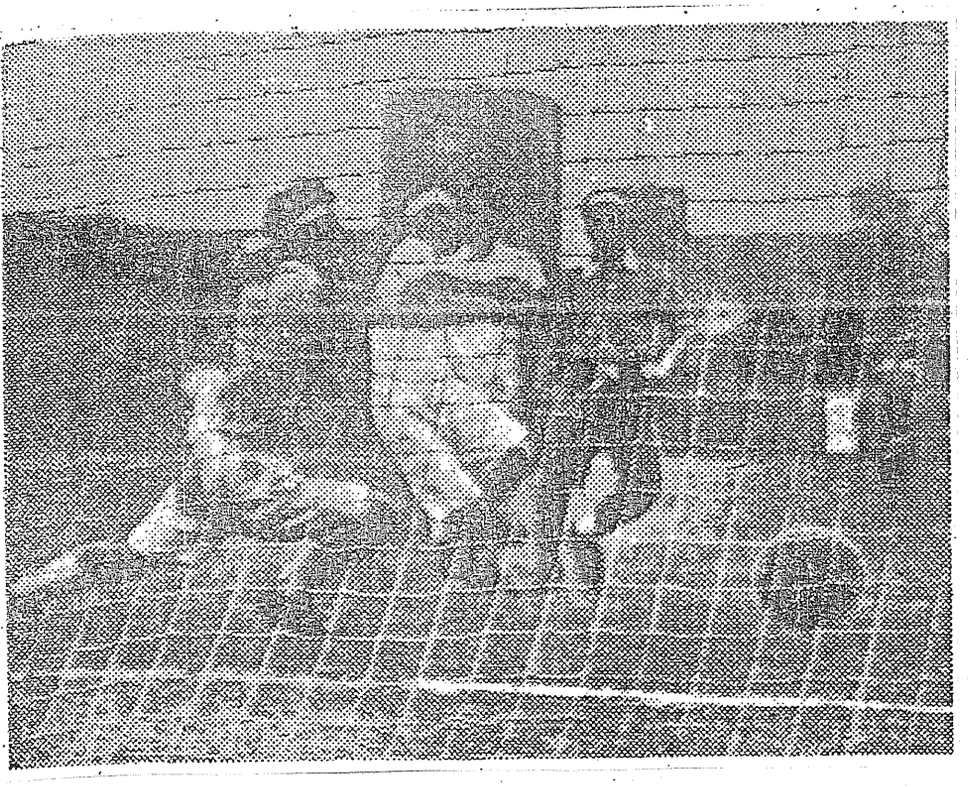
◇…後半に入つて斷片的の攻撃も十一度一宮に球を呈上し遠距離のチヤージは何の効果もないものであつた、後半順風をうけての强攻も最後の守備線突破とは行かなかつた、巧拙の生んだ安當の結果が殘されたに過ぎない、寺澤を起用しその CK も得點の希望をかけ得たが見事な曲球もゴールアウトで斷念を余儀なくされてゐた、慶應はこの一戰で一宮に信賴をかけ鬼子揩磨に一段の磨きをかけチームのバランスに自信づける事が出來て宇調の對早大戰に臨む事となつた

◇…帝大は攻、農と共に五戰一勝の同記錄となつて順位決定のため再戰する事となつた（山田生）

第一部戰績表

（二十五日迄）

	攻大	農大	帝大	立教	慶大	早大	合計	點
攻大		0	0	0	0	2	2	2
農大	0		0	0	2	0	4	2
帝大	0	0		0	0	2	2	2
立教	0	0	0		2	2	4	2
慶大	2	2	2	2		2	10	6
早大	0	0	2	2	0		4	2
試合	2	2	2	2	2	2		
勝負	0	1	0	1	2	0		
點	0	2	2	4	4	4		



慶應猛擊第三點を擧ぐ（前半）

商船勝つ（二部）

法政三部に轉落

東京學生蹴球聯盟第二部成城高校對商船の試合は二十五日午前九時四十分から東高球場で齋藤君審判の下に成城先蹴で擧行、接戰の末商船勝ちこの結果一勝四敗の法政は第三部に轉落する事になつた

商　船 2 (1—0) 1 成　城

【成城】
本　藤兄弟岡　内村田本
松高加坂坂長　山高山岡
FW
HB
FB
GK

【商船】
橋田鶴田田野　宮澤原川田
丸荻中織島波　二水舘布岡
多留
FW
HB
FB
GK

法政	0	0	0	2	0	×	2	5	1
成城	0	0	1	0	×	2	5	1	3
商船	0	:	2	×	2	0	4	2	2
明大	0	2	×	0	1	2	5	2	2
東高	0	×	0	:	2	2	4	2	2
商大	×	2	2	2	2	2	5	5	0

◇第二部成績表（二十五日迄）

	試合	勝	負	分	點
商船	6	4	2	0	8
成城	6	4	2	0	8
東高	6	3	2	1	7
明大	6	2	3	1	5
法政	6	1	4	1	3
商大	6	0	4	2	2

京大三年連覇

關西學生蹴球

【大阪電話】昭和九年度關西カレッヂ蹴球リーグの覇權を決すべき關西學院對京都帝大の試合は二十五日午後零時半から甲子園南運動場で杉村（主）前川、上吉川（線）三君審判の下に京大先蹴に開始、試合は關學よく攻めたが前後のきめ惡く不運にも二對一で敗退し京大は三年連續して關西の覇者となる

京　大 2 (1—0) 1 關　學

【京大】
岡田出中田田安野　地原澤
長眞小山高奥福瀬　控票金
FW
HB
FB
GK

【關學】
梅田野山田笠三前　川宮西
園遠澤藤中井崎田　西部川
FW
HB
FB
GK

京大	0	0	1	0	×	2	3	1	1
關學	0	0	0	1	0	×	1	1	4

19	8	9		

S9.11.26

土つかずの早慶三度爭覇

愈あす

學生蹴球　掉尾の熱戰

東京學生蹴球聯盟の今シーズンを精算する早慶戰は一日神宮競技場に於て行はれる、覇權をめぐつて早慶が相見える事ここに連續三シーズン、昭和七年シーズンは早大強しと見られてゐたが一度は引分け再試合の末覇權は慶應の掌握する所となり、前シーズンは慶應連覇の呼び聲の中に早大が制覇を成し遂げた、昭和六年シーズンを最後として凋落の秋を歎ずる帝大を尻目にかけて早慶の兩雄は今シーズン堂々たる四戰四勝の記錄の下に最後の一戰を試みるのであるが早大は連覇を遂げリーグ加盟以來三度制覇をその球史に飾るか、慶應が前シーズンの雪辱と再度の覇業を成すか、今シーズン兩雄の戰績を繰れば

早　5—1 立 3—6
　　10 7—0 慶 1 2—6
　　6—1 文 6—6
　　0—6 帝

慶

數字の示す如く得點は28—24で早大四點多く失點は4—6で慶應が二點多く落してゐる、これに依れば早大に有利と豫想されるが傳統の對抗意識が拍車をかけて兎角試合を左右するこの一戰、勝利の趨く所は斷じ難い

◇…兩軍陣容は最後の決定を見ないが

【早】
松茂本澤越　田原野　木江　野
平加川野大　吉立笹　鈴堀　佐
FW
HB
FB
GK
岡近田磨崎　波川　藤越　宮
藤右增播駒　岩石　辻　伊塚　一

【慶】

が動かぬ所であらう、概觀すれば慶應はチームとして系統づけられてゐるのに對し早大は個人の自由を認め奔放な個技に依倚してゐる、彈丸戰法によつて早大が常に破壞と急展開を策してゐれば慶應は漸進理詰めで細密の陣を布く、早大が戰車の猛威を示せば慶應には機關銃のおもむきがある、この異色がまたこの一戰にかゝる大きな興味でもあるが強引に試合を運ぶ早大が果して有利か、飽く迄周密を期する慶應に勝利が訪れるか

◇…FW線は正面の密集攻法を一變して長蹴により急速なる展開を策する早大は四試合十三點を奪つてゴール・ゲッターの首位を占める川本の一發と確實さを加へたロング・ショットを主力として突つ込みの早い加茂、野澤が個々の銳さを示せば、慶應は藤岡、駒崎の兩翼の作るチャンスを漸く圓熟した增田に播磨、右近が加勢して攻擊線を進める、平松、大越の早大兩翼は慶應のそれに比して稍劣るといはれるがセンター・ズリーは早大の方がすぐれてはゐないか、それにしてもラインのバランスは慶應にすぐれた所があらう、攻め口を多角的に行く慶應の粘り強さ、多少執拗さに欠ける早大、第一線の攻擊力はここに優劣がある、然し慶應は早大の單調に見える攻め口にも應じ兼ねる守備線の不安があり、早大には慶應FW線の多角的な攻法を斷つ守備線がある、チーム・バランスは早大において僅かに優れてゐるのを認めぬわけには行くまい、慶應が主將岩波の大童の奮鬪に塚越が和して欠陷彌縫を期するであらうが早大の立原を中心にする吉田、笹野のHB線と斯界の驚異、鈴木、堀江のFB線は俊敏變化に富む慶應FW線を眞向から受けるに十分と見たい、慶應が前線右近の救援に待つて守備線を厚くすれば早大は野澤の後退によつて守備線の增幅をはかるであらう、攻擊において慶應有利と見れば守備において早大これを凌ぐ、球は早大が多くキープし前線供給が多ければ勝敗は自づと分れて行くのではなからうか

◇…孰れにしてもこの一戰は實力の上を行く內容豐かな試合として一般の待望に副ふは勿論掉尾のビッグ・ゲームとして爭覇の一戰として相應しい大試合となるであらう（山田生）

S9.11.30

文大一勝す

帝文農順位決定戰

對農大蹴球

東京學生蹴球聯盟第一部帝文農三校順位決定リーグ戰農文の試合は三十日午後二時十五分から帝大球場で野村(主)信田、飯田(線)三君審判の下に農大先蹴で擧行、文大は强い體力と好キックで試合を有利に進め農大粘り强い所を見せたが及ばず文大一勝す

文　大5(3—1)2(1—1)2　農　大

大【野目 樫井 台 渡浦 野井川本
農【天見 富酒 中 江杉 山石西川

FW 2
HB 7
FB 13
GK
CK 13
FK 4
GK 13

大【野下永
文【藤久松

FW 綺村綺三部田島
HB 林
FB 部
GK 江木原阿阿平長

三十日の蹴球

◇學生第五部▲府立高專權明學結局五部優勝は外語となり、明學は第六部に編入さる▲第六部優勝決定戰上智2—2東藥で再び引分となる

S9.12.1

リーグ戰

◇蹴球（第三部）東歯7—1工大▲（第二部）商船3—2東高

S9.12.3

S9-12-2

蹴球

早慶遂に引分
八日再試合で爭覇

東京學生蹴球聯盟第一部早大對慶大戰は一日午後二時から神宮競技場で竹内(主)川村、桑田(線)三君審判の下に早大の先蹴で擧行、好晴西北の軟風あり、フキールド・コンディションは良好である、慶應は千駄ヶ谷側、早大は青山側で對陣試合は慶應の得點先取にはじまり覇權を爭ふに相應しい熱戰を演じ三度同點となりその儘引分再試合は來る八日午後二時から神宮競技場に於て行ふ事に決定し東西對抗戰は延期となつた

早大3(2—2)3慶大
(1—1)

◇…試合は1—0、1—1、2—1、2—2と慶應の先手、早大の後手で同點、後半に移され、3—2早大初めてのリードとなつたが慶應の追擊奏効して豫想した如く覇權は八日迄保有となつた

◇…試合内容は覇を爭ふに申分ないゆたかなもので九十分を戰ひ拔いた大試合であつた、多少懸念された對抗意識の拘束ものがれて縦横全技を傾けつくした棹尾の大試合として讃辭を惜しむものでない、此試合が最後まで全はな面的に激しい動きを見せ内容を盛つたのは後半向ひ風に立ち不利となつた慶應の粘り強さが與つてゐる事を見逃せない

◇…前半早大は早くもキックオフで置き不安を漂はしたのは案の條慶應の得點先取となつた、これは早大の長蹴戰法がいまだ粗雑の域を脱せず慶應の角度ある攻法の勝利で早大は慶應の思ふ壺にはまつた嫌ひがないでもない尤も前半向ひ風に行く手を遮ぎられた早大が球を進めるのに違算が生じこれにあつた

◇…後半追風の有利に立つた早大が立直つて野澤のひつかけた球でリードを奪つて強攻をつゞけるかと思はれた試合も慶應はバックアップ早く、確實なフオロウ・アップで全線球に對する執着力強くしばしば起る危地を脱しては一丸となつて攻擊に轉じてゐた、慶應の成功、早大の失敗と見るも異存はあるまい

◇…早大はCK13、慶應が7でGKが17の23となりGKのクリヤしたものパス・バックしたのを算へて早大に19、慶應に21あつて早大に攻擊機會は多かつたがFW線は慶應の部厚いのに比して早大は期待された加茂のプレイは若くセンター・スリーの増幅力乏しく個々の動きに墮ちてゐた、この他全線を比較するならばいづれを優れりとはいへないもので正に互角、早大の優れたコーナー・キックも慶應守備線の高さにはゞまれて辛く一本收めれば悪いコーナー・キックに苦しんだ慶應が試合時間を考慮の下に出てゐたRB塚越の強蹴一本が試合を預らしめた、早大が覇氣に懸念した大越が二點を決定し意外FB線のショットが悪むといふのも大試合の内容を盛つてゐたればとそである(山田生)

◇第一部今季戰績

	慶文	帝農	立慶	早慶	合計	試勝負分	定點
慶文		0×2	0×2	0×2	1	1	2
帝農	2×0		0×2	0×2	1	1	2
立慶	2×0	2×0		0×2	1	1	2
早慶	2×0	2×0	2×1		2	2	4
合計	4	2	2	1			
試勝負分	2	2	2	4			
定點	4	4	4	8			

災されてゐたのは認めるが長蹴戰法の生む速攻の快味を眞底から示現してはゐなかつた

◇…これに引きかへ慶應のスルーパスは追風の利も加はつて極めて順調に圓滑なものであつた、こゝに慶應のリードがあり早大の不調がかもされはじめた、大越のクリーン・シュートによつて2—2の同點となつた早大は寧ろ幸運で二度目の左CKをとり平松のキックよくのびて慶ゴール前を過ぎたがRW大越ヴオレーの強蹴でゴールを擧げ同點となる▲早大は十五分から左右二回のCKを得たがゴールアウトとなつて止み十八分から慶應は左タッチで粘つてLW藤岡ドリブルで深く拔き右前送球したがRW駒崎のシュート左前を流れて止み、續くCF増田の軟劒球は早大GK佐野敢進よくしたが早大ゴール前の密集は解けずLI右近のヘッデイングで慶應リードの一點を擧ぐ▲三十分早大はLW平松ドリブル・シュートすれば慶應GK一宮よくとつて遁れ早大は右五度目のCKを大越好蹴しLI加茂ヘッデイングしたが惜しい所でアウトとなる、四十分早大はRI野澤中央線邊からドリブルし右に深く送球すればRW大越ロング・シュートしてゴール再び同點となる

◇後半　三分早大は左CKをとり平松のキックをCF川本シュートしたがGK一宮の體をはじきゴール前混亂、RI野澤拾つてシュートしゴール、早大はじめてリードす▲七分慶應はCF増田右寄りのドリブルで早大ゴールに迫り密集となつたが揉み拔いた末早大バックはタッチでのがる、三十八分早大はCF川本正面を割つて出で左に寄せてシュートしたが慶應はLH岩波バックアップして潰し慶應はLW藤岡強引のドリブルも後援つゞかず空しく終る、二十五分慶應は左CKを藤岡好蹴し右近ひつかけ密集となつたが早大はGK

※次のページの最下段につづく



必死の攻防
（早慶蹴球前半早大加茂のヘツデングで自陣にはる右近）

學生蹴球

帝大快勝す

慶大遂に第二部に落つ

東京學生蹴球聯盟第一部順位決定リーグ戰帝大對慶大の試合は四日午後二時から和泉球場で松丸（主）江崎、原崎（線）三君審判の下に慶大先蹴で擧行、球場は泥濘最惡のコンデイションの中にも陣容更新をした帝大の攻撃俄かに快刀し慶大は末位となつて第二部に轉落し第二部優勝校商大と交代する事になつた

帝	大	6（3—0）	0（0—0）0	慶	大

【慶大】
野山（慶非合派浦（慶非納本
天（羽（酒（中（江（杉（富（石（伊（川 FW 5
田（深（際（原 浦（岡（内（田（原（島 HB 7
傳（寺（佐（川（神（松（江（大（原（狹（川 FB 8
GK CK FK GK 13

【帝大】

S9.12.5

運動だより

東西對抗蹴球日劃決せず　大日本蹴球協會では五日午後六時から新橋駒場ビル協會事務所で評議員會を開催甲子園南運動場で擧行の東西學生對抗戰は關東側の代表校未定のため容易に意見一致せず結局關西側は關東早慶兩校の希望を斥らして歸阪の上決定することゝなつた

S9.12.6

横濱高工勝つ【桐生電話】横濱高工對桐生高工の蹴球戰は九日桐生市新川グラウンドで擧行、九對三で横濱高工勝つ

横濱高工	9（5—0）	3（4—3）	桐生高工

九日の運動

◇蹴球　商大專5—2横高商▲商大豫5—4浦高

S9.12.10

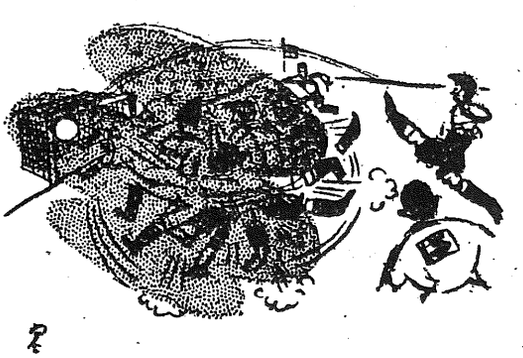
※前のページ・早慶戰のつづき

佐野拾つてのがる、早大は慶陣に球を進めて空しく慶應は三十五分右CKをとり駒崎のキック流されたが前出してゐたRB塚越長蹴してゴールを擧げ三度同點となる▲兩軍最後まで粘り強い攻撃を續けたが遂に同點引分けとなる

（早　大）
松藤本澤越田原野木江野
平加川野大吉立笹鈴堀佐 FW 13
岡近田鷹崎波川 藤越宮 HB 3
藤右增播駒岩石 辻 伊塚一 FB 17
（慶　應）
CK 7
FK 4
GK 23

殊勲の長蹴

後半卅五分頃、飽くまで一點を返したい慶應FWの活躍で、早大ゴール前はスネの大殺陣、突如！慶FB塚越君の後方からの長蹴きまつて同點となる。



S9-12-2

S9-12-9

早慶の實力互角
再試合も引分
關東代表に早大推薦

球蹴

去る一日三對三で引分けた早慶蹴球再試合は八日午後二時から神宮競技場で竹内(主)荻原、山田(綠)三君審判早大の先蹴で開始、サイドは前試合通り早大は青山側で慶應は四谷側である、曇天西北の微風、フヰールドは霜解けで不良である、慶應の得點先取にはじまつた試合は又も息づまるシーソー・ゲームを演じた末に珍しくも再度引分けとなつた、かくて早慶共に學期試驗の都合で取めて覇權決定の機會なく今シーズンはこのまゝ共に第一と認められる事となつた、尙東西學生優勝對抗戰は來る十六日行はれるが協議の結果關東代表として早大が推薦されて關西代表京大と試合する事に決定した

早大7(3—4)7慶應

◇…慶應が無雜作に一點を先取すれば早大もまた極めて無雜作に報いて同點となり試合は前回と同樣の徑路をたどり前半なかばにして早大3—1のリードとなれば慶應の追擊次第に奏効して同點から一點のリードと有利に試合を運んで後半に入る、早大立ち所に同點とし慶應5—4と三度目のリードとすれば早大は慶陣に粘り切つて同點から6—5、7—5と二度目の二點リードで愈々大勢を決したと思はれたが慶應の逆襲爆發プレイは早大に喰ひ下がつて遂に再度引分けの試合に漕ぎつけた

◇…勝敗を爭ふ強い氣魄は冒頭極めて無雜作な得點爭ひとなつたがこれは自然の勢で批判の余地を殘さない、早大が二度二點のリードで試合を決定づけ得なかつたのも眞に互角の力倆をもつものゝ對時であればこそであるが早大奮鬪の跡を繰るならばGK佐野の判斷を誤つた寧ろ無用の進出から許さずとも濟んだであらう失點は三十一分タッチアウトでプレイの進行を斷つて立直るべきにも拘らず不調にあるGK佐野の手を慥々煩はさんとしたバックパスで失敗したのと共に早大の勝軍を落さしめたといふのも過言失當とはいはれまい

◇…早大は一氣呵成、遮二無二押し切らんとする強引の蔭にひそむ慶應の切り込みに對して、不用意があつた、守備力を增し乍ら攻擊への急轉を策してCF川本さへHB線の中に躍つてゐたのに對し守備線は守備力の增大強固に備へる事が少かつた、一も二も押しで眞向から進んでの失敗は早大にあり慶應は受身の場合に備へる事を忘れなかつた

◇…早大FW線が常に強攻に出て其の威力をよく示したが慶應バックスのヘッデングはよくこれに應じて守備の華かさと、強固を示してゐた、慶應バックスのヘッデングの效果が引分けとなつたこの一戰に寄與した事は大きい

◇…加茂弟を加へて威力を一段と增した早大FW線もさる事ながら少いチヤンスをよく次から次へと決定して行つた慶應のFW線の出來ばえも見事なものであつたといへる、後半早大二點のリードによつて互角の均衡を破つたが自陣の苦戰から球を出しては追擊して二點を奪還したのはFW線の氣魄と實力の然らしめるものである

◇…早大は勝軍を不慮の失點で失つたといふを誰が否定しよう(山田生)



好蹴空し

後半廿五分早大左コーナーキックを得半松の好蹴を慶GK一宮ゴールアウトとす

試合經過

◇前半　五分早大はLI加茂の送球をCF川本左に廻しLW平松とつてシュートしたが弱く引續き慶陣に强攻をつゞけたが無爲、慶應は七分左側から盛返してCF增田の右前送球をRW駒崎シュートして一點を先取▲早大は十分LH吉田中央線邊よりドリヴルして前送した球をCF川本正面を割つてシュートしゴール同點となる▲早大は十二分CF川本左に捌いた球は加茂、平松と廻され平松の右前に高く送られた球をRI野澤ヘッデングできめ2—1慶應此直後機會あつたが藤岡凡蹴▲十四分早大はRW加茂シュートし3—1と開く▲慶應はRI播磨早大FB失に乘じてゴールを窺ひ早大この間慶陣に球を進めて無爲、三十一分慶應はRH辻早大のパスをカットして長蹴すれば早大のFBパックパスでのがれんとしたがGK佐野の逆サイドに出た球を增田とつてシュートし同點となる▲兩軍好機を逸した後四十三分慶應はCH石川の前送球を藤岡、右近と並んでとり早大のタックルきかず右近から右に廻された球を播磨シュートしてゴール慶應のリードとなつて前半を終る

◇蹴球今季戰績

順	早慶立帝文農	合計	勝負分	點
1	早	6	5	10
1	慶	6	5	10
3	立	5	3	6
4	帝	6	2	4
4	文	6	2	4
6	農	7	1	2

	早慶立帝文農	早	慶	立	帝	文	農
早		×2%%	2×2%%	2×2%%	2%%%	2%%%	2%%%
慶		2%%%	×2%%	2×2%%	2%%%	2%%%	2%%%
立		2%%%	2%%%	×2%%	2%%%	2%%%	2%%%
帝		2%%%	2%%%	2%%%	×2%%	2%%%	2%%%
文		2%%%	2%%%	2%%%	2%%%	×2%%	2%%%
農		2%%%	2%%%	2%%%	2%%%	2%%%	×2%%

【慶應】
岡近田磨崎波川　辻　藤越宮
藤右增播駒岩石　伊塚一
FW　HB　FB　GK
松(兄)本澤(弟)田原野木江野
茂　茂　加吉立笹鈴城佐
【早大】

	12	0	10
CK	4	3	24
FK			
GK			

← ※ 次のページの最下段につづく



運動界より

高工蹴球大會　東京工業大學蹴球部主催第六回全國高工蹴球大會は濱松、横濱、山梨、名古屋、桐生、仙台、神戸、東京工藝の八チームにより來る二十六日から三日間工大球場で擧行される

S9.12.11



運動界より

早大蹴球部十四日西下　來る十六日南甲子園で行はれる東西學生蹴球優勝校對抗戰に推されて關東代表となつた早大軍は來る十四日午前九時發つばめ號で眞山監督、渡邊マネージヤー付添の上西下する事になつた、尚宿舍は大阪驛前金龍館と決定した【FW】平松、加茂弟、大越【HB】主將立原、吉田、笹野、關野【FB】鈴木、堀【GK】佐野

商大蹴球部關西へ　商大蹴球部は關西遠征のため來る十五日西下次の日對全名古屋△十八日對神商大△廿二日對大商大△廿三日對關學

S9.12.12

※前のページの早慶再試合のつづき

◇後半　三分早大は左CK後前進したLB鈴木の強蹴あつたが外れ右側に寄せた球をRH笹野左前に好送球しLI加茂へツヂングでゴール同點となる▲七分慶應はLH岩波の前送球をクリヤせんとした早大GKをCF増田襲つて成功したが凡蹴してやむ、早大十七分迄慶陣に強襲して無爲、十九分慶應左側の強襲に失敗したが右側早陣のスローインから出た球を右側に寄つたLI右近ひつかけてゴール慶應のリードとなる▲二十一分早大はRW加茂の左前送球をLW平松中央に返し川本とつて左に廻しシュートすればゴール5——5となる▲二十三分早大はLW平松強蹴し慶應はGK一宮クリヤしたがLI加茂に出でつゞく川本シュートしてきめ6——5早大のリード▲二十五分早大は左CKを得平松好蹴すればGK一宮叩いてゴールアウトでのがれたが續く左CKの好蹴をRW加茂へツヂングでゴールを陷れ7——5となる▲慶應は三十二分から二度つゞいてLW藤岡の好センターリングあつたが早大よくつぶす、三十五分慶應は右側密集の攻撃から出た球をRI播磨シュートして一點を報ゆ▲四十分左CKの好蹴あつたが野澤のヘツヂングきかず、四十二分慶應は右CKを駒崎キックしFW中央三人密集してヘツヂングでゴールを奪ひ同點となり早大はこの直後CF川本の長蹴きまつたと思はれたがGK一宮の正面を衝いて止み右CKをとつたが無爲

S9-12-9

S9-12-11

學生蹴球回顧（上）

覇権の留保は最初の記録

早慶は堂々の両翼

東京學生蹴球聯盟は昭和九年度シーズンは加盟二十三校を擁し去る十月一日第二部の大對東高の試合を以て幕を開け八日の早慶再試合を以て終了した、早慶再度の交戦も遂に勝敗を決せず双方擧翼の關係で決戦を見合せ今季の覇權を留保し共に第一位といふ蹴球史最初の記録を止めるに至つた

早慶が斯界の双璧として昭和七年シーズン以來覇を爭ふ事こゝに三度、シーズン當初は各ラインに新人を補充した慶應に勝味薄しとされ早大の連覇が豫想されてゐたのであつたが粒々辛苦の慶應の努力は次第に報いられ試合を重ねる毎に陣容の整備を看取せしめた

シーズン半ばに至つて早慶完璧の陣の前に他の四大學の實力は隔絶たしくスケジュールは豫定通り圓滑に進められたが試合の内容は勝敗の決定以外に印象づけられる何物もなく平々凡々のうちに運ばれて一般の豫想した如く早慶が覇の鍔合に關進した

早大の連覇か、慶應前シーズンの雪辱成るか正に互角、相譲らぬものと見られて迎へた一日の爭覇戦は昭和五年極東の覇をかけた日華の一戦を彷彿せしめるやうな攻守の妙を見せて引分け八日に移された決戦も火花を散らす激戦に終始して遂に勝敗の決定を預つた

單調無味の十余試合で傳された今季の不満を一掃した滑飲三斗の快戦は今季の偉大な收穫で沈滯の斯界に呼びかける暁の鐘でもあつた、不斷の變まぬ工夫研究と貴い犠牲以て絶えとすべきではないか

今季を迎へるにあたつて前季の戦績に鑑み早慶帝はビッグスリーとして敵へられ文大强しの聲を聞いたが早慶は拔群で帝大は農大に、農大は文大に、新興立教は帝文慶三巴の外廓に躍り先進三校を破つて第三位となり昭和二年シーズン慶應が初舞台に只東大に一敗を喫しただけで二勝二引分の戦績で第二位を占めた記録の後を離つた、早慶立が華々しい不動の地位を築いたこのかげには帝文慶が追ひつ追はれつの四敗一勝といふ芳しからぬ戦績が殘され順位決定のために再試合の日割さへ立てられてしまつた

かつては第五、六位決定の必要上再試合の行はれた例はあるが組織校六校の半數を以て攻めて順位決定戦を行つたのは早慶が再度爭覇の決戦を行つたのと共に稀有の事である

東大は文大の不當用さに食ひさがり辛くも一勝したが對慶大戦は好闘し乍らFW線の決定力鈍く勝つべき試合を落し早くも暗影を投じてしまつた、つゞく對立戦も優勢の中に試合を運び乍ら不覺にも失ふなど轉落の一途を辿つたこの間屢々陣容を更改し補强工作も施されたが効果頓に挙らず、早慶の探關に委して光輝ある東大球史に汚點を印した、長の不振の傷害、その他傷病續出は不振の因をなし五試合を通じて同位置を投げられたのはLI川原を僅かに一人求めるといふ狀態で陣容整備に辛苦を重ねた跡が歴々とうかがはれた

この不振はさる事ながら努力を缺き往時の巧味はいふ迄もなく强味も全く影をひそめてこの結果の當然を思はしめた、覇戦の中にも攻法の巧味はよくFW線にボールを集中したが遺憾ながらFW線にゴールゲッターなくペスト・チャンスを凡戦凡失に落し守備線の努力を水泡に歸せしめた

農大との再戦においてはじめて往時を偲ばしめるに足る鮮い動きを見せ雪辱を遂げたがこの鮮い動きが東大の傳統ではなかつたか、これがシーズン當初からかうあつたならと惜しまれるものがあつた

文大は東大に相撲で勝つて可惜勝利を逸し早慶には叩き潰され强い自負の夢から醒めた、文大の體力と技術からすればキック・アンド・ラッシュの爆破戦法に今季の進路を求めるべきを技巧の末に走つて自力を封じ組織を缺いて苦吟を續けた

對早大戦において主將藤野の負傷はブーム編成に非常な支障を來したがこの痛手が却て奮起の動機をなしてゐた松永をH.B線

※左のページにつづく

S9-12-11

※右のページからつづく

（学生蹴球回顧）

からFW線に進め原崎を補充し木村をHB線に下げてそのエネルギッシュな點を置つたあたり後の祭ではあるが適材適所の陣を布いた。對立大戰は八十分に亙つての二對二の均衡を自ら破つて潰滅し四戰四敗の記錄の下に喘ぎ乍ら最終の對慶大戰に臨んだ

この一戰には祕めたる專家の寶刀を振翳して快勝し辛くも面目の一端を發揮し得たが之れは未だ前に踏み止まるを得たがこれはチームの編成を採るべき唯一の戰法を見出し得た賜物でなければならぬ。松永をして本領を發揮せしめたのもHB線のアイードを瀨澤に日正僞になさしめたのもこの一戰であつた。（興味と深度のある木村のクロス・キックはサイドのヘーフとして確に見る價ちがあつたものでインゾーとして攻め手を持たぬ彼の活路をこゝに求めたのは文大の幸運であつた。文大の如く貧弱なスタッフにより苦慮する所は早く個々の技能を見究める必要があらう）〔山田生〕

S9-12-12

學生蹴球回顧（中）

集團的威力の凄い魔應

惜れ農大の末路

東大を破つて今季リーグ戰に波紋を描いた農大の末路はゞ悲慘なものはなかつた、主將杉浦を中心にして強い氣力が試合を實力以上に運んで金的を射落しはしたがシーズン後半は語るべき何物もない慘めさである、巧技を謳へられたGK川本も對早大戰に用を傷めてからは意氣あがらず判斷を誤る事多く二三の好プレイを記錄したに止まつた、對東大戰の殊勳者見田は攻撃の主力として期待された實績と共に拙劣な地位を徒らに埋めてゐたのは何等なす事のなかつた羽山と選ぶ所はない體力的にも均整を欠いてゐたのは誰しも認めるが頭腦的プレイは全く見出し得なかつた

◇

一躍第三位を獲得した立教は初舞台の對早大戰において俄り難きを示した、出足の早いFW線はLW上田の好走と巧技によつて威力を加へ遂に機會は上田の好走、巧技が物をいつてゐた事が多かつた、守備線にウイーク・ポイントを持ち合せてゐたためでもあらうが、HB線の消極的な動きは攻撃的に參與する事なくFW線とHB線の聯絡は遮斷される事多く立教の得點は攻撃の常道をとつてなされるよりも寧ろ變態的の奇襲によつて收められてゐた

◇

新人を補充してシーズンを迎へた慶應の悩みは試合毎に取除かれ對東大戰には物凄い威力を示した不安のGK一宮も次第に堅實味を加へCH石川陸主將岩波の好援により氣を強くしてカ量を遺憾なく示しCF増田も殊勳者に格段の進歩があつてチームの均衡がとれその上に粘り强さが發はれて對早大戰に臨んだ多角的の攻め手は多種多様の變化を見せ、早いパツクアツプはよくピンチを脱し攻めて强く守つて堅い鐵壁の陣が布かれたが慶應の恐るべき實力示現の上に岩波、播磨の殊勳は抹消する事が出來ぬ、個々に切離しては左程恐るべきプレイヤーは居ないがチームとして集團威力の物凄さは早大ですら及びもつかぬ、チームとしての集結に粒々辛苦の跡が偲ばれ斯くあつてこその感を深うせしめるシーズン中にこれ程立派なチームが完成された例を知らぬ

◇

一騎當千の粒を揃へた早大は個々の力量において際出してはゐたがチームの集團威力としてこれをすべて移し得ない憾が殘された、立教、東大農大、東大を蹴ぎ倒し順潮滿帆の觀を逃めたのも檢討すれば個人の持味に依倘する事の多かつたのを認めぬわけにはいかない、一日の對慶大戰には慶應擬態の幸運の一蹴が早大の勝利を奪ひ八日の再戰は判斷の錯誤が勝利を落さしめる事になつたがしかし折紙つけられた帥の守備線は案外の不調で備に新人吉田の擬態を知らしめたに過ぎないGK佐野は早大ゴールを安きに置き乍ら最終戰は焦慮の末判斷を誤り彼未だ若しと慨かしめたがその將來は嘱目に値するFW線は川本をはじめいづれも大成して

S9-12-13

前進を要する技術的缺陷

關東代表を應援して

學生蹴球回顧（下）

來る十六日行はれる東西優勝校對抗戰の關西側代表は早く京大と決し、關東側は早慶第一位となつたため代表決定に支障を來したが早大と相見ゆる事になつたのはスポーツ精神の發露双方互譲の美徳を示して讃り合つた末、早大が推されて京

S9-12-14

危ぶまれる 京大の守備陣

早大軍に凱歌擧るか 東西對抗蹴球豫想

恒例東西學生リーグの優勝者早大對京大の對抗蹴球試合は十六日南甲子園に於て擧行される、早大は東都リーグで順風滿帆な走りを見せて最後の一戰、然も覇權をかけての對慶應戰に奇しくも3―3、7―7と再度引分の未曾有な數字を殘して覇權は預りとなつたが東都の代表校としての貫祿を十分に具へてゐる、これに對する京大は阪大、外語の二戰には輕くこれを斥けたが、關學、關大、神高商に對しては可なり苦しい路を辿つて今日の出場となつたものである、

對抗試合の今までの成績は第三回目の東大對關學が2―2で引分となつた以外關東は四回勝放しの優勢を殘してゐる、前回も早大と京大はこの晴れの試合に顏を合はせたのであるが早大は5―2のスコアで輕く京大を斥けた、京大にしては關西のためには勿論のこと自校の名譽にかけても雪辱せねばならぬ一戰である

◇

最近我國の蹴球界は昨年の東西選拔對抗試合の第二回戰の成績を除いて關東が常に關西をリードしてゐる形で一見した所技術的に見てさして兩者の間に間隔を認め得ないが結局殘された數字に近い實質的の差異を認めない譯には行かない、今度の對抗試合も恐らく早大が有利な場面を展開すること、思ふ、早大の攻法にはゴツ〳〵と角があるやうではあるがスピーデイに一氣に相手陣指して攻寄せる所は宛然太い線を思はしめるものがある、對慶の第一回戰に加茂、川本、野澤のセンター・スリーが余りにも個人技を生かさんとして慶應のマークに潰されたために見事なゴール・シヨットを見ることが出來なかつたがしかし彼等の中に潛む奔放なプレイの片鱗は窺知し得られる、立原を中心として吉田笹野を兩翼に配するHB線、そして駿敏變化に富むFBの鈴木、堀江が後衞から加擔するアタックは執拗な追球を試みるプレーヤー揃ひであるだけに京大の守備陣はかなり苦しく立回らねばならぬであらう

◇

京大はLB持地の脚部の疾患が應えてゐるならばRB栗原のデイフエンスにはかなり重厚なものがあり又HB線が對關學戰に示した如く自陣ゴール前においてシヤープな防禦振りを發揮すれば名GKの金澤が後陣に控へてゐるから假令早大が京大陣で多くの時間を費しても易々とゴールを陷れるとは出來まい、だが金澤がシユーテイング・レンヂの廣い早大の攻撃を如何にして食止めるか彼の守備姿勢こそ眞に興味深いものでこの一戰によつて金澤の眞價を更に世に問ふことになる、殊に京大のもつとも強味とする所はホームグラウンドに迎へる地の利を得てゐることでHB線の攻撃力は福安を除き比較的に弱いから必然的に兩インサイドの後退を余儀なくせしめらるべく然らばCF或はウヰングを以て攻撃の矢表に立つのを定石としなければならぬ

今シーズンの京大は阪大及び外語の試合を除く三試合においては常に逆境にあり乍ら逆襲よく一擧にして對手の穴を拾うて巧みに得點を稼いで制勝したものであるから早大がもし球場の狀態を無視して突進し切るならば京大は意を得たりと必ず背後の稀薄に乘ぜんとするであらう

◇

況して早大GK佐野にはまだ技術的に開拓すべき余地が殘されてゐるから正に京大の狙ひ所である、早大は對慶二回戰において勝つべき試合をキーパーの惡判斷によつて機を逸したかの感があるに對し京大は金澤の美技奏效によつて制覇の夢を結びつつある、併しながら總體的に見てチーム・バランスの勝る早大がミツドフキールドに於て優勢を示すものと思はれるが京大が若し堅い守りを見せ早大守備線の攻撃加擔の裏を巧みに衝くならば名に恥ぢぬ好戰を展開するものと見られる(三宅二郎)

全國高商蹴球關 第四回全國高

東豫選組合せ

商蹴球大會關東豫選は來る廿五日から三日間東大及び神宮兩競技場で擧行されるが、組合せは十三日次の如く決定した

△第一日(廿五日神宮)

(A)横高專對横高商(九時四十五分)

(B)高千穗高商對青學高商(十一時廿分)

(C)商大專對明學高商(零時五十五分)

(D)大倉高商對福島高商(二時三十分)

△第二日(廿六日東大)

(A)勝者對(B)勝者(零時卅分)

(C)勝者對(D)勝者(二時卅分)

△第三日(廿七日神宮)

決勝戰(零時卅分)

尙東西優勝校對抗戰は廿八日午後二時から東大で擧行されることとなつた

S9-12-14

十五日の運動

◇蹴球 早大二軍 1―1 YCAC

S9.12.16

S9-12-17

關西の覇者京大を 6—0 早大（關東代表）壓倒す

東西學生對抗蹴球

【大阪電話】第六回東西學生蹴球聯盟優勝校對抗の早大（關東代表）對京大（關西）の試合は十六日午後一時半から甲子園南運動場で擧行、戸川、三崎（線）三審判の下に早大風上に陣し京大の先蹴に開始、好天なるもグラウンドのコンディションは濕からの風かなり強かつた

早　大　6〔4—0／2—0〕0　京　大

試合經過

◇前半　早大最初から優勢を持し京大自陣から遁れ得ず、六分漸く左サイドから早大陣に進んだがスローインとなり一度人から奪得ドリヴルして中央線お越えて平松にパス、平松深く入つてセンターリングすれば川本引懸けたの全京大バックが蹴り返すを加茂兄拾つてポスト右隅を割つて得點△十一分早大加茂兄の捌いた球を川本頭中

【京　大】
岡田野中田田安村地原澤
長貫麻山高岡福今持栗金
FW 15 5 2
H 8 8 6
F 6 6 4
松兄本澤弟田原野木矛野
茂　茂
平加川野加吉立世繪城佐
【早　大】

を割つて進みクリーンシュートしてゴール△京大廿分頃もよ見直して早大陣を襲つたがFBの出足揃はず無爲△卅二分早大平松のパスを川本飛び込んでシュートしたがポール左へ流る△その後早大物凄い攻撃を續けたが完璧なきパスと京大バックスの必死の守備で得點に至らなかつたが四十分右CKからポスト前に落ちるを京大GK金澤、ブレーヤーが前に居つたためセーヴし得ず平松のシュートでゴール△京大四十三分逆襲右側から攻め早大前でボール二三度動いたが極まらず△その直後早大中央線あたりでハンドのFKを得その球から京大ゴール前で蹴り合ひとなつたが最後に加茂弟取り見事に決定又も得點し4—0となり早大斷然優勢を持す

◇後半　前半開始頃よりは風稍々落ちたが京大風上となり前半より見違へるばかり好調となり早大を壓して容易に自陣に寄せしめないほどの攻撃を示したが△十二分早大は加茂弟のセンターリングをGK金澤剖れて右へ流せば平松右前に取つてシュートすれば見事ゴールイン△十七分京大廣野輕く右に捌くを高田ドリヴルして進めばFWよく捌つてチヤンスと思はれたがセンター前のスローインから川本受け京大バックのマーク外れたと思はれたがGK金澤の好判斷に機を逸す△京大持地自陣から大きく渡れば早大ゴール前に球落ち廣野、高田ラッシュし早大GK佐野をチャージしたがCKとなる△早大苦戰するうち三十九分逆襲に轉ずれば持地大きく右へ金澤にパックパスすれば球緩く早大平松取りノーマークとなり平松、金澤の守備を輕く破つてゴール△四十分京大は早大ゴール前で山中のスルーパスを早大GK佐野飛出してセーヴせんとするを廣野蹴つたが惜しくも左へアウト△早大その後逆にCKを得たが逸し中央線に返つた時ノーサイド

早の迫力に眩惑 京大全く萎縮す

東西對抗サッカー戰評

◇…激撃の地の利に今日の風の利を前半京大に與へたならの憾み無しとはしないがチームの均衡、フットワークの差からして京大の今日を以てしては早大ゴールを落し得ても早大の優勝は當然の歸結であらう。前半向ひ風早大の速攻に備へるウイーク・ポイントの被襲は京大をして消極布陣を余儀なくさせ、次第に守備線の萎縮となり早大の羽翼を一層伸展擴大せしめ益々威力を發揮、京大の戰士にも心殘りはあつたらうし見る者には何等の印象付けられるものなく余りに實力相距つて天下の爭覇戰としての名實之に伴はぬ期待外れのビッグゲームではあつた

◇…後半に入つて漸く京大が速攻に活路を求めて先づ對等の試合を運んだが前半の痛手は攻撃チヤンスに浴しても攻撃力の增幅とならず遂にノーゴールに終つた、早大の變化に富む多角的の攻法に京大は眩惑させられたとはいへ京大は玉碎の一手で後半の如く早い球捌きで速攻により試合をオープニングに運ばなかつたかを疑はざるを得ない、前半三十八分眞田、長岡と渡つた球は長岡の好センターリングとなりフリーの高田が弱いヘッディングで襲つたがこの最初ともいふべきチヤンスに當面した、之は安當の處置ではなく四十三分高田のパスから中央正面強襲となり二度目のチヤンスを迎へたがゴールとの距離と位置關係に拘束されて一度の局面展開もすることなく潰されたのは余りに不手際といふの他ない、後半三分、十七分廣野がCFとして會心の球捌きを見せたがFW高田の活力を伴はず好機を潰したのは四十分RI山中の絶送球に際して廣野ラッシュして及ばなかつたのと共に惜まれる、併しFW線の余りに深いW型とアオローの不足左右の偏々の動き等からすれば敢て不思議とするには當らない、HB線が甚しい後退を餘儀なくされたといふのもあるがFW線は續りはなかつた

◇…守備線では四十三分FB持地とGK金澤が衝突して思はぬ不覺をとり、三十九分持地のパックパスは早大の好機とするの失敗を招きはしたが持地の過失は十分に償ひ得る程好投の金澤と共に早大の鋭鋒を鎖ち切つてゐた、敢て持地一人を責めるに當らず守備線に等しく力戰の跡を見る

◇…早大は加茂、野澤の田R、FW兩線を結んだ攻力は稚野の奮闘と共にチームの均衡を失はしめぬ球動は見逃せぬ、全線の思慮なプレーも餘れた實力を發揮せしめたことを遺へたい、とまれ東西對抗創始以來の圧倒を失した試合であつた（三宅、山田）

王座めざす 粒選りの八強

廿六、七兩日神宮競技場で 關東選拔中等蹴球

◇…本社後援關東蹴球協會主催第二回關東府縣選拔中等學校蹴球選手權大會は去る八日行はれた埼玉縣豫選を最終として一府七縣の代表チームが決定し愈々來る二十六七の二日間明治神宮外苑競技場において華々しい爭覇戰が行はれる事になつた

◇…前回の優勝校豐島師範は東京府豫選において敗退して府立五中がこれに代つて地元代表の光榮を擔へば茨城縣豫選は多年茨城蹴球界に黄金陣を布いた茨城師範を討取つて水戸中學が晴れの大舞台に進出するなど各地方代表の顔觸も動きを見せてゐる、前回は八代表中只一つ群馬縣代表として藤岡中學が七師範を相手としたが今回は東京、茨城、山梨の三府縣代表は中學チームの手に歸したのは曾及發展の生んだ當然の結果でありまた本大會の興味でもある

◇各地方代表(括弧内前回代表)

東　京　府立五中(豐島師)
神奈川　神奈川師(同　上)
千　葉　千葉師(同　上)
埼　玉　埼玉師(同　上)
茨　城　水戸中(茨城師)
栃　木　栃木師(同　上)
群　馬　藤岡中(同　上)
山　梨　韮崎中(山梨師)

◇…東京府代表として自他共に許された關東中等蹴球界の古豪青山師も對豐島師戰に快勝はしたが負傷者をだしてチーム編成難に陷り一方好調の府立五中が決勝戰において見えこれを郤け代表權を獲得した豫選のもつとも激しい地元東京の代表として浮び上つた府立五中は本大會における優勝候補の一つではあるが今夏の關東中等大會から見れば韮崎中等は一方の旗頭として見逃せない、五中に地の利あれば韮崎中には體格に優れた押しの強味がある

◇…この兩豪の最も警戒せねばならないのは神奈川師範で精悍な鬪士がガッチリ組みあつた物凄さは或ひは隨一であり多年の宿望を達する事も考へられぬものではないこれに續くは韮崎中の軍門に一度は降つたが浦和中學と競りに競つて磨きをかけた埼玉師範の存在はこれまた脅威で二中學對二師範の間において覇權が左右されるのではなからうか

◇…新進水戸中學は藤岡中學、栃木師範と共に試合の場數を踏む事少くチームが洗練されてゐない爲めに、目下軍敎中にあり練習を欠く千葉師範と共にベスト・チームを繰り出しても幸運の籤を引かぬ限りは決勝戰まで殘る事は考へられない

◇…尙組合せは來る廿四日協會で行はれる主將會議において抽籤の上決定する事になつた

S9-12-24

東京、神戸同點

【大阪電話】三商大蹴球試合は十八日午後零時四十分から南甲子園運動場で三崎君主審の下に擧行、東京前半風下にあつたがよく押してほとんど神戸陣で試合ひ得點となるチャンスをしば〳〵迎へながらシュート定まらず二點より奪ひ得なかつた、後半に入れば神戸奮起してよく二ゴールを返して同點

東京2【2―0 0―2】2神戸

S9.12.19

全國高校蹴球 參加校決定す

【大阪電話】東京都兩帝大主催第十二回全國高等學校蹴球大會は新春元旦から六日間京都岡崎公園球場で擧行されるが參加校は次の廿二校と決定

六高、東京高校、東京府立高校四高、浦和高校、二高、松江高校、八高、松山高校、一高、靜岡高校、成城高校、弘前高校、早高、佐賀高校、水戸高校、五高、山口高校、北大豫科、廣島高校、法政大學豫科、成蹊高校

S9.12.21

東京商大 蹴球勝つ

【大阪電話】東京商大對大阪商大の蹴球試合は二十日午後二時から甲子園南運動場で擧行八對零で東京商大勝つ

S9.12.21

關東府縣中等蹴球 第一回戰組合

本社後援關東蹴球協會主催第二回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會は愈々明二十六日から二日間明治神宮外苑競技場に於て行はれるが、二十四日午後六時から協會事務所に於て朝生、鹽澤、野村、小野、小長谷吉田、清水、山田、大森、後藤竹内の諸役員と各校代表者出席の上主將會議を開いて抽籤を行つた結果第一回戰の組合せは次の如く決定した

(栃木)松本師　對　韮崎中(山梨)
(午前十時)
(群馬)藤岡中　對　埼玉師(埼玉)
(午前十一時十五分)
(千葉)千葉師　對　府立五(東京)
(午後零時半)
(神奈川)神奈川師　對　水戸中(茨城)
(午後一時四十五分)

S9.12.25

蹴球關東豫選

第四回全國高商蹴球大會關東豫選第一日は廿五日午前九時四五分から本郷帝大球場で第一回戰を擧行

横商尊　4【2 2―0 1】2　横高商
東商豫　乘　權　明學高商
青學商　1【0 0―0 0】1　高千穗高商
抽籤の結果青學の勝
福島高商　2【1 1―0 0】0　大倉高商

高商蹴球 關西豫選

【大阪電話】全國高商蹴球大會關西豫選第一日

名高商4―2和歌山高商
神戸高商　乘　權　大商大豫

關東中等蹴球大會

【本日組合せ】栃木師對韮崎中(十一時)藤岡中對埼玉師(十一時十五分)千葉師對府立五中(零時半)神奈川師對水戸中(一時四十五分)

S9.12.26

S9-12-27

關東府縣對抗 中等蹴球大會

けふ愈決勝戰へ

四代表校勝ち殘る

本社後援關東蹴球協會主催第二回關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會第一日は廿六日午前十時から神宮競技場で擧行終日寒風吹いてゐたがフヰールドは乾燥してよく熱戰を展開して韮崎中(山梨)埼玉師(埼玉)神奈川師(神奈川)府立五中(東京)の四代表がいづれも快勝して第二日の準決勝に進む事となつた、今第二日は午前中に準決勝戰を行ひ午後二時半から關東の覇者を決定する事になつてゐる

韮崎中 7(5—0 2—2)2 栃木師範

栃木先蹴、審判小長谷(主)松永、長島(線)三君

【韮崎】

義弟井林兄弟兄川村正中
水山山野野水
清中三小中小吉藤清田

FW
HB
FB
GK

谷崎木一島林黒中本野田
大石鈴小長小谷山松星豐

CK 3
FK 1
GK 0
PK 1

【栃木】

府立五中 2(1—0 1—0)0 千葉師範

千葉先蹴、審判上野(主)村形、小村(線)三君

【五中】

水田庄木島畑池宅城村村
清種本鈴田堀尾三栗中木

FW
HB
FB
GK

勢田上渡田宮木內崎本瓶
能前村石鎌小鈴木宮山二

CK 10
FK 3
GK 4
PK 1

【千葉】

埼玉師範 6(2—0 4—0)0 藤岡中

開始十一時十五分審判山口(主)粉川、井田(線)藤岡先蹴

【埼玉】

田藤木川岸笠內子浦保島
町進鈴中根武矢笹松彦久

FW
HB
FB
GK

鳳上藤田兄弟田野原
十岸清井遠井小小熊岡須
五

CK 7
FK 2
GK 3
PK 0

【藤岡】

けふの組合せ

◇準決勝 韮崎中對埼玉師(十時)神奈川師對府五中(十一時十五分)

◇決勝 (午後二時半)

神奈川師範 4(4—1 0—1)2 水戸中學

水戸先蹴、審判松井(主)粉川、八田(線)三君

【水戸】

山村山谷井谷村水谷田本
大中田勝石大鹿清水高山
志

FW
HB
FB
GK

川田林本橋松橋石子田木
市森小橋高植三力金盛三

CK 3
FK 5
GK 1
PK 0

【神奈川】

全國高工蹴球

第六回全國高工蹴球大會第一日は廿六日午前十時から大岡山工大球場で一回戰を行ひ結果左の如し

濱松 2(10—1 1—0)1 東京工藝

山梨 5(4—1 1—2)3 神戸

名古屋 3(3—0 0—1)1 横濱

仙台 6(4—2 0—3)3 桐生

S9.12.27

高商蹴球關西豫選

名古屋 3—1 長崎

神戸 8—2 高松

高商蹴球關東代表 商大專門部と決定

第四回全國高商蹴球大會關東豫選第三日は廿七日午後零時半から神宮競技場で東商大專と青學高商部の間に決勝戰を擧行、商大專門部勝ち連續關東代表となる

東商大專 5(3—2 2—0)2 青學高商

【青學】

頭井島田岡川邊田子田
熊奥春吉富峰谷長渡藤金增

FW
HB
FB
GK

田山島屋川村河野集邊
上柴孫森垣綠枝石西賀渡

CK 8
FK 3
GK 1
PK 1

【專商】

關西代表は神戸

【大阪電話】全國高商蹴球關西豫選決勝名古屋對神戸高商の試合は二十七日正午から甲子園南運動場で寺井主審で擧行五對二で神戸勝ち關西代表となつた

神戸 5(3—2 3—1)2 名古屋

【神戸】

本垣野川田田橋井野原

FW
HB
FB
GK

松高礒前長横岡小岩宇木
田西本波沿澤田木賀藤塚
輿 塚宇
伊中安難木中西鈴千佐中
村

CK 4
FK 11
GK 6
PK 1

【名古屋】

S9.12.28

高工蹴球準決勝戰

全國高工蹴球大會第二日は二十七日午前十一時から大岡山工大競技場で準決勝戰を擧行

山形 2(1—1 1—0)1 濱松

名古屋 2(2—0 0—1)1 仙台

S9.12.28

倘關西代表神戸高商は二十七日午後九時二十分神戸驛發列車で東上した

S9-12-28

韮崎中學優勝す

關東府縣對抗 中等蹴球大會終る

本社後援關東蹴球協會主催第二回全關東府縣對抗中等學校蹴球選手權大會第二日は二十七日午前十時から神宮競技場で續行、快晴無風絶好のコンデイションに四精鋭の意氣頓に昂り熱戰火花を散らした午前中の準決勝戰は埼玉師、鎌師の二強が無念の敗退をし午後二時半から韮崎中學(山梨)と五中(東京)の間に決勝戰が行はれ接戰の末に覇權は遂に遠征韮崎中學(山梨)掌握、本社寄贈の眞紅の大優勝旗と銀牌は內野關東協會長から授與され午後四時盛況裡に閉會

準決勝戰

韮崎中 3(2—1)1 **丁埼玉師**

埼玉先蹴、審判竹內(主)小長谷、小野(線)三君

【韮崎中】

義弟井林兄弟兄川村水中
水山　山野野
清中三小中小小吉藤清田

FW HB FB GK

田藤木川岸笠內子浦保島久

2 3 8 1
3 4 4 0

CK CK K K
CF G P K

町進鈴中根武矢笹松彦大

【埼玉師】

府五中 2(0—1)1 **丁鎌倉師**

五中先蹴、審判清水(主)若林、芳村(線)三君

【五中】

水田庄木島畑池宅城村村
清種本鈴田堀尾三栗中木

FW HB FB GK

川田林本橋松橋石子田木

4 5 16
6 0 6

CK K K
CF G

市森小橋高植三力金鹽三

【鎌師】

決勝戰

韮崎中 4(2—1)1 **丁府五中**

五中先蹴、審判野村(主)高津戶、粉川(線)三君

◇前半　六分五中はLW清水の右前斜送球をRW田島へツデング失で好機を逸し八分韮崎はRW中山の左前送球をLW清水へツデングしたが流れて止む、二十分韮崎は五中陣のスローインを奪ってLW清水ドリヴルで深く出で右前へ強パスを送れば五中のバックスのカツト成らずRW中山をつて強蹴し一點を先取す、二十八分五中は中央線付近韮崎陣のFK後CF本庄のバツクパスをCH尾池長蹴しパアを彈いて落ちるをとつてRI鈴木へツデングゴールを陷れ同點となる、二十九分韮崎はCH小野のヘツデングで出した球をRW中山辛くも中前に出せば韮崎のセンタースリーラツシユしCF三井のアツシユで韮崎リードとなる

◇後半　八分五中は左側の強襲が不成功に終り韮崎は十分CF三井中央線付近からドリヴルして正面を突破し左側に寄せシユートして得點更に廿三分LW清水タツチに沿うて斜走短パスするをLI中山とつてシユートし4—1と開く、二十八分五中はRI鈴木シユートして得點を思はせたがバアの外側を彈いて止み前半健闘した五中も遂に惜敗した

【韮崎中】

義弟井林兄弟兄川村正中
水山　山野野　水
清中三小中小小吉藤清田

FW HB FB GK

水田庄木島畑池宅城村村
清種本鈴田堀尾三栗中木

7 0 20
5 6 13

CK K K
CF G K

【五中】

S9.12.29

山梨高工 蹴球優勝

第六回全國高工蹴球最終日山梨高工對名古屋高工決勝戰は二十八日午後一時から大岡山工大球場で名古屋先蹴で開始、山梨は前年の覇者名高工を屠つて初めて優勝の榮冠を獲得した

山梨 8(3—2)5 2 名古屋

S9.12.30

神商蹴球大勝

第四回全國高商蹴球大會決勝東商大專門部對神戶高商戰は廿九日午後一時四十分から東大球場で神戶先蹴で擧行されたが商專チームは中堅選手HB枝村が負傷不出場に加へて前半FC孫傷ついて退場したので神戶の強襲に潰滅した

神商15(10—0)0 東商專

【神戶】

本垣野川田田橋井野原

FW HB FB GK

松高磯前長橫岡小岸宇木
田山　島屋川河田野葉澁
孫　森垣絲石高西賀渡
上柴

1 0 21 0
8 41 0 0

FK K K
FG CK
CP

【東商專】

昭和10年

高校蹴球大會第一日

【京都電話】東西兩帝大主催第十二回全國高等學校蹴球大會は一日午前八時三十分京都岡崎公園運動場で擧行第一日一回戰成績左の如し

水戸	3	1—0	1 四高
大高	8	2—0	1 成蹊
武藏	9	4—0	0 法政
靜岡	4	2—0	1 八高
佐賀	4	3—1	1 松江
二高	2	0—1	1 成城

S10.1.3

高校蹴球

【京都電話】東西兩帝大主催第十二回全國高等學校蹴球大會第三日(三日)第二回戰成績左の如し(京都岡崎公園)

六高	5	3—0	0 水戸
靜岡	2	1—0	0 武藏
二高	10	5—0	1 佐賀
浦和	4	2—0	1 松山

S10.1.4

高校蹴球 準々決勝

【京都電話】第十二回全國高校蹴球大會第四日は四日午前十時から京都岡崎公園球場で準々決勝を擧行

六高	1	1—0	0 靜岡
二高	2	2—0	0 浦和
一高	3	1101—0110	2 豫科
五高	0	0000—0000	0 廣島

抽籤勝

S10.1.5

全國高校蹴球決勝は六高對一高

【京都電話】東西兩帝大主催第十二回全國高校蹴球大會第五日目は五日午前十時半から岡崎公園球場で準決勝戰を擧行

六高	1	0010—0010	1 二高
一高	3	1101—0101	2 五高

抽籤の結果六高の勝ち

關西の鐵技（五日）

△關西中等校蹴球大會準決勝
明星商 2—1 神三中
天王寺師 8—2 神戸工

S10.1.6

一高蹴球優勝

全國高校大會

【京都電話】東西兩帝大主催第十二回全國高校蹴球大會第六日の決勝戰は六日午後一時半から岡崎公園球場で一高と六高との間に行はれた、審判竹腰(主)植木、金澤、安澤、萩原五君、六高先蹴で開始

一高	3	1—0	0 六高

【一高】

澤	安	川田口甲川竹戸井谷
大森金角橋渡邊佐江平喜	FW	波
山横直安藤中高安春葉吉	HB	CKCKK
口山木藤原出須原藤島田	FG	CFGPK
		6 7 18 0

【六高】

◇…第八回大會に六高のため長蛇を逸した一高はこの日HB線の健闘と個々の勝れた小技によつて連敗を目論む六高を退け見事に多年の雪辱を遂げた、前半四十分六高の築島が自陣ゴールライン近くでタツクルに失敗し、よろめく時に三度の反則を冒しペナルティキツクを一高に與へ佐竹の強襲がゴールインとなつて以來六高の意氣は次第に沈下し△後半も立ち直らず一高の蹂躙にまかせたが結局一高HB線が勝利を左右したものであつた六高が角度を持たせるパスに、縱パスを混用してゐたなら前半の猛攻は或は成功して零敗を免れたのではなかろうか

S10.1.7

蹴球關西代表

【大阪電話】來る二十日明治神宮競技場で行はれる東西選拔對抗蹴球戰の關西側選手は次の如く發表された

【FW】大谷(神商大)眞田(京大)堺井(關學OB)前川(神高商)永津(阪大)田中(關學)長岡(京大)【HB】川西(關學)福安(京大)三崎(關學)小橋(神高商)【FB】持地(京大)栗原(京大)【GK】金澤(京大)

S10.1.12

東西對抗蹴球 關東側初練習

來る二十日行はれる東西選拔對抗蹴球戰の代表選手はそれぞれ決定したが關東側は十二日午後二時から東大球場で松丸監督指導の下に約一時間半にわたつて初練習を行つた、三年連勝を期して元氣な練習を終り五時から白十字で懇親會を行つた

尙高山(東大O・B)は來る二十日入營のため代表選手を辭退したがこの補充は行はず東大球場で十六日迄練習を續ける筈

關西選手不振

【神戸電話】東西選拔對抗蹴球關西側選手は十二日神戸外人と練習試合を行つたところ關西側意外に振はず2—0で引分けとなつた關西側の不振は前線のコンビ惡きため

關西代表	2	0—2	2 外人

S10.1.13

S10-1-16

豫科蹴球戰役員

關東蹴球協會並に東京大學豫科共同主催第九回大學豫科蹴球戰は來る二十六日から毎土日曜擧行されるが參加資格は大學豫科、專門部でトーナメントによつて試合を行ふが二十一日抽籤で組合せを決定する、役員は左の如く決定、尙明年よりは同競技をリーグ戰式に行ふ事となつた

△役員　藤井(慶)　齋藤(立)　渡邊(早)佐藤(農)杉浦(法)

S10・1・13

スポーツから

東北救濟の快報

シーズン掉尾の大試合を寄付

廿日の東西蹴球戰

東北各地方の同胞のために各方面から救援の手は伸ばされてゐるがこれはまたかはつたスポーツ界から暖かい救援の手がさしのべられる事となつた快いニュース——來る二十日神宮競技場で第四回東西選抜對抗蹴球戰が行はれるが

大日本蹴球協會では十五日午後六時から協會事務所に打合せのため理事會を開いた、この席上でこの對抗戰の純益を飢ゑと寒さに泣く同胞のために假令一片の餅なりと供へようといふ動議が提出されたが滿場一致即決した

スポーツを通じての稀しい義擧でこのために一般券五十錢であるが前賣は特に四十錢としてプレイガイド、三省堂、新宿ネネマガイド、美津濃、ミクニ、各デパート運動具部で一齊に發賣する事になつた、協會側では記る

先輩をつけたとかいふやうなものではなく一度はこの御奉公も國民の務めとしてなさねばならぬ事と思ひ付いての事で……このシーズン掉尾のビッグ・ゲームであり意義深い企てだと思つてゐます

S10・1・13

運動だより

◇文理農大兩蹴球部本年度主將マネヂヤーは左の如く決定した

【文理大】　主將原崎委員松永、木村、林諸君【農大】　主將江渡、マネヂヤー井能、委員見目、川本、群山諸君

S10・1・13

運動だより

關西蹴球代表東上…來る二十日行はれる東西選抜對抗蹴球戰の關西代表軍は來る十八日燕號で東上する事に決定した、尙一行の宿舍は日本橋本銀町イカヤ旅館があてられるはず

けふの運動

◇蹴球　關東選抜軍對早大（三時神宮、雨天綱町）

S10・1・16

全關東軍快勝

早大蹴球零敗

9——0

全關東選抜軍對早大蹴球戰は十六日午後三時四十分から綱町球場で工藤(主)溝口、小野(線)三君審判の下に全關東の先蹴で開始、早大開始直後屢々機會あつたがショット不正確のため逸し全關東は遺憾ない攻撃を續けて快勝した

全關東　9（3——0　6——0）0　早大

【全關東】

岡近本曆田波川原越木江野
藤石川播增岩石立塚(鈴)堀佐

FW　HB　FB　GK

藤弟兄澤良村田野野田形
茂茂
齋加加野螺中吉笹(關)上柴村

【早大】

CK　FK　GK

10　1　21
7　2　10

◇…全關東はRW駒崎風邪のため增田を補充しLB塚越と鈴木が前後半交代してチームが編成された、早大は野澤、加茂兄弟のセンターリーで鋭い突つ込みをきかして正面を剿り相當成功したが練習不足のため加茂兄のシヨツト不確實で好機を逸してゐた、これに對し全關東は開始後一分川本ドリブルシユートして一點を先取したが十分許りは選抜軍の欠陷を暴露してコンビ惡く寧ろ早大が優勢を續けてゐた

◇…然し九分LW藤岡の的外れの球をLI右近がきめてからは前後の連絡整ひ球をよくキープしてソツのない試合を續けた、早大GK村形の練習不足もあつたがFW線がチヤンスを確實に捉へた手際は流石と肯かしめるものがあつた

◇…CH石川はいまだ若いが岩波及び舊ポヂシヨンにかへつた立原の粘り强いプレイはよくこれを被覆してゐた、選抜軍としてはかつて見ない粒を揃へた許りでなく强力なもので全關西軍を迎へる小手調べとして不足ない試合であつた

◇…球場の狀態が良ければ優れたキツクも更に物をいつたであらうと思はれた（山田生）

S10・1・17

全關東軍對文大蹴球戰中止

全關東軍對文大蹴球戰は十七日擧行の筈であつたが文大側の都合によつて中止された

S10・1・18

S10-1-19

防禦の關西軍か 攻撃の關東軍か

豫斷を許さぬ勝敗

東西對抗蹴球戰前記

本シーズン掉尾のビッグ・ゲームとしての東西選抜對抗蹴球戰は來る廿日明治神宮外苑競技場で午後二時から行はれる、關東側は去る十日、關西側は十一日それ〳〵最後の銓衡を終つて陣容を整へ東西共に必勝を期し雨を冒し寒風を衝いて猛練習を續けてゐる、回を重ねて茲に第四回、從來の戰績は

昭和七年　關西6——3關東
同　八年　關東3——2關西

で前シーズンは5——3で關東一勝を博したが極東大會選抜を兼ねてこの對抗戰が二回行はれた結果東京における第二回戰は陣容編成を異にしてゐても6——1で關東軍の慘敗に歸してゐる、本シーズンの關東軍は再度相見えて雌雄決せず銅欄を預らした早慶兩チームの粹をあつめ關西軍は京大、關學、神商大、神高商、阪大と廣範圍にわたつて選抜されてゐる、選抜範圍の廣狹は兎も角として東西共に極東大會の花形を抜き斯界の名手が動員されてゐて掉尾のビッグ・ゲームとして豊かな内容を盛るだらうと大なる期待をかける事が出來る、さて勝利は……關西軍の東上を激撃する地の利を占めた關東軍か、あらゆる不利を軒昂たる意氣で一擲しようとして進撃する關西軍か

× ×

關東軍のFB線は鈴木、堀江の極東大會代表ペアーに塚越でいづれも一得一失あり、GK佐野とのコンビを

考慮に入れゝば鈴木、堀江となるが、この編成が問題で風邪の駒崎は當日の出場容易とあるからFB線が未定で左の編成を見よう

（慶慶早慶慶慶慶早慶早早）
（岡近本應崎波川原越木江野）
FW
（藤石川播駒岩石立塚鈴堀佐）
HB
FB
GK

これに對し關西軍はGK金澤、FB線は持地、栗原で京大最後線をその儘としHB線は小橋（神高商）を加へてゐるが極東大會代表の糟銃川西、三崎の關學勢に京大主將福安が配されよう、長身川西の冴えたキックとタックル、愈々CHとして圓熟した三崎の粘り、強引乏しい嫌はあるが洗練された福安の布くHB線は關東軍に比し優るとも劣らぬものがある、FW線は六高で鳴らした永津（阪大）、ウイング・マンとして傑出した技能を有する田中（關學）は大試合の經驗乏しくして控へ左から關西一の折紙つけられた大谷、短驅ではあるが隼の如きプレイで京大の

重鎭として知られた眞田唯一のOB選手で老巧な堺井、執拗な前川と長岡と並んで

（大大出商大學　大
商學高　同同同
神京關神京關　京
谷田井川岡西崎安地原澤）
FW
HB
FB
GK
（大眞堺前長川三福持栗金）

の布陣が豫想される

× ×

關西軍は早くも五日から練習を開始し去る十二日神戸外人團に挑戰したがFW線の不振はタイム・アップ直前辛くも引分の一點を擧げ二對二の記錄を殘したに過ぎない寂しいものであつた、關東軍が十六日の對早大戰に九對零の快勝を博してゐるのを思ひ比べると余りに甚だしい相違である、事實全關西軍の廣範圍にわたる選抜編成からすればこれも無理からぬ事で問題はこれに對して如何なる對策が講じられたかである、一概に小手調べの一戰を以て東西の實力を計量するは當を失するかも知れぬが守備力を考慮に入れずに見る攻撃力は全關東軍が優れてゐると見られる、CFに据ゑられた川本は優應四人の多角的で

確實なパスワークの中に交つて早くも順應したのはこの攻撃線の强味である全關西軍は大谷の實力に依倚して左側に偏した攻撃を敢行せねばならぬやうに左右の均整を失つてゐる、チームとしても全關東軍は全線誠によく整備してゐる、之に加はる地の利で全關東軍の快勝が豫想されるのであるが濃しの早く强い全關西軍のバックスに向つて果して全關東軍攻撃線の破壞力が偉功を奏するか、勝敗はこの一點から釀し出されようが机上の豫想を實戰において覆されぬとは殘念ながら斷言出來ぬ（山田生）

全關東快勝

對立教蹴球

全關東軍對立教蹴球戰は十八日午後三時四十分から神宮競技場で工藤君審判の下に全關東軍の先蹴で開始、入對一で全關東軍快勝した

全關東軍8（4——1）1立　教
　　（4——0）

◇…霜解けのためグラウンド・コンデイション極めて惡く全關東軍はチャンスを作りながらも足場をさらはれて凡遜ずる事多く十六分はじめて川本のショットが決定した、立敎は間歇的に逆襲を試み二十六分右CKをとり肥田短蹴して久保田リレーしたのはコンデイションからすれば賢明な策で當然報いられて無敵軍のゴールを陷れて2——1と迫つた

◇…全關東軍はCH石川の技いよいよ磨きがかゝりHB線の出足早く攻撃線は部厚く布かれてFW線に豐富に球が供給された、ショットの成功率は三割位であつたがこれはGK山口の幸運と巧技もあり球場の不良からすれば致し方なからうFW線のパスワークいよ〳〵イタにつき賴母しいがバックスはより强引であつてよからう（山田生）

【全關東】
岡近本應崎波川原越木江野
野石川播駒岩石立塚鈴堀佐
FW
HB
FB
GK
廣田田島崎崎　田本　口
李　保
朝上久肥敷駒宮　塚岡　山
【立　敎】

7 0 4
K K K
C F G

3 3 17

S10.1.19

S10-1-21

關西の追撃を退け 6—5 全關東辛勝す

東西選抜對抗蹴球

第四回東西選抜對抗蹴球戦は二十日午後二時から神宮競技場で竹内(主)後藤、岩崎(線)三君審判の下に關東の先蹴で擧行、好天南の微風なれ共霜解けのためフキールドのコンデイシヨンは不良兩軍の制球力を奪ふ事が甚だしかつた、全關東軍よいスタートしたが全關西軍の追撃奏効しシーソーゲームとなり全關東軍辛くも一點を死守して勝つ

全關東6(2—1)5全關西

◇…スコアの上の追撃は急なるものあつたがフキールドコンデイションの不良と選抜編成の關西不足が露はれ東西の對抗意識も極めて微弱であり期待した程豐かな内容も盛られずに終つた、殊に早くもフキールドの不良はチヤージされて關西はGK金澤が關東はLI右近が足を傷めてしまつた、これが双方試合を運ぶ上に支障を來し自づとその内容を減殺したと見れば見られぬでもないが掉尾の東西のレベルを比較するには寂しいものであつたといふよりない

◇…關東はキックオフ後HB線の好追走で早くも一點を先取スタートは見事に切つて3——と開き4—2と開いて極めて歩のある試合を續けたが關西は三十四分から三十六分迄の間に無雜作に二點を加へて4—4の同點としてしまつた、集結力の微弱な關西FW線に對して關東バックスの薄いマークが災したのであつたといふよりない、關西バックスのシヤープなキックが早くから示され、LI永津を思ひ切り後退せしめて切り込みの深いW型をとつた要心堅固の守備形から攻撃體形に移つてみたなら多種多様、變化に富む攻め口を持つてゐたのだから、前半關西軍のリードとなつてゐたかも知れぬ關東軍が余りに樂觀的の守備布陣に對し關西軍また余りに愼重に過ぎた嫌があつた

◇…東上のハンデイキャップからすれば關西軍の敗戰決して誇るに足らぬ試合である、關西軍が後半一分の機會を逸してからは消耗して自陣に惡戰したが曲者川本を完封して正面の不安を去らしめる事を忘れなかつたのは出來榮えのよかつた關東FW線の連絡を斷つ上に奏効してゐた後半四十分近く爆撃的の進出また機會を作つたが疲勞のため進出鈍く制球も意に任せず回復ならなかつた

◇…個々の特殊は或程度まで示されたが關東にあつてはHB線のサイドに出て意々強い立原、關西では小橋の活躍がチヤンスを作る上に重要な役割を演じてゐたのは見逃せないものであつた、惡コンデイションの中に藤岡、大谷の効果的のセンターリングまた好對比であつたといへよう(山田生)

◇前半　關東のキックオフを關西よく潰したがLH岩波の前送球をCF川本フリーに收め右前にドリブルパスすればRI播磨とつてシユートしゴール成り關東早くも一點を先取▼九分關西は關東陣右隅のスローインから出た球を關東ゴール正面に寄つたLI永津シユートし關東はGK佐野、一旦クリヤしたが密集の中に出で洩れ球を拾つたRI前川ブツシユしてゴール成り同點▼關西は十四分RH小橋の前送球から左CK二回を連取し二度目の好蹴を右近潰しこれを關西はRH小橋拾つて强蹴したが惜しくも外れてアウト▼關東は十七分右CK後中央線近くでRB堀江の飛球をLI右近右前に捌きRI播磨これを左前に送るとCF川本とつてシユートしゴール▼更に十八分關西陣スローインの球をRH立原チヤージボールとして出せばGK金澤後逸してゴール落ちる——1關東のリード▼二十四分關西はRW長岡CF堺井のパスにはじまり關東陣右隅のスローインから出た球をRH小橋强蹴しLI永津引つかけんとしたが、そのまゝゴール成つてる——2▼三十二分關東にLH岩波の長蹴をCF川本ひつかけてシユートし再び二點差とす▼三十四分關西はCF堺井の左前送球をLW大谷ドリブルで深く出でセンターリングしたのをファリーのRI前川ヘツデイング巧やかにゴール成り4——3▼三十六分RH小橋の前送球をRW長岡とつて好送しCF堺井關東バックスの逸をぬつてシユートし得點4——4の同點

◇後半　一分關西はCF堺井ドリブルパスしLW大谷シユートしたが右柱を掠めて空しく▼關東は三分RW駒崎のパスは日本からLW藤岡に出で正面を割つてドリブルシユートすればゴール成り▼十分關東は右CKを二回連取し二度目の好蹴を右近へツデイングできめ6——4▼廿五分關西は左CKを得大谷の好蹴を關東はGK佐野クリヤし正面に寄ちたのをCF堺井拾つてシユートしたがゴールアウト▼廿七分關東はLW藤岡の辛くも出したセンターリングを關西はGK金澤ノツクしこれを前進したRH立原拾つてシユートしたがバアを彈き▼三十二分關西はCF堺井中央線付近からドリブルして左前に出しLI永津マークを外してシユートしゴール成り6——5となる▼三十五分から四十二分迄關西は關東陣に攻撃を續けたが空し



全關東軍RH立原のチヤージボールに向つて右近强蹴したが持越、立原のため潰されて全關東軍の好機去る

【全關東】

FW	慶	慶	早	慶	慶	慶	早	慶	早	
	岡	近	本	崎	波	川	原	越	江	野
	藤	右	川	播	駒	岩	石	立	堀	佐
HB	大		大	出	商					
	商		學	高	學					
	神		阪	關	神	京	關	京	京	
FB	大		大	商	大	學	商	大	大	
GK	大		谷	津	井	川	岡	西	崎	橋
	永		堺	前	長	川	三	小	持	栗
	金		澤	原	地	原	澤			

【全關西】

8	CK	17
8	FK	2
17	GK	9

大學豫科蹴球

第一回東京大學豫科蹴球大會第一日（二十六日）

▲第一回戰慈醫大2——1拓殖大▲第二回戰慶應8——1法政

S10.1.27

蹴球二試合

二十六日橫濱YCACでは左の蹴球二試合を行つた

農大 5(3—2)2 YCAC二軍
YOS 2(0—1)1 YCAC一軍

東京OB 2(2—0)2

S10.1.28

大學豫科蹴球

東京大學豫科蹴球大會第二日は廿七日正午から日吉台球場で第二回戰殘りを擧行、成績左の如し

早大8—0慈大
明大3—0日大
立大1—0農大

S10.1.29

OB並に實業團の蹴球日割

關東蹴球協會では二十八日午後五時から協會事務所で理事會を開催、麻生主事以下各理事出席東京大學OBリーグ戰並に關東實業團蹴球大會の日取の決定及び四月に行ふ豫定であつた關東綜合選手權大會の打合せを行ひ八時散會した

▲OBリーグ　二月廿四日、三月三日、十日、十七日（本郷帝大球場）

▲實業團大會　三月十七日から毎日曜日擧行（グラウンドは未定）

S10.1.29

東西對抗OB蹴球延期

第五回東西OB選拔對抗蹴球戰は來る二月十一日神宮競技場で擧行の筈であつたが競技場は積雪で狀態頗る不良のため十七日南甲子園競技場で行ふ事になつた、尙關東軍のメムバーは左の如く決定した

【FW】竹腰、手島、塚部、石井、竹內（虎）、小長谷【HB】濱田、松丸、角谷【FB】井出竹內（悌）【GK】阿部、菊地【マネージヤー】小野

S10.2.2

豫科蹴球に早慶勝つ

東京大學豫科蹴球大會第三日は二日午後一時から日吉台慶大球場で準決勝を擧行

早大8—0明大
8—1
慶應3—0立教
2—1

S10.2.3

早大蹴球優勝

東京大學豫科蹴球大會早大對慶應の優勝戰は三日午後二時三十分から日吉台慶應球場において擧行

早大 35——00 慶應

【慶應】
江田田磨川川侯邊骨田
堀太增幡中宮石猪渡乙米
FW
良（弟）澤藤野田野山田野
茂（兄）
HB
FB
GK
螺加加野齋關吉徘森芝佐

2	GK	0	0
0	GK	1	0
1	CF	0	1
0	FK	1	0
1	RK	1	1

【早大】

S10.2.4

東西OB蹴球戰關西側選手

【大阪電話】十七日甲子園南運動場で擧行される東西OB對抗蹴球試合の關西側選手は次の通りに決定した、監督杉村（早大）△FW西尾、堺井、東浦（以上關學）澤野、永野、中野（以上京大）市橋（慶應）藤岡（東大）HB山本、赤川（以上京大）守屋（關學）FB後藤、安部（以上關學）玉木（京大）GK丹羽（關學）

S10-2-5

十六日の運動

◇蹴球【橫濱電話】學生選拔6——0橫濱外人
農大3——1第二軍

S10.2.17

十七日の運動

◇蹴球　早大2——1、5——1東大OB

S10.2.18

5—2 關西快勝

東西對抗OB蹴球

【大阪電話】第五回東西OB對抗蹴球試合は十七日午後零時半から甲子園南運動場において三崎（主）戶川、大谷（線）三君審判の下に關東の先蹴に開始、この日濱からの微風あれど快晴に惠まれてコンデイションは良好であつた、關東は前半において既に關西のために5——2とリードされ後半よく努めて挽回を圖つたが遂に兩軍とも無得點に終り結局五對二を以て關西の勝となる

關西5（5—2）0—2關東

◇…前半五對二のスコアをタイムアップ迄そのまゝ移して關西はここに勝星を加へた、この結果は試合前既に豫想された所で關東の無策を現實に暴露したものである、試合の興味は前半において盡きたといつても過言でない程後半における動きは心逸れども足これに應ぜざるの凡々たるものであつた

◇…後半に入つてから關東は見違へるばかりの攻撃を示し得點となり得るチヤンスを屢々迎へながら一點もゴールを陷落し得ずに終つたのは關西のラツキーが大分手傳つて居たためにしても最後のキメの所に至つて出足揃はず或は又シユートせねばならぬ肝腎の時に足が利かなかつたためである

◇…關西制勝の最大の因は勿論全體的のまとまりがあつたためでもあるが特記するならばFW及び兩FBの動きは關東より遙かに勝つて居た、FWではボールに親しむ機會の多い堺井君が目立つて居たのは當然でその上達は目ざまーかつた（三宅生）

【關西】
橋呂野井野屋川本藤部羽
市西永堺中守赤山後安丹
FW
HB
FB
GK
（寅）腰村部谷田丸井（悌）出部
（內）
竹竹津塚角濱松石竹井阿

【關東】

5	GK	3	13
2	FK	1	8

サツカーを編入

委員會で決定

【オスロにて黑田特派員廿六日發】二十六日のオリムピック委員會は來るベルリンの大會種目中にアソシエーションフットボールを加へる事を決定した、然しこれは純粹のアアチユアより成るチームに限られてゐる

また長い間論議されて解決されなかつたプロクラン・タイム・ペーメントを受ける選手は出場を許されない事になつた、即ちこれによつて歐洲諸國に見る如き試合出場のため受ける損害を償ふために支拂を受ける選手は職業選手でなくても出場を許されないわけで、わが國には問題なしとしても歐洲チームには痛手である

S10.2.28

S10-2-20

大學、高專分離か

學生蹴球聯盟委員總會

東京學生蹴球聯盟議事部委員定時總會は今二十日開會、聯盟規則の修正、會費値上げ、選手登錄制限等が上程審議される事になつてゐるが昨秋理不盡にも葬られ去つた大學高專分離の改組案が緊急動議として再び俎上にのせられる事となつた、恐らくはこの改組案が十一年の歴史を誇る聯盟の運命を左右するものとして討議の中心となり賛否兩論が對立するであらうが客觀的情勢は分離案の通過を有利に導き寧ろ現狀は分離に伴ふ新組織に關して議論が沸騰するであらうと見られるに至つた即ち十九日午後四時半から聯盟事務所において行はれた加盟三十三校各代表者意見交換後の結果を綜合すると大勢順應成行靜觀の幾校があるもこの分離主張の早大、明大、商大、法政、立教、中大その他慶應、東大、文大、蒲大、拓大、國大等の加盟十八大學は不動であり、それに學業關係等から東京高等商船明治藥專、東京歯科醫專、青山學院等賛意を表してゐるので聯盟規約の三分ノ二は確實で通過の大勢に傾いた、尤も一部には分離の結果消長のよつて來るものゝ激しいのを憂慮してゐる向もあるが管理の關東協會においては萬全の對策があるといはれてゐる

大學と高專 遂に分離

聯盟議事部委員總會で 絶對多數で可決

東京學生蹴球聯盟議事部委員總會は二十日午後五時半から東日會議室において加盟三十三校中三十校の議事部委員が出席して開會された、昭和九年度事務及び戰績の報告があり每季優勝校には賞狀を授與し試合棄權校は始末書を提出する事を決定し豫算編成の根本方針を確立する事になつたが細目の決定に關しては豫算委員に付託となつたかくて既報の通り論議されてゐた大學、高專分離の改組案が緊急動議として提出され賛否兩論に分れて討議されたが一高、東高の反對論も大勢を逆轉をしめる事能はず成城高校、商立高校の棄權を見たが採決の結果は二十六對二で大學、高專分離案は絶對多數支持の下に通過し昨年末の懸案は解決し大正十三年來の組織はこゝに改められる事となつた、原則として試合は一校一チームの下に行ふのは從來の通りであるが名稱その他細目に關しては各校から選出された三十三委員の手によつて四月の春季總會までに審議の上決定される事になつた

大學十八校の戰績によつて三部制を布かれる事は豫想される所であるが、高專十五校の聯盟組織は高校側が更に分離し獨立する事を希望してゐるので三部となつて關東協會に直屬する事も豫想されてゐる、尙千葉醫大の加盟問題は春季總會で正式に決定することゝなり午後八時散會した

S10・2・21

帝慶引分け

OB蹴球リーグ戰

東京學生OB蹴球リーグ戰第三日は三日午前十時から東大球場で四試合を擧行、B組の優勝候補東大と慶應は引分けA組は優勝候補の早大と第一戰に引分けた商學後半振はず四對零で法政に惨敗す

◇B組

農 大 1—0 0—0 0 文 大
東 大 1—1 0—0 1 慶 應

◇A組

早 大 3—3 0—1 2 明 大
【大】田山藤井倉田谷村田 根田 8
【明】藤丸伊河土熊奥北原山原 11
W FB GK
【大】川藤木村野島藤橋田田 0
H FG
【早】西伊鈴野佐宮井工高山遠 7
CK CK GK

S10・3・4

籠、蹴球選手 銓衡方策協議會

近く兩協會で開催

別項二日行はれた大日本體育協會專務理事會に於て明年のベルリンに於ける第十二回オリムピック大會に蹴球及び籠球兩チームも派遣する事に略内定したので大日本蹴球協會及び大日本バスケットボール協會では選手數、銓衡方法、財政問題等に關し具體的方策を立てる必要から大日本蹴球協會は來る大日事務所に於て緊急理事會を開く事になり大日本バスケットボール協會の理事會に直ちに協議會を開く事となつた

S10・3・11

OB蹴球リーグ戰

法政優勝(A組)

B組帝慶再戰

東京OB蹴球リーグ第三日は十日午前十時から東大球場で四試合を擧行A組は早法引分けとなつて法政は二勝一引分けで優勝しB組は帝慶それぐ二勝一引分けの同成績で改めて決勝戰を行ひ優勝を決定し法政と今シーズンの覇を爭ふ事となつた

◇A組

法 政 1—0 1—0 1 早 大
(十時法政先蹴、審判は岩崎、小野、吉田三君)
明 大 1—0 1—0 0 商 學
(十一時半青學先蹴、審判は竹内、澁地、桑田三君)

◇B組

慶 應 4—0 1—0 2 文 大
(二時慶應先蹴、審判は三島、北村、中村三君)
帝 大 6—3 3—0 0 農 大
(二時半帝大先蹴、審判は吉田、小山、辻三君)

◇蹴績(A)1、二勝一分法政2、一勝二分早大3、一勝二敗明大4、一分二敗商學(B)1、二勝一分帝大、慶應3、一勝二敗農大4、全敗文大

S10・3・11

オリムピックへ蹴球も派遣

協會緊急理事會決定

大日本蹴球協會は六日午後六時から協會事務所で緊急理事會を開催鈴木主事以下島田、吉川、竹腰等各役員出席第十一回國際オリムピック參加問題に就きチーム派遣に關する各方面の聯絡を檢討の結果第十二回大會東京招致問題もある事として萬難を排して參加する事に決定、直にこれを來る五月開催される全國代議員會に提出の上正式決定を求める事となつた、なほチーム派遣に先だつて事情が許せば本年中に歐洲情勢視察のため役員一名を派遣する事に決定し更に代表チーム人員編成法、派遣費捻出方法、及び技術問題に就き次の如く決定發表した

一、チーム編成方法――一チーム主體制度を採り必要の場合は他チーム選手を加へ一行十七名とす、これが餘衝には全國各支部より一名、本部より若干名の餘衝委員を出して委員會を組織し本年五月に開催される第一回全國綜合選手權大會、十一月の明治神宮大會及び十二月の東西學生リーグ戰等の成績を餘衝資料とす

一、派遣費は全國各支部から一名と本部より若干名を出して財務委員會を設置し具體的成案を練つて各方面に働きかける

一、技術上の問題は本年五月二十四、五、六三日間神宮蹴技場で開催する第一回全國綜合選手權大會の如き試合數增加のための試みを始めとして技術指導委員會に委囑して全國的にコーチの派遣、講習會及び機關紙を通じて理論の普及に務める等更に積極的活動を期す

尙全國綜合選手權大會は朝鮮、台灣も含み各地豫選に對しては之を各支部に於て五月十五日までに代表を決定せしめることとなつて九時散會した

S10.3.8

實業團蹴球　第四回關東

實業團蹴球大會第二日は二十四日午前十時半から三田綱町球場で第一回戰の殘り四試合を擧行、前回の優勝慶應病院は千代田生命に敗れた

千代田生命	7	5—2	2—1	3	慶應病院
淺野セメント	6	2—1	4—0	0	三共
東京火災	8	4—3	3—3	6	共同火災
第一生命	棄權				油面

S10.3.25

OB蹴球リーグ戰

第五回東京大學OB蹴球リーグ戰第一日は二十四日午前十時から東大球場で擧行、結果左の如し

◇A組

早大	3	2—1	1—2	3	青學
法政	6	3—1	3—0	1	明大

◇B組

東大	5	1—0	4—0	0	文大
慶應	9	2—0	7—0	0	農大

S10.3.25

OB蹴球B組　第五回東京學生OB蹴球リーグ戰B組決勝慶應對帝大再試合は十四日午後四時四十分から本郷帝大球場において井出(主)大越、吉田(線)三氏審判帝大先蹴で擧行前半帝大は竹腰のシュートで一點を先取したが後半二十二分頃慶應はLW市橋の好送球を塚部、古山と渡り古山のシュートなつて1—1兩軍全く互角で遂に延長戰となり慶應はHBの強味から漸次に盛り返し二分古山のヘデイングで一點をリードし、更に延長後半の終り頃CF津村のGKチヤージからRI塚部シユートして一點を加へ結局三對一で慶應快勝し來る十七日午前十時から帝大球場でA組優勝チーム法政とリーグ決勝を行ふ事となつた

S10.3.15

慶應快勝す

東京學生OB蹴球決勝戰

第五回東京學生OB蹴球リーグ決勝戰慶應對法政の試合は十七日午後一時から東大球場で井出(主)杉浦、溝口(線)三君審判の下に慶應先蹴で擧行、慶應はHB線が徹底的に攻撃に加擔し、法政は全線守備について應じたが六對一で慶應が快勝した

慶應6(3—1 3—0)1法政

【法】
木野川田熊谷(谷澗條浦塚松浦西吉大)2
FW BBK CKK CFG
HFG
波山村部橋丸田坂綺池田岩吉津塚市松澤長岩小島5

【慶】

S10.3.18

關東實業團蹴球第二日

第四回關東實業團蹴球大會第一日は十七日午前十時から東大球場で第一回戰の四試合を擧行、成績は左の通りである

統計後(3—0 0—1)1興業銀行
商本部(3—0 0—1)1統計研究所
帝大小兒科2(0—1 2—0)1

S10.3.18

獨逸勝つ

【パリ十七日＝對佛蹴球戰　蹴聯合】第三回獨佛對抗國際蹴球戰は十七日午後オートイユ球場で擧行されたがドイツ●チームは三對一で最初の勝利を得た

S10.3.19

横濱外人蹴球で神戸に慘敗

【横濱電話】神戸外人對横濱外人定期蹴球戰は卅日午後二時半からYCAC球場で擧行、六對零で横濱軍が慘敗した

神戸6(2—0 4—0)0横濱

S10.3.31

實業團蹴球準々決勝

第四回關東實業團蹴球大會第三日の準々決戰は三十一日午前十時半から三回綱町球場で雨を衝いて擧行千代田生命、日本鋼管、東京火災、日立製作所が勝ち準決勝戰に進む事となつた

千代田生命 6 (3—0) 0 航空技術本部
3—0

日本鋼管 2 (1—0) 0 淺野セメント
東京火災 1—0

日立製作所 4 (0—1) 1 第一生命
4—0

S10・4・1

千代田生命優勝

關東實業團蹴球

第四回關東實業團蹴球大會最終日は十四日午前十時から本郷東大球場で準決勝戰から擧行、豫想された樣に千代田生命と日立製作所が決勝戰に進み鎬を削り無勝負で延長戰十分を行つて尙決せず更に二十分の延長戰を行つてその後半千代田は左隅蹴を得てFW線の密集攻撃奏効して決勝の一點をあげ千代田優勝す

◇準決勝

千代田生命 3 (3—0) 0 日本鋼管
1—0

日立製作 6 (2—0) 0 東京火災
4—0

◇決勝

千代田生命 1 (1—0) 0 日立製作
0—0

【千代田生命】
遠藤 丸田 松田 澤藤 崎田
FW 渡邊 岡森
松稻村濱中加岩品
HB 木倉川(三)
築田本
FB 井川(主) 崎野(亥)
GK 小林
【日立】
鈴木 竹鎌野 西大石宮丸石

10 8
4 C K 1
17 C F K 7
G G K

S10・4・16

上海東華蹴球勝つ

【京城電話】上海東華對全京城軍の蹴球試合は十九日京城グラウンドで擧行、二對零で東華勝つ

東華 2 (2—0) 0 全京城
0—0

S10・4・20

一人制レフエリー

英國蹴球界に擡頭す

英國では最近蹴球競技の審判について重大なる變改を試みようとしてゐる、それは從來一人でやつてゐたレフエリーを二人にしてはどうかとの說である、なぜこの二人制レフエリーの必要が起つたかといふとゲームは日を追ふにつれて益々スピーディになるから今までのやうに一人では到底滿足な審判が出來難いといふのがその理由である、例へばAの陣地にボールがある時急にBの陣地へと攻防の位置が急轉する場合が屢々あるのでこんな場合にレフエリーは到底追隨して行けないがこれが二人制となると他の一人が直ちに其の方に向へるからレフエリーは樂になりひいては緊張も少くなるのは當然である

×

またフリーキツクを行ふ場合などレフエリーがその地點近くにゐれば別であるが遠くにゐる場合、攻撃側が蹴らんとする時に守備側は既に防禦の陣を頑く布いてしまふので折角與へられた攻撃力も減殺される事になる、然し二人制になると此欠點も比較的除去される、英國では此二人制レフエリーに關しては相當古くから討議されてゐたもので最初にテストされたのは今年の一月であつた、實際者上にあらわれたこの二人制レフエリーに關してはこの時甲論乙駁その歸する所がなかつたが三月廿七日アルビオンの球場で行はれた第二回のテスト・マツチは對スコツトランドの國際試合に出場すべきイングランドの代表選手選拔試合において行はれた、この試合は關係者は勿論一萬三千の大觀衆に見守られて行はれたが試合終了後洩らされた各方面の意見を拾つて見ると前回と同樣賛否兩論の對立を見たが大體は改良說に傾いたやうでデーリー・メール紙などでは二人制レフエリーは來シーズンから採用されるだらうとさへ報じてゐる

×

この試合に見られた一例の改良を擧げるとA組が占めた最初のゴールはポストの横木にボールがあたりそしてボールがはね返つた時にゴールラインを越えたるものであつた從來はこんな場合はノースコアから見放され勝ちのものであつた、この時は丁度一方のレフエリーがゴールから數ヤード離れた地點にゐたのでこれを容易に判斷する事が出來たと述べてある、この裁決如何は改めて審議される事になつてゐるがフリードホツケーの實際に徵しても當然あり得べき事ではなからうか、兎々角實施される事にもなれば從來の欠點は相ひ得ても實施上何彼と不自由な事もあらうからわが國にも對策としてまた研究課題として機會を捉へてテストする必要があらう

S10・4・24

東華蹴球敗る

【平壤電話】上海東華對平壤蹴球戰は廿三日午後四時半から平壤球場で擧行

平壤 4 (3—0) 2 東華
1—2

早大蹴球勝つ

早大對立教蹴球戰は廿三日午後三時半から東伏見早大球場において擧行

早大 8 (3—1) 1 立教
5—0

S10・4・24

全日本蹴球關東豫選組合せ

大日本蹴球協會主催全日本綜合蹴球選手權大會關東豫選は來る廿七日から代田橋球場で開始されるが、その組合せは左の通り決

△一回戰(廿七日)(A)東京蹴球團對立教一時、(B)早大對慶應BR B二時半、(C)帝大對三田サツカー四時

△二回戰(廿八日)A慈大對YOS十時半、B明大對文理大十二時、C自旅對東商一時半、D法友サツカー對農大三時

(廿九日)E商船對帝大LB十時半、F千葉對拓大十二時、GWMW對(B)の勝者一時半、H(A)の勝者對(C)の勝者三時

△三回戰(五月五日)Aの勝者對Bの勝者十時半、Cの勝者對Dの勝者十二時、Eの勝者對Fの勝者一時半、Gの勝者對Hの勝者三時

△準決勝五月十一日

△決勝五月十二日

S10・4・26

綜合蹴球選手權關東豫選

全日本綜合蹴球選手權大會關東豫選第一日は廿七日午後一時から和泉球場で第一回戰の三試合を擧行早大對慶應B・R・Bは延長戰の末早大が抽籤で勝殘つた

立　教	2	1—1 0—0	0	東京蹴球團
早　大	4	2—0 0—0	0	慶應BRB
抽籤勝				
東　大	2	1—1 0—0	0	三田クラブ

S10・4・28

綜合蹴球選手權豫選第二日

第一回全日本綜合蹴球選手權大會關東豫選第二日は廿八日午前十時半から明大球場で第二回戰四試合を擧行、成績左の如し

慈　大	6	3—0 3—0	0	農大YOS
東　高	4	0—0 4—0	1	白旗蹴球團
農　大	6	2—0 4—0	0	法友

S10・4・29

中等學校招待蹴球

【京都電話】大毎主催中等學校招待蹴球大會第二日は二十八日花園競技場で擧行

◇第一回戰

神戸一中 4—3 濱松一中
韮崎中 2—1 廣島一中

◇準決勝

天王寺師 4—3 京都師
神戸一中 5—4 韮崎中

S10・4・29

全日本蹴球關東豫選

全日本蹴球選手權關東豫選第三日は廿九日和泉で擧行

◇二回戰

帝　大	6	0	東商船LB
醫　專	3	2	拓　大
早　大	6	0	WMW
立　教	3	2	帝　大

S10・4・30

綜合蹴球豫選

第一回全日本綜合蹴球選手權大會關東豫選第四日の準々決勝四試合は五日午前十時半から代田橋球場で擧行

文　大	5	4—1 0—0	0	慈　大
農　大	4	3—1 1—1	2	東　高
帝　大LB	6	4—2 0—0	0	醫　專
早　大	4	3—1 0—0	0	立　大

關東蹴球協會役員改選

關東蹴球協會昭和十年度定時代議員會は五日午後六時半から協會事務所に於て開催、昭和九年度の決算及び十年度の豫算並に事業を承認し、協會の全面的改選を期して理事の增員を決議し、役員の改選を行つた結果左の如く決定した（括弧内の重は重任、新は新任）

◇會長　内野台嶺（重）◇理事　朝生要人（重、主事）小野卓爾（重）竹内悌三（重）松丸貞一（重）井出多米夫（重）吉田福（重）鹽澤幹（重）工藤孝一（新）小長谷良策（新）清水隆三（新）伊藤進（新）尙昭和十一年度の事業に關する詳細は近日中に開かれる理事會において發表される事となつた

S10・5・6

關東蹴球協會理事會

關東蹴球協會理事會は十日午後六時半から協會事務所において開かれたが今年度事業計畫及び決定たる主なる事項左の如し

一、十年度事業、大學豫科リーグオープン中等校選手權（八月）大學高專リーグ、關東中等府縣對抗、OBリーグ、實業選手權講習會開催

一、橫濱博の東京橫濱試合には農大（大學高專）附中、青師、豐師三校中から一チーム（中等校）油面、青師附、豐島附の內から二チーム（小學校）が推薦される事となつた

S10・5・11

文大關東代表となる

綜合蹴球

第一回蹴球全日本綜合選手權大會關東豫選第六日の決勝早大對文大の試合は十二日午後二時から明大和泉球場で松丸君審判の下に文大先攻で開始、雨天、橫の強風でコンデイションは不良、接戰の末文大幸運の機會をとらえ

文大	1	0—0 1—0	0	早大		
【文】				【早】		
島　林				永下川		
長　松				村崎田		
久　小				塚部內		
木原藤	FW			三阿中	FW	垣
松茂本				田原野		
澤越	HB			木江破	HB	
平加川				野大吉		
【早】	FB			立雀鈴	FB	
	GK			堀不	GK	
					CK	1
					CK	3
					FK	1
					FK	4
					GK	5
					GK	9

S10・5・13

早文兩大勝つ

綜合蹴球準決勝

第一回全日本蹴球綜合選手權大會關東豫選第五日は十一日午後二時から代田橋球場で準決勝二試合を擧行、文大對農大の試合は接戰の末同點となり延長戰を行つて勝敗向決せず抽籤となつて文大殘りつづく試合は帝大LB力戰したが及ばず早大勝つて十二日早大對文大の決勝戰が行はれる事となつた

文　大	2	0—0 0—0	1	農　大		
抽籤勝						
【文】				【農】		
天大都				野野山		
下永川				井台渡		
島中江				澤篠野		
長久松	FW			井川本	FW	
林小木				田川腰		
原藤三	HB			川石內	HB	
阿中垣				澤內鳳		
【早】	FB			島稻竹	FB	
	GK			小近大	GK	
				宮竹萩		
				川		
					CK	4
					CK	7
					FK	2
					FK	1
					GK	2
					GK	6

（三時半早大先攻、笛、井出、小山、辻三君審判）

天大都				野野山		
下永川				井台渡		
島中江				澤篠野		
長久松	FW			井川本	FW	
林小木				田川腰		
原藤三	HB			川石內	HB	
阿中垣				澤內鳳		
【早】	FB			島稻竹	FB	
	GK			小近大	GK	
				宮竹萩		
				川		
					CK	5
					CK	4
					FK	2
					FK	2
					GK	2
					GK	7

（三時半早大先攻、笛、吉岡、品田村瀨三君審判）

S10・5・12

早慶快勝す

東京大學豫科蹴球リーグ戰第一日は十八日午後一時半から和泉明大球場で擧行早慶が快勝した

早　大 11{3—0 8—0}0 慈　大
慶　應 10{5—2 5—0}2 明　大

綜合蹴球

【大阪電話】全國綜合蹴球選手權大會關西地方豫選會（十八日）の結果左の通り

京都帝大 2 抽籤 2 湯淺電池
關大 ク 2—1 關西學院

S10.5.19

十九日の運動

◇蹴球（東京大學豫科リーグ戰）・商大 1—1 法政、早大 2—0 立教【横濱電話】油面 A 4—1 油面 B、神師 1—0 青師、農大 8—0 横三中 OB

S10.5.20

體協新陣容成る

＝きのふ第一回評議員會＝

會長は依然欠員

大日本體育協會では廿日午後五時から丸之內中央亭で寄付行爲改正後の第一回評議員會を開催、平沼前副會長、今村前監事以下（陸上）澁谷、三醫（水上）西本、野田（漕艇）鄕、宮木（庭球）櫻井（蹴球）野津（籠球）淺野（排球）佐々木、原（ホッケー）永井、加藤（馬術）大島（スキー）稻田、小川（スケート）平林（體操）大谷、森（拳闘）鹿毛、坂口の新評議員出席、針重（庭球）鈴木（蹴球）李（籠球）久保田（スケート）の四氏は欠席、牧田（馬術）は代理で、先づ鄕前名譽主事より日本運動競技聯合が大日本體育協會に合流し同聯合解散を可決せる旨を報告これを承認、次いで大日本アマチュア・レスリング協會の新加盟申込、體協加盟の日本國際馬術協會を運聯加盟の全日本馬術競技聯盟と變更の件を承認しこれに依つて

（ラグビー）田邊久萬三、久富達夫（ヨット）足立脩藏、吉本結一（レスリング）伊集院浩、山本春を新に評議員と決定した後役員の改選に移り左の如く決定した

▲名譽會長嘉納治五郎▲會長缺▲副會長平沼亮三外二名缺▲顧問今村次吉、杉村陽太郎、副島道正▲理事大島又彥、澁谷壽光、西本龍三、櫻井正光、鄕隆、小川勝次、李想白、田邊九萬三を決定直ちに理事會を開き

▲專務理事大島又彥▲名譽會計小川勝次

を互選した、尙參與員は改造前の體協評議員全部及び各加盟團體より推薦せられたる者とし加盟團體より參與員推薦後近く評議員會を開き參事員、監事の選擧を行ふ事とし專門委員會及び財務委員會の原案作成は理事會に一任した、又陸聯よりの日比競技主催に關する希望はこれが處置を理事會に一任し文部省提出のベルリンのオリムピック大會選手派遣費豫算を承認し午後八時散會した

S10.5.21

綜合蹴球大會日割

大日本蹴球協會では二十一日午後七時から協會事務所で理事會を開き、六月一、二兩日神宮競技場で擧行する第一回全日本綜合蹴球選手權大會に對する諸般の準備打合せを行つた、出場チームは關東（文理大）北海道（北大）東北（仙台サッカー）朝鮮（京城蹴球團）關西（未定）の五代表チームである、主なる決定事項左の如し

◇試合日程　▲第一日　第一回戰（二時、三時半）▲第二日　準決勝（十時、十一時半）小學生紅白試合（一時）決勝（三時半）

尙組合せは來る二十六日全國代議員會の際協會事務所で抽籤で決定し主將會議は三十一日協會事務所で行ふ、入場料は二日間通しで五十錢の會員券を發行し市內の各運動具店で廿五日より前賣するとS10.5.22

文理大蹴球勝つ

文理大對帝大蹴球戰は廿四日午後三時半から本鄕帝大球場で濱田氏審判の下に帝大先蹴で擧行結局二對零で文理大勝つ

文理大 2{2—0 0—0}0 帝大

S10.5.25

蹴球協會

役員決定

會長は深尾男

大日本蹴球協會では二十六日午前十時から本年度全國代議員會を開會、出席者は鈴木、竹腰、島田、吉川の四理事他朝生、小野、濱田醫專、小長谷、工藤（以上關東）前田、小豆澤（以上關西）永瀧（東北）齋（朝鮮）澁谷（北海道）松田、鈴木（京海）深山（中國）吉田（北陸）の十九氏出席し欠員となつてゐた會長は關東側から推薦した深尾隆太郎男を滿場一致承認し九年度事業の報告、十年度事業の協議を行つたが從來非公式の下にあつた技術指導部が公認され愈々全國的に活動を開始する事になつたのは相當期待される一つである、明年ベルリンのオリムピツクの初參場に備へるため協會の內容を充實させる事となつて從來四名の理事を增員して十一名とし改選の結果役員は左の如く決定した

【會長】深尾隆太郎【名譽會長】今村次吉【理事】鈴木重義、竹腰重丸、島田晉、吉川澤治郎、野津謙、新田純眞、中島道雄、中島健藏、佐々木等、野村正二郎、山田午郎

S10.5.27

S 10-5-30

全日本蹴球豫想



伯林初舞台めがけ

各陣に物凄い氣魄

例年ならばシーズン・オフで中調を保つこの頃であるが明春、ベルリンで行はれる第十一回オリムピック大會の初舞台が豫約された蹴球界は異例の活氣が漲つてゐる、この時にあたつて來る一、二の兩日神宮競技場で行はれる全日本選手權大會は球界年中行事の尤なるものとしてこゝに登場した、これはベルリンの初舞台に送るわが派遣チームの編成資料を提へる一つの機會であり球界の現狀を檢察する事と共に興味は深い

殊る二十六日の關西豫選を最終として六地方代表がそれ〳〵決定した、この種の全日本的の催しに最初の出陣である朝鮮代表――京城蹴球團をはじめ中國地方を飛び越えて關西からは文字通りの凱旋十餘年の關大が時を得て祥びあり東漸からは名古屋高商、關東は昭和三年以來一指も染め得なかつた早大の牙城を竟に拔いて代表となつた文大、東北北海道は近來共の地方の無敵振として勇名を馳せる仙台サッカー倶樂部と北大が調きたる期待を抱いて出場する事になつた、二三地方の代表を迎へ得ずとも球界の中心勢力から其の粹をあつめ得た事は時節柄喜びとせねばならない、組合せの機運のよかつたのが京城蹴球團と名古屋高商、一勝すれば直ちに決勝戰に臨み得るのに對しどちらも落したのであるが津田前主將は關大倶樂部を率ゐて想ち「相手の如何を問はず必勝を標語として前進する」關大が往年の黃金時代を築くか否か浮沈の瀬戸際に結束する十一人の意氣は文大のそれにも似て本大會の華でもある

〔關大〕 京大、關學の隊關に委してこの兩者の對立に乘ずる隙なく孤城落莫を唱つてゐた關大も昨冬から新生の春にめぐり合せ主將津田君を送り出したが攻撃線の微力を最島、石田等の新人で補填し金線を築へた、先づ宿敵關學を破り京大を陣して回生の春を迎へ

〔北大〕 北大は今春の全國高校大會に活躍した醫科チームを主力として編成されてゐる小粒に見えても洗煉された技術と不屈の意氣とは侮り難い刀となつて醸されてゐる加勢主將が

すべては意氣と力が解決するだらう

〔京城〕 全鮮の球界に對立する京城と平壤は龍虎の爭ひを續けて來たが先般雄圖を抱いて陣を進めた上海のナンバー・ワン東華蹴球團と共に見事拔けて其の旅程を遮させ旗を捲いて走らした事は未だ記憶に新たなものがあらう、この龍虎は全日本の覇を目さして鎬を削つた末晴れの代表は京城軍の手に歸した、全鮮の期望を擔つて想つ京城軍が優勝候補の隨一に擧される事も從來の戰績からすれば理なしとはしないが個人的プレイに走り勝ちの欠點が嚴正さるゝに

【FW】 根來、齋藤(榎山、菅谷、荻原、永地【HB】藤本(若井)柳田、大槻【FB】我妻(大藤)菊地【GK】出浦、富山

の布陣であるが定評のあるプレイヤーを見出す事が出來る、永地主將が

寄せ集めで左程期待する事は出來ないがやる以はやる積りですと洩らしてゐる所相當無氣味さが籠つてゐる

〔名高商〕 東漸の雄濱松高工を抑へて最近擡頭した名古屋高商は東海代表決定戰においてかつては東漸に君臨した傳統の歷史を誇る八高を12――0で完敗せしめて意氣軒昂たるものがある、佐藤主將は

京城はまさに强敵であるが優勝の途は斷たれても東海代表の名を傷つけぬ自信はあると新鋭の物凄い意氣の程を示してゐる

GK中村君が昨冬全國高專大會の決勝戰で傷つき未だ快癒せず欠場はこのチームの痛手であるが相手を呑む氣魄は賴母しい限りである

【FW】 太田、高島、伊藤、伊與田、難波、安本【HB】宇治、佐藤、鈴木(岡田)【FB】中澤、西田【GK】阪木

京城無敵陣

早くも優勝の呼聲

なければ京城軍の無敵の惡語も非ず昨の戰りを免れまい、李泰敏主將は一身上の都合で出場概東なく玄正柱君が代つて主將の重責を負はされチャンスメイカーとして京城軍の勝りとするLW蔡君は對平壤との一戰に足を傷つけて目下入院中であるといふのは李主將の欠場と共に大きな痛手とされてゐる、陣容は

非惠遠、韓甲鉉、高淵雪、鄭龍洙、朴承哲、金仁鎬、崔屋孫、金庚洙、朴正貞、李裕鳳、金鳳鎭、李主勝は揃ふ

定評ある强引なFW陣の威力を示せば敗れるとは考へられぬ

と自信の程をほのめかしてゐるのも宜なる哉である

【FW】小立(外舘、木田、小立(晃)、稻垣【HB】高崎、淵、加勢【FB】三原、山中【GK】小宮の陣容は

假令主將であつてもオイ〳〵とかぶるとは思はれない(山田生)

※ ※

全日本蹴球組合せ決定

第一回全日本蹴球選手權大會は一二の兩日神宮競技場で六地方代表によつて行はれるが組合せは左の如く決定した

◇第一日一回戰（A）北大（北海道）對文理大（關東）二時（B）仙台（東北）對關大ク（關西）三時半

◇第二日（準決勝、決勝（A）勝者對（B）勝者（十時）京城蹴球（朝鮮）對名古屋高商（東海）十一時半

◇決勝　三時半

運動界だより

◇第一回全日本蹴球選手權大會に出場する朝鮮代表、全京城蹴球團は三十一日午前九時東京驛着列車で入京し宿舍日本青年館に向つた

◇立教蹴球部は六月一日午前九時東京驛發燕號で西下約一週間の豫定で關西遠征を行ふ

S10.6.1

文大、關大勝つ

全日本蹴球選手權

第一回全日本蹴球選手權大會第一日は一日午後二時から神宮競技場で擧行、フキールドは乾燥し過ぎ東南の軟風あつてコンデイションは上乘といへない、冒頭の北大對文大戰は北大機先を制して文大を壓迫したが後半疲勞して崩れ惜敗し續く試合はこれまた劣らぬ熱戰を演じた末に關大の執拗が物をいつて最後の五分で勝敗を決定した

文　大（關東）4（3―1）1　2（北海道）北　大

（二時北大先蹴竹內（主）大村、神保（線）三君審判）

大　島下永　川村崎田塚部內

文　長久松　林　小木原藤三阿中垣

FW　HB　FB

大　下岡田兄弟崎　勢原中宮　2

北　日外本小小高　加三山小　4

立立　龜　24

GK　CK　FK　GK

6　4　13

（關西）4（2―2）2（東北）仙　台

（三時半關大先蹴、竹腰（主）川原、萩原（線）三君審判）

審笛

◇…文大が本格的の實力を示現し得なかつたにしてもこの日の二試合は共に接戰に終始した、これを以て各地方球界の均衡を語り得ないかも知れないが斯かる催しの中で實力略伯仲した代表を集めた事は異例といへる

◇…北大對文大の試合は北大の耐久力の乏しいため後半中頃から前半に見せた執拗さを失つて自滅した、文大は勝つには勝つたが全線の出來惡る惡く只一人松永の好プレイに一勝を博したといへるものであつた、LWの劣弱に依倚する事出來ぬと見てとつた松永が左寄りとなつて攻撃補強をしたのも長島の不振ばかりで、なく意外久下の不振にもあつた、北大は濕を援けるHB線兩翼の耐久力があつたならばFW線への供給もより多く行はれてFW線の實力を更に發揮出來たらうと惜しまれる

◇…第二試合は機先を制した仙台の攻撃の前に關大しばらく壓倒されたが1―1のスコアとなつてから漸くチームワークを整へて全く後手を引いた、然し仙台は後半に入つて混軍の欠陷を暴露し關大は調子の波に乘り切つて攻撃一方となり試合は全く一方的のものとなつてしまつた、仙台が混成軍の欠陷を被覆し切れなかつたのは止むを得ずまた關大が遲蒔きながら特點を出したといふのもそれは當然の事であつた（山田生）

S10.6.2

文大と京城決勝に殘る

全日本蹴球選手權

全日本蹴球選手權大會第二日は二日午前十時から神宮競技場で擧行　好天フキールド乾燥西北の風案外強く コンデイションは良好でない

午前中の準決勝二試合は文大（關東代表）と京城蹴球團（朝鮮代表）とが共に前半勝敗を決定づけてその儘押し切り決勝戰に進んで全國の覇を爭ふ事となつた

文　大（關東）3（3―0）0　0（0―0）0　關大ク（關西）

（十時文大先蹴井出（主）村形、鈴木（線）三君審判）

◇前半十分關大は文大陣二十五メートル邊でFKを得土井好蹴したが無爲、文大は十二分原崎の彈いた球をCF松永右前送すればRW小川更に中前送しLW藤野これをシユートして一點を擧げ續いて原崎の前送球をCF松永ドリブルシユートして2―0と離す、十九分原崎―松永とわたつて出た球はRW小川、左に寄せて好蹴一點を加へ大勢を決す、二十四分關大は右CK連取したが無爲

◇後半十分文大はLW藤野シユートし左柱を彈いて返つた球を藤野再び

【文　大】

野下永　川村崎田塚部內垣

藤久松　林　小木原藤三阿中

FW　HB　FB

弟山垣橋田川兄井邊井川

長西石大津后長塚渡土上　吉

GK　CK　FK　GK　PK

5　3　15　0

5　6　14　1

【關　大】

シユートしたが惜しくも右柱をかすめてアウト、關大は十五分右側から作つた機會を逸し十八分RI大橋強引のドリブルに出てRWへのパスで機會となりLI西山チヤージしたが僅かに遲れて無爲、十九分PKを得たが津田凡蹴して逸す

京　城（朝鮮）6（2―0）4（0―0）0　名古屋高商（東海）

（十一時半名古屋先蹴、松丸（主）宮川、猪俣（線）三君審判）

◇前半名古屋は四分の機會を逸し京城は十分RW朴の左に捌いて引續き中央に返球されたのをCF康シユートして得點、三十二分左CK後PKを得康のキツクきまつて2―0

◇後半四分京城はRW―RI―RWCFのパスで進みCF康プツシユして點を加へ六分CH金の中央線邊で右前送した球をRW朴ドリブルシユートして得點更に十八分RI裵のパスをLI崔きめ5―0となる、名古屋二十分頃からよく攻めたが無爲京城は三十四分RI裵の好蹴入つて快勝す

【京　城】

裵　集康　孝炳龍裕　鄭　奎憲

金　朴金金李　朴李

FW　HB　FB　GK

田島田波本治藤木澤田本

興　伊高太雛安宇佐鈴中西坂

CK　FK　GK　PK

3　0　2　0

1　1　7　1

【名　高　商】

S10-6-3

S10-6-3

文大の攻撃を封じ 京城堂々優勝

全日本蹴球選手權

全日本蹴球選手權大會第二日は二日午前十時から神宮競技場で準決勝戰から擧行、好天なれどフキールド乾燥し北西の風終日吹いてコンデイションは不良、文大と京城蹴球團勝ち殘り午後三時から決勝戰を行つた結果爭覇に相應しい熱戰を演じた末朝鮮代表京城蹴球團が優勝し第一回の制覇を記錄し本社寄贈の優勝盃を獲得した

京城 6{3—1}1 文大
（朝鮮）（關東）

（三時半朝鮮先蹴、濱田（主）渡邊、關野（線）三君審判）

◇前半 六分京城はRI裏のヘツデイングし中前送球したのをCF金シュートしてゴールを挙ぐ、文大は十五分京城陣のスローインを松永とつて深く出で中前送球すればRW小川好蹴して一點を報い同點となる、京城は十九分CH金の右前送球をRW朴とつて強蹴すればノウタツチのゴールインとなる、文大FW線に球を集中するが京城の好守に阻まれて止み京城は四十四分RW朴ドリブルシュートして更に一點を加ふ

◇後半 一分京城はRH李のカツトした球をRW朴左前に捌きこれをLIドリブルシュートして得點四分LW康の辛くも捌いた球をCF金とつて正面を割りシュートしてゴール成り十分文大陣文大のスローインをとつた京城はLI崔、RI裏迸進中央を抜いて出でひつかけてゴールイン6—1と開く尚雨軍にチヤンスあつたが入らず六對一で京城快勝す

【京城】

康崔（成裵）		
金（孝炳）	FW	4
朴金（容裕）		6
金李（恵）	HB	11
鄭（奎）		
朴（李）	FB	
内下永		
川村崎田		
塚部		
中垣内	GK	

【文大】

林		
竹久松	CK	1
小木原	FK	8
三阿	GK	19

◇番外試合

油面 小4{2—0}0浦和第二

審笛

◇…準決勝における二試合は關大、名古屋高商の零敗でスコアの上では一方的の試合と見られるが文大對關大戰は關大が文大に劣らぬチヤンスを作りながら拙劣なシユーテングに災ひされて零敗を喫したのであつてこの一戰は結局機會の決定力如何に勝敗がわかたれたと言へる、文大は前日と打つて變つた出來榮えで、殊に此日の原崎は前半において勝敗を決定づける上に與つた活躍は見逃せない、關大はPKの機會を逸しLW長島弟焦つて二回の決定的機會を反故にした事は後半優勢の試合を無爲に終らしめたものである、名古屋高商は最初から闘氣を欠いてHB線も不要の後退陣を布いて攻撃力の増幅を無視する事が多く全く蹂躙された形であつた

◇…一對一の拮抗を保つた決勝戰も前半十九分に至つて文大はノウマークのRW朴から敍綻を招きはじめて崩れた、攻撃線に於ては人材を欠き本大會三試合に於てLWをかへる事三度に及び守備陣にあつては依然として脆い線を布きフツトワークの優れた京城軍のため乳鉢をかきまはすが如くにひつきまはされて防戰にいとまなく意外にも大きなスコアを殘して慘敗を喫した、實力の相違とはいへフツトワークの優劣著しく對人マークが効力薄いにせよ忠實なマークをしてゐたならば潰す事も出來て敗れるにしても斯くも大差を作りはしなかつたらう、後半は亂脈の陣に辛くも中央線突破の機會を幾度か得たが各線整備を欠き制球力も全く失はれて無爲を記錄したに過ぎない、京城は各自の技倆を遺憾なく生かして結び合せFB線の強力と共に攻撃層を飽く迄強く布いて快勝を博した、がよりソツのないプレイに精進する事に考究の余地を多分に殘してゐる（山田生）



優勝した京城チーム

早大蹴球勝つ

早大對北海道帝大蹴球戰は三日午後三時四十分から東伏見早大グラウンドで渡邊（主）上野、小山（線）三氏審判早大先蹴で擧行、十二對零で早大快勝す

早 大12{7—0}0北 大

S10.6.4

立教蹴球敗る

【大阪電話】立教大學對關西大學の蹴球試合は六日午後四時から關大校庭で擧行、四對一で關大勝つ

關 大4{3—1}1立 教

S10.6.7

八日の運動

◇蹴球 △大倉3—1東工業△東京OB5—2早大△上智1—1東藥

S10.6.9

九日の運動

◇蹴球（豫科リーグ）早高9—1商大、農大8—2明大、立教5—2慈大

S10.6.10

關東中等蹴球

關東蹴球協會地方チーム參加では十一日午後六時から新橋協會事務所において理事會を開催朝生主事以下全理事出席第二回關東中等校選手權大會の要項を左の如く決定したが、今回より協會所屬チーム以外の參加を認めなかつた從來の規約を改め各所屬協會の諒解を得ればその出場を許すとなつたので本年度は地方強チームの加入が豫想され興味を持たれてゐる、要項左の通り

期日 八月七日から五日間△場所 未定△申込 七月二十日迄に新橋三丁目一六蛎殻ビル協會宛

S10.6.12

蹴球二試合

慶應 2 1—0 0 東大
早高 17 8—0 0 豫法政
9—0 0 豫科

S10.6.14

十五日の運動

◇蹴球 △豫科リーグ立豫4—0商豫△早大6—0農大

S10.6.16

早高蹴球勝つ

東京大學豫科蹴球リーグ最終日の早高對慶應豫科決勝戰は十六日午後二時から和泉明大球場で伊藤（主）三島立石（線）三氏審判、早高先蹴で擧行、二對一で早高二年連勝す

早　高　2—1　慶應豫

【早高】
川茂 橋邊良田野村田田
谷長加高渡粒吉笹中花柴矛
FW 9 5 7 0
HB 1
FB
GK
【慶應豫】
中二篠幡大猪松加山宮津
HB 3 2 0 0
FB
GK

S10.6.17

十六日の運動

◇蹴球【水ア】

電話】水高2—1法政

S10.6.17

關東大學蹴球聯盟と改稱

鑛に改組された東京學生蹴球聯盟は直に關東蹴球協會の直轄下に置かれる事となつたので關東蹴球協會では廿四日午後六時から本社小講堂において大學十八校の代表者會議を開催これが新規定の根幹及び十年度のリーグ編成を議定すると同時に名稱を關東大學蹴球聯盟と改め次の各部の編成を次の通り決定した

◇第一部　早、慶、帝、立、文、商
◇第二部　農、明、慈、法、中、拓
◇第三部　日、國、日醫大、駒大

上智、工大

因みに千葉醫大の新加盟の承認、第三部に編入す、但試合は東京において行ふ事とす

S10.6.25

早大蹴球部滿洲遠征

第二回日滿蹴球國際試合は來る八月三、四兩日新京において擧行される事となつたので大日本蹴球協會では過般來これに派遣すべきスポーツ使節に對し協議中であつたがこの程早稻田大學蹴球部を推薦する事に決定し七月二十二日神戸出帆のウラル丸で出發することになつた遠征メムバー左の如し（尙協會代表者は未定）

△選手監督　部長加藤健兒△マネヂヤー　渡邊芳夫△選手「FW」平松留雄、西邑昌一、川本泰三、野澤晃、加茂正五、大越康弘、加茂健「HB」吉田義臣、立原元夫、笹野積次、岡野正隆「FB」鈴木保男、堀江忠男「GK」佐野理平、不破整

S10.6.30

關東蹴球高專改組委員會

關東蹴球協會高專改組委員會は一日午後六時から東朝會議室で開會協議の結果左の事項を決定

▲聯盟改組決定の件專門學校に於て聯盟を組織しこれを關東高專蹴球聯盟とす

▲改組委員　井出、松丸、小長谷、小野、本田、朝生、濱田、竹內、伊藤、關澤、工藤▲新加入校　横專、浦高、東高、獸醫

S10.7.2

關東大學蹴球聯盟改組委員會

關東大學蹴球聯盟は三日午後六時半から東朝社記念室において改組委員會を開催當日の決議事項の主なるもの左の如し

一、本聯盟は議決機關として總會を開き各校二名宛の代表者により組織す

一、本聯盟は執行機關として關東蹴球協會理事たる主事の下に關東大學蹴球聯盟委員會を置きこれを行ふ

一、關東大學聯盟委員會は主事の下に一部係、二部係、三部係、審判係、會計係、入場料係、廳務係及び各部選出の幹事を以て組織す

一、聯盟費は年四十五圓とす（大日本蹴球協會費の五圓を含む）

一、パスは各大學に十七枚、高專に八枚、加盟中學に三枚發行に決定

S10.7.4

蹴球協會理事會

大日本蹴球協會では九日午後六時から新橋協會事務所に理事會を開催左の諸項を決定發表した

一、來る八月三、四の兩日新京において擧行される第二回日滿蹴球定期戰に出場する我國代表早大チームの送別會を開催參會者深尾會長以下大日本、關東西協會各理事、委員約卅五名の盛會さで八時半散會

S10.7.10

全國高專大會

蹴球【仙台電話】北日本高專蹴球大會第一日

北大豫科 6—1 福島高商
仙台高工 2—1 桐生高工

S10.7.15

◇北日本高專蹴球（仙台）＝第二日

東北學院 2—1 山形高校
二高 9—0 高岡高商
成城 2—1 北大豫科

S10.7.16

蹴球　成城高校優勝【仙台電話】第六回北日本高專蹴球決勝戰は十七日午後二時から東北帝大グラウンドで擧行、成城高校優勝す

成城高 2 2—0 1 東北學院

S10.7.18

運動界だより

早大蹴球部送別會　大日本蹴球協會では十七日午後六時から銀座明治製菓で來る八月三、四兩日間新京で行はれる第二回日滿蹴球定期戰に出場する我國代表早大チームの送別會を開催參會者深尾會長以下大日本、關東西協會各理事、委員約卅五名の盛會さで八時半散會

S10.7.18

運動界だより

早大蹴球滿洲遠征　早大蹴球部加藤監督以下十七名は廿一日午後八時三十分東京驛發滿洲に遠征し、各地で七試合を終へ九月七日朝鮮經由歸途につく筈

S10.7.20

早大蹴球部滿洲へ出發　來る八月三、四の兩日新京において行はれる日滿國際蹴球戰に日本代表として渡滿する事になつた早大蹴球部立原主將、渡邊マネージヤー他選手十五名は大日本蹴球協會代表小野理事と共に廿一日午後八時半東京驛發列車で渡滿の途についた

S10.7.22

早大蹴球勝つ

【大連二十九日發聯合】早大對大連蹴球戰は二十九日大連運動場で擧行、早大先蹴で開始早大最初から攻勢に出で結局一〇對一で早大勝つ

早　大 10 3—0 1 大　連
7—1

尙一行は三十日當地發奉天で一試合、新京で二試合、哈爾濱で一試合をして滿洲の途につく

S10.7.30

關東中等蹴球

關東中等學校蹴球選手權大會第一日は七日午前八時三十分から帝大、本郷中兩球場で一回戰擧行勝者左の如し

青山師、東高等、韮崎中、茨城師
府立五中、横濱二中、豐島師、名古屋商、埼玉師、府立一商、附屬中、本郷中、茨城商、慶應、水戸商、青學

S10.8.8

關東中等蹴球（八日）

東大、本郷中兩球場で二回戰を擧行、勝者左の如し

青山師範、韮崎中、府立五中、青學中、豐島師、埼玉師、附屬中、茨城工

S10.8.9

けふの運動

◇蹴球　關東中等學校選手權第三日（一時帝大）

關東中等蹴球

準々決勝結果

第二回關東中等學校蹴球選手權大會第三日は九日午後一時から帝大球場で準々決勝擧行成績左の如し

△準々決勝

韮崎中 2 {1—1} 1 青山師
　　{1—0} 0

府立五中 5 {3—0} 1 青學中
　　{2—1} 1

埼玉師 2 {1—1} 0 豐島師
　　{1—0} 0

府屬中 4 {1—3} 0 茨城工
　　{1—0} 0

S10.8.10

韮崎、埼師の爭覇

關東中等校蹴球戰

第二回關東中等學校蹴球選手權大會第四日の準決勝は十日午後二時半から雨を衝いて擧行、韮崎中と埼玉師範が快勝し十一日の決勝戰に進む事となつた

韮崎中 8 {5—0} 0 府立五中
　　{3—0} 0

【韮崎】
林水（公正）川賀切中
小林（微）山木（鉄）
小滿吉平小田
FW
HB
FB
GK
CK
FK
GK
10 3 6

【府五中】
安井本本澤
1 9 18

埼玉師 2 {1—0} 0 附屬中
　　{1—0} 0

【埼師】
笠島木川藤田内子補保島
FW
HB
FB
GK
CK
FK
GK
3 4 8

【附中】
武沖鈴中伊池矢笹松彦大久
本内崎橋口岡部
杉
福山大高坂藤乙
3 2 18

S10.8.11

韮崎中優勝

關東中等蹴球

第二回關東中等學校蹴球選手權大會韮崎中對埼玉師の優勝戰は十一日午後三時から帝大球場で竹内（主）奥井、木内（線）三君審判埼玉先蹴で擧行、韮崎中優勝し全國中等蹴球大會關東代表となつた

韮崎中 3 {2—0} 0 埼玉師
　　{1—0}

【韮崎】
（鉄）山木（微）
（公）（正）川賀切中
清中鈴小林小滿吉平小田
FW
HB
FB
GK
CK
FK
GK
1 4 11

【埼玉】
笠島木川藤田内子補保島久
武沖鈴中伊池矢笹松彦大
8 4 11

S10.8.12

神宮蹴球

關東豫選

第八回明治神宮體育會蹴球全國地方對抗選手權大會關東豫選は九月二十一日、二十二日、二十四日、二十八日、二十九日の五日間東京高校、明大兩球場において擧行される

S10.8.15

蹴球東京代表附中

全國中等蹴球大會東京代表決定試合は十一日午前九時から帝大グラウンドで擧行、附屬中勝ち代表となる

◇第一回戰

豐師 4 {2—0} 0 青師
　　{2—0}

◇決定戰

附屬中 3 {3—0} 0 豐島師
　　{0—0}

中田島内　本内崎橋口岡部
（主）（線）三杉
福山大高坂藤乙
FW
HB
FB
GK
CK
FK
GK
2 4 7

師田井川原田　貝山根澤田
豐村横清小俣　林
2 1 8

◇東海豫選決勝（名高商球場）

準決勝　刈谷中學 1—0 濱松一中△岐阜師範 6—0 大垣商業

決勝　刈谷中學 1—0 岐阜師範

◇兵庫豫選決勝（神戸市民運動場）

神戸一中 8—0 縣立工業

S10.8.12

全國中等蹴球

球組合せ

【大阪電話】大毎主催の第十七回全國中等學校蹴球大會は二十四日から四日間甲子園運動場で擧行されるが第一次試合の組合を左の如く抽籤決定した

入場式午前十時半、第一次試合番組、正午廣島一中—函館師範、一時半長崎師範—韮崎中學、三時滋賀師範—神戸一中、四時半天王寺師範—香川師範、不戰勝者宮崎師範、苅谷中學、富山師範、東京高師附中

S10.8.24

運動界だより

關東中等蹴球十五條　關東蹴球協會では十一日第二回關東中等蹴球選手權大會批判會を開催し左の十五選手を優秀技術者として擧げる事となつた

「FW」清水義（韮崎中）馬島（附屬中）鈴木（埼師）本庄（府立五中）小林（韮崎中）上村（韮崎中）
清川（豐師）「HB」林（豐師）清水（青師）清水正（韮崎中）吉川（韮崎中）「FB」鈴木（青師）小田切（韮崎中）松浦（埼師）「GK」田中（韮崎中）

早大蹴球部滿洲で全勝　早大蹴球部は去る七月二十一日日滿蹴球聯盟成立の日本代表として渡滿したが滿洲各地に轉戰全勝の記錄を殘して歸京した

◇對全關東州八對零◇對滿鐵七對零◇對全大連十對一◇對全奉天七對零◇對全滿洲八對零◇對全關東五對零◇對ハルピン二對零

S10.8.12

全國中等蹴球

【大阪電話】大毎主催全國中等學校蹴球大會第一日の成績左の如し

廣島一中 8 {3—0} 0 函館師範
　　{5—0}

韮崎中學 7 {3—0} 1 長崎師範
　　{4—1}

神戸一中 8 {2—0} 0 滋賀師範
　　{6—0}

天王寺師 8 {4—0} 0 香川師範
　　{4—0}

S10.8.25

全國中等蹴球【大阪電話】

大毎主催の全國中等學校蹴球大會第三日目の準決勝戰は二十六日午後二時半から甲子園で擧行

天王寺師1(2—1 1—0)1富山師
神戸一中5(4—1 1—0)1刈谷中

S10・8・27

全國中等蹴球決勝

【大阪電話】南甲子園運動場における大毎主催全國中等學校蹴球大會最終日神戸一中對天王寺師範の優勝試合は二十七日午後四時半から擧行、最後まで接戰を演じ遂に神戸一中が優勝した

神戸一中 2(2—1 0—0)1 天王寺師範

【天王寺師】

部田田林吉倉井井下林村				
ト増奥北末大櫻町阪廣田				
	FW		GK	13
	HB	B	GK	5
		F	GK	3
辻谷川上			GK	20
菅			CK	0
和大西井 林			FK	8
【神戸一中】				

S10・8・28

濱松一中優勝

【濱松電話】濱松高等工業學校主催第十一回東海中等學校蹴球大會は三十、三十一の兩日に亙り同校球場で擧行、濱松一中が優勝した

△準決勝戰
志太中學 2—0 愛知一師
濱松一中 3—0 濱松師範
△決勝戰
濱松一中 2—1 志太中學

S10・9・1

崇實勝つ

崇實專門學校の入京第一戰は十六日午後三時四十分から農大と元住吉球場で井出(主)加藤、野元(線)三君審判の下に農大先蹴で擧行、五對二で崇實勝つ

崇實 5(2—1 3—1)2 農大

【崇實】

乍永濟喜	廬	畑相	
沈			
金金朴金	李		
	金	朴	
FW			4
HB	B		0
	F		8
GK			
CK			2
FK			3
GK			13
野野目井台渡山橋井川本			
天大見酒中江辭高石西川			

【農大】

S10・9・17

立教慘敗す

對崇實蹴球

崇實專門對立大蹴球戰は十七日午後二時半から和泉明大球場で伊藤(主)本堂、友澤(線)三君審判の下に崇實の先蹴で開始、試合中途にして雨激しく球場の狀態は頗る不良となつたが崇實は十分右隅蹴からの機會をきめて一點を先取してからFW線の連絡よく、前半早くも勝敗を決定し立教は遂に慘敗を喫した、これで崇實は入京以來二戰二勝の記錄を作つた

崇實 11(8—0 3—2)2 立教

【崇實】

仁永濟喜	廬	畑相	
沈			
金金朴金	林尹		
	金	朴	
FW			8
HB	B		7
	F		17
GK			
CK			7
FK			9
GK			10
【立教】田村田廣上藤島崎野田口			
上中久朝井伊飯駒藤灰山			

S10・9・18

運動界だより

神宮蹴球關東豫選 第八回明治神宮體育大會蹴球關東豫選は來る廿二、四、八、九の四日間に亙つて和泉球場で擧行されるがこれが組合せは左の如く決定した

△(二十二日)第一回戰(A)WMW(早大)對ZSK(B)文理大對帝大(C)東京蹴球團對法友(D)成蹊對BRB(慶應)(E)農大對アストラ△(二十四日)第二回戰(F)セントポール對駿臺(G)A勝者對B勝者(H)青學對C勝者(I)D勝者對E勝者△第三回(二十八日)準決勝△(二十九日)決勝

S10・9・19

崇實連勝す

對文大蹴球

崇實對文大蹴球戰は十八日午後三時から東伏見球場で濱田(主)小山、高橋(組)三君審判、文大の先蹴で開始、六對三で文理敗る

崇實 6(3—2 3—1)3 文大

S10・9・19

早大に敗る

崇實四戰三勝

崇實對早大蹴球戰は十九日午後三時から東伏見球場で竹内(主)佐藤、赤間(線)三君審判の下に崇實の先蹴で開始、四對二で早大勝ち崇實は入京以來連戰三勝一敗の好成績を收めて二十日退京する事となつた

早大 4(2—1 2—1)2 崇實

◇前半 五分早大は立原の送球を加茂弟、川本とわたつて川本シュートし一點を先取し、三十四分RW加茂兄の左前送球をLW平松きめて2—0と早大リード、崇實は四十分右隅蹴の後逸球を追進してCH尹好蹴して得點2—1と迫る

◇後半 十五分早大は左隅蹴後加茂弟軟飛球で得點、十九分崇實は敵失に乘じ朴(濟)シュートして3—2となつたが二十分早大は右隅蹴を加茂弟きめ4—2で勝つ

【崇實】

仁永濟喜	廬	畑相	
沈			
金金朴金	尹		
	林	朴	
FW			6
HB	B		1
	F		8
GK			
CK			7
FK			4
GK			7
【早大】松弟本澤兄野原野木江野			
平加川野加關立笹鈴堀佐			

S10・9・20

第十四回關東小學校蹴球大會

本社後援東京蹴球團主催第十四回關東小學校蹴球大會は來る廿八、九の兩日青山師範球場で開く事になりました、奮つて御參加を御勸め致します

◇第一部は第六學年、第二部は第五學年兒童を以て編成されたチームで第五學年以下の兒童により編成されたものは第二部として扱ひます

◇試合はすべてトーナメント式により第一部は二十分ハーフ、第二部は十五分ハーフとなつてゐます

◇申込は來る二十三日で締切、宛名は東京市大森區大森三丁目五九東京蹴球團

◇組合せ決定監督者會議は來る二十六日(木)午後四時から本社五階會議室で開きます

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

廿一日の運動

◇蹴球(中等リーグ)慶普2—1東高等▲府九中17—0府七中

S10・9・22

東大惜敗（蹴球豫選）

全國地方對抗蹴球選手權兼明治神宮體育大會關東豫選第一日は廿二日午前九時から明大球場で雨を衝いて愚行、東大は文大と接戰を續け延長戰を行つた末惜敗した

文理大 3 (0120——11) 2 帝大LB (001——001)

【文理大】
宮田、田澤田義田本橋
沖森
【帝大LB】
二野 潮宮福森藤宮高
FW
島下永 川村崎田谷野内
HB
大林 長垣
FB
【文理大】長久松 小木原藤小阿中

	4	5 11
	CK	KK
	FG	FG
	10	6 16

W・M・W 9 (7—0 2—0) 0 Z・S・K (慈大)
東京蹴球團 4 (2—0 2—0) 0 法政大
B・R・B (慶應) 17 (7—0 10—0) 0 成蹊
農大 8 (4—0 4—0) 0 アストラ

神宮蹴球關西豫選

準決勝（二十二日神戸）

關學 4 (2—3 2—0) 3 KOK
關大倶 5 (3—0 2—0) 0 湯淺蓄電池

廿二日の運動

◇蹴球（中等リーグ）三部）府二中 7——2 獨協中

S10・9・23

神宮蹴球關西代表は關學

【大阪電話】明治神宮大會蹴球關西地方の決勝關西學院對關大クラブの試合は二十三日午前十一時から擧行四對零で關學が優勝した

關學 4 (2—0 2—0) 0 關大クラブ

【關大クラブ】
（第一）山埼橋田川田井邊川
（島）吉
長西石大武戸津塚土渡上
FW
HB
FB
岡井澤藤中井田邊井部川
GK

	11	8 4 0
	GK	GK
	CK	FPK
	8	7 6 1

梅村野山田笠三田松宮西
【關學】

S10-9-24

關東蹴球豫選

全國地方對抗蹴球選手權兼明治神宮大會關東豫選第二日は二十四日午前十時から明大和泉球場で豪雨中第二回戰を擧行、成績左の如し

セントポール倶 2 (1—0 1—1) 1 蹴友
W・M・W (早大) 3 (2—1 1—0) 1 文理大

文大先蹴審判吉原（主）齋藤、野元（線）三君

【W・M・W】松弟本澤兒野原野木江野
【平加川野加關立笠鈴堀佐
FW
HB
FB
【大】島下永 川村崎野谷部内
【文】長久松 林 小木原與小阿中

	3	8 9
	CK	FK
	4	8 0 1

東京蹴球團 4 (2—1 2—0) 1 青山學院
B・R・B (慶應) 2 (0—0 2—0) 0 農大

S10-9-26

關東小學校蹴球大會

本社後援東京蹴球團主催第十四回關東小學校蹴球大會は來る二十九日青山師範球場で行ふが二十六日監督者會議の結果當日の組合せ左の如く決定しました

第一部（六學年）

◇…浦和第二對油面（午前十一時）

◇…（決勝）兒玉對浦和第二、油面の勝者（午後二時）

第二部（五學年）

◇…（決勝）浦和第二對油面（午後一時）

當日は強風雨に非ざる限り擧行致します

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

S10・9・27

廿四日の運動

◇蹴球（東京中等リーグ）青山師 3——0 府立五中 ▲府立二中 10——0 府立七中 ▲府立九中 9——0 獨協中

S10・9・25

S10-9-29

早慶の決勝

蹴球關東豫選準決勝

全日本地方對抗選手權兼第八回明治神宮體育大會關東豫選準決勝二試合は二十八日午後一時半から明大和泉球場で擧行。BRB（慶）は接戰の末辛くも勝ち殘り決勝は早慶の間で行はれる事となつた

WMW（早）4｛1—0 3—1｝1 聖ポール

【WMW】

松島本澤弟木田原田江野
平西川野加飴吉三栗堀佐
田村田廣上崎島崎野田口
保上中久朝井宮飯駒藤野山
【聖ポ】

FW	CK	4
HB	GK	8
FB	GK	3
GK	FK	0
CK	GK	4
GK	FK	1
PK		1

B・R・B（慶）5｛0 3—2 1—1｝4 東京蹴球團（東蹴）

田澤田川室泉原井本野田
吉會西粉安飯新宮西八
江塵田俣崎田川川藤骨田
堀播增猪駒濱石宮伊乙津
（BRB）

FW	CK	7
HB	FK	8
FB	GK	22
GK	GK	6
		2
		14

廿八日の運動

◇蹴球（東京中等リーグ）本郷中2—1慶應

關東代表は慶應

蹴球で早大を破る

S10-9-30

全日本地方對抗選手權兼第八回神宮體育大會關東豫選決勝戰は二十九日明大和泉球場に於て早慶兩校の間に擧行され慶應は〇B松丸を加へ早慶共にベスト・メムバーで對戰したが早大FW線に元氣なく五對二で敗れ、BRB（慶）が關東代表となつた（WMW先蹴審判竹内（主）森。種田（線）三君）

BRB（慶）5｛2—1 3—1｝2 WMW（早）

◇前半　慶應は六分駒崎のパスを增田輕くシュートして得點、更に三十一分左CKを得原江好球を送れば CF增田へディングして2—0とリードP四十二分早大川本後に流した球を野澤シュートし2—1となる

◇後半　慶應は二三分左CKを得RI播磨へディングして3—1、更に三四分中央線より深く攻め込んだRH辻のゴール前に上げた球を早大GK佐野ハタキ損ねて自陣にゴールし4—1と開く早大加茂兄弟の好聯絡で一點を返したが四二分LB鈴木パックパスをミスするを慶應RW駒崎引掛けゴールイン

【WMW】松（弟）本澤（兄）野田原木江野
平加川野加（茂）（茂）鯛吉立鈴堀佐
【BRB】江丸田慶崎元川藤藤宮辻
堀松增播駒松石伊加一

FW	CK	9
HB	FK	2
FB	GK	18
GK	CK	9
	FK	5
	GK	14

關東小學蹴球

油面、浦和第二優勝

本社後援東京蹴球團主催第十四回關東小學校蹴球大會は二十九日午前十一時から青山師範球場で擧行

◇第一部準決勝

油　面　1（0―0 1―0）0　浦和第二

△決　勝

油　面　1（0―0 1―0）0　兒　玉

油面】部村川田野浦澤庄崎田岡
色野立武水杉岡本高平福
FW
HB
FB
GK
6 1 4

【玉兒】林野村田雲沼井川矢崎邊
倉猪木福奈柿櫻前谷江渡
CK
FK
GK
3 1 8

◇第二部決勝

浦和第二　3（2―0 1―0）0　油　面

【二第和浦】島口　島保口田部田内元
小橋　森　久
沖大堀赤阿井堀秋
FW
HB
FB
GK
CK
FK
GK
1 0 4

【浦和】木藤勝崎島橋田浦田橋
根後佐山川高生三山高森
FW
HB
FB
GK
CK
FK
GK
0 2 5

【面油】

昨日の運動

◇蹴球（中等リーグ）青師9―0八中△豐師3―0五中△慶商5―1府一中△本郷中4―0府高等△獨協6―0七中

S10.9.30

初の蹴球祭

―加盟五十團體を動員―

六日神宮競技場にて

關東蹴球協會では來る六日神宮競技場で行はれる關東大學蹴球聯盟の昭和十年度リーグ戰開會式當日を期し午前九時から蹴球界最初の試みとして加盟五十團體六百名を動員し左のプログラムに依つて蹴球祭を行ふ事になつた

(一)中等學校リーグ第二部決勝（青山師對豐島師）午前九時

(二)關東高專蹴球リーグ第一部（商船對日商）午前十時

(三)小學校練習試合（出場校未定）午前十一時四十分

(四)蹴球祭行進…午後零時半

(五)蹴球祭儀式及びリーグ開會式右終つて午後一時半から既に發表された試合日割通り帝大對立教（一時半）早大對商大（三時半）の二試合を擧定通り行ふ事になつてゐる

S10.10.2

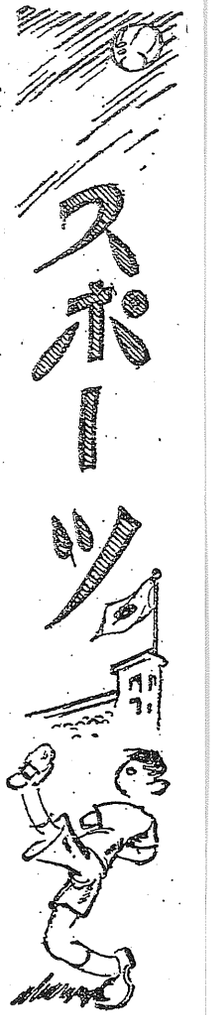
きのふの運動

◇蹴球　成城8―1一高

S10.10.6

S10-10-3

スポーツ



今シーズンこそ

早慶雌雄を決せん

悲境つゞきの帝大も奮起す

關東大學蹴球豫想

今春年來の懸案改組が成つて新生第一シーズンを迎へた關東大學蹴球聯盟は、來る六日今シーズンの幕を開ける事になつてゐる、今シーズンはベルリン・オリムピック初登場を控へて湧き立つてゐるのは言ふ迄もなく、前シーズンにおいて一切を精算せんとしていきり立ち、悲境に三シーズン足掻き拔いた東大も愈反撥の時に廻り合はせ立敎、文大及び新興商大また敢然虎穴に入つて虎兒を獲んとの心底をほの見せてゐる、春以降の各種の戰績を綜合する時早慶は依然頭角をあらはし覇權をめぐるものとして並び稱されてゐるが、昨今夏の合宿練習を終り陣容を整へた所を見ると一般の呼び聲高い早慶とても油斷は成らぬ

早大 早大は長谷川を送り出し大越第一線から退きはしたが關學出の西邑をFW線に加へて柴田、不破また第一線に躍り出で球陣は一層偉容を整へてゐる『FW』平松、加茂弟、川本、野澤、加茂兄、西邑『HB』吉田、立原、笹野、關野『FB』鈴木、堀江、柴田、『GK』佐野、不破と並んだ所正に早大の誇りであり球界の誇りでもあるがこの鐵壁陣にも自負の芽生える憂ひなしとはしない、春の對文大戰1——0はその一例であり、先頃行はれた對BRB（慶）戰は滿洲遠征の疲れの拔け切らぬ點には同情するがBRBの作戰がマンマと圖にあたつたといへばいへるにしても全力傾倒の一念が湧かずにこの一戰を迎へはしなかつたか、若し斯かる敎弱な精神力が潜んでゐるとすれば技風自づと云へるに不思議はなく對文大、對BRBの二戰に現された結果は當然の贈り物である、技術的にはFW線の突つ込みが缺され精神的には倒さねば止まぬ氣魂を缺らねば老成に甘んずる早大の參るな姿を曝らす事にもならう、早大奮覇の前にはその傑出した技術に驅行させねばならぬ精神力の欠如がある、正に戒心の秋である

慶應 慶應は岩渡、塚越を送り出して守備陣に遺憾を感つた許りか慶應第一線からも逞きこの後を繼つた二宮のみならずゴールゲッターとして精彩を放つてゐた主將右近も病床に伸吟を余儀なくされて陣容編成には激しい變動の跡を見た『FW』堀江、播磨、渡田、猪俣、駒崎『HB』松元、石川、辻、吉川『FB』伊藤、加藤、乙骨『GK』一言、草田の陣容は堀江、松元、加藤と各ラインに新入を擧用してゐる、この點慶應の惱みとされる所であるが先頃BRBの名に於て早大を擊破して以來自信つき惱みを解消した感がある、駒崎、播磨の呼應する所FW線の一異彩であり突つ込みの早さは他の追隨を許さぬが守備線は未だ完璧とは斷じられぬゴールを奪はれてもこれに優れた得點力を以て奪ひ返すといふのが今日の慶應であり協力一致最後まで戰ひ拔くといふのが今シーズンの慶應の意氣である、前シーズン早六慶四と見られた豫想を叩き潰したものはシーズンに入つてから技倆向上はあつたがウイークポイントを旺盛な精神力とソツのない救援によつて被覆された結果であつた、今日の慶應は技倆よりも意氣に生きる感がある、先頃の對早大戰の經驗を以てウイークポイントの補強をなしつゝ今日の精神力を堅持する事が出來れば慶應にとつての稱覇の秋ともならう、球界の最高峰を行かんとするもの早慶は精神力が稱覇に響きを與へると見られる

立敎 立敎は一躍第三位を獲得した生氣潑剌たる陣容を以て今シーズンを迎へるものと見られたが不幸にも異動を余儀なくされて『FW』上田、中村、久保田、朝廣、井上『HB』言崎、飯島、駒崎『FB』岡本、灰田、塚田『GK』山口となつてHB線を除いては中村、井上、岡本の各新入を加へてゐるゴールゲッター上田帝を失つて得點力に影響する事大きく岡本を補強するため灰田の動く範圍が擴大されたために案外守備線には脆弱さがある、然しこれ等の欠點は次第に補はれるであらうから制覇への道遠しとするも帝、文、商と第三位爭ひに警戰が期待される

帝大 帝大は江崎、太田、八巻を送り出してゐるが一高黄金時代の小川、沖、稻川、川島が前シーズン控へてゐた菊池と共に蹶起したので三年來の選手難から救はれて一陽來復の感がある『FW』小川、川原、高橋（豐）森（孝）潮田、野田、菊池、沖、稻川『HB』森（茂）大内、堀田、三澤『FB』藤岡、荻原、宮本『GK』高橋、川島の豐富な陣容を布いてゐる、先頃LBを以て對文大戰を落したがこれをもつて今秋の東大を語るには早い、東大の辛苦を重ねつゝあるものはHB線の强化にあるがさほど見劣りするものでもなく豫定されたチームが編成されるなら早慶の壁を破する事も期待され返り咲く日にも廻り合せよう

文大 文大は藤野、江崎、篠永、平田、阿部（三）を送り出しこれに代るに小川、藤田、三塚、中垣内を迎へ『FW』長島、久下、松永、林、小川『HB』木村、原崎、藤田『FB』三塚、阿部（玄）『GK』中垣内と揃つた、球場の關係で練習不足のため試合毎にそれが祟つて出來、不出來があるが攻擊線の左側の微弱が補はれるならば今春來の對早大戰二試合について見る時ひけ目を感ずるにはあたらない、飽く迄强引に行く事とHB線の攻擊加擔を一層引上げたならば侮り難き一方の雄である

商大 躍進をつゞけて今シーズン球界の第一線に登場した商大は前シーズンの殊勳者二塁堂を送り出したが小西を迎へて『FW』大掛、荒井、淺枝、林田、村井『HB』森田、小西、水島『FB』枝村、鈴木『GK』田島といふ布陣で文大同樣手兵なく寂しいが農大、明大を破つて貫祿を示してゐる、對早大戰には3——2で敗れてゐるがガッチリ組み合つて行く所侮り難くチームバランスのとれてゐる所が强味でもある、ダークホースとも言はれる所以でもある

第二部 中大、慈大は案外不振で拓大の精鋭が或はこれを却けるとも見られ法政も依然不振を唱つてゐるから覇權を爭ふものは明大と農大と見られてゐる（山田生）

S10-10-3

S10-10-7

早帝先づ勝つ

關東學生蹴球リーグ戰

關東大學蹴球聯盟今季リーグ戰は五日午後零時半から行はれた蹴球祭に引續き午後二時から神宮競技場で帝立、早商の二試合を行つた、前シーズン第三位を獲得した立教は帝大のため前シーズンの復仇を遂げられ早大は商大を破つた

帝　大 6 (2—0 / 4—0) 0 立　教
（松丸、增田、捕磐　三君　審判、立教先蹴）

【立　教】
田村田嚴上崎島崎田田口
保
上中久朝井宮飯駒塚灰山
FW
川　橋原田澤田　岡原島
沖　高川潮宮種　森　藤荻川
9 6 9 1

【帝　大】
早　大 7 (3—1 / 4—0) 1 商　大
（濱田、宮本、神鷹　三君　審判、早大先蹴）

【早　大】
松本岡邑茂田原野木田破
平川末西加吉立關鈴柴不
FW
掛井枝田井田西島村木島
大荒淺林村森小水枝鈴田

【商　大】

			8
FW			3
HB	FB	GK	16
		CK	4
		FK	2
		GK	28

蹴球祭

關東蹴球協會主催第一回蹴球祭は秋晴れの十月六日午前九時から神宮競技場において擧行、先づ中等、高專、小學校の三試合の後午後零時半OB實業團加盟團體約五十、六百名の入場式があり大學リーグ一部二試合を行つた

◇中等リーグ一部決勝

豐　師 3 (1—0 / 2—0) 0 靑　師

第一部では豐師三戰三勝で優勝す

五　中 3 (2—1 / 1—0) 1 八　中

八中は明年度より第二部に轉落

◇同第三部（九中全勝）

九　中 4 (1—0 / 3—0) 0 二　中

◇高專第一部

商　船 4 (3—0 / 1—0) 0 日　齒

◇小學校模範試合

油　面 0 (0—0 / 0—0) 0 浦和第二

S10.10.9

法政蹴球勝つ

關東大學蹴球リーグ第二部法政對中大戰は八日午後三時から和泉球場で大內（主）高橋、森（線）三君審判、中大先蹴で擧行二對一で法政勝つ

法　政 2 (0—1 / 2—0) 1 中　大

東高、成蹊勝つ

東京高專蹴球リーグ第一部東高對日齒戰は九日午後三時半から一高球場で擧行、四對二で東高勝つ

東　高 4 (2—0 / 2—2) 2 日　齒

第二部成蹊對靑山學院の試合は九日午後二時半より成蹊球場で擧行五對一で成蹊勝つ

成　蹊 5 (1—0 / 4—1) 1 靑　山

S10.10.10

スポーツ



文理、慶應と引分

善戰・長蛇を逸す（蹴球リーグ）

2—2

關東大學蹴球聯盟慶應對文大の試合は十一日午後三時から石神井球場で井出（主）關野、辻（線）三君審判慶應の先蹴で開始文大好戰したが2—1のリードを支へ切れず結局二對二で引分く

文　大 2 (1—1 / 1—1) 2 慶　應

◇前半八分文大は中央に寄つたRH藤田ロングキックすれば慶應ゴール右前に大きくバウンドしてこの時RW小川突込んで成功し文大一點を先取慶應は四十三分左CKを連取し堀江の二度目の好球を增田へツヂングで得點1—1の同點となる◇後半八分文大は好機を逸し續く右CKも逸したがLW長島のセンターリング右前に出でRW小川掛へツヂングで得點文大再びリード、三十八分慶應は文大の强攻を外して右から出でゴール前の横パスで文大守備陣を破りCH石川の長蹴入つて同點となる

審笛

◇…試合は慶應巧みの攻擊に開始されたが無爲に終つた、文大は八分幸運の機會にめぐり合せこの幸運を確實に捉へた、この後試合は曲折波瀾を見せ遂に引分けとなつたが七分三分で文大に有利な局面が點線されてゐた、この試合に於て文大が作つたチヤンスが若し慶應に與へられたものならば恐らくこの試合は十對二のスコアをも示した

【文　大】

島下永　川村崎田塚部內
長久松　林　小木原藤三阿中垣
FW
江磨田俣崎元川　慶藤宮
堀播增猪駒松石　辻　伊加一
HB
FB
GK
CK
FK
GK

			11
			4
			9
			4
			4
			30

【慶　應】

◇勝敗成績（十一日迄）

商大	0……×……	0	0	1	0	0	
立大	……0……×……	0	0	1	1	0	0
文大	……1×……	1	0	0	1	1	0
慶大	……×1……	1	0	0	1	1	1
帝大	……×……2……	1	0	0	0	1	1
早大	×……2	1	0	0	0	1	1
早帝慶文立商		勝	負	分	定	點	2

であらうと思はれるものであつた、決定力の鈍い文大は次から次へと續出する機會を徒らに凡失し王座を狙ふもの慶應をして最後まで戰慄せしめただけで長蛇を逸した、遺恨極りないものであらうが非力如何ともする事能はずである

◇…**文大の好戰**　は不眞のコンディションにも拘らず速い出足に機先を制し力强いキツクに局面を有利に展開せしめこれに對し慶應は揃ひも揃つてコントロールを欠き文大に比し走力劣つてゐる所に遠算の端が開かれ、この一戰はキツキングに優れたるもの、强味が遺憾なく示された慶應は文大の優れた力のみに壓倒されたのではない、キツキング、ヘツテングにおいて巧拙を問はれたならば慶應は文大を凌駕したとは斷言出來ぬ、不眞のコンディションにおいて試合は慶應の劣勢をこの點で明瞭にしてゐる

◇…**引分でも慶應**　は敗戰を認めねばならぬ、パツクスは文大のFW線を潰し切れず此結果としてフイードは殆んどFW線を迂廻せしめて奔命に疲れた、これに引きかへ文大のパツクスは極めて豐富なフイードを以て應じたが慶應をして三十本のゴールキツクを放たしめてゐる、これはそのFW線が凡蹴凡失を物語るもので決定力の乏しさを證するものである、後半三十分頃LW長島が二回に亙るフリー・シユートの機會を凡失したる如き其の最たるものと言へよう、この重大過失に對し恬然たる態度はバツクスの奮鬪に報ゆるを知らぬものとして第三者でさへ憤慨を感ぜしめた

◇…**慶應は意外な**　スタートを切り文大は一般の豫想を裏切る好スタートをしてゐる、共に自重自戒して今後に處する所がなければならぬ（山田生）

S10-10-12

十二日の運動

◇蹴球（關東高專リーグ）
一高3―0、2―0東高（學生リーグ第三部）千葉醫大6―0東工大

S10.10.13

十三日の運動

蹴球【大學リーグ】第三部 慶大7―0駒澤大、第二部 慶大3―2慶大【高專リーグ】第一部 武蔵2―0日大、第三部 浦高8―1東農△高工藝6―0明學

S10.10.14

工大蹴球勝つ

關東大學蹴球リーグ第三部工大對日醫大の試合は十五日午後三時半から工大球場で擧行、五對三で工大勝つ

工大 5〔3―1 2―2〕3 日醫大

S10.10.16

帝大更生の堅陣

蹴球覇權への慶帝戰

帝大、文大の陣容強化に依つてかつて見ない迫力のあるシーズンを迎へた關東大學蹴球リーグは早くもシーズン前半に於て覇權決定の鍵ともなるべき重要の試合を提供する事になつた

來る十九日行はれる慶帝の一戰は覇權を目指す慶應により復活を目論む帝大にとつて石に噛りついても物せねばならぬ試合である

三シーズン早大と共に一頭地を拔き群雄を睥睨してゐた慶應も先頃の對文大戰に於て幸運にも文大の凡蹴凡失に辛くも敗戰から救はれるといふ不覺の一戰を演じ前途暗憺たるものあるに引替へ帝大は四年振りに整備した陣容の威力を見せて立敎を潰走せしめ好スタートして意氣は優に慶應を拔いてゐる。慶應が此一戰を失ふ事にもならば今シーズン覇權から見離され帝大が勝利を博すれば制覇の一歩手前に到達する事ともなる。兩軍の陣容は最強最善の編成で攻撃力に於て慶應は變化に富む武器ありとするも對文大戰に示した如くバックスのフイード不足があつてはあたら偉材も手を空しうするより他に道なく結局勝敗の鍵はバックスの出來榮え如何に祕められてゐるやうにも思はれる、守備力は案外ウイークポイントのある慶應に比し帝大は鐵壁を誇り得ないにしてもムラがないからこれも優劣は定め難い

チャンスを確實に捉へる功績の慶應、強力を以てまくし立てようとする帝大孰れにしてもそのウイークポイントを暴露せずに緊密、忠實の動きを最後まで續け得た方に勝利の凱歌があがらう

◇…この日文立の一戰も行はれるが軒昂の意氣を見せる文大の前に沈滯の立敎は勝味が薄いと見られる（山田生）

S10.10.17

神宮蹴球地方對抗戰組合せ

第八回明治神宮體育大會蹴球全國地方對抗選手權競技は來る三十日から十一月三日まで神宮競技場及び戸山學校グラウンドで擧行されるが試合組合せは抽籤の結果十六日左の如く決定した

△第一回戰（神宮卅日）
A 京城（朝鮮）對臥虎（中國）
B 函館（北海道）對鐵クラ（台灣）

△第二回戰（神宮及び戸山、三十一日）
C 慶應B（關東）對熊本（九州）
RB
D 蜂章（東北）對名高商（東海）
E 關學（關西）對四高（北陸）
F A勝者對B勝者（一日）

△準決勝（戸山二日）
△決勝（神宮三日）

S10.10.19

S10－10－20

文大、立教を破り 帝、慶に勝つ

大學蹴球

關東大學蹴球聯盟立大對文大、慶應對帝大の二試合は十九日午後一時から神宮競技場で擧行、豫想された如く文大は立教を破り慶帝は熱戰の末帝大は遂に前シーズンの覇者慶應を破つた

文大 3（2―0）1 **立教**
（1―1）
（立大先蹴、塚部（主）乙骨、津田（線）三君審判）

【文大】			【立大】
島下永			垣内
川村崎田塚部	FW		林
小木原藤三阿中			長久松
田廣	HB		田上崎島崎野田口
澤保	FB		久井宮飯駒澁灰山
上朝	GK		
6	CK		7
4	FK		13
21	GK		12

帝大 5（3―1）2 **慶應**
（2―1）
（三時慶應先蹴、野村（主）渡邊、村形（線）三君審判）

【慶應】			【帝大】
江俣田齊崎元川			辻藤宮
堀猪增播駒松石	FW		伊加一
山			橋原田
沖	HB		田內岡原島
横			森
高川潮	FB		種大藤萩川
10	CK		11
5	FK		4
18	GK		21

◇試合成績（十九日迄）

	立大	慶商	文大	早大	帝大	合計	勝	負	分
立大	0…0	……×	0…1	×……2	×……2	2	0	2	0
慶商	……×	0…0	×……×	2…1	2…2	1	0	1	1
文大	1×……	……×	0…0	1…2	……×	2	0	1	1
早大	……2	2…1	2…1	0…0	……×	1	0	1	1
帝大	2…2	2…2	……2	……2	0…0	2	0	0	2
試合勝負分	2	1	2	1	2				
定點	4	2	3	1	4				

審笛

◇…文大は對慶應戰に示した程の漠昧を見せず立教かより粘り强さを以て終始したならば落す程の試合でもなかつた、双方共にパスワーク亂れて試合はズタ〳〵に引割かれて味はふべきものなくゴールの決定力の鈍さと相俟つて一層その感を深くせしめた、寄せにおいては立教優れてゐたが今一歩の粘りを欠いて決定的の機會を作り得なかつた感が多い、文大方チヤーヂの後に起つた立教方の不當行爲は輕重に拘らずこれは斷行で沙汰の限りといはねばならぬ、嚴重な制裁が行はれるならばこれは正しく退場に値するものであつた、當事者の猛省を促して止まない

◇…對文大戰から見た慶應には不安を宿してはゐたがこれ程慘めな結果が繰り出されようとは思はれなかつた、昭和七年シーズン以來5―0、4―3、6―0で却けてゐた帝大であり帝大がこのシーズン陣容を整備したとは言ひ條引分けるかそれとも一點差位の勝敗が豫想されてゐたのであつた△前半3―1と開いたのは不出來の慶應にとつては致命的のものであつたが試合としては既に勝敗を決定づけながらも全線にわたつて激しい動きの下にビッグゲームとしての貫祿が示されてゐた△然し總體的に見るならば帝大のバックスの大飛躍とチヤンスメイカーとしてまたゴールゲツターとしての横山を慶應方が潰し切れず自由なプレイを敢行させてゐた所に勝敗の分岐はあつた、これを慶應から見ればバックスは思實な動きに倦む所なかつたが非力といふ事になる、それにパスは帝大方にカットされる事多くあつては攻撃の決定機會が乏しくなるも敢て不思議とするには當らない、殊にFW線の布陣は統制を欠いて連絡に齟齬を來し連算は幾度となく繰返され遂には播磨の單獨プレイを見るが如き結果となつてゐた、非力とは言へ攻守の加增に施す術はあつたと思ふがこれなくしてはこの結果も亦止むを得まい（山田生）

S10－10－20

國大勝つ

關東大學蹴球 大學蹴球三部リーグ第三部

國大對上智大の試合は二十五日午後二時半から國大球場で杉浦氏審判の下に擧行八對零で國大勝す

國大 8（2―0）0 上智大
（6―0）

S10・10・26

高專蹴球リーグ戰

廿六日の關東高專蹴球リーグ成績

◇一部

成城 2（2―0）0 東高
（2―0）

◇二部

府高 8（3―1）2 青學
（5―1）

外語 2（0―1）1 成蹊
（2―0）

◇三部

東工藝 2（1―1）2 東藥
（1―1）

横專 2―2 高獸醫
（審判中止再試合）

關西リーグ

【大阪電話】二十六日の關西學生蹴球リーグ試合成績左の如し

關西學院 2（2―0）1 神戸高商
（0―1）

S10・10・27

帝文蹴球日割變更

關東大學蹴球リーグ第一部帝大對文理大戰は來る二十九日擧行の豫定であつたが二十八日午後三時から石神井球場において擧行される事に變更

S10・10・22

明大、日醫大勝つ

關東大學蹴球聯盟第二部明法戰は二十四日午後二時半から石神井球場で小野君審判の下に法政の先蹴で擧行、五對零で明大快勝す

明大 5（1―0）0 法政
（4―0）

◇第三部（二十四日）

日醫大 4（2―2）2 二日大
（2―0）

S10・10・25

S10-10-29

帝、文引分け
慶、商に勝つ
關東大學蹴球リーグ

關東學生蹴球リーグ聯盟帝大對文大戰は廿八日午後三時から石神井球場で井出(主)村形、上野(線)三君審判の下に帝大先攻で開始、風稍强く双方風上に立つて得點2—2の引分けとなる

文大 2(0—2)2 帝大

◇前半　十三分帝大はRI川原のセンターリングをGK進出セーヴ失敗、逸球をLW櫛山アシストして一點をかへし三十二分CF高橋右側に廻つての好センターリングを左寄りのRI川原シュートして得點し同點となる、三十五分帝大は交代にFKを得狹原好蹴したが文大林LFヘツデイングで拂ふ

◇後半　十三分帝大はRI川原のセンターリングをGK進出セーヴ失敗、逸球をLW櫛山アシストして一點をかへし三十二分CF高橋右側に廻つての好センターリングを左寄りのRI川原シュートして得點し同點となる、三十五分帝大は交代にFKを得狹原好蹴したが文大林LFヘツデイングしてゴールイン、文大2—1のリード

◇後半　十三分帝大はRI川原のスローインからLW長島、CF松永のパスとなり松永左に寄つてのドリブルシュートはゴールインせなつて文大一點を先取、十八分帝大はPKを得、櫛山強烈ゴール右を衝いたがGK中垣内好守して文大危機を脫す四十四分文大はLH木村の右前送球をRW小川へヘツデイングし帝大GKセーヴしたが風に流され外れるをLI久下ヘツデイングしてゴールイン、文大2—2のリード

◇後半　十三分帝大はRI川原のセンターリングをGK進出セーヴ失敗、逸球をLW櫛山アシストして一點をかへし三十二分CF高橋右側に廻つての好センターリングを左寄りのRI川原シュートして得點し同點となる、三十五分帝大は交代にFKを得狹原好蹴したが文大林LFヘツデイングで拂ふ

帝大 【FW】山沖 横原田 田内岡原島 【HB】横川 高潮 森 【FB】高川 藤狹川 【GK】長久松 林 小木原藤三阿中

【審判】◇…結果から見れば帝大に惠まれたペナルティキックの機會が落されねば勝敗を決した樣に思はれるが試合其ものは出足の早い文大に寧ろ機會が多かつたと言へる、然し互角と豫想されたこの試合に於て帝大のこの逸機はまず〳〵自信を失はしめ文大をして氣負はしめる事になつてゐたのは見逃せぬ

◇…決定力が缺つて居れば文大の收めねばならぬ試合であつたが松永と呼應するものなく帝大がシーテングレンヂの頂上點に立ち乍ら不用のパスを用ひて機會を自壞してゐるのと相似たるものであつた、帝大LF櫛岡の足を痛めてゐる關係さへこれを衝いたものは僅かに松永一人であつて見れば攻撃力は同じやうな出來榮えであり守備力にも優劣は定め難い、敗戰からのがれた所にこの試合の味はふべきものがあつたと言つて置かう最後に中垣内、川島岡GK力戰健闘に讃辭を呈しよう【山田生】

◇

慶應對東京商大の試合は廿八日午後三時から國立商大豫科グラウンドで工藤(主)不破、山村(線)三君審判のもとに商大の先鋒で開始、北東の風かなり强くたためにボールは流れてコンデイションは良好ではなかつた後半に入つてからの商大の亂脈はとに角前半における商大の善戰振りは物凄かつた、それは慶應バックの非力を暴露したためで商大のバックは慶應バックとFWの連絡を容易に斷つて味方FWへの攻撃力を增大し得た、商大は前半慶應より得點となるべき多くのチヤンスを持ちながらゴールを擧げ得なかつたのは得點決定力の稀薄を物語るものではあるが、FWの位置に今少しよき判斷があつたならば或ひはいま一、二點の得點を拾ひ得たであらう【三宅生】

慶應 5(3—1)1 商大

◇前半　十九分商大CH小西からの左前送球は慶應RB伊瀨の遊パスとなりLW大掛ノーマークで受けて慶應ゴールに進め右へ小さくパスすれば淺枝慶應GK一寸と衝突し惜しくもチヤンスを逸す△二十一分慶應の右CKはゴール左前の右近の前に落ち右近颯爽して一點を先取△二十七分慶應二宮からのパスを右近へツデイングで逸機してから後の商大は三回程ゴールをなるチヤンスあつたが、無得に終り△三十二分慶應RB伊瀨から直線的なパスを駒崎商大LB枝村を抜いて出であつけなくゴール

◇後半　三分商大枝村中央線線からのロツビングはゴール前右十五ヤード邊に落ち慶應GK一宮セーブせんと飛び出したが、RI林田のヘツデイングは一宮より早くそのままゴールイン△五分慶應駒崎からのパスは右近ノーマークでシュートしてゴール△十一分慶應RH辻のロング・パスは商大鈴木防ぎ得ず右近へもシュートして得點△十七分商大RB鈴木ハンドの反則をなし慶應のPKはゴールイン

【商　大】掛井枝田井田酒島村木島 【FW】大荒淺林村綠小水枝齡田 【HB】宮近田鷹崎元川 【FB】二右增播駒松石 【GK】辻 加伊一

【慶　應】

◇三部

國　大11(7—4)1日　次

第八回明治神宮體育大會

第二日

蹴球

◇地方對抗選手權

蹴球競技全日本地方對抗選手權第一日は卅日午後二時十分から神宮競技場で第一回戰二試合を擧行

京城蹴 6(4—2)1 臥虎倶(朝鮮)中國

【臥虎先蹴、井出(主)村形、渡邊(線)三君審判】

前半臥虎は六分RW景島の好センターリングをCF福田鮮やかにきめ一點を先取、京城は十五分FKの機會をCF金チヤージしてゴールを挙げ同點となる、臥虎はクロスパスを以て臨んでゐたならば走

カに於て劣つてゐてもこの後五點を拿はれて敗れる程に優劣の差は認め得ない、臥虎は自力を示す事を忘れて敗れた

【京　城】(朝鮮)

蔡崔 【FW】永成榮 裴容 【HB】金李 金李 【FB】鄭朴惠 【GK】李

【臥　虎】(中國)

原岡田井島村川玉岡下本 【GK】河花福藤豐梁藤兒山山川

【函館先蹴、山口(主)宮本、粉川(線)三君審判】

前半函館はCH荒井の前送球をLI名取ブツシュして一點を先取したが蹴は九分RW山崎よりのパスをLI久保シュートして得點1—1となる、滑らかさはないが元氣一杯の試合で蹴は後半全線活氣を失ひ8—1後は壞亂したが前半の力闘からすれば惜しまれるものであつた

【函　館】(北海道)

村取 辻 村田野井田山川上 【FW】田名 仲梅松荒蒔若松三 【HB】保口 崎村尾邊見下 【FB】陳戶傳 堤 【GK】久瀨 山奥長渡吉竹

【蹴　球】(台灣)

◇蹴球 【地方選手權】【開東慶應BRB對九州熊本倶、東北蜂章倶對東海名古屋高商—神宮(一時四十分、三時十分)

一高蹴球勝つ　開東高專

蹴球リーグ第一部一高對東歯の試合は二十九日午後三時から府立高校球場で擧行

一　高 9—2 東　歯

S10・10・30

S10-10-29

S10-10-31